

雑誌『婦人之友』における
「お直し」の変遷とその工夫に関する研究

松吉 美佳

環境計画学科環境社会計画学科において学士（環境科学）の学位授与の資格の
一部として滋賀県立大学環境科学部に提出した研究報告書

2012 年度

承認

指導教員

雑誌『婦人之友』における「お直し」の変遷とその工夫に関する研究

近藤研究室 0912036 松吉美佳

1. 背景・論点

過去当たり前であった家庭の「お直し」に潜在する様々な工夫に着目する。現在の既製服登場までの「お直し」の変遷を読み解くために、1908年から現在まで長期にわたって発行され続けており、毎号に洋裁関連記事の掲載されている雑誌『婦人之友』を対象とする。本研究では、「お直し」は「衣服を作り直すこと・仕立て直し」と定義し、「リメイク」「リフォーム」「更生」も「お直し」に含むものとする。

2. 研究の目的・意義

本研究では、家庭での「お直し」に着目し、雑誌『婦人之友』における「お直し」記事の変遷を明らかにする。変遷を時代ごとに区分し、各時代における「お直し」の工夫と「お直し」を行う価値観を明らかにすることを目的①。変遷を時代ごとに区分し、各時代における「お直し」の工夫の多様性を明らかにすることを目的②とする。

本研究の意義は、環境とは切っても切れない日常生活の家事に着目し、家庭における「お直し」が当たり前に行われていた時代を取り上げ、「お直し」の工夫や価値観を明らかにし、「お直し」を書き記すことである。そこから見えてきた「お直し」の工夫と価値観から、現代との共通点を探り、現代の状況をふまえたうえで、提案的に提示する。

3. 研究方法

研究の目的を次のような方法で達成する。

(1)記事タイトルを対象とした全体傾向分析

分析対象誌は、『婦人之友』1908(明治41)年1月の創刊当初から1990年(平成2)年12月までの雑誌を調査し、記事タイトルをもとに「衣服・服飾・手芸・お直し」に関連する記事とする。樋口の先行研究¹⁾を参考に、記事の量の増減によって各時代の特徴を把握するため、記事タイトルから『婦人之友』の総ページ数と分析対象記事の量の増減の把握を行い、全体の傾向を分析する。

(2)記事内容を対象とした内容分析

各時代の洋裁・「お直し」の工夫に着目するため、記事の内容も分析の対象とする。時代区分として表1、分類項目として表2を設定する。記事内容の分析については、「お直し」が活発に行われていた時代である第二期(昭和初期)・第三期(戦中)・第四期(戦後)・第五期(高度経済成長期)を中心に行う。回収し

た『婦人之友』から、第二期(1927年)～第五期(1972年)において洋裁関連記事は1654記事、「お直し」記事は149記事が抽出できた。

表1 時代区分の設定

	期間	時代区分名称
第一期	1908-1926(M41-T15)	明治・大正期
第二期	1927-1941(S2-S16)	昭和初期
第三期	1942-1945(S17-S20)	戦中
第四期	1946-1951(S21-S26)	戦後
第五期	1952-1972(S27-S48)	高度経済成長期
第六期	1974-1986(S49-S61)	安定成長期
第七期	1987-1990(S62-H2)	バブル期

表2 記事内容項目と例(手作りの靴)

記事タイトル	記事タイトル	手作りの靴
記事内容の概要	記事内容の概要	古い運動靴の底を利用してデザインした靴の作り方を紹介。
巻号	1巻1号～83巻12号	40巻7・8号
著者	記者・専門家・読者	記者
対象物	ワンピース・スーツ・帽子・シャツ等	古い運動靴
用いたもの	布・毛糸・ミシン・アイロン	布・ミシン
用いた技術	型紙・裁断・縫う・編む 仮縫い・本縫い等	採寸・型紙・裁断・縫う
工程数	出来上がるまでの工程数	4回
出来上がるもの	子どものワンピース・帽子等	靴
目的	紹介・合理的・代用・節約 愛情・趣味・提案・協力	節約・代用
シリーズ	洋服裁縫基礎講習等	なし

時代区分(表1)ごとに時代背景・時間軸から変遷を追い、表2に基づき記事内容について主に単純集計を用い、考察を行う。

本研究の構成と流れを図1にまとめる

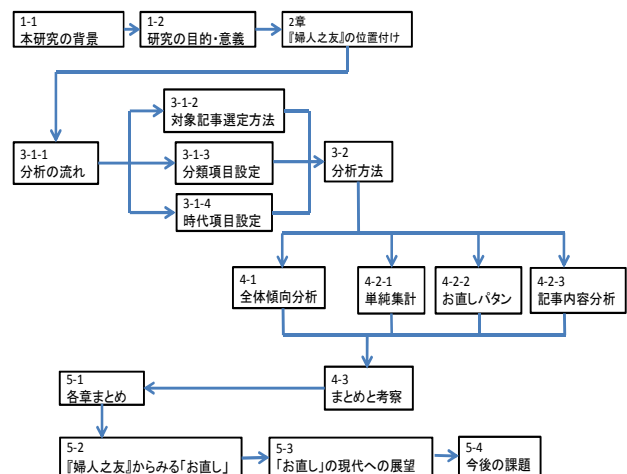


図1 構成の流れ

4. 結果

(1)記事タイトルを対象とした全体傾向分析

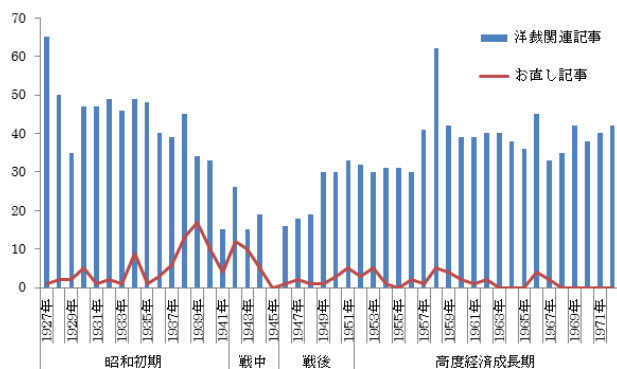


図2 洋裁記事・お直し記事数の変遷

洋裁記事に占めるお直し記事の割合を以下に示す。
「第二期：昭和初期」(1927年～1941年)に77/642記事(約12%),「第三期：戦中」(1942年～1945年)に27/60記事(約45%),「第四期：戦後」(1946年～1951年)に13/146記事(約9%),「第五期：高度経済成長期」(1952年～1971年)に32/806記事(約4%), 合計149/1654記事(約9%)掲載されていた。つまり、お直し記事は「第三期：戦中」において占める割合が大幅に多い。

(2)記事内容を対象とした内容分析

1)分類項目の単純集計結果

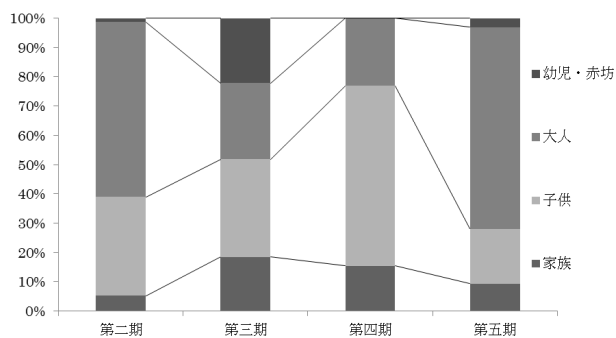


図3 お直し記事「対象者」集計グラフ

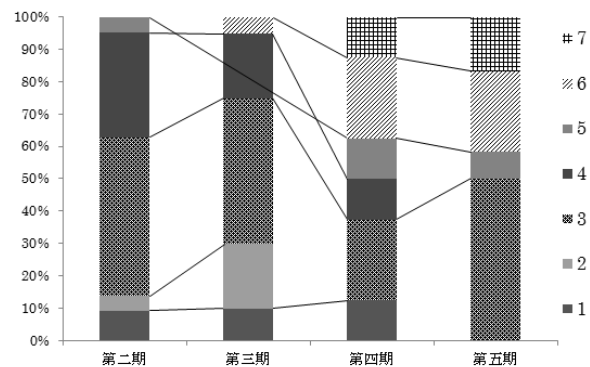


図4 お直し記事「工程数」集計グラフ

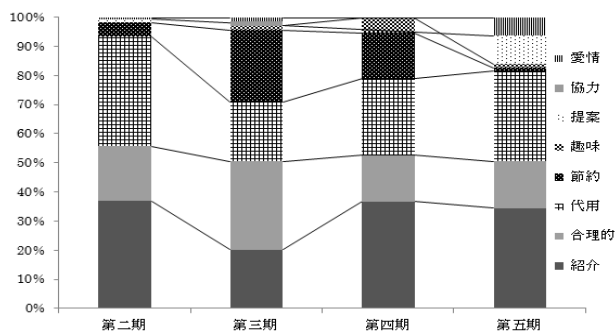


図5 お直し記事「目的」集計グラフ

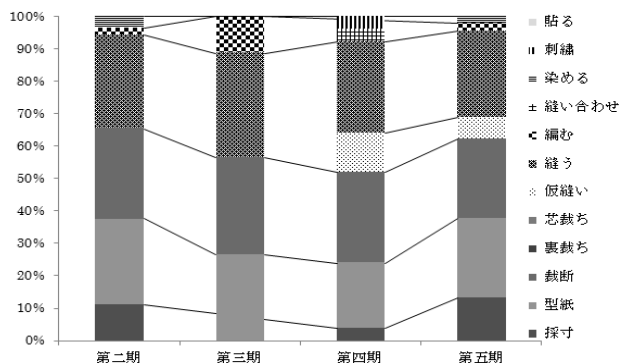


図6 お直し記事「用いた技術」集計グラフ

図3～図6を考察した結果を以下に示す。

「第二期：昭和初期」は、洋服の合理化を勧めるため、洋服の作り方を「紹介」した記事が多く、まずは大人の女性からという考えから「大人」を対象とした記事が最も多い。「採寸」「型紙」「裁断」「縫う」「編む」など、この当時の女性は基本的な技術は習得していたため、詳しいことは説明していない。他の時期に比べ、工程数が少ないのも、同様の理由であると考えられる。

「第三期：戦中」は、「家族」「子供」「大人」「幼児・赤坊」と全てをまんべんなく対象としている。戦争の影響で物資不足を理由に、「節約」「代用」を目的とした記事が多い。工程数において1・2工程が占める割合が多く、近所の人との「協力」をし、簡単かつ迅速にお直しを行っていた。また、基本的な技術である「採寸」が掲載されていない。

「第四期：戦後」は、「子供」を対象とした記事が多く、基本的な技術よりもさらに詳しい技術が紹介されている。戦争により、モノがなくなってしまったため、「節約」「代用」を目的とした記事が多数掲載され、工程数も第二期第三期に比べて多くなる。

「第五期：高度経済成長期」は、「大人」を対象とした記事が最も多く、「子供」を対象とした記事が最も少ない。また、技術において「編む」が最も多い。「編む」ことは「趣味」の面と「愛情」の面を持っている。第五期になると第二期・第三期に比べ、基

本的に持っている洋裁の知識が少ないことから、技術・工程数共に詳しく説明されている。

2)「お直し」パターン

「お直し」に関する記事を、表2の分類項目の中の「用いたもの」・「お直し品」においてカテゴリ化を行った結果、「お直し」は表3のように6パターンに分類された。

表3 「お直し」パターン分け

	「お直し」パターン	「お直し」例
①	大人の服から子供服への「お直し」	父様のワイシャツを子供用に
②	和服から洋服への「お直し」	着古した和服をスモック
③	洋服から洋服への「お直し」	ワイシャツをブラウスに
④	洋服からモノへの「お直し」	父のシャツを下履きに
⑤	モノから洋服への「お直し」	座布団カバーを下着に
⑥	モノからモノへの「お直し」	帽子を敷物に

「お直し」に関する記事を分析した結果の特徴的なグラフを示す。まず、「お直し」のパターンの記事数の変遷を図7に示す。

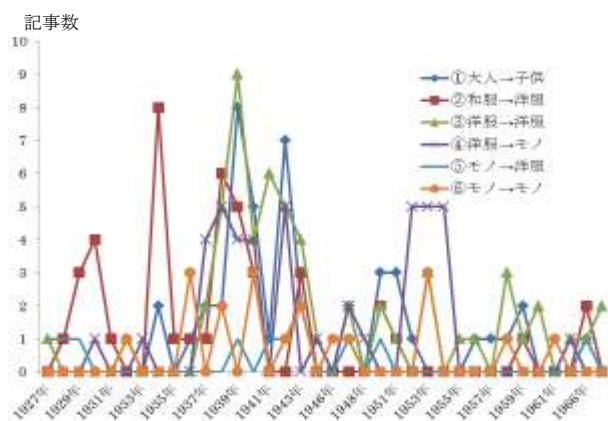


図7 「お直し」パターン記事数の変遷

3)時代別考察

時代背景と『婦人之友』の記事内容を照らし合わせ、時代別に考察を行う。

I)第二期：昭和初期(1927年～1941年)

「和服から洋服へ」1931(昭和6)年25巻12号では、「中流婦人の服装の合理化、それはいうまでもなく、あなたが直ちに洋服生活をおはじめることになります。」のように、合理化を目指す『婦人之友』は洋服の普及を勧めていた。そのため、第二期の初期において、パターン②【和服→洋服】が多い。理由として、「持ち合わせの和服からこんなハイカラな洋服が出来ます」1934(昭和9)年28巻5号では、「和服も工夫すればこんなにハイカラに作りかへることが出来るのです。誰方も黒い羽織はもっていらしゃいませうから、まづそれから仕立ててごらんになっては如何でせうか。」とあるように、手元にある和服を洋服に「お直し」することが、既製服

がまだまだ出回っておらず、自分たちで洋服を作ることが洋服の合理化を勧める重要な動きであった。1920年代に入り、社会的な変化により近代化や合理化が叫ばれ、生活改善運動が盛んになった。1934年頃からパターン①【大人服→子供服】が現れる。「新入学の子どもへお母様からのプレゼント」1936(昭和11)年30巻4号「心をこめて作ったものはきっと大切にいつまでも使うでしょうし、長くたのしい記憶となりましょう。」のように、愛情や「お直し」を楽しむ気持ちが読み取れる。1937年頃からは「お直し」記事増えていることが分かる(図7)。この頃になると、洋服もある程度認識され、洋服の作り方を紹介する記事以外の記事が掲載されるようになる。不安定な社会情勢を反映して、必要最低限の生活を守るために、家事においてはとくに保険・衛生が重視され、1939(昭和14)年以降『節約』を目的とした「お直し」が登場している。

II)第三期：戦中(1942年～1945年8月)

「お直し」記事は戦中である第三期に最も多い。1944(昭和19)年38巻2号「繕ひもの読本」では、「今年こそ志を新たに、衣類は一切新調せずにはすまなくてはなりません。そのためには、今持っているものを上手につくって長持ちさせることがなによりも大事です。」と記載されている。第三期はモノ不足であり、今手元にあるものを最大限に生かす「お直し」(6パターン全て)が活発に行われていた。「銃後を守れ」というかけ声のもとで生活のゆとりの部分は剥ぎ落され、主婦は、最低限の物資を最大限に活かす努力を生活刷新の実践として強いられた²⁾。軍需産業への動員もあって、国民服・モンペ以外の服装は贅沢であるため、洋服屋で「お直し」を引き受けてもらえなかったのである。そのため、「背広を国民服に」1944(昭和19)年38巻9号では、「この時代に新調することが困難となった国民服を古い背広を仕立て直して仕立てることを誌上講習いたします。」のように国民服の作り方も掲載されていた。以上から第三期では家庭での「お直し」の技術が必需であったと言える。その結果、配給品からの「お直し」も多数見られた。1943(昭和18)年37巻10号「協力によって出来た赤坊衣類一揃いの用意」のように「親いお友達や隣組の美しい協力によって、このような衣類一揃いの用意ができました。いらなくなったものを譲っていただく、そして自分も人に譲ってあげられるように大切に着せ、傷まないものは次から次へと譲っていくようにしましょう。」といった「協力」が見られるのも特徴である。また、「衣類を簡素にして真物の寿命を知る」1942(昭和17)年36巻3号「少ない持ち物で暮らしていると品物の寿命がよく分かるようになって、安心して予定生活ができることが、本当に有難いと思っています。」のように、婦人たちは物資がないことをマイナスにとらえるのではなく、プラスにとらえている。

Ⅲ)第四期：戦後(1945 年 9 月～1951 年)

第四期は、戦後まもない時期である。洋服を着たくても既製服が発達していない当時は、自分で作るか、作れる人に頼むしかなかったため、洋裁の技術を身に付けることが女性にとって必需であり、ステータスであった。洋服の縫い賃と一般賃金を比較したデータ³⁾によると、1951(昭和 26)年の、家計補助一例がオーバーコートを 9500 円としている。同年の公務員初任給は一月で 5500 円、10 月で 6500 円であり、オーバーコートを縫った収入は公務員初任給を超えていたことになる。第四期ではパターン①「大人服→子供服」が多くみられる。1949(昭和 24)年 41 巻 7 号「下着をととのえましょう」では「既製服は値段が高いたけでなく始末が悪い」と言われ、服は作るものという考えと、「言葉と服装は人柄を形成する。子供には幼い時からよい服装をさせたい」⁴⁾のような子供にはいいものを着せたいという母の思いが読み取れる。

Ⅳ)第五期：高度経済成長期(1952 年～1972 年)

第五期初期はパターン④「洋服→モノ」が最も多い。「ふとん——一件分の持物——何枚あったらよいか、化繊の毛布、座布団の工夫」1957(昭和 32)年 51 巻 7 号において、いかに「お直し」がモノに愛情を持って行っているものかが、「いきかえた布や毛糸がよこんでいるよう」という表現から読み取れる。また、少しみられる②【和服→洋服】には、昔の大切にしていた思い出の服を「お直し」する「愛情」がみられる。「夏の帽子」1956(昭和 31)年 50 巻 6 号において「ここに選んだ帽子は今年の流行を取り入れた、堅重で応用の広いものです。」と記載されているように、流行やおしゃれといった記事が徐々に目立ち始め、既製服にもよいものが登場している。第五期中期～後期にかけて「お直し」自体の記述が少なくなる。「お直し」が生活の必需から趣味や楽しみに変化している。

5. 結論

(1)「お直し」の工夫

「お直し」の工夫には、二つの考え方がみられた。一つ目は、合理的な「お直し」である。例えば、洋服が浸透しておらず、和服しか手元になかった時代は、和服から洋服への「お直し」が行われていた。物資が少ない時代には、少ないことをマイナスにとらえるのではなく、逆に衣服が整理できて合理的に暮らせると、前向きにとらえている。二つ目は、「お直し」を楽しむ工夫である。例えば、「お直し」したものに少し装飾を加えるひと手間や、「お直し」して残った布からまた「お直し」することで、思い出の品を余すことなく新しいものに変えている。それは特に大人服から子供服への「お直し」でみられる。

さらに、人と協力をすることで、「お直し」を楽しんで行い、出来たものを人に贈ることで、絆を築いていたのである。

(2)「お直し」の価値観

『婦人の友』における「お直し」の考え方として挙げられるのが、「手仕事の創造的価値」として高く評価し、衣生活におけるコミュニケーションとして、前向きにとらえていたことである。衣生活のコミュニケーションとは、捨てられようとするもの・箆箆に眠っているもの・母や父の服など思い出の詰まったものを「お直し」することで、新たな生命を吹き込み、新しいものへと変化させる。「お直し」されたものには、昔着ていた人の思いと作り手の思いが込められているため、愛着を持ち、モノを大切にするという流れが生まれるのである。また、「お直し」は、家族の思い出の共有・近所の人との協力など人との絆を生む。一見ものとしては価値が下がったものでも、思い出・愛情という付加価値がついているのである。つまり、「お直し」は「生命の通った手ごたえのある仕事」と結論づけることができよう。

(3)「お直し」の現代への展望

2012 年 5 月 9 日新聞記事「おんなの気持ち」において、「押し入れの整理をしていると、母が若かった頃に縫おうとしていたジャケットが、未完成のまま出てきた。半袖でデザインが古い気がしたので、袖に幅広い白のレースをつけて五分袖にすると、今風で優しい雰囲気になり、裾にも可愛いレースをつけて、自分好みのジャケットに変化していくのが楽しかった⁵⁾。」という記事が掲載されていた。この記事のように、全てを作り変えるのではなく、少しだけ「お直し」するという考えが現在にある。これは難しい洋裁の技術を持っていなくてもでき、「お直し」を楽しむという点で過去の「お直し」の価値観と共通している。現代に適した合理的な「お直し」であるといえるのではないか。

6. 参考文献

- 1)樋口幸永：生活経営学的視点からみた合理化思想に基づくライフスタイルに関する研究「全国友の会」を事例として、滋賀県立大学環境科学研究科学学位論文、pp.1-116 (2011)
- 2)日本生活学会編：家庭生活の 100 年ドメス出版、p253 (2003)
- 3)小泉和子：洋裁の時代 日本人の衣服革命、OM 出版、p.57 (2004)
- 4)友の会 A 氏、2012-11-15、ヒアリング
- 5)女の気持ち：母の服
<<http://mainichi.jp/feature/news/20120509ddm013070173000c.html>>、2012-9-26

Study on change of "alter" and device in magazine "Fuzinn no tomo"

0912036 Matsuyoshi Mika

1. Background and point under discussion

The consumption of clothes puts a remarkably large as for environment load. Then, it paid attention to various laborers who are underlying in "alter". It defines as "remaking clothes" and "makeover". Studying it for a long term because published "Fuzinn no tomo" places a dressmaking article in the each number.

2. Purpose of the research and meaning

The purpose of the present study is shown below.

- ① Clarifying the change of the "alter" in the "Fuzinn no tomo"
- ② Clarifying a laborer and sense of values of the "alter" in each time.
- ③ Clarifying the variety of the laborer of the rectification

Significance of this study is to write down a device and sense of values of "alter". And I investigate a common point with the present age and show it on the basis of the modern situation.

3. Research method

Achieving the purpose of the study by the following method.

- ① Analyzing an overall tendency from an article title of "Fuzinn no tomo".
- ② Analyzing contents from article contents of "Fuzinn no tomo". Checking the change of "the rectification" from a background, temporal axes in the times

4. Conclusion

It appreciates it as "creative value of the handwork" that ways of thinking of "alter" in "Fuzinn no tomo" include and is to have arrested you as communication in the clothes life forward. "Alter" is the thing which value fell at a glance to, but has added value called a memory, the love. In other words, "alter" concludes it to be "the work with the response that carried of the life".

目 次

第一章	序論	1
1-1	本研究の背景	1
1-1-1	「お直し」に関して	1
1-1-2	先行研究の整理	3
1-2	研究の目的・意義	5
1-2-1	本研究の視点	5
1-2-2	研究の目的	5
1-2-3	研究の意義	5
1-3	研究の構成	5
	参考文献	7
第二章	婦人・裁縫雑誌における『婦人之友』の位置付け	9
2-1	大正期～戦後の婦人・裁縫雑誌	9
2-2	研究対象『婦人之友』について	13
2-3	読者『友の会』について	16
	参考文献	18
第三章	研究方法	19
3-1	雑誌分析	19
3-1-1	分析の流れ	19
3-1-2	洋裁関連記事・「お直し」記事の選定方法	19
3-1-3	分類項目	21
3-1-4	時代区分設定	24
3-2	分析方法	24
	参考文献	26
第四章	分析結果	27
4-1	記事タイトルを対象とした全体傾向分析	27
4-1-1	『婦人之友』記事数の変遷・傾向	27
4-1-2	洋裁関連記事・「お直し」記事の変遷・傾向	28
4-2	記事内容を対象とした記事内容分析	30
4-2-1	単純集計からみた時代別考察	30
4-2-2	「お直し」パターン	43
4-2-3	記事内容からみた時代別考察	68
4-3	まとめと考察	88
4-3-1	時代別まとめ	88
4-3-2	『婦人之友』における「お直し」	89

	参考文献	90
第五章	結論	91
5-1	各章のまとめ	91
5-2	『婦人之友』からみる「お直し」	91
5-2-1	「お直し」の変遷	91
5-2-2	「お直し」の工夫	93
5-2-3	「お直し」の価値観	93
5-3	「お直し」の現代への展望	93
5-4	今後の課題	95
	参考文献.....	96

図 表 目 次

第一章

図 1-1 本研究の構成	6
--------------------	---

第二章

図 2-1 それいゆお直し記事	12
図 2-2 羽仁もと子	15

第三章

図 3-1 工程数	23
-----------------	----

第四章

図 4-1 『婦人之友』ページ数変遷	27
図 4-2 洋裁記事・お直し記事数の変遷	28
図 4-3 洋裁記事「対象者」グラフ	30
図 4-4 洋裁記事「対象者」性別グラフ	30
図 4-5 お直し記事「対象者」グラフ	32
図 4-6 お直し記事「対象者」性別グラフ	32
図 4-7 洋裁関連記事「工程数」グラフ	34
図 4-8 お直し記事「工程数」グラフ	35
図 4-9 洋裁関連記事「目的」グラフ	36
図 4-10 お直し記事「目的」グラフ	37
図 4-11 洋裁関連記事「用いた技術」グラフ	39
図 4-12 お直し記事「用いた技術」グラフ	40
図 4-13 「ワイシャツを子供のシャツに」1937(昭和 12)年 31 巻 11 号	45
図 4-14 「洋服手芸問答」1936(昭和 11)年 30 巻 3 号	46
図 4-15 「新入学の服装をこうして揃えましょう」1939(昭和 14)年 33 巻 3 号	47
図 4-16 「幼児用スウェーターとレギンス」1942(昭和 17)年 36 巻 11 号	49
図 4-17 「持ち合わせの和服からこんなハイカラな和服が出来ます」1934(昭和 9)年 28 巻 5 号	50
図 4-18 「和服を洋服になおす工夫」1934(昭和 9)年 28 巻 8 号	51
図 4-19 「ワイシャツをブラウスに」1937(昭和 12)年 31 巻 11 号	53
図 4-20 「一枚の子供服の行方」1943(昭和 18)年 37 巻 3 号	54
図 4-21 「不用品を生かしましょう」1938(昭和 13)年 32 巻 8 号	54
図 4-22 「手作りの子供運動靴」1940(昭和 15)年 34 巻 4 号	56
図 4-23 「協力裁縫少ない物資を生かせ 衣について」1940(昭和 15)年 34 巻 6 号	57
図 4-24 「秋から冬への衣服の工夫」1939(昭和 12)年 33 巻 10 号	59

図 4-25 「私の働き着」1942(昭和 17)年 36 巻 7 号	60
図 4-26 「少ない衣服費の工夫」1941(昭和 16)年 35 巻 1 号	61
図 4-27 「誰にでも似合う可愛い帽子」昭和 13(1938)年 32 巻 11 号	62
図 4-28 新入学の子どもへお母様からのプレゼント」1936 年(30 巻 4 号)	63
図 4-29 「古帽子で作った敷物」1940 年(34 巻 1 号)	64
図 4-30 「竹の皮で出来た美しい敷物」1940(昭和 15)年 34 巻 4 号	65
図 4-31 第二期洋裁関連記事「目的」集計	68
図 4-32 第二期お直し記事「目的」集計	69
図 4-33 第二期お直し記事「対象者」集計	69
図 4-34 第二期お直しパタン	70
図 4-35 「全国十九都市女性服装調査報告」1937(昭和 12)年 31 巻 6 号	74
図 4-36 第三期洋裁関連記事「目的」クロス集計	75
図 4-37 第三期お直し記事「目的」集計	75
図 4-38 第三期お直し記事「対象者」集計	76
図 4-39 第三期「お直し」パタン	76
図 4-40 第四期洋裁関連記事「目的」集計	79
図 4-41 第四期お直し記事「目的」集計	79
図 4-42 第四期お直し記事「対象者」集計	80
図 4-43 第四期「お直し」パタン	80
図 4-44 第五期洋裁関連記事「目的」集計	82
図 4-45 第五期お直し記事「目的」集計	83
図 4-46 第五期お直し記事「対象者」集計	83
図 4-47 第五期「お直し」パタン	84
図 4-48 「ふとん一件分の持物何枚あったらよいか化繊の毛布座布団の工夫」 1957(昭和 32)年 51 巻 7 号	86

第五章

図 5-1 「お直し」時代変遷図	92
図 5-2 現代の「お直し」図	95

第一章

表 1-1 用語の定義	1
表 1-2 環境に配慮したファッション	2

第二章

表 2-1 明治時代から戦前にかけて刊行された主な婦人雑誌一覧	9
表 2-2 婦人雑誌の刊行状況	10
表 2-3 婦人雑誌 3 誌の内容比較	13
表 2-4 主な婦人雑誌の発行部数(単位: 万部)	15
表 2-5 設立からの友の会の活動	16
表 2-6 現在における友の会活動内容	17

第三章

表 3-1 ヒアリング対象者	19
表 3-2 婦人之友入手状況	20
表 3-3 記事内容項目	22
表 3-4 「対象者」分類項目	22
表 3-5 「目的」分類項目	23
表 3-6 時代区分の設定	24
表 3-7 「用いたもの」「お直し品」カテゴリ	25

第四章

表 4-1 洋裁関連記事「用いた技術」時代別記事数	39
表 4-2 お直し記事「用いた技術」時代別記事数	41
表 4-3 「お直し」パタン分け	43
表 4-4 「お直し」記事パタン①大人服→子供服	44
表 4-5 「お直し」記事パタン②和服→洋服	48
表 4-6 「お直し」記事パタン③洋服→洋服	52
表 4-7 「お直し」記事パタン④洋服→モノ	55
表 4-8 「お直し」記事パタン⑤モノ→洋服	58
表 4-9 「お直し」記事パタン⑥モノ→モノ	62
表 4-10 第二期ファッション動向	70
表 4-11 失業・貧困対策の洋裁講習会	73
表 4-12 第三期ファッション動向	77
表 4-13 第四期ファッション動向	81
表 4-14 第五期ファッション動向	85

第1章 序章

1-1 本研究の背景

1-1-1 「お直し」に関して

(1) 「お直し」の定義

本研究では「お直し」を、衣服を作り直すこと・仕立て直すことと定義し、「リメイク」「リフォーム」「更生」も「お直し」に含むものとする。

表 1-1 用語の定義

リメイク	お気に入りのものを異なるデザインや別の用途のものに作り直して、さらに大切に長く用いること	リフォームとは「改善」や「作り直す」という意味。広辞苑で調べると衣服の仕立て直しも含まれているが、英語圏では衣類の作り直しはリメイク (remake) と呼ぶ。日本ではリフォームという言葉自体日本語化され、洋服直し店をリフォームショップ等と呼ぶ事もあり、厳密な定義はなく、洋服直し全般をリフォームと考えてよい。
リフォーム	お気に入りのものを自分の体型や機能、好み、流行に合わせて補正し、さらに大切に長く用いること	
更生	不用品に手を加えてもう一度使えるようにすること	

(2) ファッション業界の現状

ファッション業界には流行（トレンド）が存在し、大量生産・消費・廃棄のサイクルを生み出している。さらに、近年はファストファッションも普及しその流れはさらに加速し深刻化している。ファッションはいわば大量生産・大量消費の縮図¹⁾である。

国民規模で売る意味での「流行」分析をおこなった泉俊秀は、「流行は国民の実生活とは種々の意味での交渉を有っているものである。而して流行が多くの場合に、供給によって起こってくる事実を知るとき、供給者たる製造販売業者は、優良なる流行を起こすべく対社会的責任を忘れてはならぬ事こそ震撼するものである」²⁾と述べている。このように流行を考えるうえで、社会への責任を考えることは不可欠であり、ファッション業界が直面している大量生産・大量消費の現状を避けることはできない。

ファストファッションが普及する反面、以下の表 1-2 のように環境に配慮したファッションも注目されている。

表 1-2 環境に配慮したファッション

エコファッション	「エコファッション」は地球環境に配慮した装いやアイテムという点で分かりやすい。環境への負荷が比較的軽いオーガニックコットンが象徴的な素材である。レザーをなめすに当たって、植物性の薬剤を使うのもエコな取り組みだし、靴の外箱をなくして袋に入れて渡すのも、地球に優しい売り方と言える ³⁾ 。
グリーンファッション	デザイン性を妥協することなく、環境や社会への負荷を削減したファッションのこと ⁴⁾ 。
エシカルファッション	①オーガニックコットンなど環境負荷の少ない素材を使用していること ②環境や人体に有害な化学薬品を使わない加工プロセスを経て製造されていること ③児童労働の禁止、適正な賃金の保障といった「フェアトレード」の要素を含んでいること ④リサイクル素材の使用やリメイクで無駄を出さないモノづくりに取り組んでいること ⑤手作りや伝統的なクラフトマン・シップを見直すこと ⑥購入することで社会問題の解決につながる寄付などができること ⑦ワンランクの製品にリサイクル・リメイクする「アップサイクリング」を目指すこと⁵⁾

現在のアパレルのサイクルは、資材調達に始まり、生産がおこなわれ、消費者の手元に届く。その後、90%近くが廃棄され、10%強が、リユース及び工業用資材へとリサイクルなされている。リサイクル 3R のうち、リユース及びリサイクルの活性化への取り組みが、すでに多岐にわたって進められているが、リデュースという概念での取り組みはあまり進められていない⁶⁾。

循環型社会形成推進基本法第十二条国民の義務⁷⁾において「製品をなるべく長期間使用すること」が述べられている。そこで、本研究では、リデュース（ゴミを減らす）の視点から一枚の服を長く愛用する衣服の「リメイク」「リフォーム」に着目し考察する。

(3)「お直し」を取り巻く現状

「洋服を作ること、作り変えることを当たり前としていた時代から、売っているものを選ぶ時代となり、その結果売られているものこそが最終完成形なのだという錯覚に陥り」⁸⁾という記述から読み取れるように、現代の衣服は既製品がほとんどである。

日本における一人当たりの実質 GDP において、1960 年代から 70 年代の一人当たりの GDP をみると 2.4 倍となっている。1970 年代以降、余暇増大や女性の社会進出とともに、着装場面が多様化し、所得上昇とともに、各消費者のアパレル購入量が増加し⁹⁾、現在の既製品購入のサイクルとなった。また、昔は既製品の値段が高く、「お直し」をすることが当たり前であったが、現代は(2)でも述べたよう、ファストファッションに代表される安価な

既制服の登場で、「お直し」が衰退している。そこで本研究は、「お直し」が当たり前に行われていた時代に焦点を当て、研究を進めていく。

(4) 婦人雑誌における「お直し」

明治～大正時代にかけて、多くの婦人雑誌は出版された。石田は、「主婦が実際に読んで役立てられるという実用情報を婦人雑誌が提供することは、日本の近代化を推進したとみることができるわけである。経済的料理が作れる、便利な衣服が作れる、効率的に家計を管理する、といった実用情報を参考に家庭運営を行うイメージが婦人雑誌読者には存在している」¹⁰⁾と述べ、また、小林は、「情報の多様化された現代と違い、雑誌から新しい知識を得られることは婦人たちの生活や精神を、より豊かなものにしていったと推察する。たとえ、それらの多くが生活の中に応用されなくても、当時の婦人たちを衣生活の上で教育、啓蒙していったことにまちがいはない」¹¹⁾と述べている。このように婦人雑誌は、近代女性史の軌跡を辿る資料として貴重であるとともに、ジャーナリズムの歴史を振り返る際に用いられることが多い。

婦人雑誌は衣服の流行の紹介と「洋裁」・「お直し」の技術向上に貢献¹²⁾し、家庭における「お直し」の衰退までの変遷を読み解くのに、適した研究材料と言える。小林は「なかでも羽仁もと子によって創設（明治 36 年）された『婦人之友』は、家庭婦人の地位向上を掲げ衣生活の改良・改善に力を注ぎ、洋装化に貢献されたことはよく知るうえでも重要な資料である」¹³⁾と『婦人之友』を語っている。そこで本研究は雑誌『婦人之友』を研究対象とする。

1-1-2 先行研究の整理

(1) 婦人雑誌研究

婦人雑誌は、近代女性史の軌跡を辿る資料として貴重であるとともに、「過去から現在まで大きな視点で俯瞰したとき、女性雑誌がどのように女性のあり方の変化を反映させてきたのか、あるいはどのような変化を推進してきたのか、そしてそれが女性や男性、あるいは社会のあり方にどのような影響を与えてきたのか、そうした問題は、個別の時代の個別の関係というレベル以外に長期的な視点による通時的分析が必要である」¹⁴⁾とあるようにジャーナリズムの歴史を振り返る際に用いられることが多い。

『婦人之友』を対象とした既存研究として、著者の羽仁もと子が目指した合理化思想に基づくライフスタイルを見るため、全体の記事を扱った樋口(2011 年)¹⁵⁾、大正デモクラシー期に『婦人之友』の読者が生活者として住環境をどう改善していったかを見るために住居記事を扱った久保(1992 年)¹⁶⁾、都市家計におけるチーズ普及の実態を知るために料理記事を扱った橋場(1997 年)¹⁷⁾・食用油脂が日常の食生活に普及し始め、油脂調理が家庭に定着する兆しが見えたと考えられる明治時代末期から大正時代末期までの 19 年間における食用油脂

を用いた調理について、当時の婦人雑誌のひとつである『婦人之友』を調査対象として、食用油脂の種類および油脂調理の実態を調査し、特徴を明らかにした大橋(2008 年)¹⁸⁾、明治末期・大正初期の教育費意識に関する研究として家計記事を扱った小早川(2009 年)¹⁹⁾がある。このように、『婦人之友』は家庭観や住居観などの変遷を読み解く素材としての役割を果たしているが、「洋裁」に着目した研究は未だされていない。

(2)家事に関する研究

伊藤は家事労働について、「家事労働は、労働という側面からみれば、個別的家庭生活の場で、家族員の広い生命活動を含めた労働力の再生産のために行われる、家事・育児・家政管理の労働であり、今日では、それは、社会的労働過程での労働に対して私的労働であり、かつ個人的消費の過程の労働であるという性格をもっている」²⁰⁾と述べている。このように、家事労働は生命の再生産を含めて、労働力の再生産のために家事労働は行われており、人間の生活と人類の継承を支えている。家事に関する既存研究として、田結庄による「家事労働と生活的自立の教育」がある。この論文によると、「現在の子どもは父母の児童期に比べ、確実に家事労働や家業の参加する機会が減少してきており、そのことが即、子供の基本的生活習慣や生活技能の獲得が驚くほど欠け、自立が遅れ、問題の多い子供が急増した」²¹⁾と述べている。つまり、家事は私たちにとって重要な価値を持つものであり、家事に着目することは重要である。

(3)衣服・「お直し」に関する研究

衣服に関する先行研究として、萩野ら(1978 年)による現代における生活と衣服との関連についての論文がある。これによると、「流行遅れの服の処理方法は“そのまま保管する”が最も多く、次に“そのまま着用する”，“他人に譲る”の項目順位に処理方法がみられた」²²⁾と述べられている。つまり、現代において、流行遅れの服は箆笥などにそのまま保管されていることが多く、どんどん新しい服を買っているということになる。浅野²³⁾は、「手持ちの服でいくらかでも工夫すること、楽しむことができる、それがファッションの新しい可能性を切り開くのだ」と述べており、新しいものにばかりとらわれず、手持ちの服を工夫することが必要な視点であると考える。また、堀尾(2009 年)²⁴⁾は、流行遅れなどで着用しなくなった衣服や、贈答品（布類）などが廃棄されずに保管されているいわゆる退蔵品のリフォームの有効性を実証することを目的とし、その効果の検討を試みた。8 作品のリフォーム前と後の効果を評価した結果、「どの作品もリフォーム効果は高く、退蔵品のリフォームは、MOTTAINAI 精神の啓発やエコ生活への見直しにもつながり、循環型社会への一助ともなろう」²⁵⁾と結論で述べられている。しかし、課題として「リフォームしたいが作り方が分からない、アイディアがない」という意見が挙げられている。つまり、「お直し」の工夫を書き記すことは、重要であるといえる。

1-2 研究の目的・意義

1-2-1 本研究の視点

本研究の視点は、家庭における家事の中の「お直し」に着目する。小泉は、「生活の豊かさは徐々にかなえられてきました。しかし、それと同時に家庭崩壊が起こり、人とのつながりがなくなり、無縁社会になってきているということなのです。ではその嫌なこと、したくないことが何だったかといえばその最大が家事だったのです。ということは問題の多くはそこにひそんでいるということになるのではないのでしょうか。」²⁶⁾また、「これらはいずれも人間的な面の多い領域のため、社会性を育てるうえで非常に重要な役割を果たす部分です。」²⁷⁾と述べている。さらに、「今や誰もが家事について考え、あらためて見直してみることが必要だと思うのです。家事の持つ力を無視してはいけないと思います。」²⁸⁾と述べている。このように家事は私たちにとって重要な価値を持つものであり、家事に着目することは重要である。そして、家事が極端に手段化した結果、“生命を支え文化を伝える”労働という側面も見失われつつある²⁹⁾。このことから家事を改めて見直すことが必要であり、家庭での「お直し」が当たり前に行われていた時代に焦点を当て、「お直し」の歴史を読み解き、その工夫を見直す。また、どのような価値観を持って「お直し」を行っていたのかを読み解くことが本研究の視点である。

1-2-2 研究の目的

家庭での「お直し」に着目し、雑誌『婦人之友』におけるお直し記事の変遷を明らかにする。変遷を時代ごとに区分し、各時代における「お直し」の工夫と「お直し」を行う価値観を明らかにする。

1-2-3 研究の意義

本研究の意義は、環境とは切っても切れない日常生活の家事に着目し、家庭において「お直し」が当たり前に行われていた時代を取り上げ、「お直し」の工夫や価値観を明らかにすることである。そうして、見えてきた「お直し」の工夫と価値観から、現代の状況をふまえたうえで提案的に提示する。

1-3 研究の構成

本稿の構成について述べておく。

第1章では、本研究の序章という形で、「お直し」の定義や取り巻く環境、本研究の視点・目的についてまとめた。

第2章では、過去と現在の婦人・裁縫雑誌についてまとめ、本研究で取扱う『婦人之友』についても紹介する。

そして第3章において、既存の雑誌研究と本研究の視点、本研究の具体的な分析方法に

ついて述べる。

第 4 章においては、記事タイトルを対象に全体の傾向を分析し、記事内容を対象に内容を分析するため、集計を用いて、時代背景の補足に関連文献を随時参照し、時代別に考察を行う。また、『婦人之友』の読者である「友の会」へのヒアリングから補足を行う。

第 5 章では、本研究で得られた過去の知見をまとめて総括的な議論を構築し、現代における「お直し」がどうあるべきか、過去と現代の共通点を見出し、今後の課題を示す。

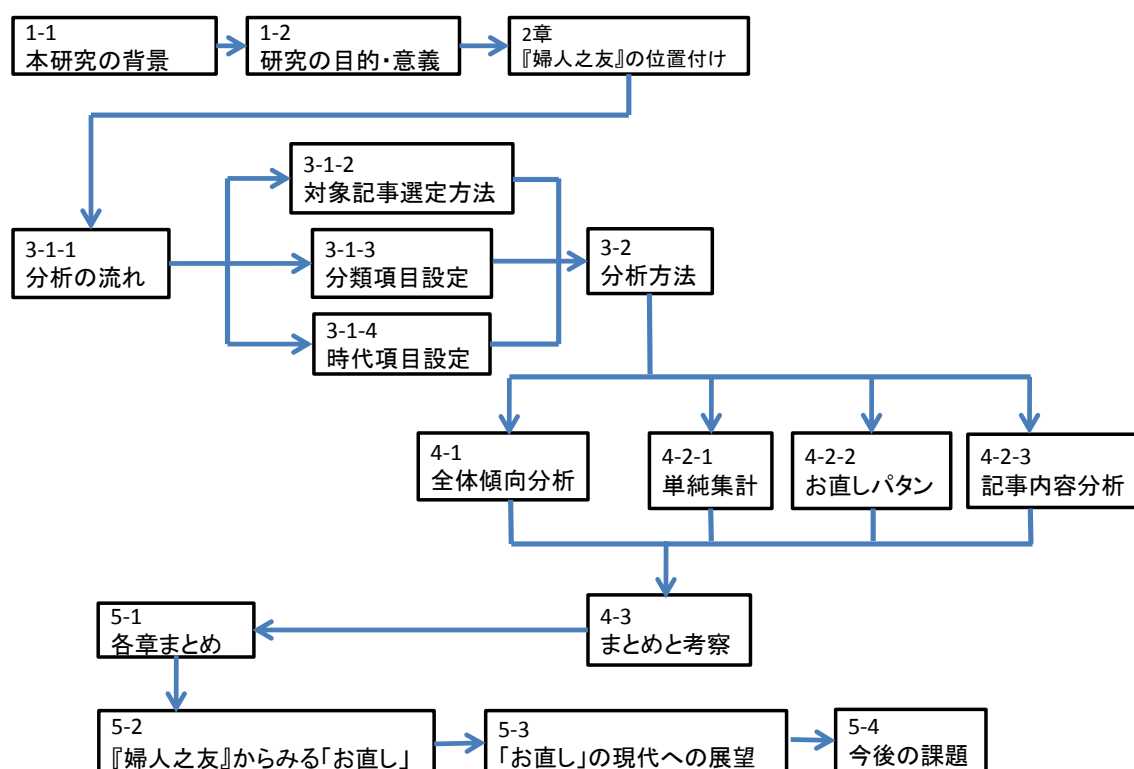


図 1-1 本研究の構成

【参考文献】

- 1)浅野佳枝：身につけるものへの意識と責任ファッションの新しい可能性を切り拓く (特集 環境時代の衣とファッション)環境会議 (16), p.106 (2002)
- 2)石田あゆう：大正期婦人雑誌における女性・消費イメージの変遷『婦人世界』を中心に, 京都社会学年報 9,p.63 (2001)
- 3)エコファッション<<http://allabout.co.jp/gm/gc/191295/>>, 2012-1-13
- 4)田中めぐみ：グリーンファッション入門サステイナブル社会を形成していくために, 織研新聞社,p191 (2009)
- 5)エシカルファッション<<http://www.ethicalfashionjapan.com/>>, 2012-12-8
- 6)福永成明：環境にやさしいファッションーリメイクからの考察 ファッションビジネス学会東日本支部講演論文集(2),pp.64-68(2008)
- 7)循環型社会形成推進基本法(2003)第十二条
- 8)佃由紀子：循環型社会における新発想リ・ファッションに関する研究ファッションビジネス学会 2009 全国大会) ファッションビジネス学会東日本支部講演論文集(4),pp.86-91 (2010)
- 9)埼玉大学経済学部井原ゼミ：日本の流通に関する経済分析, 埼玉大学経済学部 2007 年度「タイ事情 II」報告書,pp.49-75 (2007)
- 10)石田あゆう：前掲論文,p.57 (2001)
- 11)小林操子：大正～昭和初期における衣生活の近代化--婦人雑誌『主婦の友』衣生活関係記事と生活改善運動, 戸板学園出版局, 戸板女子短期大学研究年報(45), p.27 (2002)
- 12)洋裁の時代 日本人の衣服革命, OM 出版, p.27 (2004)
- 13)小林操子：前掲論文, p.13 (2002)
- 14)神間稔子・小川正光：『婦人之友』の家計記事による読者層の属性に関する検討, 愛知教育大学家政学教室研究紀要 20, pp.53-62 (1989)
- 15)樋口幸永：生活経営学的視点からみた合理化思想に基づくライフスタイルに関する研究-「全国友の会」を事例として,滋賀県立大学環境科学研究科学位論文,pp.1-116 (2011)
- 16)久保加津代：大正デモクラシー期の「婦人之友」誌にみる住生活改善(第一報)：「婦人之友」誌の特徴と住生活関連記事の経年的動向, 日本家政学会誌 43(12), pp.1223-1228 (1992)
- 17)橋場浩子：婦人雑誌におけるチーズ料理『婦人之友』と『主婦の友』との比較研究, 日本調理科学会誌, 30(2),pp. 161-171 (1997)
- 18)大橋きょう子：明治・大正期の出版物にみる食用油脂及び油脂調理について-婦人雑誌『婦人之友』を中心として-,學苑 815, pp.84-97 (2008)
- 19)小早川倫美：明治末期・大正初期の教育費意識に関する研究-『婦人之友』における「家計」記事の分析, 教育行政学研究 (30), pp.11-26 (2009)
- 20)伊藤セツ：家事労働とは何か, 光生閣,p.3 (1981)

- 21)田結庄順子：家事労働と生活的自立の教育，日本家庭科教育学会誌 33(1),p.23 (1990)
- 22)萩野千鶴子他：現代における生活と衣服との関連について，名古屋女子大学紀要 24, pp.19-24 (1978)
- 23)浅野佳枝：身につけるものへの意識と責任 ファッションの新しい可能性を切り拓く,環境会議(16),pp.106-108 (2002)
- 24)堀尾茂子：退職品(布類)のリフォーム効果の検討，人間と科学 9(1),pp. 51-59 (2009)
- 25)堀尾茂子：前掲論文,p.58 (2009)
- 26)小泉和子：昭和の家事母たちのくらし，河出書房新社 p.108 (2010)
- 27)小泉和子：前掲書 p.114 (2010)
- 28)小泉和子：前掲書 p.117 (2010)
- 29)日本生活学会編：家庭生活の 100 年ドメス出版,p.256 (2003)

第二章 婦人・裁縫雑誌について

本章では、研究対象となる雑誌『婦人之友』が、多くの雑誌の中でどのような位置付けであったのかを明らかにするために、まず、明治時代から戦前にかけて刊行された主な婦人雑誌を紹介する。さらに、雑誌『婦人之友』と『婦人雑誌』の読者の集まりである「友の会」に関する概要、及びこれらについて既存研究が明らかにしていることをまとめる。

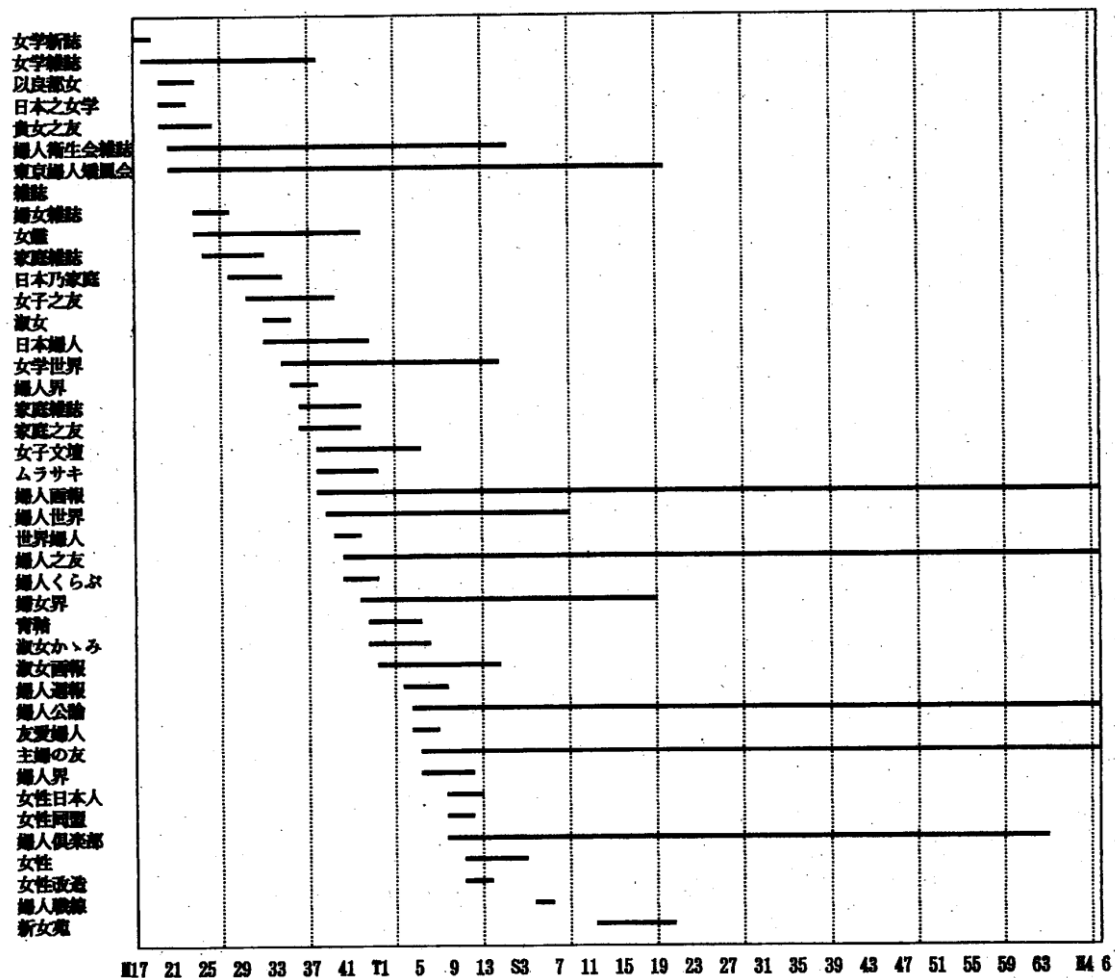
2-1 大正期～戦後の婦人・裁縫雑誌

表 2-1 明治時代から戦前にかけて刊行された主な婦人雑誌一覧

近代の婦人雑誌	
女学新誌	明治17年に創刊された日本初の女性誌『女学新誌』の目的は、「日本の婦人の教導」
女学雑誌	1895年に創刊され、1904年まで続いた日本初の本格的な女性誌。とくに明治20年代のオピニオン・ジャーナリズムの一翼を担ったことで知られる。
以良都女	『以良都女』は当初、女子教育を論じ、婦徳を高め、その地位の向上を期すると共に、言文一致の文体を世にひろめることを主としていたが、一四号からは編集人となった山田美妙の活躍によって小説・翻訳・新体詩・評論などすべてに美妙の独り舞台の感を呈した。また、婦人雑誌として『女学雑誌』とともに先駆的な役割を果たし、投書雑誌としての『文庫』と並称されるような役割を果たした。明治20年～明治24年
日本之女学	創刊1887.8-1889.12＝明治20-22
貴女之友	帝国日本における女性のあり方をはじめ、教育、家庭、家政、家事、育児などに対する提言やその実践法についての記事が満載。跡見花嫁や木村貞子をはじめ、棚橋胸子、辻新次、豊田英雄、西村茂樹、湯本武比古ら、明治中期の教育家たちが多数執筆。
婦人衛生会雑誌	大日本婦人衛生会は、1887(明治20)年11月23日に日本初の女医荻野吟子を中心となって、「汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の智識を開発せしめ随て社会全般の幸福を増進する」ことを目的として設立された。月1回衛生講演を行ない、『婦人衛生会雑誌』という定期刊行物を発行している。1891(明治24)年頃からは、大日本婦人衛生会の総裁には皇族が就任し、鍋島栄子・大山捨松なども入会し、活動は大正末まで続けられた。
東京婦人矯風会雑誌	矯風会は、1886年12月6日、56人のクリスチャン女性によって発足しました。現存する女性団体としては最も長い歴史をもちます。機関誌「婦人新報」を発行し、一夫一婦請願や、からゆきさん引揚げ請願を毎年つづけ、1894年には引揚げに備えるために土地を入手するとともに身売りの可能性がある貧しい女性を対象に、保護・教育・自立支援などを行うため、慈愛館を設立
婦女雑誌	『婦女雑誌』とは、1915年1月から1931年12月までの17年間にわたって毎月発行された、近代中国を代表する女性雑誌です。総発行所は上海の商務印書館で、上海以外でも北京・天津・奉天・澳門・香港など、多くの都市で販売された。
女鑑	家庭における女子の知育と徳育を啓蒙する「女大学」主義を標榜する。総ルビ雑誌。
家庭雑誌	堺利彦が由分社より創刊した『家庭雑誌』は、西村清山、大杉栄、深尾韶、堀保子等の編集の手を継ながら、一貫して家庭の中から社会主義を発展させ、かつ家庭の近代化をはかることを目的とした啓蒙雑誌である。その誌上では新しい家庭のあり方、夫婦のあり方、戦争の問題等がユモアを交え、温かくかつ鋭く論じられている。明治36年～明治42年刊
日本乃雑誌	掲載されず
女子之友	掲載されず
淑女	掲載されず
日本婦人	大日本婦人会創刊
女学世界	『女学世界』は1901年1月、博文館より創刊された。明治期に創刊された女性雑誌としては長命を保ち、1925年6月に廃刊となるまでおよそ25年という長い歴史を有している。
婦人界	女性誌が、教育目的から大衆的な存在へと変化する表れだと言われている。
家庭之友	「婦人之友」の前身「家庭之友」
女子文壇	日露戦争後から第一次大戦以前に刊行された、明治を代表する女性文芸投稿雑誌『女子文壇』。
ムラサキ	藝術文化雑誌『紫明』
婦人画報	1905年7月、近時画報社が創刊した月刊女性雑誌。視覚に訴える写真版を取り入れたユニークな女性誌として知られた。一時『東洋婦人画報』と改題され、また太平洋戦争末期の昭和19年、『戦時女性』に統合されたが、敗戦後の翌年10月に復刊した。明治・大正・昭和を通じて、画報形式の女性ジャーナリズムをつくりあげた功績が高く評価されている。
婦人世界	1906年1月に実業之日本社から創刊された女性雑誌。大衆作家の村井弦斎を編集顧問に迎えて料理・育児などの実用記事、家庭婦人のための修養記事などを売りものにした。文芸欄では河井醉茗らが詩を、与謝野晶子が短歌を担当したほか、家庭小説を連載し、読者の人気を博した。また、それまでの雑誌販売では小売店の買切めであったのをあらため、返品自由の委託販売をはじめて採用し、発行部数をのばした。33年5月終刊。
世界婦人	日々の家庭生活に役立つ育児や料理などの家事の記事を中心に、文芸の教養性を併せ持つ。
婦人之友	『婦人之友』は1908(明治41)年1月に創刊された。家庭婦人を対象とした啓蒙雑誌のひとつであった。
婦人くらぶ	1920年(大正9年)10月創刊、1988年(昭和63年)4月休刊戦前・戦後を通じて「四大婦人雑誌」に数えられた
婦女界	商業的な女性雑誌の草分けとして1910年3月に同文館から創刊された。初期には坪内逍遙や上田万年(かずとし)らが寄稿し、編集協力者としてはのちに《婦人之友》を興す羽仁吉一・もと子夫妻がいた。13年1月からは都河(つかわ)竜が雑誌を譲り受け(婦女界社発行)、連載小説を重視、小泉風葉や小山内薫、さらに菊池寛などが作品を寄せ、広く迎えられた。しかし、しだいに《主婦之友》や《婦人倶楽部》におされて生彩を欠くようになった。
青鞜	青鞜(せいとう)は、1911年(明治44年)9月から1916年(大正5年)2月まで52冊発行された、女性による月刊誌。主に坪塚らいてうが、末期だけ伊藤野枝が中心だった。
淑女かかみ	良家の令嬢や家庭を紹介、結婚を欲する男女の為に良配を選ぶことを目的とした。
淑女画報	1912年(大正1年)創刊
婦人週報	女性に対する職業的訓練の必要を説き、さらに女性の地位向上のために男性の覚醒を説いた。
婦人公論	1916年中央公論社から創刊された女性雑誌。女性の開放と自立を提唱し、従来の婦人雑誌に多い実用記事を排し、婦人・女学生・家族などを巡る諸問題を取り上げ、主に知識層女性の支持を得た。戦前では、与謝野晶子と坪塚らいてうの間の「母性保護論争」、「柳原白蓮恋愛事件」の特集、戦後では「女子学生亡国論」などが有名。
友愛婦人	友愛会婦人部発行
主婦の友	1917年主婦之友社から創刊された女性誌。創刊当初から家庭生活に密着した実用記事が中流主婦層に支持され、日本の代表的な主婦向け雑誌として現在に至っている。実用記事・娯楽記事をあわせもつ誌面構成は、後の日本の主婦雑誌の原型となり、つねに時流に敏感に反応することによって、大部の発行部数を維持してきた。
女性日本人	大正9年創刊
女性同盟	大正9年創刊
婦人倶楽部	講談社発行の婦人月刊誌。1920(大正9)年10月に創刊された。家庭生活に役立つ実用記事を主体にした誌面が人気を集め、『主婦の友』と長く人気を二分した。45年の終戦終戦後に一時休刊したが、間もなく復刊された。時代に応じて内容や判型を変え、多くの読者を獲得してきたが、1988年3月、惜しまれながら廃刊。
女性	見つからず。
女性改造	『女性改造』は「改造」の延長戦上の姉妹雑誌として、大正デモクラシーを背景に、有効な評論や作品、特集号がいくつもあり、決して等閑に付すことはできない要素をきわめて多くもっている。「不当なる忍従を強いられ、奴隷として待遇されつづける幾百万姉妹解放のため率直で、正義のものである言論機関」と宣言し、女性の経済的精神的自立と女性文化の発展・啓蒙をめざす。
婦人戦線	月刊雑誌「婦人戦線」を翌年の6月号まで解放社から刊行。すゑはほとんどの号に小説や評論を寄稿した。
新女苑	1937(昭和12)年創刊

裁縫・手芸雑誌	
家事及裁縫	雑誌「家事及裁縫」(発行元:東京家事講習所)は、昭和2年に創刊。第16巻(昭和17年)より「家事裁縫」と、第19巻(昭和19年)より「家政教育」と誌名変更。戦後、「家庭科教育」(発行元:家政教育社)として後継され、引き続き現在も刊行中。
装苑	文化出版局が発行するハイファッション・モード系の女性向けファッション雑誌。月刊誌。1936年(昭和11年)1月創刊。洋裁の専門誌として新たな文化を一般に紹介した、ファッション誌の草分け的存在である。
それいゆ	戦後まもない1946年、食うや食わずのころ、いち早く女性に心豊かな暮らしを提案してきた雑誌。年3〜4回発行。1956年8月の39号から隔月刊に。中原淳一が病床に伏したこともあり1960年夏 62号で季刊に戻ったが、同年63号まで、丁寧な雑誌作りが重ねられた。
被服	陸軍被服本廠内の被服協会の機関誌。1930年7月〜1943年11月刊行

表 2-2 婦人雑誌の刊行状況 ¹⁾



表より、『女学雑誌』創刊後『日本の女学』、『貴女之友』『婦人雑誌』『女鑑』『家庭雑誌』『日本乃家庭』など婦人雑誌の創刊があいついでいる。その内容は良妻賢母主義に基づく実用的記事が主流を占めている。さらに明治30年代以降、識字層の増大にともなって『女学世界』『婦人界』『婦人画報』『婦人世界』『婦人くらぶ』『婦女界』など商業的婦人雑誌が発行された。明治10年代から大正初期にかけて、おびただしい数の婦人誌が出版されるが、これらの多くは数年を経て休廃刊をよぎなくされた。現在も続いているのは『婦人之友』『婦人公論』『婦人画報』のみである。

以下に、「衣服」に関連する記事を扱った主要な婦人雑誌を詳しく紹介していく。

(1)『主婦の友』

『主婦の友』は1917年(大正6年)3月石川武美が創刊した女性雑誌である。主婦の友社発行。53年までは《主婦之友》と記した。創刊以来、中流階級の主婦層に支持されて着実に発展し、日本の代表的な主婦向け雑誌として現在に至る。修養記事と家事実用記事・娯楽記事を併せもつ誌面構成は、その後の日本の主婦雑誌の原型となった。大正期には家事の合理化推進、戦時中には軍国主義的な国策協力、戦後には民主的家庭づくりといったぐあいに、つねに時流に敏感に反応することによって、多くの発行部数を維持してきた²⁾。

「小学校卒業程度の学力で理解できる」ような、わかりやすい記事づくりをモットーに大衆的主婦層に食い込んでいったが、実用記事と娯楽記事が多くなっていく。やがて軍国的風潮が高まると時局を敏感に反映した編集で戦後その戦争責任が問われたが、新しい編集方針のもとで娯楽性、趣味実益性をもった雑誌に変化している³⁾。

(2)『婦人公論』⁴⁾

1916年中央公論社から創刊された女性雑誌である。『青鞥』の出現によって「新しい女」に関心が集まり、女性問題を考える社会的土壌ができつつあった大正時代初期に誕生した。1912(大正元年)に中央公論社に入社した嶋中雄作が時代の風潮を敏感に察知し、入社後1年にして『中央公論』の名物編集主幹であった滝田樗陰に婦人問題号の特集を提言する。嶋中のアイデアを取り入れて発売された1913(大正2年)『中央公論 婦人問題特殊号』は公表を博し、滝田は『中央公論』の妹分として女性向の『婦人公論』の企画を嶋中に託したのであった⁵⁾。女性の開放と自立を提唱し、従来の婦人雑誌に多い実用記事を排し、婦人・女学生・家族などを巡る諸問題を取り上げ、主に知識層女性の支持を得た。戦前では、与謝野晶子と平塚らいてふの間の「母性保護論争」、柳原白蓮恋愛事件の特集、戦後では「女子学生亡国論」などが有名である。

(3)『婦人倶楽部』

1920年(大正9年)10月1日、大日本雄辯會(のちの大日本雄弁会講談社、現在の講談社)が創刊した。当初の誌名は『婦人くらぶ』であったが、それも同年内の第1巻第3号(12月号)までで、翌1921年(大正10年)の1月号(第2巻第1号)からは、『婦人倶楽部』に変更している。当初の執筆者は、三宅雪嶺、有島武郎、芥川龍之介、吉岡弥生ら。『主婦の友』『婦人公論』『婦人画報』と並ぶ「戦前の四大婦人雑誌」とされた。1933年(昭和8年)、初めて「家計簿」を付録にした。同誌は、1952年(昭和27年)には、『主婦の友』『主婦と生活』『婦人生活』と並ぶ「戦後の四大婦人雑誌」と呼ばれ、発行部数も50万部を超えている。『婦人公論』『婦人画報』は現在も存続しているが、この時点で戦前から続いてメインストリームにあるとされたのは『主婦の友』と同誌のみである。「戦後の四大婦人雑誌」の時代は、以降40年続く。

(4) 『主婦と生活』

1946 年（昭和 21 年）5 月創刊，1993 年（平成 5 年）3 月休刊．1935 年（昭和 10 年）4 月 11 日に設立され，第二次世界大戦終了後の 1946 年（昭和 21 年）5 月 10 日に創業した「株式会社新元社」（現在の株式会社主婦と生活社）が，同年同月 1 日付で創刊した月刊婦人雑誌である．同年末には，当時の洋裁ブームのもと，実物大型紙を折込添付した『秋から冬のすたいるぶつく』を刊行している．この同編集部編集による単行本は，1948 年（昭和 23 年）3 月には，『春のすたいるぶつく』，6 月には『夏のすたいるぶつく』，9 月には新編集の『秋から冬のすたいるぶつく』，同年 11 月には，『編物と手藝のすたいるぶつく 私たちに向くアメリカの流行 1948～9』（高木とみ子），と頻繁に刊行された．このように主婦らは雑誌から「洋裁」の知識を得ていた．

(5) 『それいゆ』

1946 年（昭和 21 年）8 月，雑誌『ソレイユ』（フランス語で太陽，ひまわり．後のそれいゆ）が中原淳一によって創刊される．国土が荒廃し物資が不足していた時代に，生活を豊かにする方法を多くの女性に授けることで爆発的な売れ行きを示した．「ヒマワリ社」（後の「ひまわり社」）を設立．それいゆには，お直し記事が多い．女性は殆どの方が裁縫をした時代，しかも新しい生地は手に入らない時代であった．

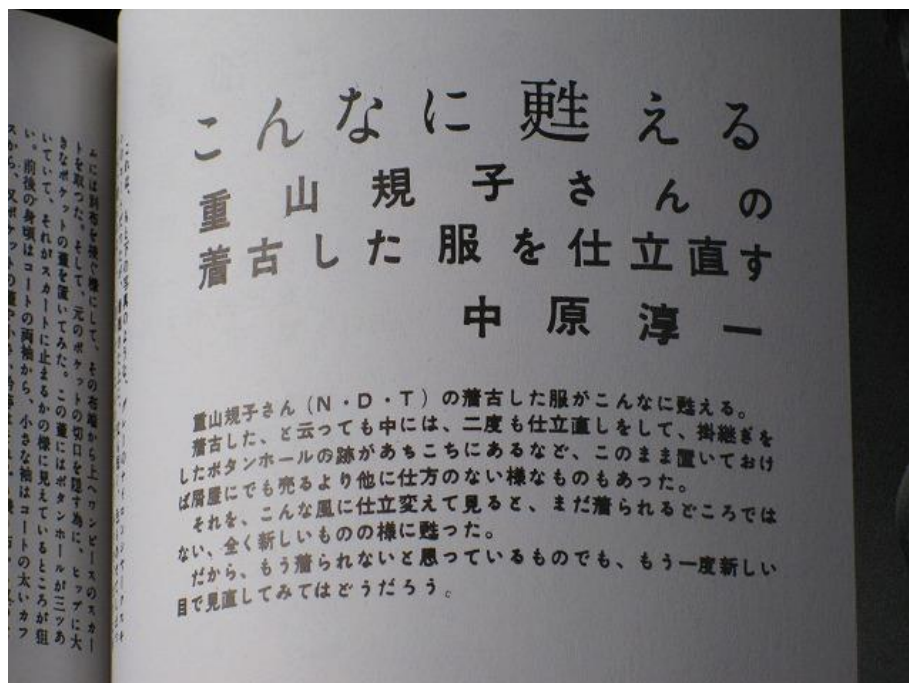


図 2-1 それいゆ お直し記事

また、『婦人公論』『婦人之友』『主婦の友』三誌の記事内容を井手⁶⁾と帯刀⁷⁾の論文を参考に表に分類した。(大正6年3月号記事比較)

表 2-3 婦人雑誌 3 誌の内容比較⁸⁾

分類	婦人公論	婦人之友	主婦の友
婦人の自覚と解放	15.4	0	0
教訓・啓蒙的批評	4.7	16.9	19.1
家庭悲劇と批判	10.1	0	0
家事实験	0	14.8	0
実話	0	0	7.8
家庭医学	1.8	2.1	13
家計	0	4.2	8.7
生活技術	8.9	23.2	17.4
小説・物語	53.3	24.6	21.7
その他	5.8	14.2	12.3
総ページ数	169ページ	142ページ	115ページ

表 2-3 より、生活技術に関して『婦人之友』は三誌の中で一番記事内容が多いことが分かる。

2-2 研究対象雑誌『婦人之友』について

(1)創刊当初の状況

『婦人之友』は羽仁もと子が『家庭之友』の編集方針を継承し『家庭女学講義』を改題するかたちで、1908年に創刊した月刊誌である。『家庭之友』の創刊は1903(明治36)年4月2日、料理、育児、子供服の作り方、家計などの家庭生活の知識の習得を目指す羽仁自身の要求や疑問がテーマとなっていた。『家庭女学講義』は『家庭之友』と併行して、1906(明治39)年から2年間で完結することを目標とした会員制雑誌であった。日清・日露の両戦争を経て、我が国が近代資本主義国への成長を進め、都市に働く人々が急速にふえていった時代である。

(2)『婦人之友』の創立者 羽仁もと子

1873(明治6)－1957(昭和32) 青森県八戸市生まれる。幼い頃から理解できるまで徹底的に考える子供だったが、たいへんに不器用で、また音痴だったため、絵画や唱歌を習うのに苦勞したそう。このことは後に、羽仁が自由学園の芸術教育に力を注ぐ要因となった。その後、1889年(明治22)に上京。東京府立第一女子高等学校へ入学するが、目指していた女子高等師範学校の受験に失敗。当時、少女たちの人気雑誌であった『女学雑誌』の編集長、巖本善治が校長を勤める明治女学校へ入学した。明治女学校時代には『女学雑誌』の校

正を手伝い、雑誌作りの基礎を学んだ。また明治女学校での規則正しい寄宿舎の生活は、自由学園における生活重視の教育に反映されている。1892年、羽仁は郷里に戻り、小学校や女学校の教師となる。この頃結婚したが半年で離婚となり、一からやり直す覚悟で再び上京、報知新聞社に校正係として入社、持ち前の才能から女性初の新聞記者として大活躍することになる。羽仁吉一(1880-1955)と社内結婚したのはこの頃である。吉一は山口県三田尻村(現防府市)に生まれ、漢学塾に学び上京、報知新聞社に入社し政治記者として活躍していた。1903年、二人は新婚生活の中から題材を得て、婦人誌『家庭之友』(『婦人之友』の前身)を創刊した。三鬼は、『家庭之友』において「生徒」であったもと子は、『婦人之友』においては啓蒙者としてあらわれてくる⁹⁾」という。内部外部出版協会から独立し婦人之友社を設立、創刊から1957(昭和32)年に83歳の生涯を閉じる前年まで続いた¹⁰⁾羽仁による関東の論説の内容は、「正面切って婦人解放をこわだかにさけぶのではなく、生活のまわりにある問題を取りあげて、人間として女の生き方をしめしたものであった」¹¹⁾雑誌を通じて、古いしきたりにとらわれていた女性たちに、自分の才覚で家を切り盛りする知恵と勇気を与えた。

(3)『婦人之友』の特色

『婦人之友』の基本思想は、一つひとつの家庭がより良くなることが、社会をより良くすることである、という立場に立っている¹²⁾。『婦人之友』による生活改良の提案は、衣食住にかかわるきわめて具体的なものであった¹³⁾ようだ。こうした生活改良の提案の基本のひとつに、羽仁は「清潔な生活」を標語にしていた。「よき生活の第一歩は、清潔である。個人の清潔、家庭の清潔、各団体の清潔は社会の美を創造する」と羽仁は述べている。生活改良の提案として、衣生活においては、一部を除き依然として伝統的な和服中心の生活が続いていたが、大正期に入り社会的な変化により近代化や合理化が叫ばれ、生活改善運動が盛んになった。経済的で機能的な洋服の普及が急務とされ、政府主導の背活改善運動がすすめられていった¹⁴⁾。明治～大正にかけて、多くの婦人雑誌は出版されたなかでも、『婦人之友』が、家庭婦人の地位向上を掲げ衣生活の改良・改善に力を注ぎ、洋装化に貢献したことは、衣服の歴史を振り返る上で重要な資料であると言える。

また、『婦人之友』の創立者である羽仁が戦争協力姿勢を示していた。そのことに関しては、たとえば岡満男は『婦人雑誌ジャーナリズム』¹⁵⁾において、「熱心なキリスト者で、自由主義・合理主義者であったはずの彼女だが、戦争遂行のためには矛盾ともみえるファナチックな態度をうかがわせている」、「狂信性をくわえた天皇崇拜の姿勢が、戦争遂行にたいしてもファナチックにさせたのだろう」と述べているし、斉藤美奈子は『モダンガール』¹⁶⁾の中で、「戦争は変化を求めていた人々の気持ちをパッと明るくした。保守的で頑迷な昔風の女性ではなく、前向きで活発で近代的なセンスをもった女性ほど、戦争にハマりやすい」とシニカルに批判しているように、既に多くの研究者が論じている。



図 2-2 羽仁もと子

(4)読者層

神間や小川ら¹⁷⁾によると「創刊当初の読者は居住地がほぼ東京を中心とする関東と関西とであり、職種は医師・歯科医師や公務員・教員・軍人・会社員であり、年収は500円から1800円の間に集中している」と述べられている。このように『婦人之友』の読者は中流階層の主婦を対象とされていた。近年の読者層は明らかではないが、その主要読者の集まりである「友の会」については「地方都市ではステータス」「お金持ちのおばさまの貧乏ごっこ」といった声があることから、少なくとも「友の会」について、第三者からは富裕層の妻たちによる集まりと受け止められている¹⁸⁾。

(5)発行部数

創刊当初の発行部数は婦人之友社にも記録がないが、「雑誌の読者の少ない当時のこと、多分2～3千部も発行していない」と山室の著書¹⁹⁾に記述がある。その後、戦前には6～7万部、戦後は12～13万部を発行していた²⁰⁾。

近年の発行部数は表のとおりである。ほかの婦人雑誌が極端に減少し休刊に追い込まれているものもある中で、『婦人之友』は発行部数を維持しているものの、他の雑誌に比べるとごくわずかである。

表 2-4 主な婦人雑誌の発行部数(単位：万部)²¹⁾

西暦(年)	1966	1972	1979	1992	1996	2000	2002	2009
婦人之友				11.3	11.3	11.3	11.2	8
主婦の友	62.5	65.6	50.7	8.2	50	33	17	08休刊
主婦と生活	60.3	65.6	50.7	21	93年休刊			
婦人公論	29	19.1	36.8	18.5	24.4	19.7	16.9	11.6
婦人倶楽部	69.2	73.5	44.3	88年休刊				
婦人画報				30	17.3	18.5	18.7	11.4

2-3-1 読者「友の会」について

1930 年「婦人之友」愛読者を中心に各地に友の会が誕生し、11 月全国友の会大会が開催され、全国友の会が成立する。第一回全国友の会大会時、「友の会」総数 39、会員約 1000 名で大会に参加したのはこのうち各地できた「友の会」代表の 80 名であった²²⁾。

(1) 会員数

「友の会」は、1984 年 31622 名をピークに会員数が減少している²³⁾。会員数の減少は、全国大会や「友の会」の会報誌である『友の新聞』でたびたび話題になる。しかし、近年の「友の会」では、会員数の減少が大きな問題となっているが、若い人の中には、集団で行う「友の会」の活動に拒否反応を示しながらも、「参考にすべきことはやっている」、「時間があればやってみたい」という人がいないわけではない²⁴⁾。そのような人たちを「ひとり友の会」と呼んでいる²⁵⁾ ようだ。

(2) 「友の会」の活動

「友の会」設立からの活動内容を以下表 2-5 に示す。

表 2-5 設立からの「友の会」の活動²⁶⁾

西暦	活動内容
1931年	家庭生活合理化展、全国で開催
1933年	家計簿講習会各地で開催
1935年	東北農村生活合理化運動始まる
1938年	幼児生活展覧会各地で開催
1946年	引揚者援護事業始まる
1948年	「われらの衣食住展覧会」全国で開く
1952年	家計報告全国集計始まる。その後毎年実施
1959年	全国一斉時間しらべ（第一回）。その後5年ごとに実施
1966年	「11000人の主婦の創った家庭生活展」開催
1970年	全国一斉教育費調べ（第一回）。その後継続
1973年	羽仁もと子生誕百年記念「生活即教育展」全国156ヶ所で開催
1985年	バングラデシュとの台所の交流はじまる
1990年	全国友の会創立60周年記念事業展覧会各地で開催
1995年	阪神大震災での救援活動 地元友の会を拠点に全国からの援物資募金が活用される
1998年	全国一斉教育費調べ（第七回）
1999年	全国一斉時間しらべ第九回実施
2000年	全国友の会創立70周年記念生活展、行事各地で開催
2003年	「婦人之友」創刊100年記念愛読者会各地開催/全国一斉教育費調べ（第八回）
2004年	全国一斉時間しらべ第十回実施
2008年	全国一斉教育費しらべ（第九回）
2009年	全国一斉時間しらべ十一回実施
2010年	全国友の会創立80周年記念活動各地で開催
2011年	東日本大地震救援活動三団体による救援活動/仙台・盛岡・福島・郡山に拠点を置き全国規模で支援活動

現在の「友の会」の活動は、表 2-6 のようになる。各地の「友の会」は「友の家」と呼ばれる施設を持ち、そこで定例の例会や委員会やサークルなど各種会合を行う。「友の会」主催の講習会などに使う会費は各地の「友の会」によって異なるが、一ヶ月におよそ 1000

円程度である。会費と共に徴収される「われらの公共費」は任意で、災害支援などに寄与される。

月に一度開催される例会では、最初に讃美歌を歌い、『婦人之友』や『羽仁もと子著作集』の中から、予め決めておいた箇所の読書とその感想発表、衣食住や家計簿記帳の実践発表、「ほうめんかい方面会」や「もよりかい最寄会」での活動報告や、各部からの連絡事項を伝える。例会はたいてい午前 10 時開始でお昼ごろに終了、その後当番の作った昼食をみんなで食べる。例会の間、小さな子供は託児当番が面倒をみる。

「方面会」では、「最寄会」で勉強したことの照らし合わせや、地域へのはたらきかけの方法などを決める。「最寄会」では、近くに住むもの同士数人が集まり、読書や家計簿記帳、会員宅の家財を使っの衣食住に関する実践的な生活研究を行う。

表 2-6 現在における「友の会」活動内容 ²⁷⁾

活動	活動内容
最寄会	近くの会員数人の集まり。羽仁もと子著作集の読者と感想・衣・食・住・家計について勉強する
例会	著作集の読者・方面・最寄の生活勉強の発表。友の会全体の活動運営について語り合う集まり
友愛セール	会員の生活の中から生まれた暮らしに役立つ製作品、食品・手入れの行き届いた中古品などのセール
家事家計講習会	年一回秋、会員が勉強している事を各地域で講習、発表する。
生活技術講習	料理・洋裁・編物・工芸など。生活講習。若い女性向けの生活講習
公共活動	施設や老人ホームへの援助。中古衣料やおむつを福祉施設へ。バングラデシュとの交流
友の会幼児生活団	学齢前の三年間、週一回年齢別に集まり生活習慣とひとり立ちの基礎を培う

【参考文献】

- 1)橋場浩子：婦人雑誌におけるチーズ料理『婦人之友』と『主婦の友』との比較研究 日本調理科学会誌 30(2), p.162 (1997)
- 2)主婦の友 <<http://kotobank.jp/word/%E4%B8%BB%E5%A9%A6%E3%81%AE%E5%8F%8B>>, 2012-7-2
- 3)橋場浩子：前掲論文, p.163 (1997)
- 4)婦人公論 <<http://www.fujinkoron.jp/>>, 2012-7-2
- 5)婦人公論 <<http://www.jiyu.jp/hito/hani.html>>, 2012-6-24
- 6)井手文子：文学, 26, p.1107 (1958)
- 7)帯刀貞代：文学, 26, p.1219 (1958)
- 8)橋場浩子：前掲論文, p.162 (1997)
- 9)近代女性文化史研究会編：婦人雑誌の夜明け, 大空社, p.97 (1989)
- 10)川井良介：戦後雑誌の判型, 山梨英和短期大学紀要, 30, pp.248-230 (1996)
- 11)A さん：2012-12-14, 私信
- 12)婦人之友社：読者と共に歩んだ一世紀展, 婦人之友社, p.10 (2003)
- 13)婦人之友社：前掲書, p.7 (2003)
- 14)小林操子：大正～昭和初期における衣生活の近代化--婦人雑誌『主婦の友』衣生活関係記事と生活改善運動, 戸板学園出版局, 戸板女子短期大学研究年報(45), p.13 (2002)
- 15)岡満男：婦人雑誌ジャーナリズム, 現代ジャーナリズム出版会, p.125 (1981)
- 16)斉藤美奈子：モダンガール, 文春文庫, p.197 (2003)
- 17)婦人公論 <<http://www.fujinkoron.jp/>>, 2012-7-2
- 18)樋口幸永：生活経営学的視点からみた合理化思想に基づくライフスタイルに関する研究 —「全国友の会」を事例として—, 滋賀県立大学環境計画学専攻学位論文 p.21 (2011)
- 19)木村涼子：<主婦>の誕生 婦人雑誌と女性たちの近代, 吉川弘文館, p.316 (2010)
- 20) <<http://www.jiyu.jp/hito/hani.html>> 2012-6-24
- 21)樋口幸永：前掲論文, p.21 (2011)
- 22)全国友の会：全国友の会 70 年の歩み 会員がつづる創立から現在まで, 全国友の会, p.4 (2000)
- 23)樋口幸永：前掲論文 p.25 (2011)
- 24)樋口幸永：前掲論文 p.27 (2011)
- 25)婦人之友の「友の会」ってどう? <<http://www.logsoku.com/r/baby/1091663920/>>, 2013-1-10
- 26)全国友の会 <<http://www2.ocn.ne.jp/~zentomo/>>, 2012-8-20
- 27)全国友の会 <<http://www2.ocn.ne.jp/~zentomo/>>, 2012-6-24

第三章 研究方法

3-1 雑誌分析

3-1-1 分析の流れ

(1)記事タイトルを対象とした全体傾向分析

分析対象誌は、『婦人之友』1908(明治41)年1月の創刊当初から1990年(平成2)年12月までのもので、記事タイトルをもとに「衣服・服飾・手芸・お直し」に関連する記事とする。樋口の先行研究論文¹⁾を参考に、記事の量の増減によって各時代の特徴を把握するため、記事タイトルから『婦人之友』の総ページ数と分析対象記事の量の増減の把握を行い、全体の傾向を分析する。

(2)記事内容を対象とした内容分析

各時代の「洋裁」「お直し」の工夫に着目するため、記事の内容も分析の対象とする。時代区分として表3-6, 分類項目として表3-3を設定する。時代区分(表3-6)ごとに時代背景・時間軸から変遷を追い、表3に基づき記事内容について主に単純集計を用い、分析を行う。記事内容の分析については、「お直し」が活発に行われていた第二期(昭和初期)第三期(戦中)第四期(戦後)第五期(高度経済成長期)を中心に行う。時代背景の把握には関連文献・書籍を用い、考察を行う。

(3)ヒアリング調査

『婦人之友』の読者である「友の会」の方以下2名(表3-1)にヒアリングを行った。『婦人之友』の紙面だけではわからない読者側から見た考えや「洋裁」「お直し」に関することを補足していただき、考察に加える。

表 3-1 ヒアリング対象者

ヒアリング対象者	年齢	性別	友の会歴	ヒアリング日時
A氏	62歳	女	23年	2012年11月15日13時-14時
B氏	42歳	女	8年	2012年11月17日10時-11時30分

3-1-2 「洋裁」「お直し」関連記事の選定方法

分析対象記事は、以下の基準に従って選定する。

調査対象文献としては、雑誌『婦人之友』1927(昭和2)年1月から1972(昭和47)年12月までの雑誌を調査し、記事タイトルをもとに「衣服・服飾・手芸・お直し」に関連する記事を対象とする。該当掲載記事のうち、文章の少ない口絵やグラビアであっても、衣服に関連する記事は分析対象とする。

『婦人之友』の現物は先行研究の樋口が集めたもの、滋賀県近江八幡市に所在する滋賀県立男女共同参画センターG-netに所蔵されているものから、戦後発行のものは68%入手し、そのほかのものは主に関西大学図書館でコピーの入手を行った。このようにして1911(明治43)年以降発行誌のうちほぼ全誌の記事タイトルを把握することができた。

表 3-2 婦人之友入手状況(関：関西大学所蔵 G-net：G-net 所蔵 ○：複写依頼等)

婦人之友			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M41	1908	2巻	タイトル未入手											
M42	1909	3巻												
M43	1910	4巻												
T1	1911	5巻	タイトル入手											
T2	1912	6巻												
T3	1913	7巻												
T4	1914	8巻												
T5	1915	9巻												
T6	1916	10巻												
T7	1917	11巻												
T8	1918	12巻												
T9	1919	13巻												
T10	1920	14巻												
T11	1921	15巻												
T12	1922	16巻												
T13	1923	17巻												
T14	1924	18巻												
T15	1925	19巻												
S1	1926	20巻												
S2	1927	21巻	関	○	関	○	関	○	関	○	○	○	関	○
S3	1928	22巻	○	関	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S4	1929	23巻	○	○	関	○	○	関	関	○	関	○	○	○
S5	1930	24巻	○	○	○	○	○	○	○	関	○	○	関	関
S6	1931	25巻	関	○	関	○	関	○	○	○	関	関	関	関
S7	1932	26巻	関	関	○	関	関	関	関	関	関	関	関	関
S8	1933	27巻	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関
S9	1934	28巻	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関
S10	1935	29巻	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関
S11	1936	30巻	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関
S12	1937	31巻	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関
S13	1938	32巻	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関
S14	1939	33巻	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関
S15	1940	34巻	関	関	関	関	PDF	PDF	関	関	PDF	関	関	PDF
S16	1941	35巻	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関	関
S17	1942	36巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S18	1943	37巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S19	1944	38巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S20	1945	39巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S21	1946	40巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S22	1947	41巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S23	1948	42巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S24	1949	43巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S25	1950	44巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S26	1951	45巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S27	1952	46巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S28	1953	47巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S29	1954	48巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S30	1955	49巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S31	1956	50巻	PDF	G-net	PDF	G-net	PDF	PDF	PDF	G-net	PDF	G-net	PDF	PDF
S32	1957	51巻	G-net	G-net	G-net	○	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF
S33	1958	52巻	○	PDF	G-net	G-net	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	G-net

S34	1959	53巻	G-net	G-net	G-net	○	G-net	G-net	○	G-net	○	G-net	G-net	G-net
S35	1960	54巻	G-net	G-net	G-net	○	G-net	G-net	G-net	○	G-net	○	G-net	PDF
S36	1961	55巻	G-net	G-net	○	G-net	○	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	PDF
S37	1962	56巻	G-net	G-net	G-net	○	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	PDF
S38	1963	57巻	G-net	G-net	G-net	○	○	○	○	○	G-net	○	○	○
S39	1964	58巻	○	G-net	○	○	G-net	G-net	○	○	○	○	G-net	PDF
S40	1965	59巻	○	G-net	G-net	○	○	○	○	○	○	○	○	PDF
S41	1966	60巻	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	G-net	G-net
S42	1967	61巻	○	G-net	○	G-net	G-net	G-net	G-net	○	○	○	G-net	G-net
S43	1968	62巻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S44	1969	63巻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S45	1970	64巻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	G-net	○	G-net
S46	1971	65巻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S47	1972	66巻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	PDF	○
S48	1973	67巻						G-net		G-net	G-net	G-net	G-net	PDF
S49	1974	68巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S50	1975	69巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S51	1976	70巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net		G-net	G-net	G-net		G-net
S52	1977	71巻		G-net	G-net		G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S53	1978	72巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net			G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S54	1979	73巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net		G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S55	1980	74巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S56	1981	75巻	G-net		G-net	G-net	G-net	G-net		G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S57	1982	76巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S58	1983	77巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S59	1984	78巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net		G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S60	1985	79巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S61	1986	80巻	G-net	G-net	G-net		G-net	G-net	G-net		G-net	G-net	G-net	G-net
S62	1987	81巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
S63	1988	82巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net				G-net
H1	1989	83巻	G-net	G-net	G-net	G-net		G-net	G-net	G-net	G-net		G-net	G-net
H2	1990	84巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
H3	1991	85巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
H4	1992	86巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
H5	1993	87巻						G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
H6	1994	88巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
H7	1995	89巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
H8	1996	90巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
H9	1997	91巻	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF	PDF
H10	1998	92巻	G-net								G-net	G-net	G-net	
H11	1999	93巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	
H12	2000	94巻			G-net			G-net				G-net	G-net	
H13	2001	95巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	
H14	2002	96巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net			
H15	2003	97巻										G-net		G-net
H16	2004	98巻					G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net
H17	2005	99巻	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net	G-net			G-net

3-1-3 分類項目

上記の方法によって、回収した『婦人之友』から、第二期～第五期において洋裁関連記事は 1654 記事が抽出できた。これらの記事の内容を分類するため、以下の表 2 のように、「記事タイトル」「記事内容の概要」「巻号」「著者」「対象物」「対象者」「用いたもの」「用いた技術」「工程数」「出来上がるもの」「目的」の 11 項目を設定する。

表 3-3 記事内容項目

記事タイトル	記事タイトル	手作りの靴
記事内容の概要	記事内容の概要	古い運動靴の底を利用してデザインした靴の作り方を紹介.
巻号	1 巻 1 号～83 巻 12 号	40 巻 7・8 号
著者	羽仁・記者・専門家・読者・友の会	記者
対象物	ワンピース・スーツ・帽子シャツ等	古い運動靴
対象者	幼児赤坊・子供・大人・家族	家族
用いたもの	布・毛糸・ミシン・アイロン	布・ミシン
用いた技術	型紙・裁断・縫う・編む・仮縫い・本縫い等	採寸・型紙・裁断・縫う
工程数	出来上がるまでの工程数	4 回
お直し品	子どものワンピース・帽子等	靴
目的	紹介・合理的・代用・節約・愛情・趣味・提案・協力	節約・代用

「記事内容の概要」は、記事を読んで内容について要約したものである。どのような記事内容か、一目でわかるように設定する。

「巻号」は表 3-3 の通り創刊からの巻の番号である。

「著者」は、その記事が羽仁や専門家のような『婦人之友』発信であるのか、「友の会」や読者のような読み手側の投稿であったのかを分類するために設定する。

「対象物」はその記事が何を対象とした記事なのかを分類するために設定する。

「対象者」は「対象物」が誰に向けてのものなのかを分類するために設定する。

表 3-4 「対象者」分類項目

対象者	対象者詳細
家族	家族全員
幼児・赤坊	幼児・赤坊
子供	学生・女兒・男児・少女・少年
大人	花嫁・妊婦・婦人・紳士・母・父

「用いたもの」では「対象物」を作るに当たり、何を用いて作成したのかを明らかにするために設定する。

「用いた技術」は、制作するために使用した技術を明らかにするために設定する。

「工程数」は「対象物」が出来上がるまでの工程数を示している。40 巻 7・8 号「手作りの靴」においては、図のように底をはがし、型取りをした後、裁断し、縫うという 4 工程で出来上がる。

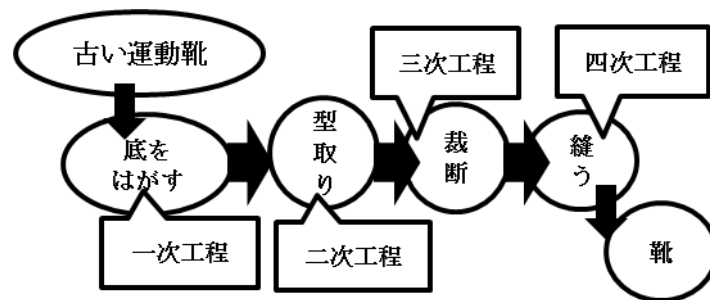


図 3-1 工程数

「お直し品」では出来上がったものがお直し品であった場合に入力し、お直し記事であることが分かるように設定した。

「目的」ではどのような内容の記事がどれぐらい現れたかを分析するために設定した。以下表に目的別に詳しく説明する。

表 3-5 「目的」分類項目

目的	説明	事例記事
紹介	洋裁の技術など紹介について掲載された記事	「手芸百科全書」1927(昭和2)年3月
合理的	時間やモノなど合理的に工夫された記事	「洋風裁縫も短い時間に効率的に温かい子供の下着」1944(昭和19)年12月
代用	同じ原型など他の物を代用した記事	「不用品を生かしましょう」1938(昭和13)年8月
節約	節約のための工夫された記事	「新しいものをひとつも買わずに揃えた赤坊一年間の衣類と新入学の支度一揃」1943(昭和18)年5月
愛情	愛情の読み取れる記事	「お母さんの工夫した子供服」1959(昭和32)年2月
趣味	趣味について書かれた記事	「ししゅうの服」1966(昭和41)年7月
提案	読者に向けて提案する記事	「初めて洋服を着る人のために」1931(昭和6)年6月
協力	友の会・家族・近所の人との協力について記載された記事	「農村の小母さんたちの協力裁縫始まる」1944(昭和19)年3月

3-1-4 時代区分設定

時代背景・時間軸から変遷を見ていくために、分類項目として、時代区分(表 3-6)を設定し、記事内容について考察を行う。本分析における時代区分は、時代背景に大きな変化があり、区切りとなる箇所を設定することとする。記事内容の分析については、「お直し」が活発に行われていた時代である昭和初期・戦中・戦後・高度経済成長期を中心に行う。

表 3-6 時代区分の設定

	期間	時代区分名称
第一期	1908-1926(明治41-昭和1)	明治・大正期
第二期	1927-1941(昭和2-昭和16)	昭和初期
第三期	1942-1945(昭和17-昭和20)	戦中
第四期	1946-1951(昭和21-昭和26)	戦後
第五期	1952-1972(昭和27-昭和47)	高度経済成長期
第六期	1973-1986(昭和48-昭和61)	安定成長期
第七期	1987-1990(昭和62-平成2)	バブル期

3-2 分析方法

本研究の分析方法は、調査対象記事に関して 3-1-3, 3-1-4 のように分類をし、時代を分け、考察を行っていく。まず、調査対象記事である洋裁関連記事から、「お直し」記事を選定する。分類項目(表 2)の「用いたもの」「対象物」の双方が掲載されたものから、「お直し」記事を選定する。その際、出来上がったものがお直し品であった場合に「お直し品」に入力する。お直し記事も洋裁関連記事同様に、文章の少ない口絵やグラビアであっても、分析対象とする。

まず、記事タイトルを対象とした全体傾向分析について詳しく説明する。記事の量の増減によって各時代の特徴を把握するため、記事タイトルから『婦人之友』の総ページ数と分析対象記事である洋裁関連記事・お直し記事の量の増減の把握を行い、全体の傾向を分析する。

次に、記事内容を対象とした内容分析の方法について詳しく説明する。記事内容の分析については、「お直し」が活発に行われていた第二期(昭和初期)第三期(戦中)第四期(戦後)第五期(高度経済成長期)を中心に行う。

(1)単純集計による考察

表 3-3 分類項目の「対象者」「工程数」「目的」「用いた技術」に対して、洋裁関連記事・お直し記事ともに時代区分ごとに単純集計を行う。そこから、洋裁関連記事・「お直し」記事について考察を行う。

(2)お直し記事のパタン化

お直し記事に関して、「用いたもの」「お直し品」からカテゴリを作成(表 3-7)し、そこから「お直し」パターンを導き出す。

表 3-7 「用いたもの」「お直し品」カテゴリ

用いたもの	大人服	大人の〇〇，母の〇〇，父の〇〇等
	和服	着物・長襦袢・反物・平紹・和服地・浴衣地等
	洋服	ワンピース・ブラウス・シャツ・ズボン等
	モノ	カーテン・毛布・タオル・靴下等
対象物	子供服	子供の〇〇，赤坊の〇〇，幼児の〇〇等
	和服	着物・長襦袢・反物・平紹・和服地・浴衣地等
	洋服	ワンピース・ブラウス・シャツ・ズボン等
	モノ	クッション・布団・鞆・帽子等

(3)記事内容からの時代別考察

時代区分ごとに『婦人之友』の実際の記事に書かれている内容を引用し，具体的に洋裁関連記事・お直し記事の工夫・価値観を読み解く．時代背景の把握に，関連文献・書籍を用いて立体的に考察を行う．

【参考文献】

- 1) 樋口幸永：生活経営学的視点からみた合理化思想に基づくライフスタイルに関する研究
—「全国友の会」を事例として—，滋賀県立大学環境計画学専攻学位論文 pp.41-73 (2011)

第四章 分析結果

4-1 記事タイトルを対象とした全体傾向分析

『婦人之友』総ページ数の変遷と、分析対象記事数(洋裁関連記事・お直し記事)の変遷について分析を行う。これらの増減をとらえることで、後で行う記事内容を対象とした記事内容分析の際の考察材料となると考えたからである。

4-1-1 『婦人之友』記事数の変遷・傾向

樋口の先行研究を参考に総ページ数の変遷を時代ごとにみる。ただし、おもに創刊から戦前発行号の一部は、正確なページ数が樋口(2011年)によると把握できていないようである。なぜなら、1908(明治41)年までの号は目次のコピーが手元になく不明であり、1909(明治42)年と1910(明治43)年の号には入手できた目次コピーにページ数字の記載がないためである。1911(明治44)年から1944(昭和19)年までの発行号に関しては、入手できた目次コピーを見ても、最終掲載記事の最初のページ数字しか載っておらず、その記事が何ページに渡って掲載されているかは分からないようだ。最終掲載記事の最初のページ数字を分析対象としたため、2～3ページの誤差がある可能性がある。以下はそのうえで分析を行った結果である。

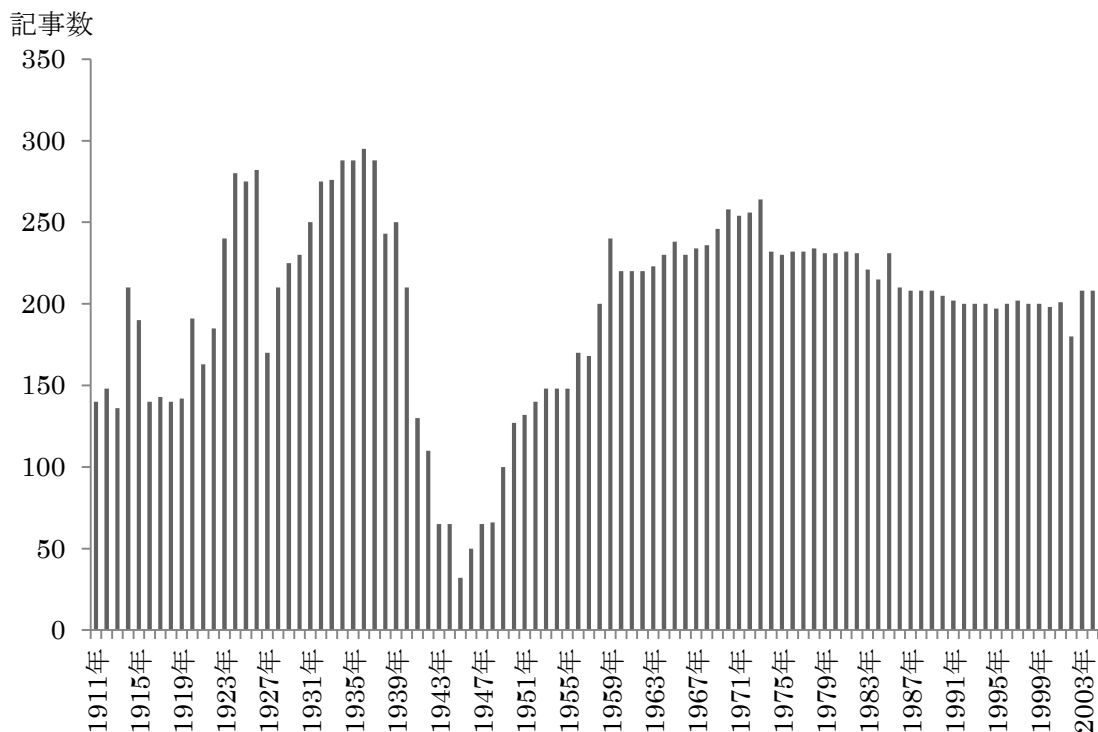


図 4-1 『婦人之友』 ページ数変遷

まず、第一期は極端にページ数が減ることもあるが、順調に増加し、この時代の最後の年 1926(大正 15)年には 300 ページ近くまで増える。これは、確認できている 1911 年(明治 44)年発行号のおよそ倍のページ数である。しかし、第二期に入った 1927(昭和 2)年、前年の 60% にまで減少する。その後再び増加するが、1936(昭和 11)年をピークに減少し始める。この 1936(昭和 11)年発行号は、前年を通してもっともページ数が多い。第三期も減少し続け、終戦の 1945(昭和 20 年)には、わずか 32 ページになってしまう。第四期は再び増加している。記事数同様、全年代を通してもっとも順調に増加した時期である。第五期も多少の増減はあるものの、順調に増加し続ける。戦後ページ数がもっとも増えたのは 1973(昭和 48)年で、264 ページに及んだ。翌 1974(昭和 49)年には 30 ページほど減少して 232 ページに、その後はほとんど増減のないのが、第六期である。第六期は 1985(昭和 60)年をピークに徐々に減少、2005(平成 17)年発行号は、192 ページになっている。

4-1-2 分析対象記事の変遷・傾向

記事タイトルをもとに「衣服・服飾・手芸・お直し」に関連する記事を対象とする。

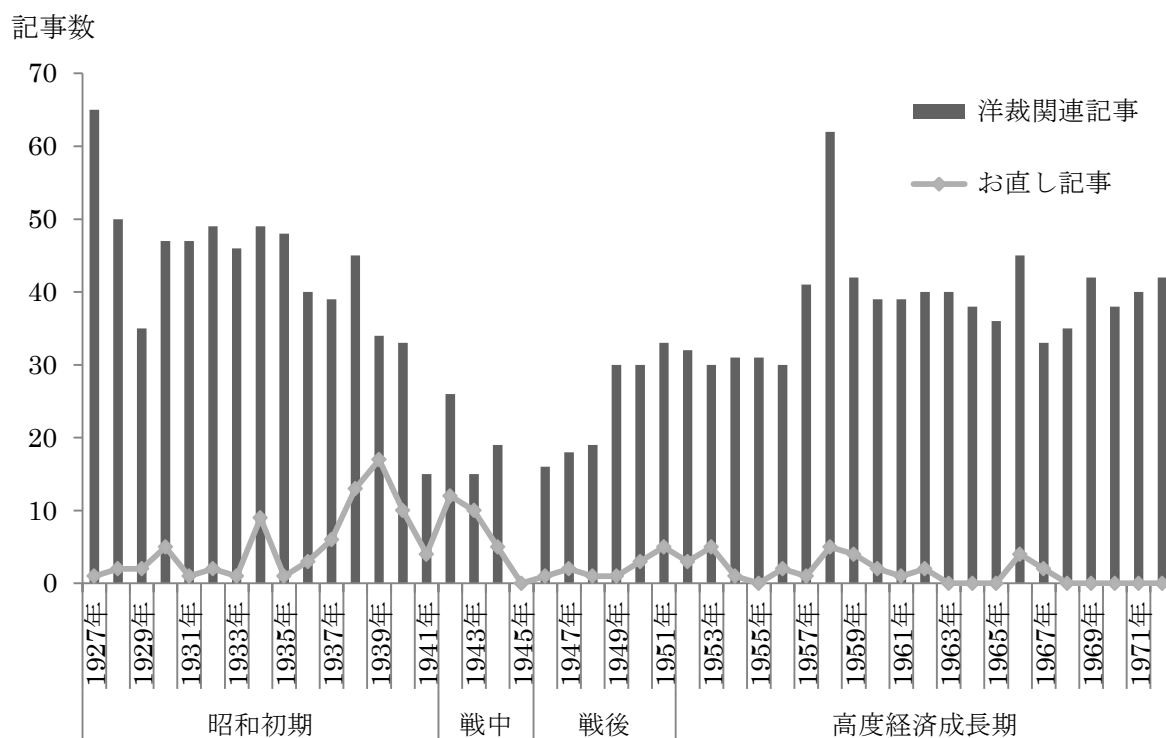


図 4-2 洋裁関連記事・お直し記事数の変遷

(1)洋裁関連記事

洋裁関連記事は図 4-2 より、1945(昭和 20)年を除いた全ての年代において掲載されていることが分かる。1945(昭和 20)年は終戦の年であり、食や健康に関する記事が多く掲載されて

いた。洋裁関連記事は 1927(昭和 2)年に 65 記事と最も多く、その後増減を繰り返すが、1941(昭和 16)年に極端に 18 記事と減少する。その後「第三期：戦中」「第四期：戦後」と、20 記事前後で増減を繰り返し、「第四期：戦後」後半の 1949(昭和 24)年～「第五期：高度経済成長期」前半の 1957(昭和 32)年にかけて 30 ページ前後の増減を繰り返す。1958 年(昭和 33)年で 63 記事と大幅に増加するが、その後 40 ページ前後の増減を繰り返す。

また、昭和初期(1927 年～1941 年)に 642 記事、戦中(1942 年～1945 年)に 60 記事、戦後(1946 年～1951 年)に 146 記事、高度経済成長期(1952 年～1972 年)に 806 記事、合計 1654 記事掲載されていた。

(2)「お直し」に関する記事

図 4-2 より、お直し記事は、「第二期：昭和初期」の前半である 1933(昭和 8)年までは 5 記事以下で増減を繰り返し、1934(昭和 9)年に 9 記事と増加する。その後、再び減少し、1938(昭和 13)年 13 記事、1939(昭和 14)年 17 記事、1940(昭和 15)年 10 記事と、三年連続で 10 記事以上掲載されている。翌年は 4 記事に減少するが、「第三期：戦中」では洋裁記事に対してお直し記事の占める割合が他の時期に比べ高い。その後「第四期：戦後」においては 5 記事以下の増減を繰り返し、「第五期：高度経済成長期」においては、1963(昭和 38)年～1965(昭和 40)年、1968(昭和 43)年～1972(昭和 47)年と、お直し記事が掲載されない年も出現する。またお直し記事が掲載されたとしても、全て 5 記事以下である。

昭和初期(1927 年～1941 年)に 77 記事、戦中(1942 年～1945 年)に 27 記事、戦後に(1946 年～1950 年)13 記事、第五期(1951 年～1956 年)32 記事の合計 149 記事掲載されていた。

(3)まとめ

(1)(2)より、洋裁記事に占めるお直し記事の割合を以下に示す。

「第二期：昭和初期」(1927 年～1941 年)に 77/642 記事(約 12%)、「第三期：戦中」(1942 年～1945 年)に 27/60 記事(約 45%)、「第四期：戦後」(1946 年～1951 年)に 13/146 記事(約 9%)、「第五期：高度経済成長期」(1952 年～1972 年)に 32/806 記事(約 4%)、合計 149/1654 記事(約 9%)掲載されていた。つまり、お直し記事は、「第三期：戦中」において占める割合が非常に多く、反対に、「第五期：高度経済成長期」においては非常に少ないことが分かる。

4-2-1 単純集計からみた時代別考察

第二期～第五期分析対象記事である洋裁関連記事，お直し記事を分類項目の「対象者」「工程数」「目的」「用いた技術」ごとに分析・考察を行う．

(1) 「対象者」集計

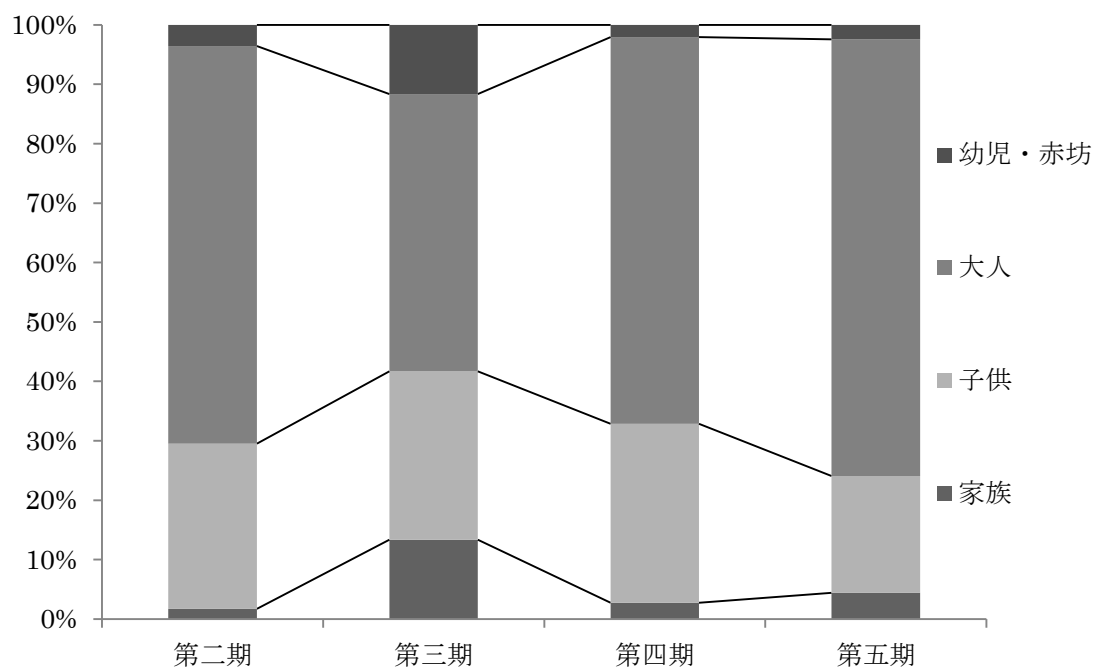


図 4-3 洋裁記事「対象者」グラフ

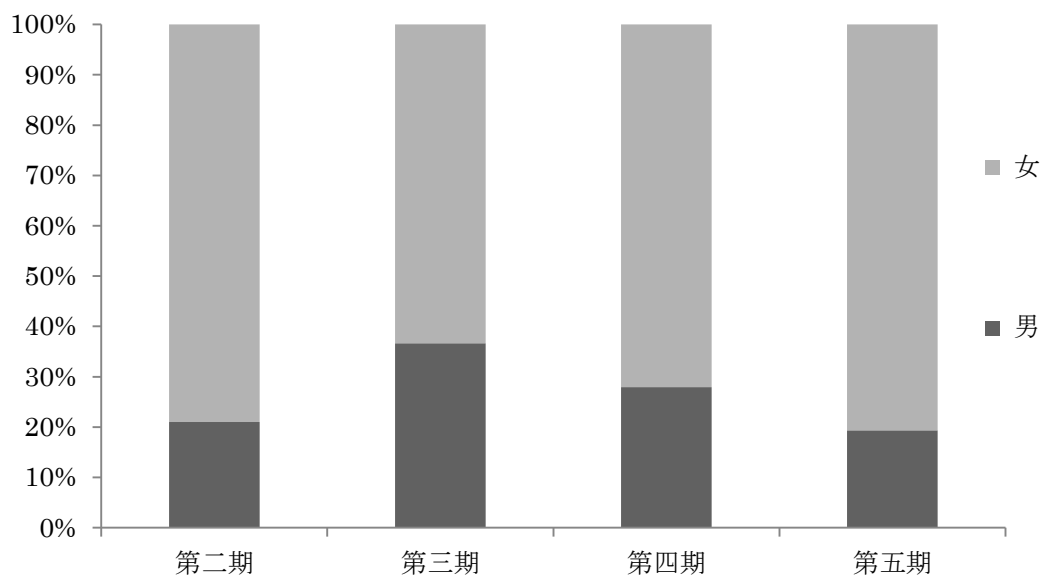


図 4-4 洋裁記事「対象者」性別グラフ

まず、洋裁関連記事について考察する。

図 4-3 において、「家族」を対象とした記事は、全時期に存在するが、特に第三期において多く存在し、第二期・第四期・第五期では 5%以下であるが、第三期では 10%を超えている。「子供」は、全時期で約 20%の割合を占めている。「大人」を対象とした記事は、全時期を通して一番割合が多いが、第三期では他の時期に比べると少なくなる。「幼児・赤坊」は、第三期に一番多く存在している。また、図 4-4 より、全時期において「男性」より、「女性」を対象とした記事が多いことが読み取れる。その中で比べると、第三期が一番「男性」の割合が高い。

これらを時代ごとにまとめると、次のようになる。

第二期において、大人の女性を対象とした記事が最も多い。この時代は和服から洋服への服装の合理化を勧めるにあたり、まず婦人服を対象としたためである。

第三期では、服装の合理化の範囲が家族全体に広がってきている。このことは「幼児用のスウェーターとレギンス」1942(昭和 17)年 36 巻 11 号や「協力によって出来た赤坊衣類一揃いの用意」1943(昭和 18)年 37 巻 10 号といった小さい子供に関する記事が増えたり、「大家族の衣類を上手に繰り回す」1942(昭和 17)年 36 巻 3 号などの家族全体を対象にした記事がみられたりすることからもわかる。そのため、他の時期に比べ、「幼児・赤坊」、「家族」の割合が増え、性別においては「男性」を対象とした記事の割合が多くなっている。

第四期は、戦後、洋裁技術を身につけることが婦人たちにとってステータスであったため、第三期に比べ、大人の女性を対象とした記事が再び増加している。グラフの形としては第二期のものと似ているが、その内実は服装の合理化を主な目的とし、洋服の紹介的側面の記事が多い第二期のものとは異なり、第四期では洋裁・技術についての記事が増え、洋服の「仕立て方」や「裁縫基礎講習」などの言葉が多くみられるようになる。

第五期では、さらに大人の女性を対象とした記事が増加する。このことは、高度経済成長に伴い洗濯機などの登場・普及によって女性の家事にかかる時間が減少し、女性が趣味や自分の好きなことにかかる時間が増加したことが影響している。そのため記事の中にも、女性を対象にした編み物や手芸に関するものが多くみられるようになる。また、記事の中に「レース」や「デザイン」「おしゃれ」などの言葉が多くみられ、「着やすく恰好の良い妊娠服」1956(昭和 31)年 50 巻 5 号、「ドレッシーなツーピース」1959(昭和 34)年 53 巻 10 号)などの記事が示すように、衣服が生活の必需品としての存在から、より装飾性を重視した「ファッション」としての側面を強めていくようになる。

以上のように洋裁関連記事の「対象者」の中心はいずれの時代も大人の女性・婦人であり、洋裁関連記事の内容については「服装の合理化」の時代から「洋裁の仕立・裁縫基礎」の時代を経て、「ファッションとしての洋裁」の時代へと通じていくこととなる。

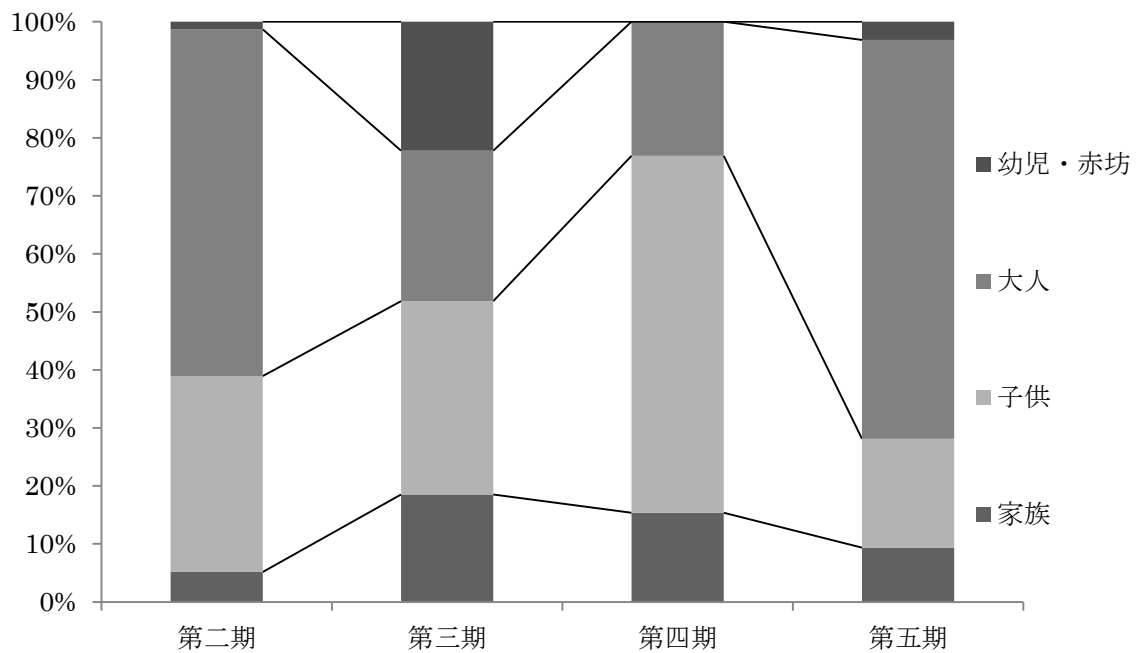


図 4-5 お直し記事「対象者」グラフ

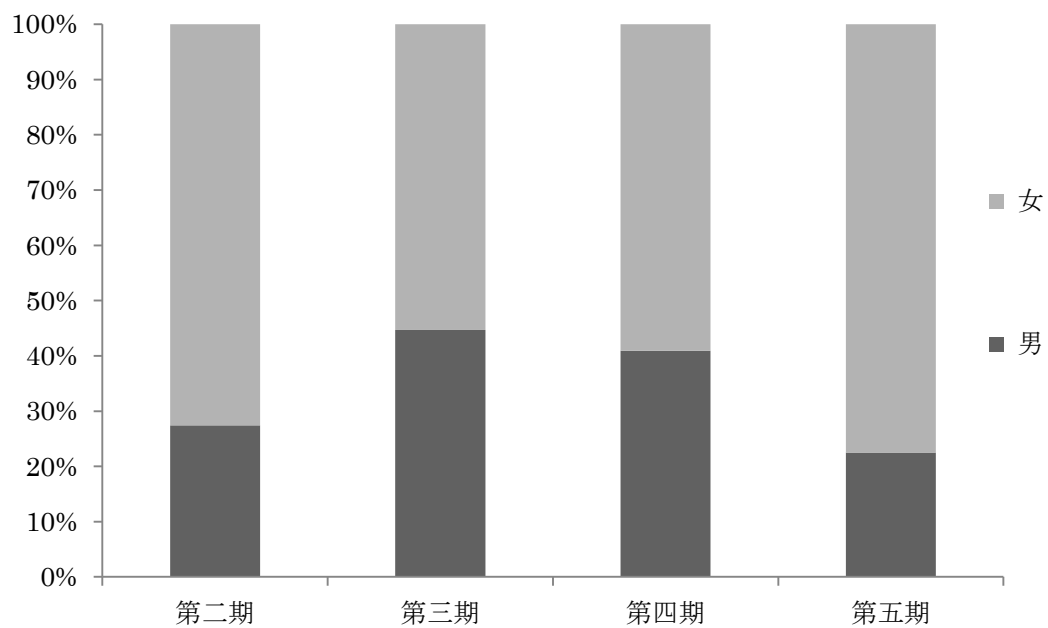


図 4-6 お直し記事「対象者」性別グラフ

次に、お直し記事について考察する。

図 4-5 より、「家族」は、全時期に存在し、第二期・第四期・第五期に比べると、第三期で占める割合が最も多い。「子供」は、全時期に存在し、第四期においては約 60%と一番多く

の割合を占めている。「大人」は、全時期に存在し、第二期では約 60%を占めているが、第三期、第四期では約 20%まで減少する。しかし、その後第五期で 70%近くまで増加している。「幼児・赤坊」は第二期では、ほとんど見られず、第三期では 20%近くまで増加するものの、第四期では姿を消し、第五期においてほんの僅かであるが、再び出現する。また、図 4-6 より、お直し記事においても全ての時期で「男」より「女」の割合が多い。その中でも、第三期、第四期では「男」の割合が 40%以上となっている。

これらを時代ごとにまとめると次のようになる。

第二期は女性の服装の合理化を勧めるため、大人の女性を対象にした記事が最も多くを占め「和服を洋服になおす工夫」1934(昭和 9)年 28 巻 8 号や「和服から洋服へ」1939(昭和 14)年 33 巻 10 号・12 号といった見出しが誌面を飾る。

第三期では、「幼児・赤坊」「家族」を対象にしたお直し記事が増え、性別でみても「男性」が第二期に比べ約 20%増加している。これは、戦中の物資の不足により、家族全員分の衣服を「お直し」により作ろうとする世相が反映されている。

第四期では、「子供」を対象にした記事が大幅に増える。しかし、「幼児・赤坊」を対象にした記事はごくわずかであった。第四期は戦後のモノが何もない時代である。このような時代背景により、第三期から継続して家族の衣服を「お直し」により賄おうという流れが生まれ、母親や父親、祖父の衣服を子供用に「お直し」する記事が多く掲載された。このため、「子供」や「家族」を対象にした記事の割合が高く、性別でみても男性の割合が第三期に次いで高くなっている。

第五期では、「大人」を対象にした記事の割合がもっとも高くなる。家族の衣服を「お直し」により作ろうという流れは依然残るものの、第四期のような大人服から子供服を作るという「お古」の類の「お直し」記事は減り、ワンピースからワンピースや、浴衣地からワンピースを作る、いわゆるリメイク系の記事が多くみられるようになる。

以上のように、「お直し」記事は、第二期では服装の合理化の流れによって、大人の女性をターゲットとしたものが多くみられたが、その後、戦争の影響を受けモノが少なくなるにつれ、「お直し」により家族の衣服を賄おうとする世相を反映し、「家族」や「子供」をターゲットにした記事が多く掲載されるようになる。また、第三期には機能性を謳う「お直し」記事も多く登場し、「お直し」がより生活に密着した存在であったことがわかる。そして、徐々に物資が豊かになっていく高度経済成長の時期にあたる第五期では、大人の女性を主なターゲットに、機能性よりもファッション面を意識した「お直し」記事が多くなり、身体を着飾るための「お直し」という性格が強くなる。

(2) 「工程数」の変遷

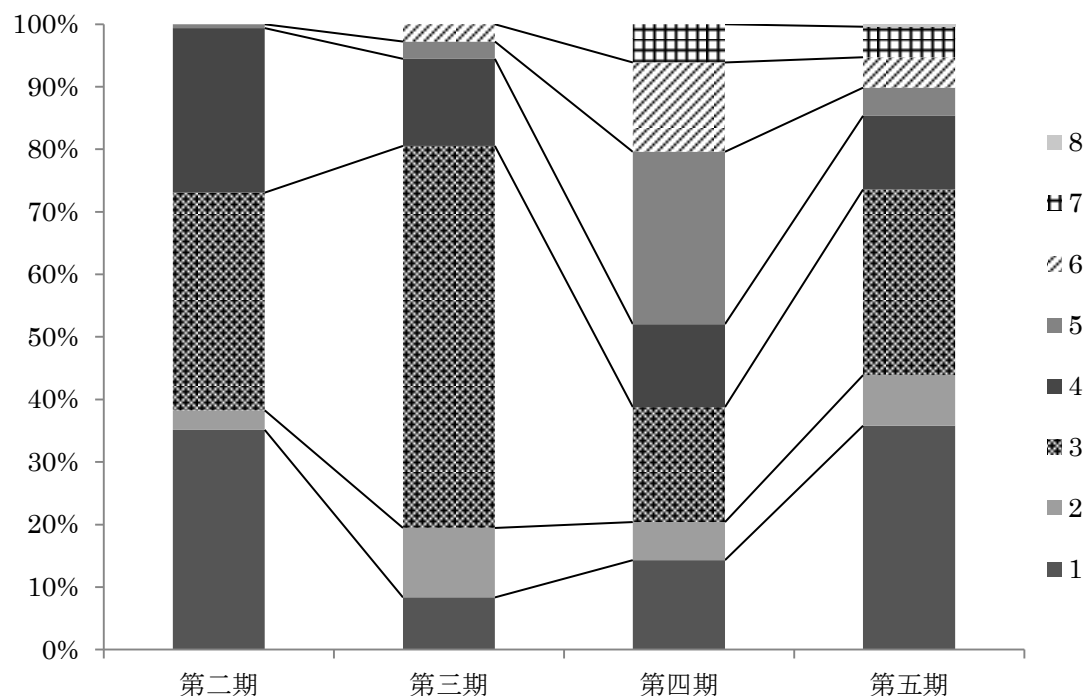


図 4-7 洋裁関連記事「工程数」グラフ

まず、洋裁関連記事(図 4-7)について考察する。

図 4-7 において、「第二期：昭和初期」は、他の時期に比べると、工程数が全体的に少ない。5 工程までしかなく、4 工程までが約 98%とほとんどの割合を占めている。「第三期：戦中」は、3 工程の割合が約 60%を占め圧倒的に多い。「第二期」に比べると工程数が増えていることが読み取れる。「第四期：戦後」は、7 工程までの工程数でまんべんなく占めている。5 工程が最も大きな割合を占めている。また、他の時期に比べると 5 工程以上の占める割合が 40%以上と多くなる。「第五期：高度経済成長期」においては、1 工程と 3 工程が最も多くの割合を占めている。再び 4 工程までの占める割合が約 85%と高くなるが、一番多い 8 工程が登場している。

これらを時代ごとにまとめると次のようになる。

「第二期」において、工程数が全体的に少ないのは、詳しく工程数を紹介しなくとも、この時代の女性たちが技術をある程度持っていたためである。

「第三期」においても同様のことが言える。また、「私の合間仕事」1942(昭和 17)年 36 巻 7 号のように時間を見つけて洋裁を行うため、工程数を少なくし、短時間で洋裁を行っていたことが読み取れる。

「第四期」は、「第二期」・「第三期」に比べ工程数が増加する。戦後、洋裁技術を身につけ

ることが婦人たちにとってステータスであったため、『婦人之友』においても工程数を詳しく掲載し、婦人たちに洋裁技術を紹介している。

「第五期」は、1工程が多い理由は、「レース編み」1952(昭和27)年46巻7号のように編み物や手芸に関する記事が増加したためである。一方、多工程の記事も第四期に続いてみられる。これは、洋裁技術を身につける本格的な洋裁の技術を紹介した記事が引き続き存在しているためである。

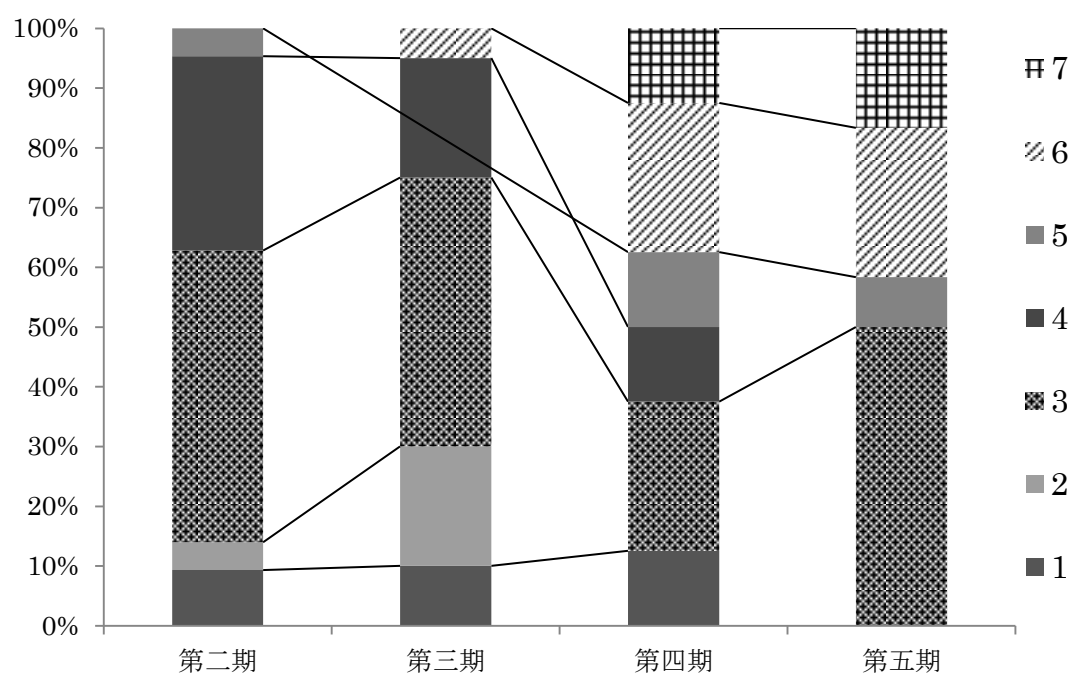


図 4-8 お直し記事「工程数」グラフ

次にお直し記事(図 4-8)について考察する。

図 4-6 において、「第二期：昭和初期」は、3工程の占める割合が最も多く(14記事/43記事)、他の時期に比べると、工程数は少ない。「第三期：戦中」は、第二期と比べて2工程が増加し、4工程が減少している。他の時期に比べて1工程・2工程・3工程の割合が多い。「第四期：戦後」は、1工程が10%あるが、5工程以上の割合が約50%を占めている。「第五期：高度経済成長期」は、1工程・2工程がなくなり、3工程以上である。他の時期に比べて工程数が大きく、6工程、7工程が約40%を占める。

これらを時代ごとにまとめると次のようになる。

「第二期」は、型紙を取り、裁断し、縫うという3工程の「お直し」が最も多く行われている。

「第三期」において、2工程が増加する理由として、第三期は戦中のため新しいものが手に入りにくく、「子供のためのあたたかな編みもの」1942(昭和17)年36巻12号のように古い

毛糸をほどこし、編み直す「お直し」が行われていたためである。

「第四期」は、戦後のモノが何もない時代である。そのため、「お直し」もより時間をかけて行っており、他の時期より工程数が多くなる。

「第五期」において、多工程となるのは、洋裁技術を身につけるため、本格的な洋裁の技術を紹介した記事が多く掲載され、「お直し」においても詳細に工程数を紹介しているためである。

(3) 「目的」の変遷

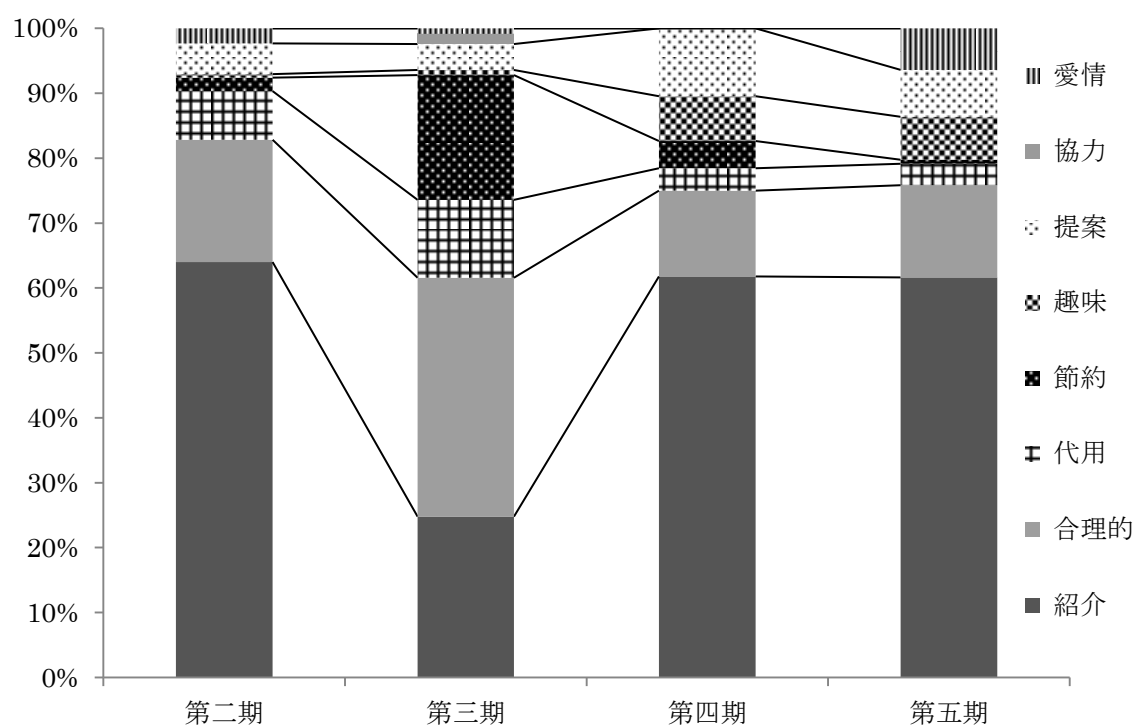


図 4-9 洋裁関連記事「目的」グラフ

まず、洋裁関連記事について考察する。

図 4-9 より、「紹介」の割合が「第二期」、「第四期」、「第五期」において最も多い。一方、「第三期」においては他の時期に比べると占める割合が少ないことが読み取れる。「合理的」は全時期を通して存在し、「第三期」において占める割合が最も多い。「代用」も全年代を通して存在する。「節約」は、一応すべての時期に存在するが、「第三期」では占める割合が多いのに対し、「第五期」ではかなり少ない。「趣味」は、「第四期」から徐々に占める割合が増加する。「提案」は、すべての時代に一定量存在し、「第四期」において僅かに多い。「協力」は「第三期」においてのみ見られる。また、「愛情」は、「第四期」以外において存在し、「第二期」、「第三期」に比べると、「第五期」においてが占める割合が最も多い。

これらを時代別にまとめると次のようになる。

「第二期」は、服装の合理化を勧めるため、「洋裁」を「紹介」する記事が多くなる。

「第三期」では、戦争の影響を反映して「合理的」や「節約」を意識した記事が多くなる。また「代用」の記事も他の時代に比べ多いことから、物資が少ない中で身の回りにあるものを、うまく活用する術を紹介していたことがわかる。

「第四期」では、戦争が終わり再び「紹介」の記事が増える。と同時に「趣味」や「提案」の記事も増加しており、戦後のモノ不足の中で、沈んでしまいがちな気持ちを雑誌が「趣味」に関する記事や読者へ「提案」する記事を掲載することによって、打開しようとしたことがわかる。

「第五期」では、少しずつ生活のゆとりが出てきたため、「節約」や「代用」の記事は減り、代わりに「趣味」に関する記事が増えたり、子どもへの「愛情」を感じられたりする記事が増える。

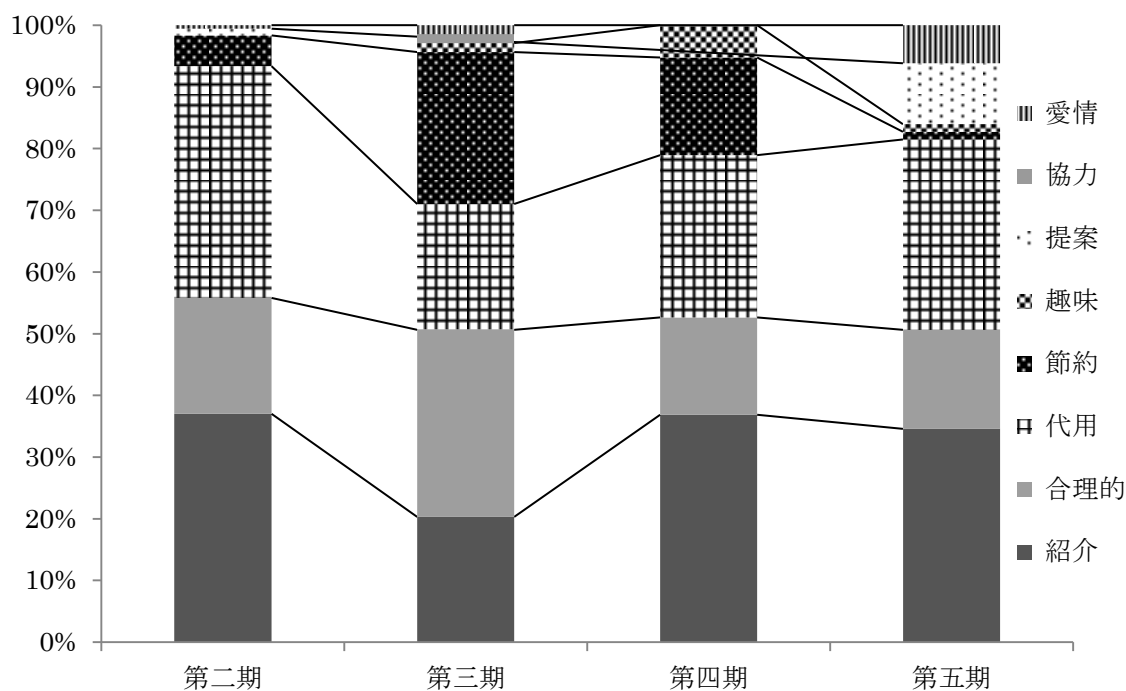


図 4-10 お直し記事「目的」グラフ

次に、お直し記事について考察する。

図 4-10 より、「紹介」「合理的」「代用」の割合が全時期を通して多く、「紹介」は、「第四期」・「第五期」で、「合理的」は第三期で、「代用」は「第二期」で占める割合が多いことが読み取れる。「節約」は、「第三期」全時期を通して存在し、「第三期」・「第四期」では占める割合が大きい。「趣味」は「第二期」では存在しない。「提案」は「第二期」と「第五

期」に存在し、「第五期」では占める割合が増加している。「協力」は「第三期」にのみ存在する。「愛情」は、「第二期」、「第三期」に僅かに存在し、「第四期」では姿を消すが、「第五期」において再び登場し、占める割合が増加する。

これらを時代別にまとめると次のようになる。

「第二期」は、服装の合理化が勧められた時代である。「和服を仕立て直した洋服」1930(昭和5)年24巻5号のように、和服を洋服へ「代用」した「お直し」記事が多い。

「第三期」は、「切符制になって一層重要になる衣類整理」1942(昭和17)年36巻3号や「配給のタオル二本で出来た赤坊の寝衣」1943(昭和18)年37巻7号、「背広を国民服に」1944(昭和19)年38巻9号など当時の時代背景を反映した「節約」記事が掲載されるようになる。「お直し品」も古布から防空服を作ったり、配給のタオルから子供の健民着を作ったりする「代用」記事も戦争の影響が色濃く残る。また、「夏の涼しい子供帽子の作り方」1942(昭和17)年36巻8号や「温かく働きやすい冬の家庭着の工夫」1943(昭和18)年37巻12号、「ぼろ布で出来る丈夫なスリッパ」1944(昭和19)年38巻5号等、防暑防寒や、壊れにくさなどの機能性の「合理的」を重視した「お直し」記事が多い。また、「協力によって出来た赤坊衣類一揃いの用意」1943(昭和18)年37巻10号のように「協力」もみられる。

「第四期」は、戦後モノがない時代であるため、近所の人と「協力」して「お直し」を行う記事がみられる。

「第五期」は、「お直し」記事にも「おしゃれ」を意識したものが増え、「節約」を目的とした記事は他の時期に比べ減少し、「趣味」の記事がみられる。また、「お母さんの工夫した子供服」1959(昭和34)年53巻2号のような「愛情」の記事や「浴衣地の美しいワンピース」1959(昭和34)年53巻8号といった「提案」の記事なども見られる。

(4)「用いた技術」の変遷

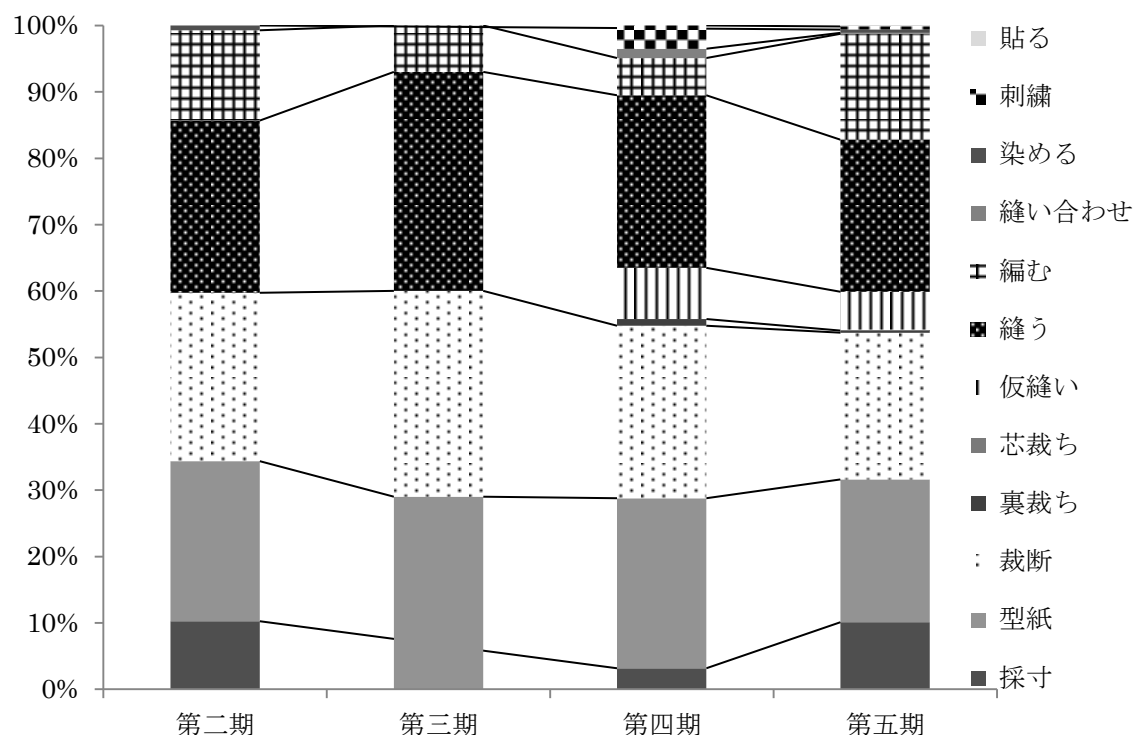


図 4-11 洋裁関連記事「用いた技術」グラフ

表 4-1 洋裁関連記事「用いた技術」時代別記事数

時代区分	採寸	型紙	裁断	裏裁ち	芯裁ち	仮縫い	縫う	編む	縫い合わせ	染める	刺繍	貼る
第二期	83	195	205	0	0	0	210	110	0	6	0	0
第三期	0	29	31	0	0	0	33	7	0	0	0	0
第四期	9	73	74	3	0	22	74	16	4	0	10	0
第五期	64	136	140	2	1	36	145	101	1	3	3	1
総計	156	433	450	5	1	58	462	234	5	9	13	1

まず、洋裁関連記事について考察する。

図 4-11 と表 4-1 において、「採寸」は、「第二期」、「第四期」、「第五期」にはみられるが、「第三期」にはみられない。「型紙」は、全時期を通して約 20%存在し、「裁断」も全時期を通して存在し、約 20~30%を占めている。「裏裁ち」は、「第四期」と「第五期」にのみ存在し、「第四期」に 3 記事、「第五期」に 2 記事である。「芯裁ち」は、「第五期」にのみ、1 記事存在している。「仮縫い」は、「第四期」・「第五期」に存在し、どちらの時期も全体の約 5%を占めている。「縫う」は、全時期にあり、どの時期も約 20~30%を占めている。「編む」は、「第二期」・「第五期」では約 15%、「第三期」・「第四期」では約 7%を占めている。「縫い合わせ」は、「第四期」に 4 記事、「第五期」に 1 記事存在し、「第二期」と「第三期」に

は存在していない。「染める」は、「第二期」に 6 記事，その後「第三期」，「第四期」では姿を消すが，「第五期」に 3 記事現れる。「刺繍」は「第四期」と「第五期」に存在し，「第四期」では 10 記事，「第五期」に 3 記事存在する。また，「貼る」に関しては，「第五期」に 1 記事存在するのみの技術である。

これらを時代別にまとめると次のようになる。

「第二期」は，他の時期に比べると「採寸」「型紙」「裁断」「縫う」「編む」などの一般的な技術の割合が非常に高くなる。「染める」が存在することは特徴的である。

「第三期」は，他の時期に存在している「採寸」が存在していない。

「第四期」は，洋裁の技術を身に付けることが女性にとって必需であったため，第二期・第三期には存在しない新たな技術「裏裁ち」「仮縫い」「縫い合わせ」「刺繍」などが少数ではあるが用いられている。

「第五期」は，図 4-11 において「編む」が他の時代に比べると占める割合が高い。また，「染める」が第二期以降再登場している。また，「芯裁ち」「貼る」は第五期にのみ存在する技術である。

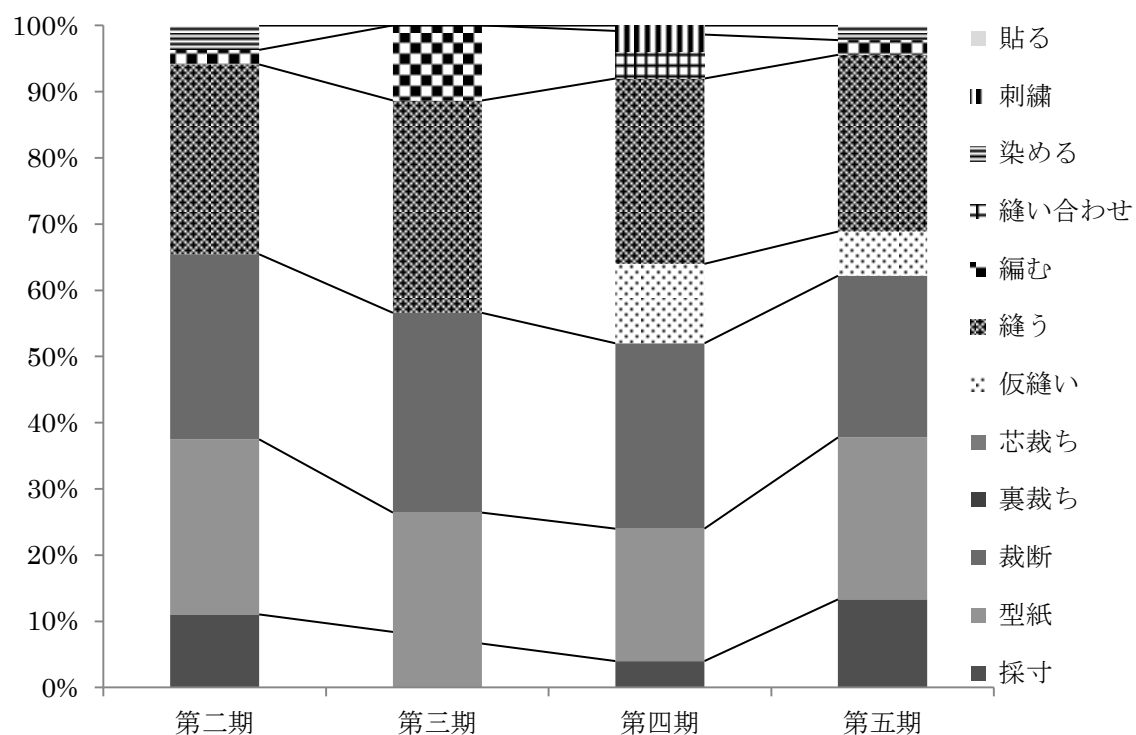


図 4-12 お直し記事「用いた技術」グラフ

表 4-2 お直し記事「用いた技術」時代別記事数

時代区分	採寸	型紙	裁断	裏裁ち	芯裁ち	仮縫い	縫う	編む	縫い合わせ	染める	刺繍	貼る
第二期	15	36	38	0	0	0	39	3	0	5	0	0
第三期		14	16	0	0	0	17	6	0	0	0	0
第四期	1	5	7	0	0	3	7	0	1	0	1	0
第五期	6	11	11	0	0	3	12	1	0	1	0	0
総計	22	66	72	0	0	6	75	10	1	6	1	0

次に、お直し記事について考察する。

図 4-12 と表 4-2 より、「採寸」は、「第三期」には存在しない。「第二期」・「第五期」では 10% 以上を占めるが、第四期では 5%にも満たない。「型紙」は、全時期を通して存在し、全時期で 20%以上を占めている。「裁断」も全時代を通して 20%以上を占めて、存在している。

「仮縫い」は、「第四期」・「第五期」のみで存在している。「縫う」は、全時代に存在し、20%以上を占めている。「編む」は、「第四期」以外に存在している。「第三期」において約 10%と他の時期に比べ、一番多くを占めている。「縫い合わせ」は「第四期」に 1 記事のみ存在している。「染める」は「第二期」に 5 記事存在し、その後「第五期」で 1 記事現れる。「刺繍」は、「第四期」に 1 記事のみ存在する。「裏裁ち」「芯裁ち」「貼る」は、お直し記事では存在しない。

これらのことを時代ごとにまとめると、次のようになる。

「第二期」は、他の時期に比べると「採寸」「型紙」「裁断」「縫う」「編む」などの一般的な技術の割合が非常に高くなる。「染める」が存在することは特徴的である。

「第三期」は、他の時期に存在している「採寸」が存在していない。

「第四期」は、第二期・第三期には存在しない新たな技術「仮縫い」「縫い合わせ」「刺繍」が用いられている。

「第五期」は、「染める」が第二期以降再登場している。また、「芯裁ち」「貼る」は第五期にのみ存在する技術である。

(5)まとめ

以上(1)～(4)より、各時代の特徴を以下にまとめる。

「第二期：昭和初期」は、「大人」を対象とした記事が最も多く、「紹介」を目的とした記事が多いが、「採寸」「型紙」「裁断」「縫う」「編む」など、基本的な技術は習得していたため、詳しいことは説明していない。他の時期に比べ、工程数が少ないのも、同様の理由であると考えられる。

「第三期：戦中」は、「家族」「子供」「大人」「幼児・赤坊」と全てをまんべんなく対象としている。戦争の影響で物資不足を理由に、「節約」「代用」を目的とした記事が多い。工程数において 1・2 工程が占める割合が多く、近所の人との「協力」をし、簡単かつ迅速に「お直し」を行っていた。また、基本的な技術である「採寸」が掲載されていない。

「第四期：戦後」は、「子供」を対象とした記事が多く、基本的な技術よりもさらに詳しい

技術が紹介されている。戦争により、モノがなくなってしまったため、「節約」「代用」を目的とした記事が多数掲載され、工程数も第二期第三期に比べて多くなる。

「第五期：高度経済成長期」は、「大人」を対象とした記事が最も多く、「子供」を対象とした記事が最も少ない。また、技術において「編む」が最も多い。「愛情」を注いで編んでいたことが読み取れる。第五期になると第二期・第三期に比べ、基本的に持っている洋裁の知識が少ないことから、技術・工程数共に詳しく説明されている。

4-2-2 「お直し」パタン

「用いたもの」・「お直し品」においてカテゴリ化を行い、分析した結果、「お直し」は6パタンに分類された。まず、パタン①として【大人服から子供服への「お直し」】である。これは、「用いたもの」が父や母の服、譲ってもらった大人の服で、「対象物」が赤ちゃん、幼児、男児、女児など子供の服である。

パタン②【和服から洋服への「お直し」】では、「用いたもの」として、和服、和服地、浴衣地、反物など、「対象物」が、ワンピース、スーツなどの洋服である。

パタン③【洋服から洋服への「お直し」】は、コート、ワンピースなどの洋服が「用いたもの」で同じく洋服を「対象物」とする。

パタン④【洋服からモノへの「お直し」】は、「用いたもの」としてコート、ワンピースなどの洋服から、「対象物」が布団、スリッパ、帽子などのモノへの「お直し」である。

パタン⑤【モノから洋服への「お直し」】は、「用いたもの」として手拭、布団などのモノから「対象物」の洋服への「お直し」である。

最後にパタン⑥【モノからモノへの「お直し」】は、「用いたもの」帽子、靴下などのモノから「対象物」も同じくモノへの「お直し」である。以下本論文では、パタン①【大人服→子供服】パタン②【和服→洋服】パタン③【洋服→洋服】パタン④【洋服→モノ】パタン⑤【モノ→洋服】パタン⑥【モノ→モノ】と表記する。また、6パタン全ては独立したものと考え、パタン③【洋服→洋服】にパタン①【大人服→子供服】、パタン②【和服→洋服】は含まないものとする。

表 4-3 「お直し」パタン分け

パタン番号	パタン名称	用いたもの	対象物
パタン①	大人服から子供服への「お直し」	父・母の服、譲ってもらった大人服等	赤ちゃん・幼児・男児・女児などの子供服
パタン②	和服から洋服への「お直し」	和服地・浴衣地・反物等和服	ワンピース、スーツ等洋服
パタン③	洋服から洋服への「お直し」	コート、ワンピース等洋服	コート、ワンピース等洋服
パタン④	洋服からモノへの「お直し」	コート、ワンピース等洋服	布団、スリッパ、帽子等モノ
パタン⑤	モノから洋服への「お直し」	手拭、布団等モノ	コート、ワンピース等洋服
パタン⑥	モノからモノへの「お直し」	帽子、靴下等モノ	帽子、靴下等モノ

以下詳しくパタン別に考察していく。

(2-1)パタン① 大人服→子供服

表 4-4 お直し記事パタン①大人服→子供服

年	タイトル	用いたもの	対象物
1934年	着古した背広から小学生服を作る	着古した背広	小学服
1934年	大人のレインコートを子供のものに	大人のレインコート	子供服
1936年	洋服手芸問答	背広	男児服
1937年	スカートを男児用ジャンパーに	スカート	男児用ジャンパー
1937年	ワイシャツを子供のシャツに	ワイシャツ	子供のシャツ
1938年	可愛い子供の外套	母姉の外套	子供の外套
1938年	誰にでも似合う可愛い帽子	母の帽子	子供の帽子
1939年	下着を気持ちよく大切に着よう	母のシミードウエスト 父の縮みシャツ	子供の下着 子供の下着
1939年	秋から冬への衣服の工夫	大人用ラクダシャツ	子供コンビネーション
1939年	古着から子供の簡単服	背広	子供の外出着
1939年	新入学の服装をこうして揃えましょう	母、叔母のお古	子供服
1939年	一人で着やすいシャツとズボン	大人の古い服 大人の古い服	子供のシャツ 子供のズボン
1939年	子供のための戸外スーツ	父の古い服	子供のスーツ
1939年	フランス好みの秋の服装	祖父の片袖 母の服	子供服 子供服
1940年	ラグラン袖の外套の仕立て方	父の外套	子供の外套
1940年	お父さんのシャツを使って温かい下ばき	父のシャツ	子供の下ばき
1940年	可愛い男児スーツ	父の麻の服 母のワンピース	男児スーツ 男児スーツ
1940年	子供の海水着	シミード	子供の海水着
1940年	子供の海水着	父のラクダシャツ	子供の海水着
1940年	子供の海水着	腹巻	子供の海水着
1941年	子供洋服仕立て方	母の古布	子供服
1941年	少ない衣服費の工夫	父のシャツ	ブルマース
1942年	切符制になって一層重要になる衣類整理	婦人が子供の時に着た紺色のジャージーの海水着	子供のブラウスの袖口と襟ぐりへ毛糸で編み足したもの
1942年	五年間の靴下と足袋	父の靴下	子供の靴下
1942年	小さい子供の遊び着	父のワイシャツ 母のお古	子供の遊び着 子供の遊び着
1942年	幼児用のスウェーターとレギンス	大人のセーター 大人のセーター	幼児のセーター 幼児レギンス
1942年	あたたかい子供の防寒兼防空服	大人の古布	子供の防空服
1943年	古いシャツで赤坊の上衣とレギンス	古いシャツ 古いズボン	赤坊の上衣 赤坊のレギンス
1943年	協力によって出来た赤坊衣類一揃いの用意	譲ってもらった服	赤坊の衣類一式
1947年	子供のチョッキ	ブルー スカート	男児用ジャケット 女児ジャケット
1947年	協力佳話二篇	ワイシャツ	男の子の服
1950年	少女のスーツ	母のスカート	子供のスカート
1950年	夫婦共に働く小学校教員の家計	20年前のマント	子供の真冬のコート
1950年	子供服研究室	母のドレス	子供のワンピース
1951年	子供の外套	大人の服	子供の外套
1951年	子供のブラウス	大人ものの地味な色の布	子供のブラウス
1951年	母親の作った夏の子供服	母のワンピースの布	子供のワンピース
1952年	母親が用意した新入学の子供の洋服	大人のスカート	新入学の子供服
1956年	母親のスーツからつくった子供服	母のスーツ	子供服
1957年	子供の外套	大人の外套	子供の外套
1958年	赤ちゃんのロンパース	母の服	赤ちゃんのロンパース
1959年	お母さんの工夫した子供服	親の服	子供服
1959年	母親の手作りのレインコート二つ	母の服	レインコート
1966年	リフォームの急所協同研究 大阪にて 東京・大阪・松本各友の会員参加 衣類分類の三原則 リフォームを美しく 背広から上等なスーツ/型を変えた婦人服五点/良心の洋服からこども服一揃い/我が家の衣類の七割がリフォーム	大人の服	子供服一揃い

表 4-4 より、パターン①【大人服→子供服】は、52 記事であった。そのうち「母」の服を使った「お直し」が 13 記事(25%), 父の服を使った「お直し」が 7 記事(13%), 親の服を使った「お直し」が 1 記事。大人の服を使った「お直し」が 12 記事(23%), その他譲ってもらった服などからの「お直し」が 13 記事であった。

また、「用いたもの」母のワンピースと「対象物」子供のワンピースのように「用いたもの」と「対象物」が同じもののパターンと、「用いたもの」母のワンピース「対象物」男児用スーツのように「用いたもの」と「対象物」が違うもののパターンがあることが読み取れる。以下、具体的に記事を挙げて紹介しく。

「ワイシャツを子供のシャツに」1937(昭和 12)年 31 巻 11 号では、父のワイシャツを子供用のワイシャツにする「お直し」を紹介している。この記事において「私たちの周辺に一寸した工夫によって全く新しいものに作り変えられる衣類はないでしょうか。何年も前に着た洋服や、衿の破れたワイシャツ、丈の短いスカートなど、思ひがけないやうに新しく更正させることができるものです。この時代に相応しい新しい廃物利用を試みたいと思ひます」と記載されている。このように手元にある廃物を活用して新たなものへ変える「お直し」を紹介しているのである。

また、「ワイシャツのいたむところは、袖口と衿と、大体きまってをります。衿を裏返したり、裾からカフスの布を取ったりして直しの方法も試みられてはをりますが、私はワイシャツのいたんだのをそのまま使って子供のシャツに直します。前のボタンの部分やポケット、袖の持出し見返へしの部分などはそのまま使って、仕立てますので二時間もあれば十分子供のシャツは出来上がります」と記載されている。このようにあえて傷んでいるところを使うことで、早く簡単に「お直し」を完成させる工夫もある。



図 4-13 「ワイシャツを子供のシャツに」 1937(昭和 12)年 31 巻 11 号

「洋服手芸問答」1936(昭和 11)年 30 巻 3 号では、背広服から子供の外出着(男児服)への「お直し」を紹介し、読者の質問に答える形で紹介している。その記事で「背広服で子供の服が容易に裁てそうに思われますけれども、大人服はポケット、穴かがりの外、縫い目が多いために役に立つ処は案外少ないものです」と記載されている。ここから、大人服は大きいから子供服への「お直し」が容易、というわけでないことが分かる。解決法として、「男児のスーツを大人服で裁つとすれば、ズボンの後身に子供ズボンの型紙を逆さに置いて裁ちます。子供ズボンの前身は大人ズボンの前身で裁ちませう」としている。



図 4-14 「洋服手芸問答」1936(昭和 11)年 30 巻 3 号

「新入学の服装をこうして揃えましょう」1939(昭和 14)年 33 巻 3 号では、母や叔母のお古から子供服への「お直し」を紹介している。この記事で、「純子さんも洋子さんの服もみんなお母様や叔母様の古い服を作りかえたのです。この時代にふさはしい新入学の服装ではありませんか。叔母様の青いワンピースのよいところだけ取って作った純子ちゃんにはこんなによく似合います。お母様のお古の紺ジャージのワンピースです」と記載されている。手作りというだけでなく、母や叔母の服から作るという子供への愛情がたっぷり込められた「お直し」である。それは「ポケットと衿の可愛い刺繍もお母様の一寸の心づかひです」という記述からも読み取れる。



図 4-15 「新入学の服装をこうして揃えましょう」 1939(昭和 14)年 33 卷 3 号

「幼児用スウェーターとレギンス」1942(昭和 17)年 36 卷 11 号では、大人のセーターから幼児のセーター・レギンスへの「お直し」を紹介している。この記事において「この頃のようによい布地が手に入りにくいときは、却って古いものを利用してこういう方法にした方がよいでしょう。大人の長袖のセーターをといて作りましたが、上衣一枚とレギンス二枚を十分に編むことができました」と記載されている。このように物資不足であったこの時代は新しい布も手に入りにくかったため、あえて古いものを使う「お直し」が活躍していたことが分かる。

(2-2)パタン② 和服→洋服

表 4-5 お直し記事パタン②和服→洋服

	年	タイトル	用いたもの	対象物
和服から洋服へのお直し	1934年	裾回しで出来たブラウス	裾回し	ブラウス
	1934年	派手なモスリン縞の外出着	和服	モスリン縞
	1934年	持ち合わせの和服からこんなハイカラな洋服が出来ます	和服	洋服
	1934年	和服を洋服になおす工夫	和服	洋服
	1935年	春の婦人外出着	着古した羽織・着物	洋服
	1936年	和服地で作った洋服	和服地	洋服
	1937年	和服のセルを部屋着に	和服のセル	部屋着
	1938年	不用品を生かしましょう	四つ身	ブラウス
	1938年	女学生の通学着	和服地	通学着
	1938年	和服地一反からワンピースに上衣を揃えて	和服地	ワンピース
	1938年	和服の袖で出来る上衣	和服の袖	上衣
	1938年	和服から洋服へ	和服のコート	スーツ
	1939年	和服から洋服へ	古いセル	スモック
	1939年	和服から洋服へ	セルのコート	外套
	1939年	軽快な春のワンピース	和服	ワンピース
	1939年	レインコートの仕立て方	和服	レインコート
	1939年	婦人スーツ	和服地	スーツ
	1940年	スモックを作りましょう	着古した和服のメリヤス	スモック
			銘仙	スモック
			セル	スモック
	1940年	可愛い男児スーツ	和服	男児スーツ
	1943年	温かく働きやすい冬の家庭着の工夫	古いセルの着物	家庭着
	1943年	子供たちの健民着	浴衣の片袖	健民着
	1943年	暖かい洋服の丹前	和服	洋服の上に着る丹前
	1950年	夫婦共に働く小学校教員の家計	紅梅織の一つ身	ワンピース
	1950年	夫婦共に働く小学校教員の家計	一つ身	ジャンパースカート
	1951年	綿入ガウン	反物	ガウン
	1959年	浴衣地の美しいワンピース	浴衣地	ワンピース
	1966年	ワンピース 和服地とジャージー	和服地	ワンピース
	1966年	浴衣地の夏着 ねまきとガウン	浴衣地	ガウン
			浴衣地	ねまき

表 4-5 より、パタン②和服から洋服への「お直し」は全部で 31 記事である。ワンピースへの「お直し」が 5 記事(16%)、スモックへの「お直し」が 4 記事(13%)ある。特徴として、ワンピースなど一枚で着ることのできるもの(対象物)への「お直し」が多い。また、ズボンへの「お直し」が全くないことも特徴である。また、「和服の袖で出来る上衣」1938 年(32 巻 11 号)や「子供の健民着」1943(昭和 18)年 37 巻 8 号などのように「袖」からの「お直し」は袖が大きい和服ならではの特徴である。

そこで、「和服の袖で出来る上衣」1938(昭和13)年32巻11号を取り上げる。この記事では「秋もたけて、そろそろ寒くなり始めました。軽(暖かい)洋服が、ますます便利な時期になります」「皆様のよい工夫によって、しまひ込まれてゐる着物をもう一度役立てて頂きたいと思います。和服の柄そのままで使へないものは、染めかへて作りませう。思ひがけない美しい服になることは楽しみです」と記載されている。

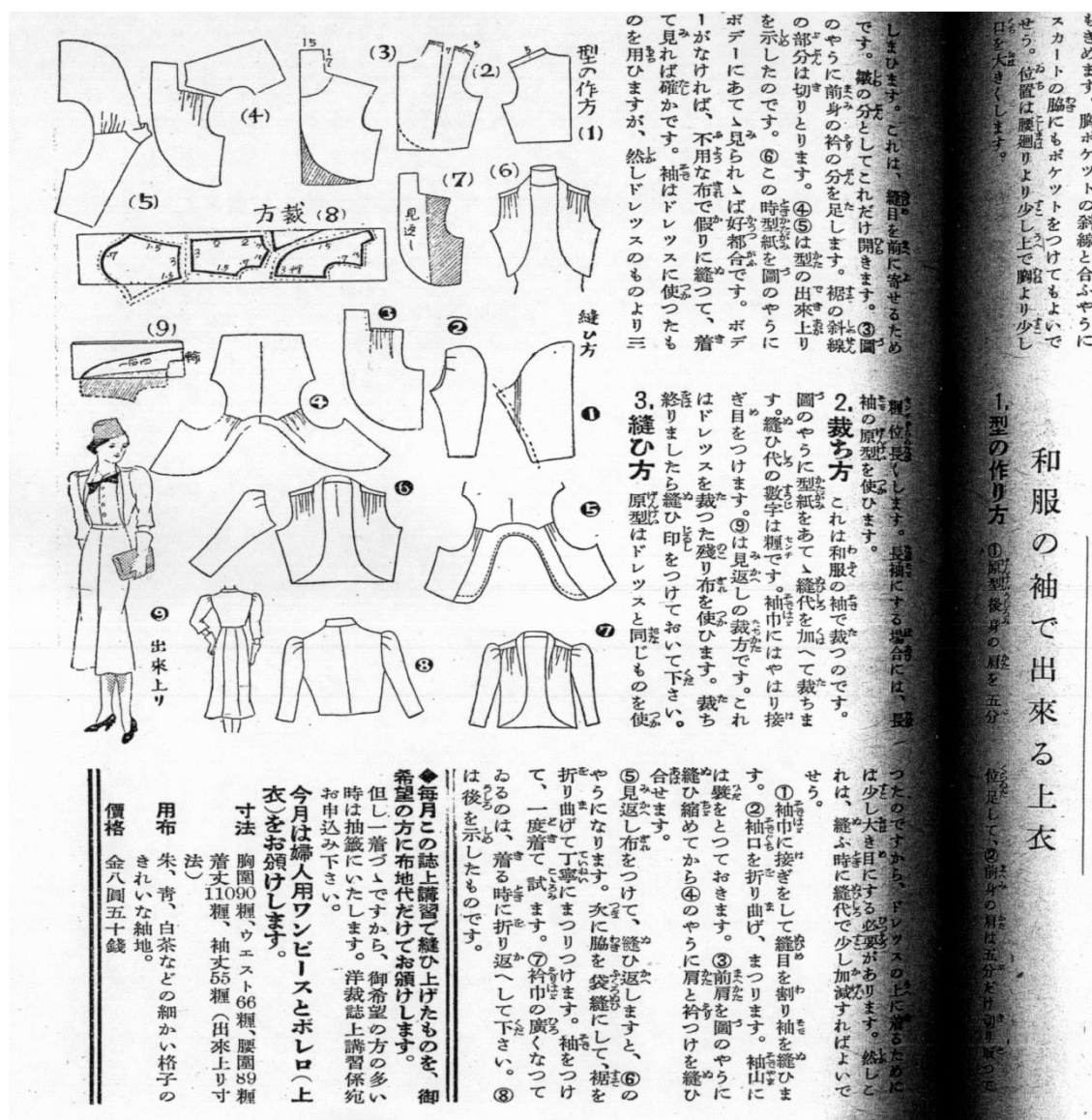


図 4-16 「和服の袖で出来る上衣」1938(昭和13)年32巻11号

「持ち合わせの和服からこんなハイカラな和服が出来ます」1934(昭和)9年28巻5号では、和服から洋服への「お直し」を紹介している。この記事では、「大脇さんは前にもっていた和服を大変上手に利用してハイカラな洋服にしていっしょやる。この間はたった一晚のうちに黒縮緬の羽織で立派な喪服をお作りになった。和服も工夫すればこんなにハイカラに作りかへることが出来るのです。誰方も黒い羽織はもっていっしょいませうから、まづそれから仕立ててごらんになっては如何でせうか」と記載されている。このように、和服から洋服への「お直し」を『婦人之友』の読者に啓発している。

また、「服装合理化のあのすばらしい計量に、心を動かしつつも、周囲の思惑やたくさん持っている和服が気になって、勇気の鈍っている方がたくさんあるのではないでせうか」とも記載されているように、この当時の女性たちがたくさん持っている和服を使わずに新しく洋服への移行することに抵抗を持っていたことが分かる。そこで、和服を洋服に「お直し」することは、多くの和服を持ったまま新しく洋服へと移行する不安を解消する意味でも適していた。

また、「黒のベルベットのリボンを花のやう結んで、衿あきのところにつけました。これは以前帽子につけてあったものです」というように、「お直し」を楽しみながら行っている。

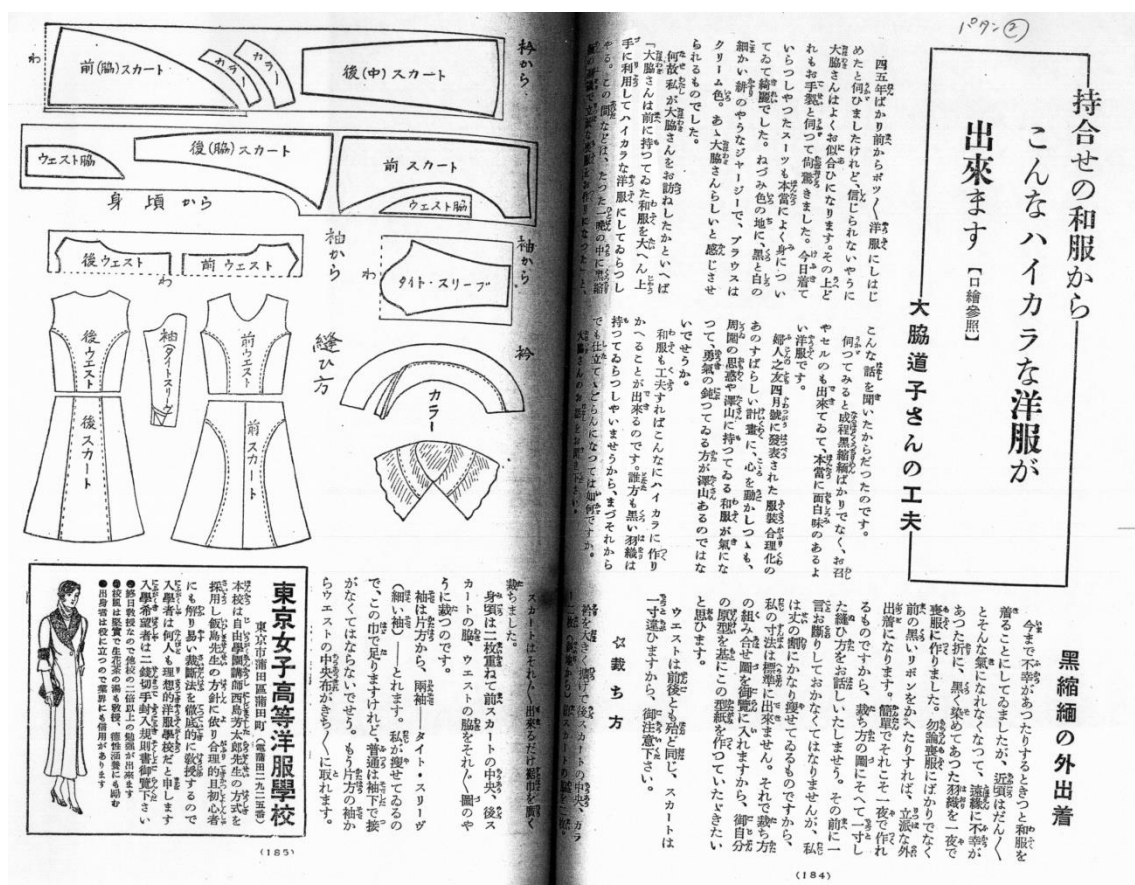


図 4-17 「持ち合わせの和服からこんなハイカラな和服が出来ます」

1934(昭和)9年28巻5号

「和服を洋服になおす工夫」1934(昭和9)年 28 巻 8 号では、和服を洋服になおす工夫を紹介している。その中で「軽くて経済的な洋服！合理的な洋服！喜んで着始めた洋服を、慣れないためや知らないために、また逆もどりしてしまうのは本当に残念なことだと思います」と述べられている。和服が手元にあるから洋服へ「お直し」とするという意図と、「これて箆笥の中の和服を一枚一枚形のよい綺麗な服へ変えてゆきませう」と記述されているように、服装の合理化(洋裁化)を考える『婦人友』にとって、当時の主流であった和服を綺麗な洋服へする意図もあったと考えられる。



図 4-18 「和服を洋服になおす工夫」1934(昭和9)年 28 巻 8 号

(2-3)パタン③ 洋服→洋服

表 4-6 お直し記事パタン③洋服→洋服

年	タイトル	用いたもの	対象物
洋服から洋服へのお直し	1927年 新手芸マクメラ	晒	肌着
		綿ネル	上着三枚
	1932年 フロックコートをスプリングコートに	フロットコート	スプリングコート
	1937年 男物のズボンをスカートに	男物のズボン	スカート
	1937年 紺の制服をズボンスカートに	紺の制服	ズボンスカート
	1938年 ワイシャツをブラウスに	主人のワイシャツ	ブラウス
	1938年 不用品を生かしましょう	水兵服	ワンピース
	1938年 若い方たちのためにブラウスとスカート	男物の洋服	ブラウス
		男物の洋服	スカート
	1939年 残り布を利用したジレー	洋服の残り布	ジレー
	1939年 チョッキ二種	洋服の残り布	チョッキ
	1939年 和服から洋服へ	レースの肩掛け	ブラウス
		絹リヤス肩掛け	ブラウス
	1939年 軽快な春のワンピース	制服	ワンピース
	1939年 古着から子供の簡単服	ベビー服	遊び着
	1939年 着古した夏のワンピースでエブロン四種	夏のワンピース	仕事着
	1941年 少ない衣服費の工夫	アフガン	チョッキ
		ワンピース	ブラウス
		シャツ	ハーフコート
	1941年 清楚なワンピース仕立て方	紺サージの制服	ワンピース
	1941年 古い布を応用して出来る温かい外套	古布	外套
	1942年 切符制になって一層重要になる衣類整理	主人のワイシャツ	シャツブラウス
	1942年 切符制になって一層重要になる衣類整理	コンビネーション	シャツ
	1942年 赤ん坊服一揃いの仕立て方	綿ネル	おくるみ
	1942年 子供のためのあたたかな編みもの	上着	レギンス
	1943年 時代に合った服装をするためによい下着を着ませう	配給のさらし	下着
	1943年 一枚の子供服の行方	小さくなったワンピース	スカート
	1944年 背広を国民服に	背広	国民服
	1947年 子供のチョッキ	女兒ジャケット	チョッキ
	1947年 協力佳話二篇	ワンピース	ブラウス
	1950年 夫婦共に働く小学校教員の家計	セーラー	学校着
		校服	長袖ハーフコート
	1951年 得手くらべ(私の衣服の方針)	10年着たウール	季節ごとに作り変え長く着る
	1953年 冬の家着	型が古くなったスーツ	家着のコートドレス
	1955年 外套地でつくった冬のアンサンブル	外套地	アンサンブル
	1956年 初秋のツーピース	男物	ツーピース
	1958年 いつも手作りの服装 大橋育子さんの生活から	有り合わせの布	洋服
	1958年 野良着の作り方	有り合わせの布	野良着
	1958年 夏のワンピースを手作りに	有り合わせの布	ワンピース
	1959年 主婦の工夫した家着	有り合わせの布	家着
	1960年 更生服を美しく着る伊東俊子さん	ワンピース	ワンピース
	1960年 背広をスーツに	背広	スーツ
	1962年 外套地でつくったスーツ	外套地	スーツ
	1966年 リフォームの急所協同研究 大阪にて 東京・大阪・松本各友の会員参加 衣類分類の三原則 リフォームを美しく 背広から上等なスーツ/型を変えた婦人服五点/良心の洋服からこども服一揃い/我が家の衣類の七割がリフォーム	背広	スーツ
	1967年 私の洋服は全部手づくり	昔のワンピース	ワンピース
	1967年 二枚目のコートを作るとき	残り布	コート

表 4-6 より、パタン③洋服から洋服への「お直し」は全部で 47 記事である。ワンピースからの「お直し」が 6 記事(13%)、洋服の残り布・有り合わせの布からの「お直し」は 8 記事(17%)である。また、ワンピースへの「お直し」が 6 記事(13%)、コートや外套の上着への「お直し」が 6 記事ある。また、スーツへの「お直し」は 3 記事(7%)あり、すべてコートや背広からの「お直し」である。3 つとも 1960 年代の記事である。

パタン③の特徴として、男物から女物への「お直し」が 6 記事ある。スカート、ブラウス、スカートと様々なものへ「お直し」されている。その代表として、「ワイシャツをブラウスに」1937(昭和 12)年 31 巻 11 号を取り上げる。この記事は、主人のワイシャツを妻のブラウスへと「お直し」する方法を紹介している。ワイシャツのボタンはそのまま使い、袖口、衿を作り変えることでシャツブラウスへと「お直し」している。男物は大きいので、布地のよい部分だけを選んででも十分に出来るため、「お直し」に適している。



図 4-19 「ワイシャツをブラウスに」 1937(昭和 12)年 31 巻 11 号

「一枚の子供服の行方」1943(昭和 18)年 37 巻 3 号では、小さくなったワンピースをスカートへと「お直し」している。「ワンピースが小さくなったので、丁度必要なスカートに作りかへたいと思いました」と代用しようという考えから生まれている。「布はアンゴラの入ったしなやかな毛織地、色は落ち着いた空色、少し肩のあたりがいたみかけておりましたが高くついてみたので、充分スカートがとれ」というようによい布は長持ちするため、「お直し」に適している。さらに、「ワンピースあとのヨークと袖とベルトからスカーフ一枚、ハンドバックが出来ました」というように、残った布からも「お

直し」をする工夫が掲載されていた。こうして着られなくなった一枚のワンピースが、新しいものとなって持ち主の手へと返っていくのである。



図 4-20 「一枚の子供服の行方」 1943(昭和 18)年 37 巻 3 号

「不用品を生かしましょう」 1938(昭和 13)年 32 巻 8 号では、お姉さんの水兵服から日よけぼうしとワンピースへの「お直し」を紹介している。「水色の大きい衿のついた真白い水兵服(十歳用)が裾も短く幅も狭く、肩のところも汗で黄色くなりましたので、六歳用のワンピースになほしました」と記載してあるように、まだ使える部分を使用し、対象年齢を下げて小さいものへの「お直し」をしている。この考え方はパターン①大人服から子供服への「お直し」と似ている。



図 4-21 「不用品を生かしましょう」 1938(昭和 13)年 32 巻 8 号

(2-4)パタン④ 洋服→モノ

表 4-7 お直し記事パタン④洋服→モノ

	年	タイトル	用いたもの	対象物
洋服からモノへのお直し	1930年	残り布で出来た帽子	残り布	婦人帽子
	1933年	余り布で出来た六枚のエプロン	余り布	エプロン
	1937年	どこの家庭にもある不要な布, 毛糸, 古靴下を使って	古靴下	新聞入れ
			古靴下	テーブルセンター
			古靴下	手提げ袋
			古靴下	バスマット
	1938年	不用品を生かしましょう	小布	バス入れ
			水兵服	日よけぼうし
			長襦袢の袖	クッション
			羽織裏	簡単帯
			半袖	スリッパ
			残り布	テーブルかけ
	1939年	気のきいた帽子とスカーフ	残り毛糸	帽子
			残り毛糸	スカーフ
	1939年	夾搦染めの夏布団	古布	夏布団
			古カラー	スリッパ
			半襟	掛け布団
	1940年	手作り子ども運動靴	レインコート	運動靴
	1942年	私の合間仕事	残り布	枕カバー
			残り布	ハンカチ
			残り布	爪革
	1942年	夏の涼しい子供帽子の作り方	残り布	子供の帽子
	1942年	協力布団が出来上がるまで	洋服の布	布団
	1944年	ぼろ布で出来る丈夫なスリッパ	ぼろ布	スリッパ
	1947年	協力佳話二篇	残り布	鼻緒
	1947年	協力佳話二篇	残り布	鍋持ち
	1948年	気持ちのよい手提	余り布	手提げ袋
	1952年	靴と靴下の経営法	靴下	バスマット
			靴下	買い物袋
			靴下	ひざ掛け
	1952年	ツレー夫人の贈物	靴下	マット
			靴下	スリッパ
	1953年	手作りの帽子	スーツやスカート	帽子
			スウェーター	毛糸の帽子
	1953年	帽子を手作りにしましょう	オーバー	帽子
			スーツ	帽子
			友だちのオーバー	帽子
	1954年	私の服装―働く娘の実例二つ―	洋服の残り布	袋物
			洋服の残り布	マフラー
			洋服の残り布	造花
			洋服の残り布	替え衿
	1962年	クッションの作り方	使い古した服	クッション

表 4-7 より, パタン④洋服からモノへの「お直し」は全部で 42 記事である. その特徴として, 靴下(用いたもの)からの「お直し」が 9 記事(21%)あり, 洋服の古布や残り布からの「お直し」が 18 記事(42%)と多いことが分かる. その中で, 使い古した服の布をまとめてクッションや布団にする「お直し」が 5 記事ある. その中でも「不用品を生かしましょう」1938(昭和 13)年 32 巻 8 号では, 長襦袢の袖から, 「協力裁縫 少ない物資を生かせ 衣について」

1940(昭和 15 年 34 卷 6 号では、半襟からの「お直し」とあるように、この 2 記事は和服からの「お直し」である。一方、それ以降の年代の「協力布団が出来上がるまで」1942(昭和)17 年 36 卷 8 号と「クッションの作り方」1962(昭和 37)年 56 卷 12 号では、洋服からの「お直し」となっている。このように、時代によって使うものが異なることが分かる。

また、帽子(対象物)への「お直し」が 8 記事(19%)ある。

「手作りの子供運動靴」1940(昭和 15)年 34 卷 4 号では、レインコートから子供の運動靴への「お直し」を紹介している。「ぼろ布を張り合わせた支那靴の底からヒントを得て、残りの布を厚く貼って底に使い、表には古いレインコートの布を使ったのですが、大層丈夫で子供たちの運動靴には具合ようございます」と掲載されている。あるものを利用して新しいものを作るまさに「お直し」の工夫である。具体的な「お直し」の方法として、靴底を厚く丈夫にするために何枚もの小布を糊で貼り合わせて使っている。

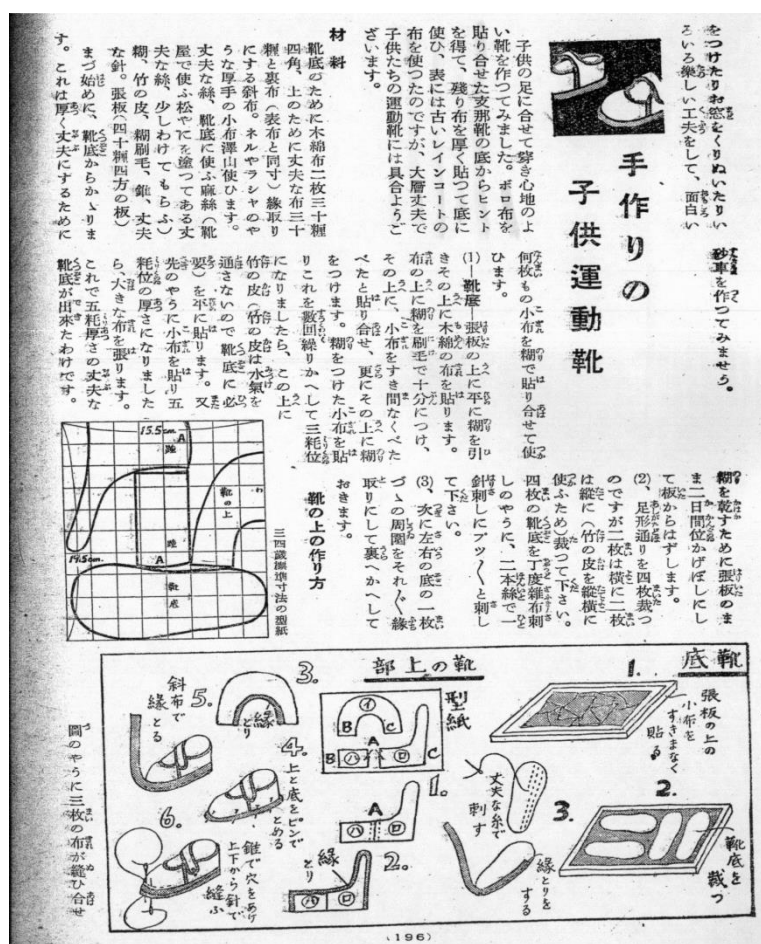


図 4-22 「手作りの子供運動靴」 1940(昭和 15)年 34 卷 4 号

「協力裁縫 少ない物資を生かせ 衣について」1940(昭和15)年34巻6号では、古くなったカラーからを編み直してスリッパへ、半襟30枚から掛布団への「お直し」を紹介している。「何処の家にもしまい込まれてゐる不用品を役立てることによって、私どもの生活を美しく豊かにする再生工芸を創り出すことが出来ます」と記載されている。このように不用品を工芸品へと「お直し」し、モノとしての価値を増加させている。



図 4-23 「協力裁縫 少ない物資を生かせ 衣について」1940(昭和15)年34巻6号

(2-5)パタン⑤ モノ→洋服

表 4-8 お直し記事パタン⑤モノ→洋服

	年	タイトル	用いたもの	対象物
モノから 洋服へのお直し	1928年	手拭地の洋服	手拭	洋服
	1929年	手縫いで出来る婦人服	手拭	婦人服
	1939年	秋から冬への衣服の工夫	古毛布	子供ズボン
	1941年	少ない衣服費の工夫	座布団カバー	下着
	1942年	私の働き着	古いカーテン	働き着
	1943年	子供たちの健民着	配給のタオル	健民着
	1943年	配給のタオル二本で出来た赤坊の寝衣	配給のタオルの地の手拭	赤坊の寝衣
	1966年	はぎれのおしゃれ	はぎれ	洋服

表 4-8 より、パタン⑤モノから洋服への「お直し」は全部で 8 記事である。その中でも手拭やタオル(用いたもの)からの「お直し」が 4 記事と多い。

「子供の健民着」1943(昭和 18 年)年 37 巻 8 号や「配給のタオル二本で出来た赤坊の寝衣」1943(昭和 18)年 37 巻 7 号のように配給品からの「お直し」がみられる。1943(昭和 18)年は第二次世界大戦真っ只中であり、物資が少なかったためである。

「私たちの働き着」1942(昭和17)年36巻7号では、「持ってる衣服は出来るだけ大切に着なくてはならなくなった今、どんな労働をしていても洋服のことを気にしないで思ひきり働ける仕事着が欲しいと思ひます」という気持ちから、古いカーテンの布を水色に染めて働き着に「お直し」することを紹介している。

「この型を利用して夏は短袖の涼しい家着をつくることも出来ると思ひます」の記述から、また新たに型を使うという合理的思考が読み取れる。

また、「お世話になった方への贈り物にいたしましたが、こんなところから暖かい交際も生まれ、喜んでおります」と記載されており、「お直し」したものを人に贈ることで、人との絆を築いていた。



図 4-25 「私の働き着」1942(昭和17)年36巻7号

「少ない衣服費の工夫」1941(昭和16)年35巻1号では、座布団カバーから上下の下着への「お直し」を紹介している。この記事で、「最小限度の持ち数で暮らすことかたもつと合理的な生活が生まれます」と記載されている。資源が少ないことをマイナスにとらえるのではなく、逆に整理ができて合理的に暮らせると前向きにとらえている。



図 4-26 「少ない衣服費の工夫」1941(昭和16)年35巻1号

(2-6)パタン⑥ モノ→モノ

表 4-9 お直し記事パタン⑥モノ→モノ

	年	タイトル	用いたもの	対象物
モノからモノへのお直し	1932年	手ぬぐい浴衣地で作ったカーテン	手拭	カーテン
	1936年	新入学の子どもへお母様からのプレゼント	ズック	遠足袋
	1938年	誰にでも似合う可愛い帽子	古帽子	帽子
	1940年	協力裁縫 少ない物資を生かせ 衣について	古靴	上靴
	1940年	竹の皮から出来た美しい敷物	竹の皮	敷物
	1940年	古帽子で作った敷物	古帽子	敷物
	1940年	古靴下を染めて厚い手編ソックス	古靴下	手編みのソックス
	1942年	私の合間仕事	古長靴のゴム	爪革
	1943年	子供靴	破れた足袋	子供靴
	1943年	子供靴	フェルトの古帽子	子供靴
	1946年	手作りの靴	使わなくなった靴	靴
	1953年	手作りの帽子	古帽子	帽子
	1953年	帽子を手作りに	古フェルト帽	フェルト帽
	1953年	夏の帽子	古帽子	トーク
	1958年	“ふとん” 化繊綿を使って	ふとんの綿	座布団
	1961年	雑巾 種類・縫い方・経営 <グラフ>	タオル	雑巾

表 4-9 よりパタン⑥モノからモノへの「お直し」は全部で 16 記事である。そのうち、帽子から帽子への「お直し」、靴から靴への「お直し」、靴下から靴下への「お直し」のように、同じものへの「お直し」が 6 記事(37%)ある。

同じものへの「お直し」として、お母さまの古い帽子を直して子供の帽子の作り方を紹介している「誰にでも似合う可愛い帽子」昭和 13(1938)年 32 巻 11 号を代表として取り上げる。この記事は、クラウンを小さくして前に小さなつばをつけ、毛糸で小さい玉の刺繍をすることで、可愛らしい子供用の帽子へと「お直し」している。



図 4-27 「誰にでも似合う可愛い帽子」 昭和 13(1938)年 32 巻 11 号

「手作りの靴」1946(昭和21)年40巻7・8号では、靴から靴への「お直し」を紹介している。古い運動靴の底を利用して思い思いにデザインした靴の作り方を紹介している。「はきよい靴を作るには次のことが大切です。底(特に土ふまず)は巾を細かめにします。踵がくずれないため、厚いしっかりした芯を入れます。出来上がった靴を、木型にはめると、きっちり仕上がります。絶えず足に合わせながらすることが、一番の急所です」というように読者に細かく「お直し」の方法を説明している。

「新入学の子どもへお母様からのプレゼント」1936(昭和11)年30巻4号ではズックから遠足袋の「お直し」を紹介している。「白いズックは汚れた時タワシでゴシゴシ洗へるし、何か思ひ思ひの装飾をほどこせば美しいものが出来ます」と記載されているように、洗濯への配慮と、装飾をほどこすという楽しみが読み取れる「お直し」の工夫である。

また、「心をこめて作ったものはきっと大切にいつまでも使うでしょうし、長くたのしい記憶となりましょう」と記載されているように、「お直し」と手作りによって愛情を持ってモノを大切にするという流れが生まれるのである。



図 4-28 「新入学の子どもへお母様からのプレゼント」1936 年(30 巻 4 号)

「古帽子で作った敷物」1940(昭和15)年34巻1号では古帽子から敷物への「お直し」を紹介している。「ますます物資の大切な年がまいりました。それだけに私どもの生活も簡素に清らかに営みたい、私ども自身の手によって豊かに美しく満たしてゆきたい時がまいりました」と記載されているように、切羽詰った状況でも楽しんで節約を行う、主婦たちの前向きな姿勢がこの「お直し」から読み取れる。



図 4-29 「古帽子で作った敷物」1940 年(34 巻 1 号)

「竹の皮で出来た美しい敷物」1940(昭和15)年34巻4号では竹の皮から敷物への「お直し」を紹介している。用いた竹の皮はお肉やお味噌を包んで来る竹の皮をためておいたものである。これを、すだれを編むようにして敷物へと編んでいく。竹の皮の間に黄、青、赤などに染めた竹の皮を縞模様に編み込むことで、色の調子も面白い立派な敷物へと「お直し」できると紹介されている。

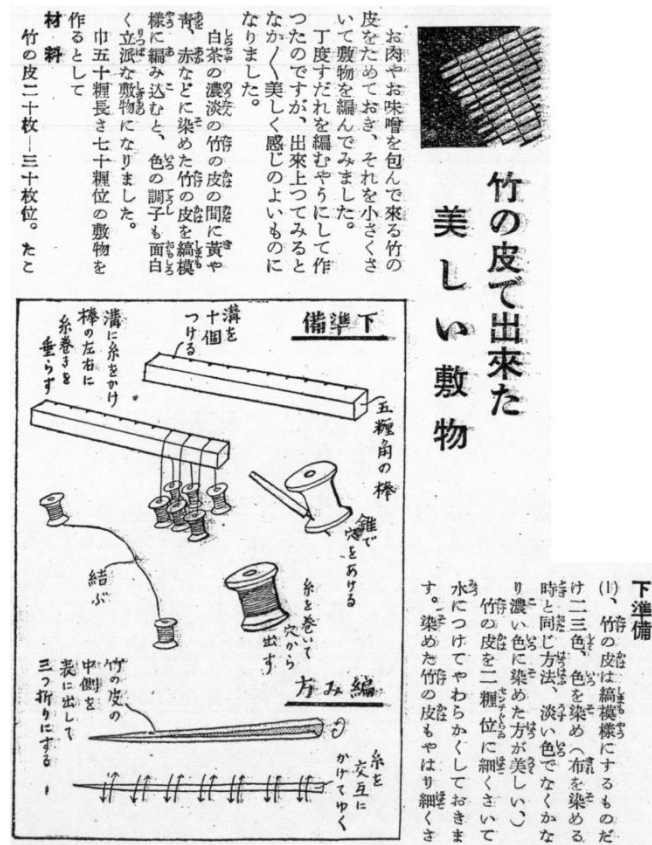


図 4-30 「竹の皮で出来た美しい敷物」1940(昭和15)年34巻4号

(2-7)まとめ

パタン①

- ・手元にある物資を活用する方法を紹介している.
- ・あえて傷んでいるところを使うことで、早く簡単に「お直し」を完成させる工夫もある. 手作りというだけでなく、母や叔母の服から作るという子供への愛情がたっぷり込められた「お直し」である.
- ・物資不足であったこの時代は新しい布もいいものがなかったため、古いものを「お直し」した方がかえっていいものができるという状態であった.

パタン②

- ・この当時の女性たちがたくさん持っている和服を使わずに新しく洋服への移行することに抵抗を持っていたことが分かる. そこで、和服を洋服に「お直し」することは、その不安を解消する意味でも適していた.
 - ・「お直し」を楽しみながら行っている.
- 服装の合理化を考える『婦人之友』にとって、和服から洋服への「お直し」を進めることで和服をなくす意図もあった.

パタン③

- ・男物は大きいので、布地のよい部分だけを選んでも十分に出来るため、「お直し」に適している.
- ・残った布からも「お直し」をする工夫が掲載されていた. こうして着られなくなった一枚のワンピースが、新しいものとなって持ち主の手へと返っていくのである.

パタン④

- ・半襟 30 枚から掛布団への「お直し」を紹介している. 協力裁縫で少ない物資を有効活用し「お直し」していた.

パタン⑤

- ・資源が少ないことをマイナスにとらえるのではなく、逆に整理ができて合理的に暮らせると前向きにとらえている.
- ・「お世話になった方への贈り物にいたしました、こんなところから暖かい交際も生まれ、喜んでおります」と記載されており、「お直し」したものを人に贈ることで、人との絆を築いていた.
- ・古毛布から子供のズボンへの「お直し」を紹介している. この記事ではボロボロの毛布から、まだ大丈夫そうなところを使用し、ズボン二着を作っている.
- ・節約だけでなく、毛布で作っているので大層温かく着られると防寒面でも合理的な知恵

である。

・「男物は高価な代わりに丈夫なので、なにかに構成出来て重宝でございます」少し高くても品物の持ちの良いものを買った方が、長い目で見れば経済的で「お直し」に適している。

パタン⑥

・洗濯への配慮と、装飾をほどこすという楽しみが読み取れる「お直し」の工夫である。また、「心をこめて作ったものはきっと大切にいつまでも使うでしょうし、長くたのしい記憶となりましょう」と記載されているように、「お直し」と手作りによって愛情を持ってモノを大切にするという流れが生まれるのである。

パタン①～⑥をみていくと、『婦人之友』においての、「お直し」に関する二つの価値観が見えてきた。

一つ目は、「お直し」を楽しむという価値観である。「お直し」したものに少し装飾を加えるひと手間や、「お直し」して残った布からまた「お直し」することで、思い出の品を余すことなく新しいものに変えている。また、「お直し」することで、さらにその品物に愛情を持ち、モノを大切にするという流れがうまれている。さらに、「お直し」したものを人に贈ることで、人との絆を築いていた。

二つ目は、合理的な「お直し」という価値観である。動きやすい、丈夫である、温かいなどのキーワードが紹介されている「お直し」品に含まれている。また、物資が少ない時代には、少ないことをマイナスにとらえるのではなく、逆に整理できて合理的に暮らせると、とらえている。

以上より、『婦人之友』は「お直し」を前向きな姿勢でとらえていたことが分かる。

4-2-3 時代別の考察

時代別に考察を行う．例えば「お直し」記事の「目的」が，各時代にどのような変化があるのかを把握することで，各時代の特徴がより鮮明に浮き彫りになると考えられる．さらに，時代背景の補足に関連する文献を随時用いることで，記事の内容とその時代の特徴をより具体的に考察していく．

(1)第二期：昭和初期(1927 年～1941 年)

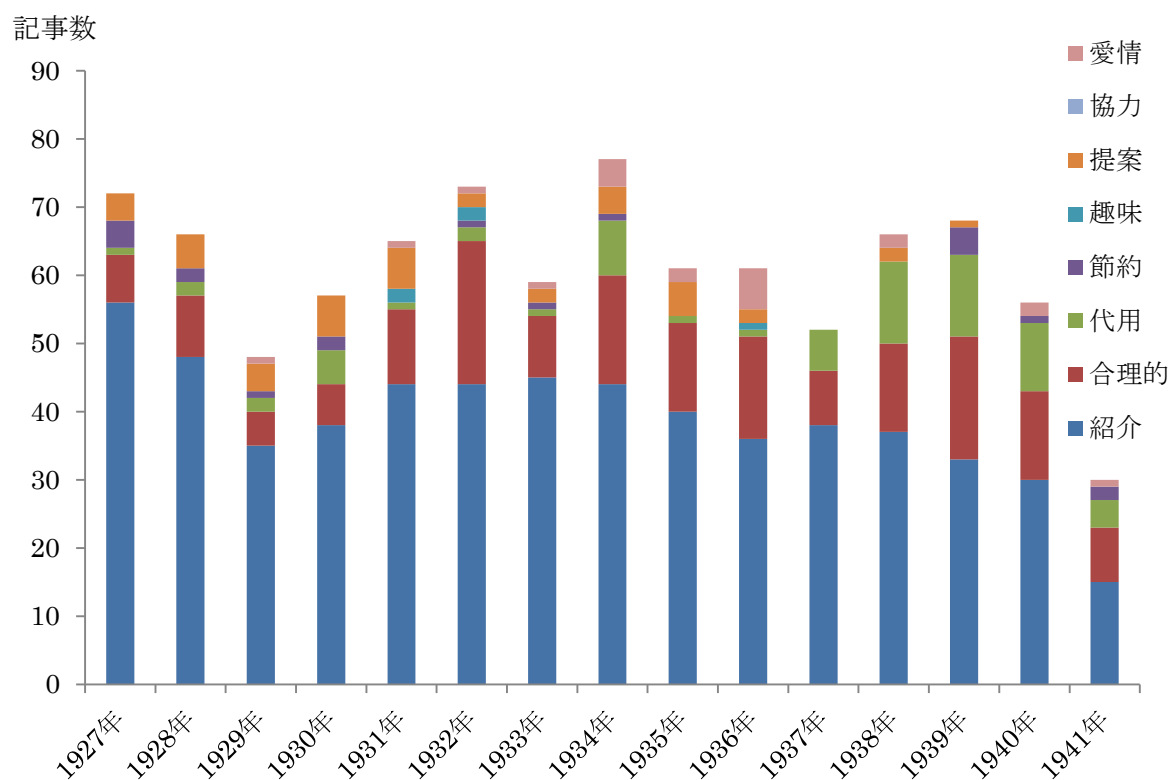


図 4-31 第二期洋裁関連記事「目的」集計

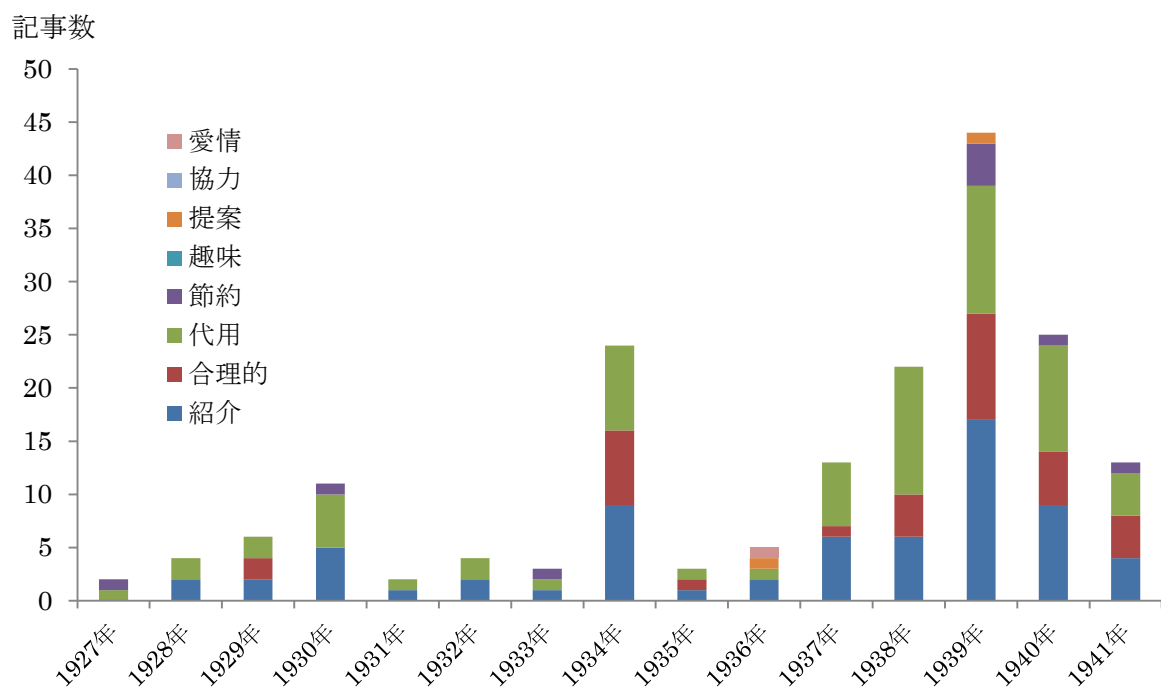


図 4-32 第二期お直し記事「目的」集計

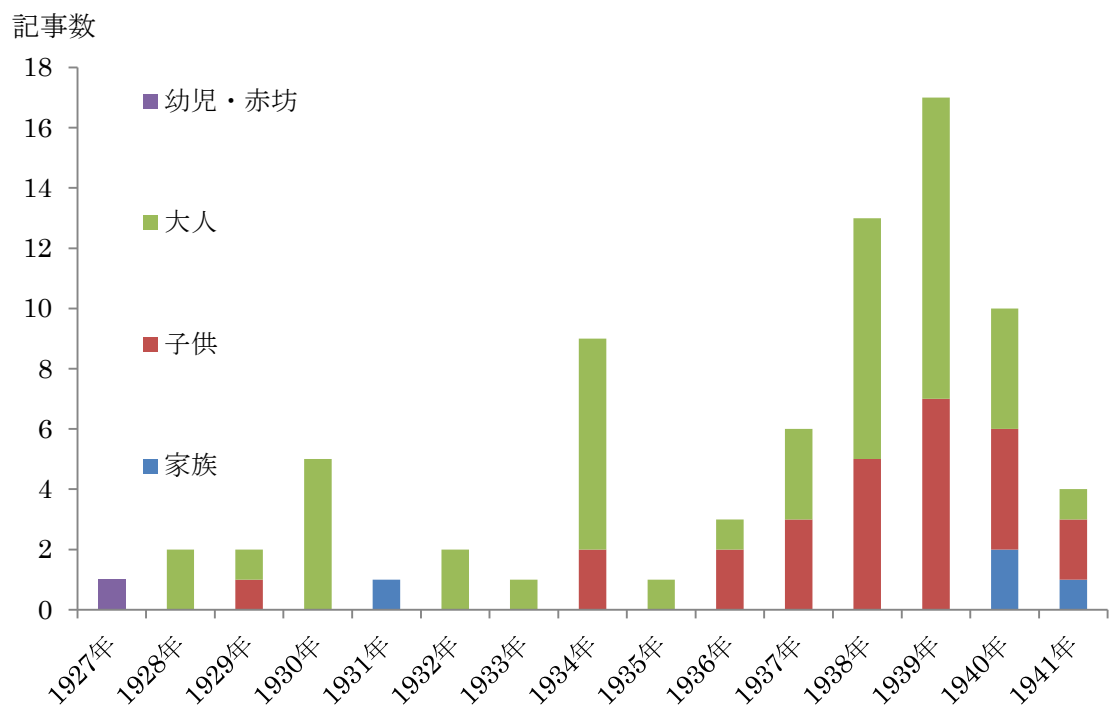


図 4-33 第二期お直し記事「対象者」集計

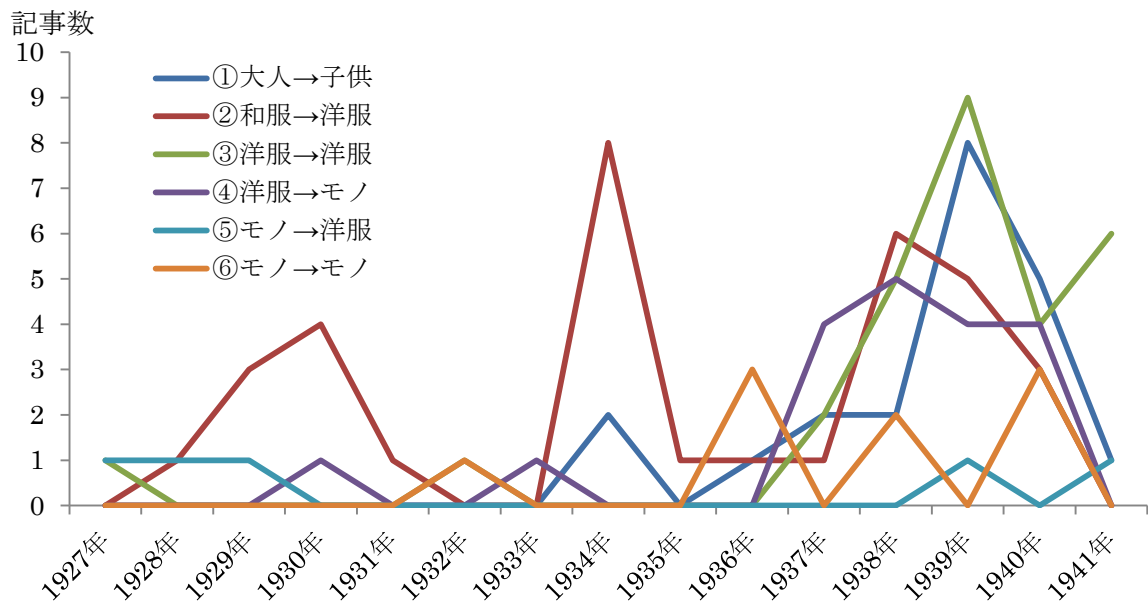


図 4-34 第二期お直しパタン

表 4-10 第二期ファッション動向

年	一般的事項	ファッションデザイン	日本におけるファッション動向
1927	◆金融恐慌始まる	◇スキヤパレリ、パリに店を開店、シュールリアリズムに触発されたデザインを制作	◆三越百貨店で初のファッションショー開催
	◆日本初の地下鉄開通(上野・浅草間)		
1928	◇パリ不戦条約締結		◆藤小僧丈のスカート登場
1929	◇世界大恐慌(～1932)		◆「乳房バンド」発売
			◆マネキンガール、エレベーターガール誕生
1930	◇ロンドン軍縮会議	◇マレーネ・デートリッヒやグレタ・ガルボなどハリウッドの映画スターがファッションが流行(1930年代)	◆狐の襟巻き流行
	◆金輸出解禁		◆「エロ」「グロ」「ナンセンス」流行
	◆臨時産業合理局、国産品愛用委員会設置		
1931	◆満洲事件勃発	◇身体の曲線を強調する女性らしいファッションが流行(1930年代)	◆全国既製品規格並標準寸法表発表
	◆重要産業統制法公布		◆パーマメント普及
1932	◆上海事変、満洲国建国宣言		◆アッパッパの流行
	◆白木屋火災		◆白木屋火災
			◆エナメルレザーのハンドバッグ流行
1933	◇ドイツでヒトラーが総統就任	◇テニスプレーヤーのラコステ、「クロコダイル」を商標登録	◆伊勢丹開店
	◆日本国際連盟脱退		
1934	◆新京一大連間であじあ号開通	◇グレ、パリにメゾンを開店、以後ウールジャージーを用いたドレープのドレスを制作	◆日本初めてのスタイルブック「服装文化」創刊
1935	◆産業工芸博覧会(大阪)	◇リー・ヴァイスのシーゼの広告が「ヴォーグ(米)」誌に掲載	◆ビーズ製バッグ流行
1936	◇スペイン内乱(～1939)		◆「装苑」「スタイル」が創刊
	◆二・二六事件		ロングスカート流行
	◆日独防共協定成立		
1937	◆日中戦争勃発、南京占領	◇バレンシアガ、パリにメゾンを開店、以後構築的な衣服を制作	
	◆統制三法成立	◇「マリー・クレール」誌創刊	
		◇ファット、パリにメゾンを開店	
1938	◆国家総動員法成立、勤労動員始まる		
1939	◇第二次世界大戦(～1945)		
	◆日米通商条約廃棄		
	◆NHK国産テレビ実験放送		
1940	◇ナチス・ドイツ、パリを占領	◇戦争の影響でパリのオートクチュールのメゾンが閉店や規模縮小	◆「贅沢は敵だ」の立て看板出現
	◆奢侈品等製造販売規則公布	◇肩を強調したミリタリー調のファッションが流行	
	◆日独伊三国同盟調印	◇マッカーデル、アメリカ独自のスポーツウエアを既製品で発表	
	◆大政翼賛会発足	◇ナイロンストッキングが生産開始	
1941	◇日ソ中立条約成立		◆国民服の制定
	◆米英日資産凍結		
	◆太平洋戦争開始		
	◆第一次雑誌統制で美術雑誌統合		

第二期は昭和初期である。図 7 と図 8 を比較した際、第二期は洋裁関連記事数に対して、お直し記事数が少ないこと、特に第二期の初期で「お直し」が少ないことが分かる。これは、「男洋服をどうして経済的に作るか」1927(昭和 2)21 巻 5 号において、「男子の服装は、和服ならば表生地から裏地、綿などに至る迄奥様がお見立てになり、ご自分で建って縫う方が多いですが、洋服の方はほとんど御主人が洋服屋と相談してお決めになるのが普通のようになっております。これは未だ奥様が男子服については十分な理解を持っていらっしゃるからで、わずかばかりの用件でも一々洋服屋を呼びよせて云いつけています」のように、洋服の作り方・縫い方を「紹介」し、普及を目的とした記事が多かったためである。「毛糸はなぜ安くなったのか」1937(昭和 12)年 21 巻 3 号では「それを編んだ母の愛は勿論のことであるが、どこの誰やはっきりとは知らぬにせよ、羊を飼い育て、毛を切り、紡績所に送られてからは、多数の徐行の手にかかって糸となり、船で運ばれて、需要者の手に入るまでには、幾多の人々の苦心がこもっているのはいふまでもないことです。それらの人々が、生活のために注ぐ血と涙とは、私どもを温めてくれる毛糸のうちにも含まれているのだということを、私どもは忘れてはならぬはずだと思います」のように原材料、服に対して慈しむ気持ちが表れている。

また、「和服から洋服へ」1931(昭和 6)年 25 巻 12 号では、「中流婦人の服装の合理化、それはいうまでもなく、あなたが直ちに洋服生活をおはじめになることです」と述べられている。また、「市長の娘の名に縛られず呉服屋の洋服部に勤める丸山さん」1932(昭和 7 年)26 巻 4 号では、「新しい時代を考えるとどうしてもこれからは洋服でなければならないと思うようになった」また、「衣服費の換算会議」1933(昭和 8)年 27 巻 12 号においては、「もちろん下着からすっかり入れての計算ですが、道子の一年分の衣服費より一度の和服の方が高いわけで、今更洋服の有難さを感じたのでした」と述べられている。「和服の場合は、解いたり、洗張りしたり、仕立てたりと、季節の変わり目ごとに大仕事であった」と、あるように、合理化を目指す『婦人之友』は洋服の普及を勧めていた。また、世間の動きとしても、衣生活においては、一部を除き依然として伝統的な和服中心の生活が続いていたが、1920 年代に入り、社会的な変化により近代化や合理化が叫ばれ、生活改善運動が盛んになった。経済的で機能的な洋服の普及が急務とされ、政府主導の背活改善運動がすすめられていった¹⁾。吉野作造、有島武朗らと森本厚吉が「文化生活研究会」を設立し、生活改善運動をはじめている。森本は、女性の家事を生産的労働であるとみていた。

「男子のみを生産者というのは真ではない。婦人は単に産業及び職業的生活に従事するのみならず家庭に於いてさえ厳格な意義で富の生産者という事が出来る」と述べている²⁾。こうした生活改良の提案の基本のひとつとして、羽仁もと子は「清潔な生活」を標語にしていた。「よき生活の第一歩は、清潔である。個人の清潔、家庭の清潔、各団体の清潔は社会の美を創造する」と羽仁は述べている²⁾。

『婦人之友』が衣服の合理化を勧めたことは、パタン②【和服→洋服】が多いことから読み取れる。②【和服→洋服】が多くなる理由として、「持ち合わせの和服からこんなハイカラな洋服が出来ます」1934(昭和 9)年 28 巻 5 号において、「大脇さんは前にもっていた和服を大変上手に利用してハイカラな洋服にしていっしょる。この間はたった一晚のうちに黒縮緬の羽織で

立派な喪服をお作りになった。和服も工夫すればこんなにハイカラに作りかへることが出来るのです。誰方も黒い羽織はもっていらっしやいませうから、まづそれから仕立ててごらんになっては如何でせうか」と掲載されているように手元にある和服を洋服に「お直し」することが、洋装化への近道としている。また、和服を「お直し」するもう一つの理由として、既製服がまだまだ出回っておらず、自分たちで洋服を作ること、数少ない既製服も値段がまだ高く、始末が悪いことが挙げられる。既製服の始末が悪いことは、「ライトドレス」1934(昭和9)26巻8号より「出来合服を上手にきる工夫は、ちょっと手を入れて自分の体のくせに直すことね」からも読み取れる。1934年頃からパタン①【大人服→子供服】が現れる。ここにはただ単に「お直し」というだけではなく、「新入学の子どもへお母様からのプレゼント」1936(昭和11)年30巻4号の記事内容「心をこめて作ったものはきっと大切にいつまでも使うでしょうし、長くたのしい記憶となりましょう。」や、「新入学の服装をこうして揃えましょう」1939(昭和14)年33巻3号の記事内容「純子さんも洋子さんの服もみんなお母様や叔母様の古い服を作りかえたのです。叔母様の青いワンピースのよいところだけ取って作った純子ちゃんにはこんなによく似合います。お母様のお古の紺ジャージのワンピースです」,「冬の子どもの毛糸あみもの」1934(昭和9)年28巻2号の記事内容「どんなにでも可愛いものを母親の手で作ってやれることです。この特色を捨てては毛糸編物の軽げなあたかげな様子も決して生きてはこないのでしょう」のように、母の愛情や「お直し」を楽しむ気持ちが読み取れる。

また、1937年頃からはお直し記事が増えていることが分かる。この頃になると、洋服もある程度認識され、洋服の作り方を紹介する記事以外の記事が掲載されるようになる。

また、この時代の家庭に存在した「女中」に注目する。「女中」をなくそうとする動きである「女中払底」は大正から昭和にかけての新聞や雑誌で、ひんばんにとりあげられたテーマのひとつである。「女中払底」の事実はすでに20世紀初頭からみられたが、その傾向は大正期に入ると加速し、第一次世界大戦後には社会問題化した³⁾。家庭と共に誕生した専業主婦は、家内の清潔と整頓とを常に心がけながら、育児、招客、料理、裁縫、洗濯、掃除、等々からなる家事をまかないきれず「女中」の助けを必要とした。「女中」は単なる下働きの下女ではなく家事見習いで、主婦はその教師としての役割を果たしていた⁴⁾。『婦人之友』では「便利な洗濯の設計」(1917年)と題して懸賞募集を行った設計条件には「主婦や女中の能率の上に非常に利益がある」「子供たちも肌着類など、苦なしにめいめい洗うことができる」があげられており、便利さを追求することで、洗濯という家事の負担を軽減させようとする意図がうかがえる。このように「女中」はこの時代の家庭において大きなキーワードである。また、1920年代後半から30年代にかけて日本は、恐慌の嵐が吹き荒れ、深刻な不況による社会不安が社会をおおった時代であった。解雇、賃金カット、就職難。全国いたるところに失業者があふれ、自殺や親子心中が急増した。農村では不況で女工が次々と帰されたため、女中志願者が二～三年のうちに三倍も増加した⁵⁾という。不安定な社会情勢を反映して、必要最低限の生活を守るために、家事においてはとくに保険・衛生が重視されたようである。このことが原因となり、『婦人之友』においても1939年以降『節約』を目的と

した「お直し」が登場していることが読み取れる。

その中で、失業・貧困対策事業の一環として、洋裁講習会があった⁶⁾。たとえば次のようなものがある。

表 4-11 失業・貧困対策の洋裁講習会

開催日	開催地	内容
1933年2月	宮城県	凶作地帯の家庭に被服部分品の縫製仕事を与え、収入を得させる目的で、宮城県陸軍被服縫工講習会開催。150人の婦人参加
1933年6月	愛知県	低所得家庭婦人の内職に、名古屋市社会事業課がミシン洋裁講習会を開催。
1933年9月	富山県	家庭婦女子の副業に、富山県工業会富山部会がミシン裁縫普及を企画。
1933年10月	大阪府	無産婦人の副業として、堺市社会事業協会が堺授産場ミシン講習会を開催。講習は無料で託児所も用意された。
1934年1月	大阪府	風水害による失業救済の一環として、婦人50人を対象に、大阪府社会課がミシン洋裁講習会を開催。ミシン使用法から洋裁一切を講習し、終了者全員に自宅内職の補助と就職斡旋を行う。
1939年10月	大阪府	高槻愛国婦人会主催、愛国婦人会大阪支部後援の出征勇士遺家族ミシン講習会を開催。受講者は75名、期間は三か月、託児所を特設して、子供は無料で預かる。

このように、洋裁講習は家庭婦人の収入の道として推進されてゆく。しかしこれらの講習内容は、多くが既製服工場の下請け・内職向けで、この手の洋裁では一部分を縫う部分縫いか、同一作業の繰り返しの賃労働であり、洋裁全般を低賃金に引っ張る可能性も大きかった。戦中・戦後は、この流れで授産場や職業補導所が登場してくる。また、1940年に誕生したナイロンスッキングにも第三期以降注目していく。

また、『婦人之友』におけるこの時代の特徴的な記事を以下にまとめていく。

「全国十九都市女性服装調査報告」1937(昭和12)年31巻6号において、全国19都市女性の服装調査報告友の会会員の協力で二万六千二人の女性の服装一斉調査を行った。その結果、婦人の洋装26%、和装74%という結果が出た。つまり、1937年において、既に女性の四分の一は洋服となっていた。洋服のスタイルについても普通、流行服、不調和なスタイルという項を設けて調査しており、普通79.4%、流行スタイル6.8%、不調和な洋装6.2%、支那服、朝鮮服7.8%という結果が出た。キリキリとした洋服姿は少なく、ダラダラした歩き方、疲れたような腰つき、足並みの揃わない雑然とした歩き方が多いようであった。洋服の方がよくても持ち物や帽子については行きあたりばったりで工夫に乏しく、洗濯が行き届いていないのでさっぱりしていないようであった。婦人に対し、子供の洋装は91%と非常に高い。その理由として、子供服は各地のデパートで安く買えることが挙げられている。この記事において、「習慣に囚われていつまでも重い服装で非効率な生活をしたり、流行に追われて不調和不経済デコデコの洋服を着たりするのでなく、母として主婦として娘として生活に即した合理的な服装をしたいと思います」と述べられている。ここからも、『婦人之友』がいかに服装の洋装化を勧めていたかが読み取れる。

全國十九都市

女性服裝調查報告



五月一日土曜日午後三時より四時まで一せいに、全國十九都市に於て各地友の會々員の方々の努力によつて、二萬六千二人の女性について服裝の調査が行はれました。

すべての女性が身輕なさつぱりしたそして趣味のある服裝をしたいといふことは婦人之友の長い間の主張でありました。習慣に囚はれていつまでも重い服裝で非能率的な生活をしたり、流行に追はれて不調和不經濟デコゝの洋服を着たりするのでなく、母として主婦として娘として生活に即した合理的な服裝をしたいと思ひます。

調査項目、調査方法等については、今和次郎氏に指導していただきました。氏も自覺をもつた女性たちが、みづから女性の服裝について調査してみることが面白い計劃であると深く期待して下さいました。こゝに全國統計並びに各地の詳しい状況を見ることが出来ました。

図 4-35 「全國十九都市女性服裝調查報告」 1937(昭和 12)年 31 卷 6 号

(2)第三期：戦中(1942 年～1945 年)

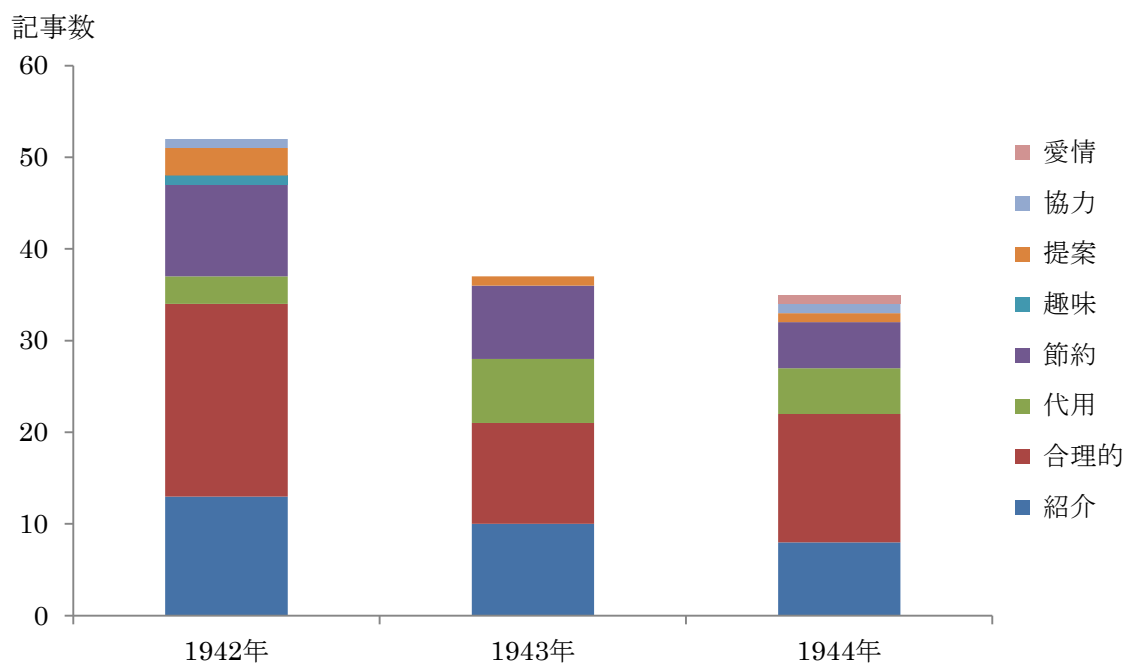


図 4-36 第三期洋裁関連記事「目的」クロス集計



図 4-37 第三期お直し記事「目的」集計

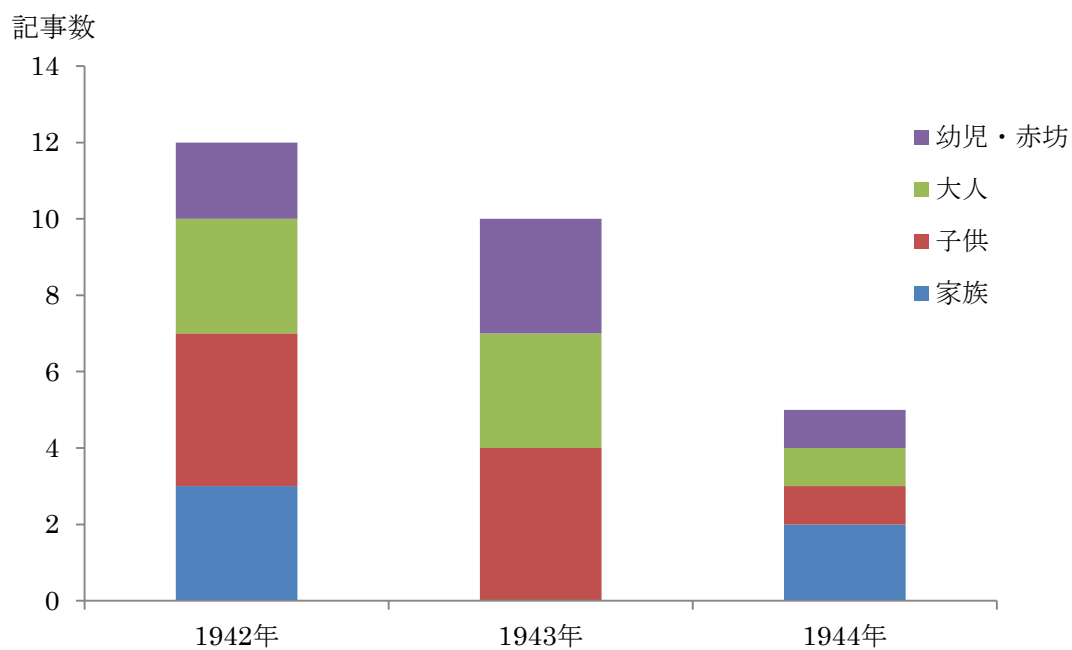


図 4-38 第三期お直し記事「対象者」集計

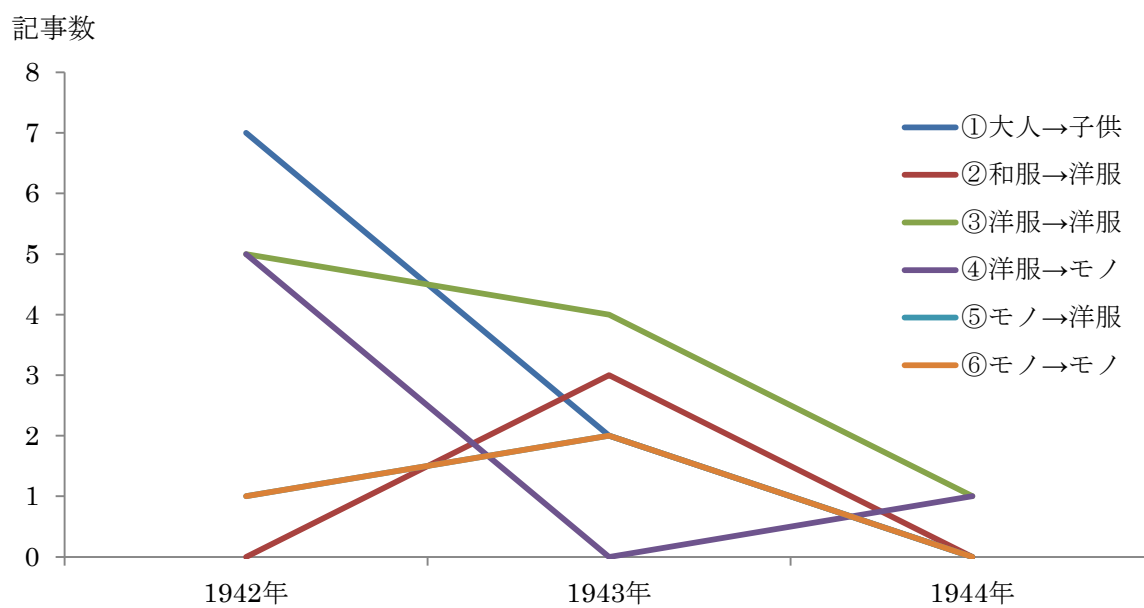


図 4-39 第三期「お直し」パターン

表 4-12 第三期ファッション動向

第三期	1942	◆金属回収令公布	◇イギリスでロンドンファッションデザイナー連盟が発足し、「ユーティリティ・ガーメント」を選定	◆「欲しがりません勝つまでは」流行
		◆大東亜戦争博覧会(南京)開催		◆衣料が切符制となる
		◆閩門海底トンネル開通		
	1943	◇イタリア無条件降伏		◆防空服
		◆ガダルカナル島撤退		
		◆軍需省設置		
		◆ポスター「打って止めむ」配布		
	1944	◆学徒軍事教育強化方策決定		
		◆学徒集団疎開実施		
	1945	◇国際連合成立	◇「エル」誌創刊	◆軍服、復員服、モンペ姿が大半
		◆原爆投下	◇「テアトル・ドラ・モード」が開催され、パリのファッションが復活	◆闇市出現
		◆ポツダム宣言受諾(第二次世界大戦終結)	◇ビエール・バルマン、パリにメゾンを開店	◆ストリートガールの登場
		◆戦争復興院設置		

「お直し」記事は戦中である第三期に最も多い。戦争末期の女性雑誌には、緊迫した戦況を反映して「決戦非常食」「決戦粉」など決戦という言葉がひんぱんに登場し、代用品の工夫や廃物の利用、食用になる草や虫の見分け方など、最低限の生活を守るためのさまざまな知恵が紹介されている⁷⁾。『婦人之友』においても「切符制になって一層重要になる衣類整理」1942(昭和17)年36巻3号や、「繕ひもの読本」1944(昭和19)年38巻2号で、「今年こそ志を新たにし、衣類は一切新調せずにすませなくてはなりません。そのためには、今持っているものを上手につくろって長持ちさせることがなによりも大事です」と記載されている。

1937(昭和12)年、日中戦争が始まると政府は戦争遂行のため、「モノとカネ」に対して統制を行い、企業は自由な生産販売や価格の設定も制限されてしまう。さらに戦争の長期化に伴い、人々の消費に対しても統制が行われ、配給切符・通帳を持たずに物品を購入することができなかった。⁸⁾以上のように第三期は戦争の影響でモノ不足であり、手元にあるものを最大限に生かす「お直し」(6パターン全て)が活発に行われていた。そのことは、他の時代よりも洋裁関連記事のうち、お直し記事数の割合が高いことから読み取れる。その結果、配給品からの「お直し」も多数見られた。

また、「主婦の手で出来る背広服の修理」1944(昭和19)年38巻7号には、「なほしは洋服屋の手をまたなくてはならないものとされていた背広服の修理も、近頃はほとんど洋服屋で引き受けてくれず家庭で修理をしなくてはならない時代になりました」と記載されている。「銃後を守れ」というかけ声のもとで生活のゆとりの部分は剥ぎ落され、主婦は、最低限の物資を最大限に活かす努力を生活刷新の実践として強いられた。その風潮が国全体にシフトするなか、雇用など贅沢という風潮が強まる⁹⁾。軍需産業への動員もあって、国民服・モンペ以外の服装は贅沢であるため、洋服屋で「お直し」を引き受けてもらえなかったのである。そのため、「背広を国民服に」1944(昭和19)年38巻9号では、「この時代に新調することが困難となった国民服を古い背広を仕立て直して仕立てることを誌上講習いたします」のように国民服の作り方も掲載されていた。以上から第三期において、家庭での「お直し」の技術が必需であったと言える。

第三期のお直し記事は「節約」を目的とした記事も多い。石田は「物価が高騰するなかで家計管理の重要性が女性に説かれた。そこでは、いかに節約を行うかという記事とともに、『節約』や『儉約』は女性に元来備わった能力の一つとしてみなされるようになっている¹⁰⁾」と述べている。

「三つに分類して暮らす衣生活」1944(昭和19)年38巻8号では、「あってもなくてもよい使い道の少ない衣類を徹底的に整理して、今着ているもの、季節外のもの、補修材料としてとっておくものの三つに分け、それ以外は今わがやに必要な予備の衣類として区別しておき、不用品交換を通じ、より必要な人の手に渡すとともに、非常の場合、衣類をなくした人誰にでもすぐ譲ってあげることにします。」や、「協力によって出来た赤坊衣類一揃いの用意」1943(昭和18)年37巻10号では、「親しいお友達や隣組の美しい協力によって、このような衣類一揃いの用意ができました。いらなくなったものを譲っていただく、そして自分も人に譲ってあげられるように大切に着せ、傷まないものは次から次へと譲っていくようにしましょう」といった「協力」が見られるのも特徴である。この当時のことを日本女性生活史において「当時、既製品はほとんど出回っておらず、主婦の必須の家事能力のうちに入っていた。幼児がいたり家族人数が多くてそこまで手が回らないときという場合は、近くの主婦に依頼することもあった。当時洋裁や和裁の巧みな主婦は、内職として仕立てるものを受ける場合がしばしばあった」¹¹⁾と述べられている。今日では、家族の衣服を縫うといえ、洋裁がよっぽど好きであるか、洋裁の能力が巧みであるか、あるいは洋裁が趣味であるかという場合に限られるが、この当時は、洋裁が主婦の必須の家事の力であり、洋服の作成・お直しを近所同士に依頼し合う「協力」が当たり前であった。

また、「衣類を簡素にして真物の寿命を知る」1942(昭和17)年36巻3号の中で「少ない持ち物で暮らしていると品物の寿命がよく分かるようになって、安心して予定生活ができることが、本当に有難いと思っています」と述べているように、婦人たちは物資がないことをマイナスにとらえるのではなく、プラスにとらえていることが読み取れる。

第三期では、「下着」に着目する。「洋裁下着の普及とはまったく別のケースで、今までの「着物に和装下着」という伝統スタイルが崩されつつあった経緯も無視できない。前述したとおり、それは戦争の開始による物資不足・衣服の簡素化である¹²⁾」とあるように、戦時体制の日本において、着物は適さないため、女性たちはモンペやズボンでの生活を強いられ、それに伴い、下着もパンツスタイルの下穿きや股引などが着用されるようになった。「洋風裁縫も短い時間に効率的に温かい子供の下着」1944(昭和19)年38巻2号のような下着に関する記事が『婦人之友』においても掲載されている。このような下着を身に付けた経験のある人々にとって、洋装下着は以前ほど抵抗がなくなったはずである。つまり、戦争も洋装下着の普及の土台をつくったとみることが出来る。

(3)第四期：戦後(1946 年～1951 年)

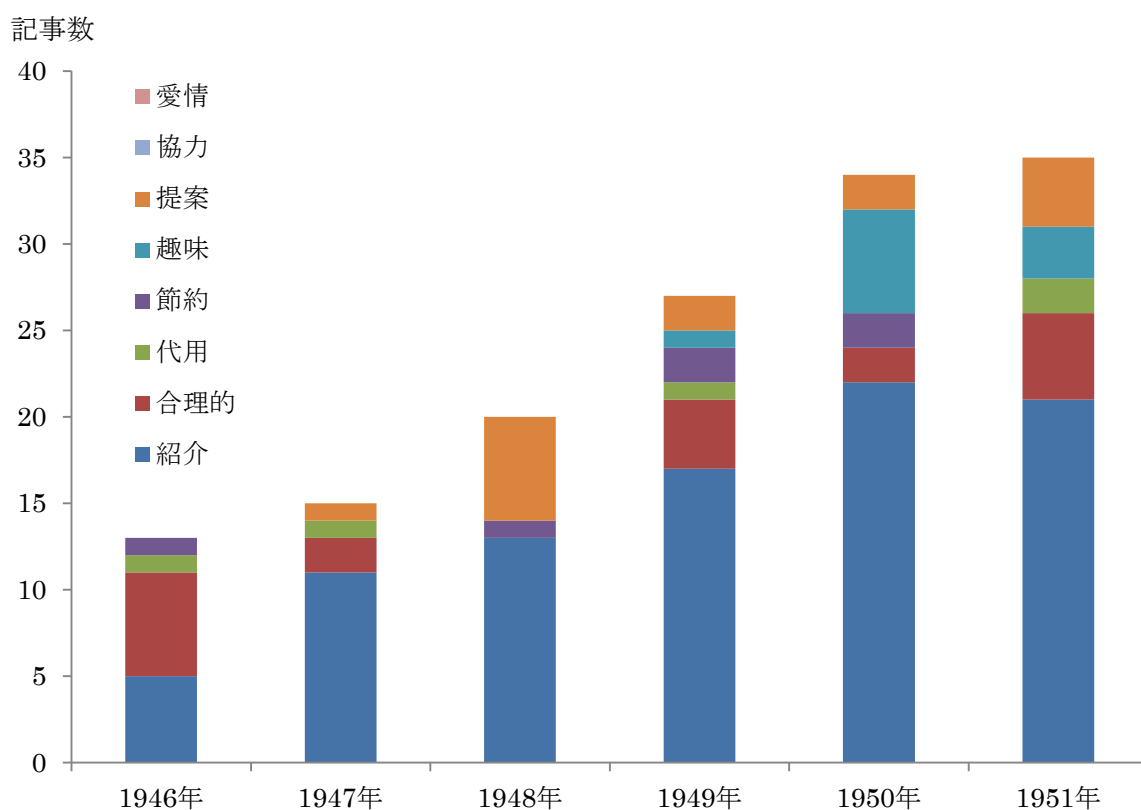


図 4-40 第四期洋裁関連記事「目的」集計

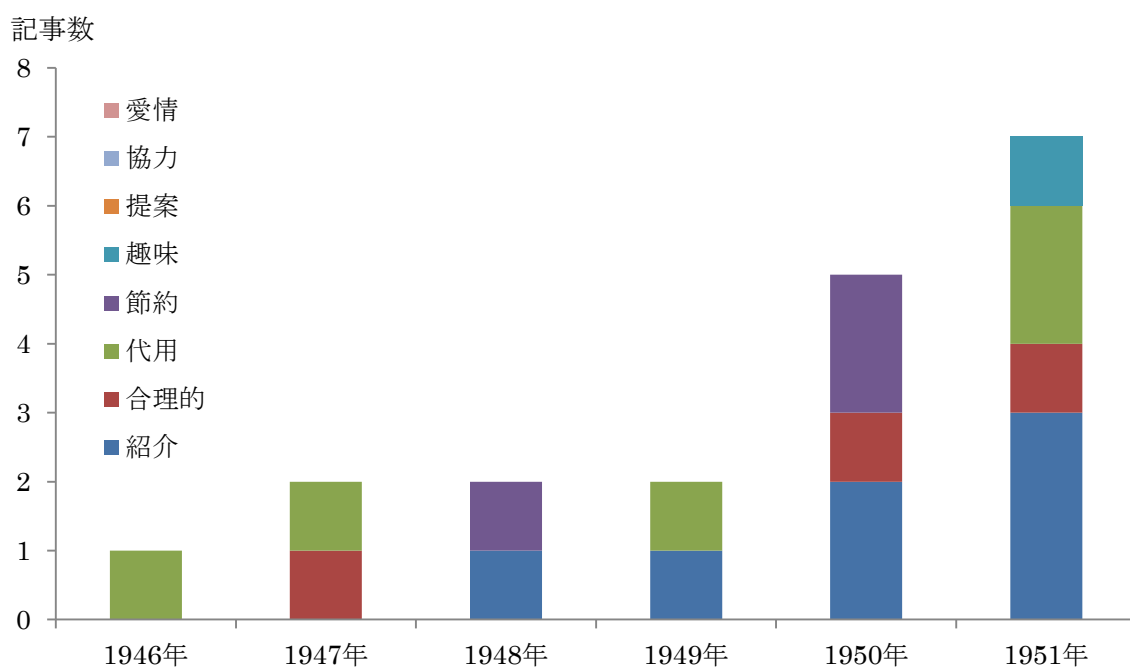


図 4-41 第四期お直し記事「目的」集計

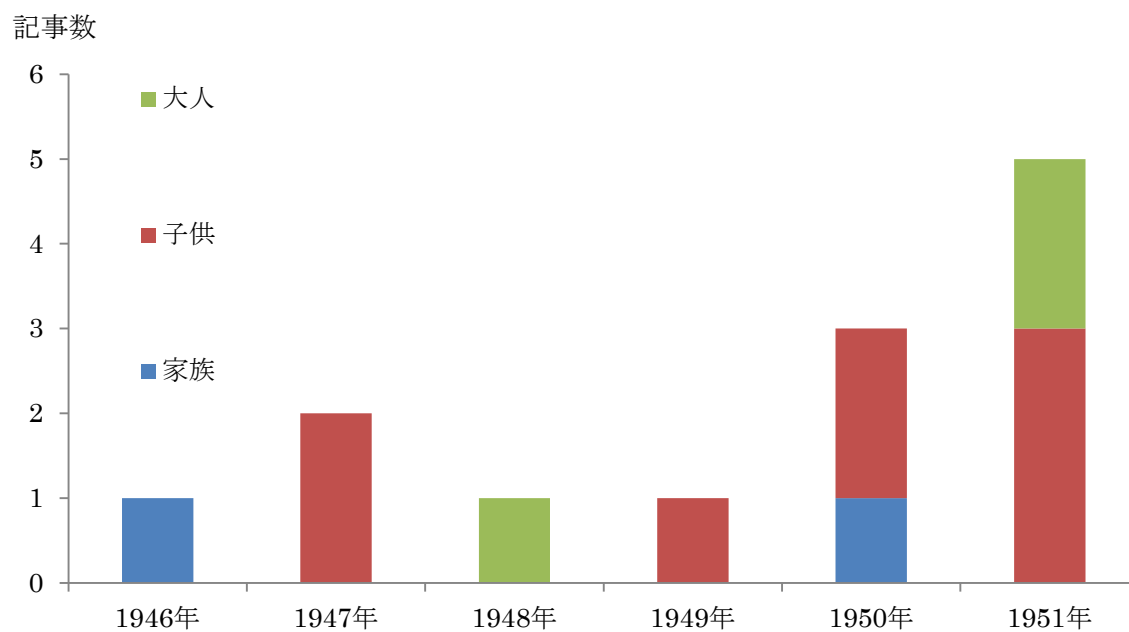


図 4-42 第四期お直し記事「対象者」集計

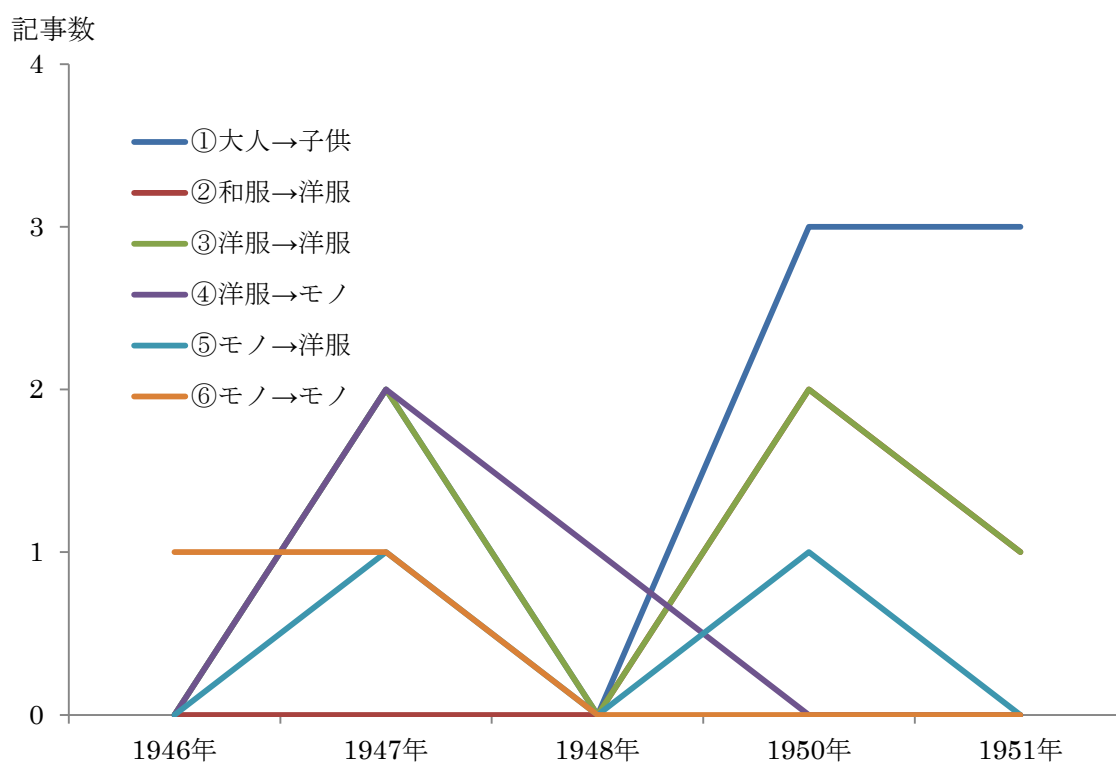


図 4-43 第四期「お直し」パターン

表 4-13 第四期ファッション動向

第四期	1946	◆極東軍事裁判(～1984)	◇ツープース型の水着「ビキニ」誕生	◆「装苑」復刊、スタイルブック「それいゆ」創刊
		◆婦人参政権による衆議院選挙	◇ディオール、パリにメゾンを開店	◆パンパンスタイル
		◆日本国憲法公布		
	1947	◆教育基本法公布	◇ディオール、初コレクションで「ニュー・ルック」発表、以後優雅で懐古的なファッションが流行	◆更生服(現リサイクル服)急増
		◆貿易再開	◇ブッチ、スキーウエアが「ハイパース・バザー」誌に掲載	◆アプレ族の出現
		◆アメリカ生活文化展開催		
	1948		◇ロングスカートが世界的に流行	◆日本百貨店協会設立
				◆「ニュー・ルック」の影響でロングの落下傘スカートが流行
				◆アロハ、リーゼントの流行
	1949	◆新制大学制度実施		◆日本デザイナークラブが第一回ファッションショーを開催
				◆洋裁雑誌「ドレスメイキング」創刊
				◆アメリカンスタイル全盛期
	1950	◇朝鮮動乱	◇ポリエステルが生産開始	◆ボブヘアの流行
		◆糸へん景気起こる		◆「男子専科」創刊
				◆糸へん景気
	1951	◆日米安保平和条約調印	◆森英恵、スタジオを設立	◆ナイロンストッキング登場
		◆公団住宅法公布		

第四期は、戦後まもない時期である。「洋服を着たくても既製服が発達していない当時は、自分で作るか、作れる人に頼むしかない。物資不足で満足に布が手に入らなかった時代でもあったから人々は手持ちの和服を更生するなど、それぞれに工夫しながら洋服作りにいそしんだ」¹³⁾、「戦争によって衣服が底をついてしまったため、戦争は終わったが着る物が無い。しかし戦前の着物にはもはや戻れなかった。これには二つの理由があって、ひとつはまだ生地が極端に不足していたこと、もうひとつは活動的な衣服が求められたことである」¹⁴⁾のように、衣服が不足していた当時、洋裁の技術を身に付けることが女性にとって必需であり、ステータスであったことが分かる。「1947年(昭和22)年に改正公布された新民法は、憲法第24条「家庭生活における個人の尊厳と両性の平等」の思想のもとに、家の語を排して、男女同権、両性の合意で成立する夫婦単位の制度になった。戦前に引き続いて戦後も女性の職場進出が進んだものの限られたもので、男は職場で女は家庭の家父長制的家族像は依然として強固に残った」¹⁵⁾とあるように、主婦が家庭を守ることは、この時代当たり前に義務付けられていたことである。

また、「洋裁のどこにメリットを感じたか、回答者の半数が、和裁より有望な技術をあげている。残り半数は、古い衣類の縫い直しや子供や自分の服を縫う目的から始め、人のものも縫うようになる。当初は入る収入を目指したのではなく、出る出費を抑え、物資不足への自己防衛にあった」¹⁶⁾というように、洋裁の技術を身に付ける事は、家庭を守ることと直結していたと言えよう。洋服の縫い賃と一般賃金を比較したデータ¹⁷⁾によると、1951年の、家計補助一例がオーバーコートを9500円としている。同年の公務員初任給は一月で5500円、10月で6500円であり、オーバーコートを縫った収入は公務員初任給を超えていたことになる。

その時代背景の中、『婦人之友』誌上ではパターン②【和服→洋服】が見られない。これは『婦人之友』が中流階級の婦人を対象とした雑誌であるため、第四期では、ある程度洋服に変化していたためと考えられる。

1949年～1951年においてパターン①「大人服→子供服」が多くみられる。『婦人之友』1949(昭和24)年41巻7号「下着をととのえましょう」では、「既製服は値段が高だけでなく始末が悪い」と言われ、服は作るものという考えと、言葉と服装は人柄を形成する。子供には幼い時からよい服装をさせたい¹⁸⁾という母の思いが読み取れる。また、1951年において「趣味」を目的とした記事が出現し、ここから戦後復興の兆しを読み取れる。

(4)第五期：高度経済成長期(1952年～1972年)

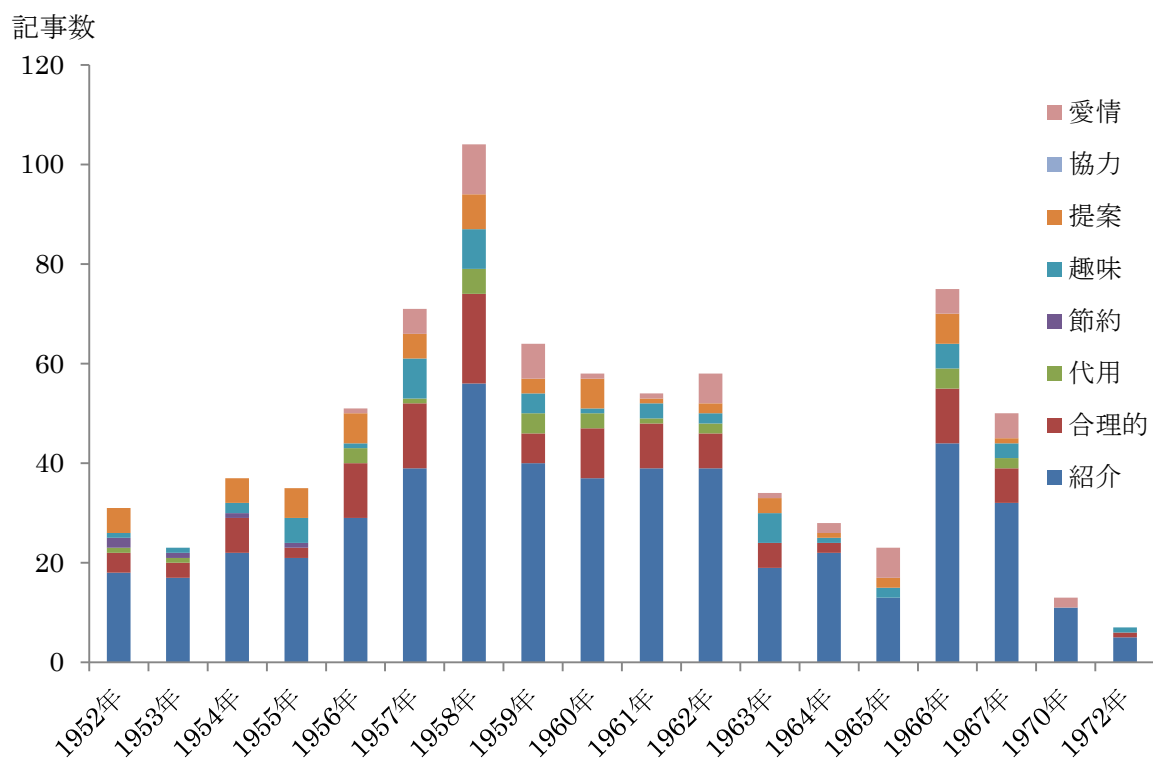


図 4-44 第五期洋裁関連記事「目的」集計

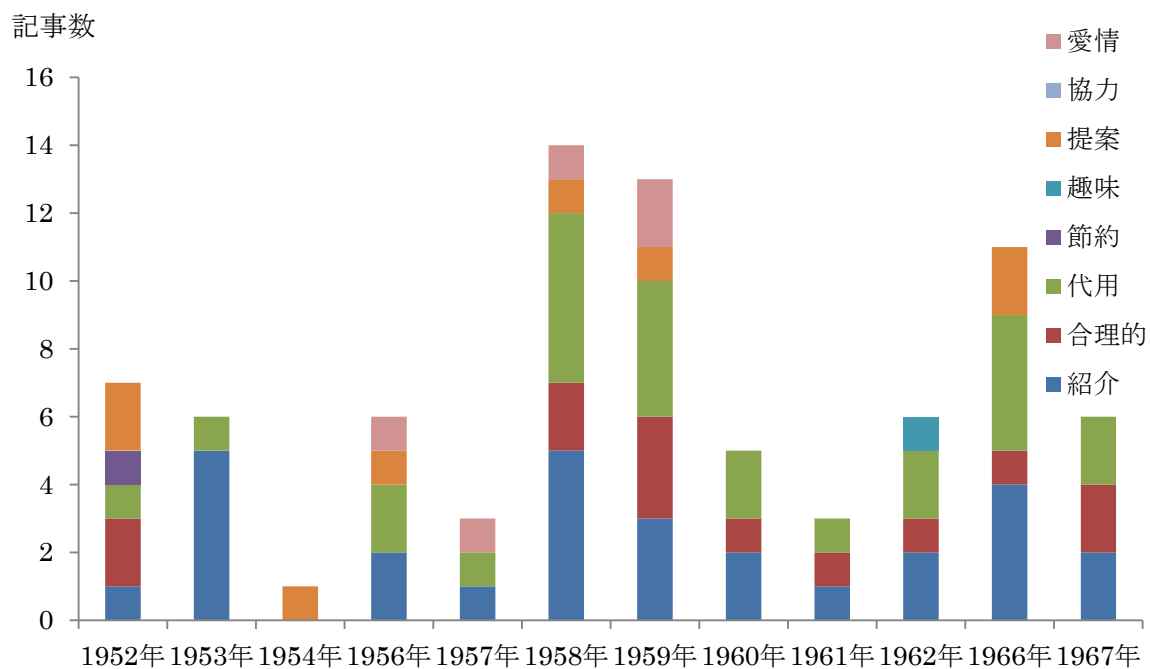


図 4-45 第五期お直し記事「目的」集計

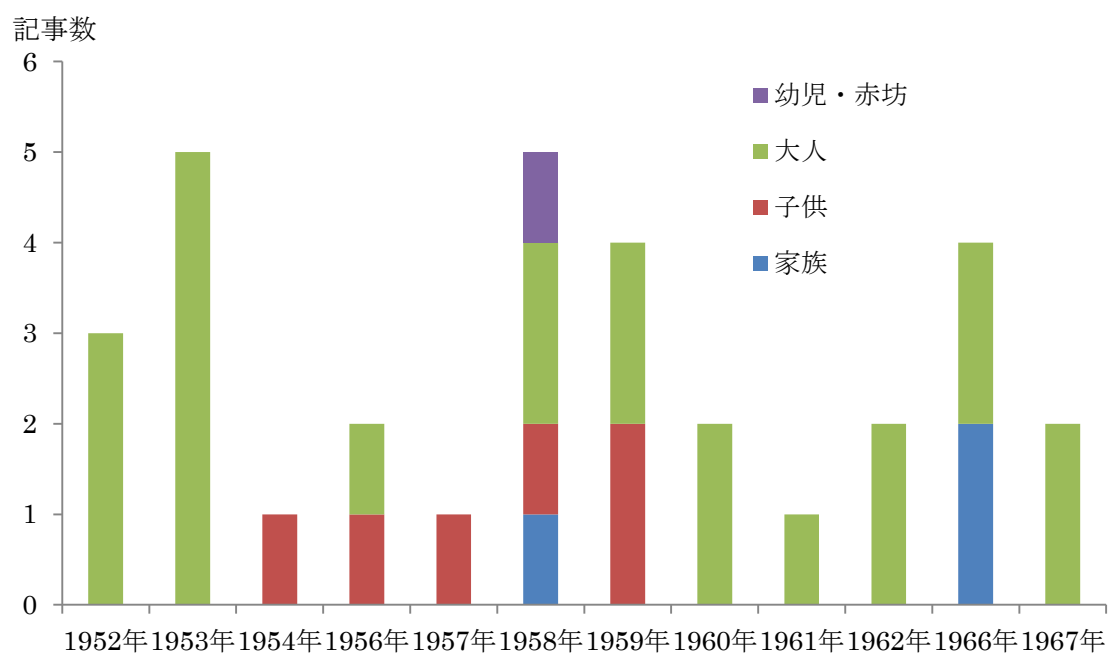


図 4-46 第五期お直し記事「対象者」集計

記事数

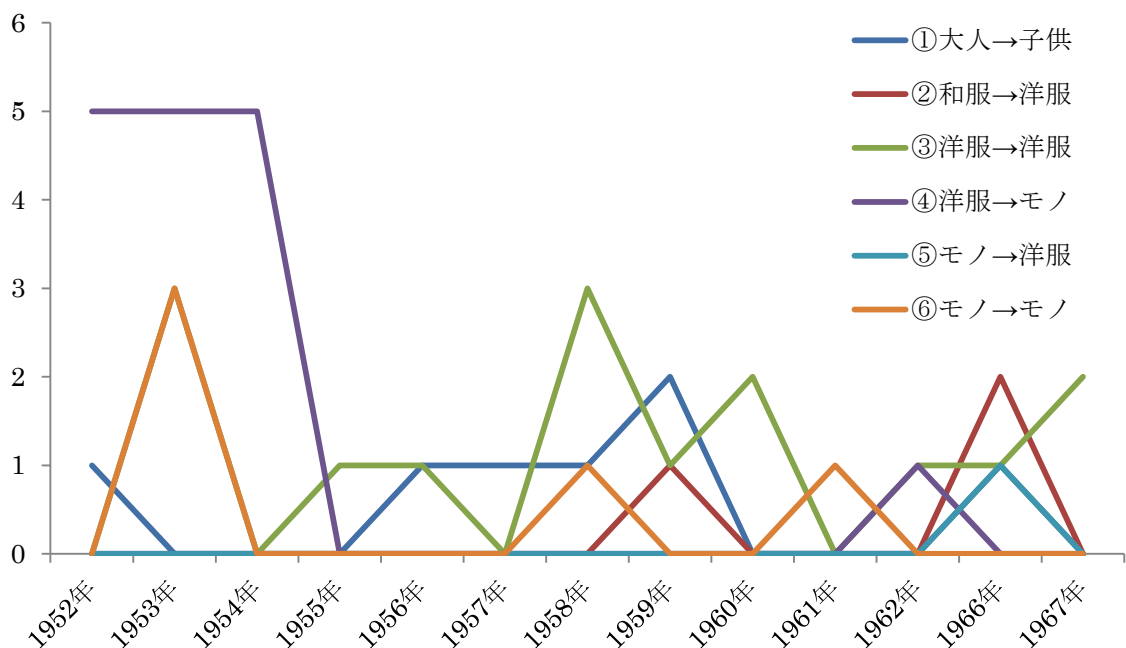


図 4-47 第五期「お直し」パターン

表 4-14 第五期ファッション動向

第五期	1952	◇朝鮮休戦協定調印	◇ジバンシー、メゾンを開店し、オードリー・ヘップバーンの衣装等を手がける	◆モデルクラブ結成(東京ファッションモデルクラブ)
		◆サンフランシスコ講和条約発効		
	1953	◆NHK、東京テレビ、テレビ放送開始	◇カルダン、初コレクションを発表	◆文化服装学園ディオール・のショーを開催
		◆国際電信電話設立		◆プリンスライン流行
				◆真知子巻き大流行
				◆伊藤絹子ミス◆ユニバース世界大会で第3位。『八頭身』が流行語に
	1954	◇アメリカがビキニ水爆実験実施	◇ディオール、Hラインを発表	◆ヘップバーンスタイル流行
		◆自衛隊法可決	◇シャネル、メゾンを再開ツイードで作られた「シャネル・スーツ」を発表	◆マリリンモンロー来日
				◆「男の服飾」(後のメンズクラブ)創刊
	1955	◆日本住宅公団、日本生産性本部設立	◇ディオール、Aラインを発表	◆マンボスタイル流行
		◆通産省「国民軍育成要綱案」発表	◇パレンジャガ、シンプルなシルエットの「チュニック・ドレス」を発表	◆ボニーテール流行
			◇マリー・クワント、ロンドンに「バザー」を開店	◆大丸、ディオールと提携
	1956	◆経済企画庁「経済白書」が「もはや戦後ではない」	◇フランスで第一回既製服展示会開催	◆「太陽族」旋風
		◆科学技術庁発足		◆第一次下着ブーム起る
		◆国際連合に加盟		
		◆神武景気		
	1957	◇ソ連、人工衛星スプートニク1号打ち上げに成功	◇サンローラン、ディオールのデザイナーに就任	◆カリブソスタイル
		◇ヨーロッパ経済共同体(ECC)条約調印	◇パレンジャガ、サックドレスを発表	◆イタリアンモード流行
		◆「なべ底景気」		◆主婦の店ダイエー設立
	1958	◆トウキョウタワー完成	◇サンローラン、身体を抽象的な形で表現した「トラペーズ・ライン」を発表	◆サックドレス流行
		◆草月会館開館		◆カミナリ族、ロカビリー族旋風
		◆意匠法改正		◆カルダン来日
	1959	◆首都高速道路公団設立	◇伸縮性繊維のスパンデックスが生産開始	◆Vネック流行
		◆岩戸景気	◇カルダン、オートクチュール組合メンバーとして初めてプレタポルテを発表	
		◆皇太子ご成婚		
		◆輸出品デザイン法公布		
	1960	◆日米安全保障条約調印、安保反対デモ全国的に高揚	◇カルダン、男性服のデザインを開始し、以後ユニセックスのファッションを発表	◆だっちゃん流行
		◆カラーテレビ放送開始	◇サンローラン、ディオール店でストリート感覚を持ったジャケットをデザインし、非難を浴びる	◆レジャーウェア流行
				◆ハイファッション創刊

第五期	1961	◇ベルリンの壁築かれる	◇サンローラン、独立してメゾンを開店	◆ムームー流行
		◇ソ連女人宇宙飛行成功		◆六本木族登場
		◆高度経済成長突入		◆シームレスストッキング出現
		◆日本消費者協会発足		
	1962	◇キューバ危機	◇マリリー・クワントがミニスカートを作り始める	◆ボーイッシュルック
		◆国産ジェット機「YS11」初飛行		◆ウィッグの流行
		◆カメラ生産世界一になる		
		◆貿易自由化始まる		
		◆糧米食品品質表示法施行		
	1963	◇ケネディ大統領暗殺	◇クレージュ、オートクチュールで「バンツルック」を発表	◆ニットスーツ
		◆新道路標識使用開始	◇バンティストッキングが発売	◆スーパーマーケット出店ブーム
	1964	◆東京オリンピック開催	◇ガーン・ライヒ、トップレス水着の「モノキニ」を発表	◆石津謙介VANで「アイビールック」提案
		◆東海道新幹線開業	◇カルダン、「スペース・エイジ」を発表	◆みゆき族全盛
			◆三宅一生、東京で初めてのコレクションを発表	
	1965	◇アメリカ空軍北ベトナム爆撃開始	◇クレージュ、オートクチュールでミニスカートを発表	◆ゴージャーズの流行
		◆経済企画庁に国民生活局新設	◇この頃、ミニスカートは世界的に大流行	◆バンティストッキング登場
		◆日韓基本条約調印、国交回復	◇サンローラン、「モンドリアン・ルック」を発表	◆ミニスカートが話題に
			◆森英恵、ニューヨークでコレクション、日本の柄を取り入れたデザインを海外で発表	
	1966	◇中国で文化大革命勃発	◇サンローラン、プレタポルテのブティック「サンローラン・リブ・ゴージュ」を若者の地域(セーヌ川左岸)に開店	◆モッズルック
		◆ビートルズ来日	◇サンローラン、男性の衣服を女性服に取り込んだ「スモッキング」を発表	◆フォークソングブーム
			◇パコ・ラバンス、プラスチックを使ったドレスを発表	
			◇ウォホル、ペーパードレスを制作	
			◇サンローラン、ポップ・アート・ルックを発表	
	1967	◇ヨーロッパ共同体(EC)発足	◇サンローラン、「サファリ・スーツ」を発表、パンツが女性のオフィシャル・ウエアとして定着	◆ツィギー来日
		◆いざなぎ景気		◆ヒッピールック出現
				◆レナウン「イエイエ」
	1968	◇フランスで5月革命	◇サンローラン、「シースルー・ルック」を発表	◆パンタロンスーツ
		◆日本で大学学園紛争激化	◇ソニア・リキエル、パリにプレタポルテのブティックを開店、ニットウエアが目目される	◆タートルネック流行
		◆文化庁発足	◇ヒッピー・ファッションが流行	◆スカート丈の多様化(マイクロミニからマキシまで)
		◆霞ヶ関ビル完成	◇この頃、ジーンズとTシャツが若者のユニホーム化	◆サイケ、ヒッピーファッション
		◆GNP世界第二位となる		◆厚底サンダル、ブーツが流行
				◆グループサウンズ全盛
	1969	◇アポロ11号人類初月面着陸成功	◆高田賢三、プレタポルテの「ジャングル・ジャップ」を開店、エスニックファッションが流行	◆シースルー・ルック、ベストスタイルの流行
		◇ウッドストック・フェスティバル		◆アンチTPO時代突入
		◆東大全共闘安田講堂占拠		◆Oh!モータレツ
	1970	◆大阪万国博覧会開催	◆高田賢三、「エル」誌の表紙に取り上げられる	◆ノーブラ流行
		◆公害問題表面化		◆レイヤードスタイル(重ね着ファッション)
		◆環境保護庁設置		◆編み上げロングブーツ
		◆新著作権法成立		◆つけまつげ、アイシャドー、アイライン
		◆ウーマンリブ運動全盛		◆「アンアン」創刊
		◆政府調査で国民の90%が中流意識		◆マニッシュメーカー急成長
	1971	◇ニクソン・ショック	◆三宅一生、ニューヨークで初コレクション	◆ジーンズが爆発的流行、ファッションのユニセックス化
		◆沖縄返還協定調印	◇ウエストウッド、「レット・イット・ロック」を開店、パンク・ファッションが流行	◆カラーストッキング流行
		◆繊維不況深刻化		◆ホットパンツ流行
		◆環境庁設置		◆「ノンノ」創刊
				◆スマイルバッジ流行
				◆ボーリングブーム
	1972	◇ローマクラブ「成長の限界」発表◇スペースシャトル計画開始	◆三宅一生、パリでコレクションを発表	◆パンダブーム
		◆札幌冬期オリンピック開催	◇ジャコリーヌ・ジャコブソン、シャンタル・トーマス、高田賢三の3人のジョイントのプレタ・ポルテ・コレクションが開催	◆アンノン族
		◆沖縄本土復帰		◆デザイナーズブランド出現
		◆田中角栄日本列島改造論		
		◆カラーテレビの受信者数が白黒テレビの契約数を上回る		

第五期は、高度経済成長期である。1956(昭和 31)年、経済企画庁は『経済白書』で国民総生産が戦前最高の水準に戻ったことから「もはや戦後ではない」と宣言するとともに、家計が国民経済に占める比重が増大し、国民の消費動向を知らなければ行政も企業も事業計画を立てられないと、『国民生活白書』を発行した¹⁹⁾。これに先立ち 1954 年には、家電メーカーは自ら「家電元年」を宣言。電気洗濯機、電気冷蔵庫、電気掃除機、のちに電気炊飯器、テレビの「家庭の三種の神器」に代表される耐久消費財が次々に大量生産された。

「服装調査 主婦と服装—愛読者九十四人の回答— この一年間に主婦はどれだけ新調したか 主婦の衣服費は あなたの家では誰の服に重点がおかれているか 主婦の洋服の好みとほしいものは 冠婚葬祭に和洋どちらを着るか」1956(昭和 31)年 50 巻 11 号において、

「新調したもののうち洋服 85%, 和服 15%いまや洋服全盛時代といえましょう。たべること、住まうことと共に、私たちは衣服についても健康的で合理的な計画をしたいと思ひます」というように洋服が浸透したため、②【和服→洋服】の記事はほぼ見られなくなる。しかし、全くなくなるわけではなく、少しみられる②【和服→洋服】には、昔の大切にしていた思い出の服を「お直し」する「愛情」がみられる。

第五期前半は、④【洋服→モノ】が最も多い。「ふとん一件分の持物 何枚あったらよいか、化繊の毛布、座布団の工夫」1957(昭和 32)年 51 巻 7 号において、「古くなった背広で、虫のついたところはアップリケをし、直径一尺のクッションにつくり、幼い頃の衾巻、セーターなど後世のきかない毛糸をときほぐして 160 勺ほど綿の代わりに入れてみました。同じような座布団も作ってしましたが、どちらもふわりとして心地よく部屋の一隅で、いきかえった布や毛糸がよろこんでいるようです」と記述されている。いかに「お直し」がモノに愛情を持って行っているものかが、「いきかえった布や毛糸がよろこんでいるよう」という表現から読み取れる。

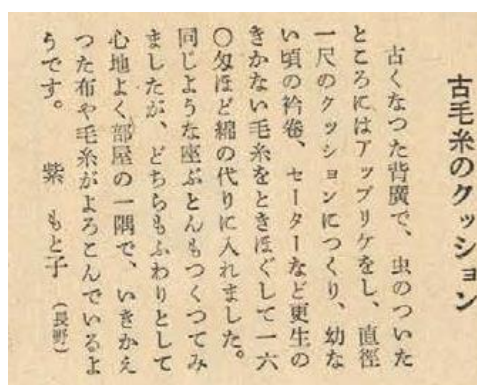


図 4-48 「ふとん一件分の持物何枚あったらよいか化繊の毛布座布団の工夫」

1957(昭和 32)年 51 巻 7 号

第五期前半は第四期に続き、手っ取り早く買える店があるわけではなかったのも、「洋裁」ができてミシンを持っている人たちに洋服作成の注文が殺到したそうである。そのような需要の状況のもとで、家庭内職として専業主婦に人気を得たのがミシンでの「洋裁」だった。小泉は、「なぜ洋裁学校がこれほど繁栄したのか。ひとつは「芸は身を助く」、 「洋裁知らぬは女の恥」で、従来は和裁が女性の教養として重要で、結婚して家庭に入るには必要な技術であった。二つ目は平和な時代の女性にとって洋裁技術習得はもっとも身近な夢となり、その望みを実現する最短コースが洋裁学校だった。三つ目は、差し迫った現実として、既製の服のない時代、誰かが家族の洋裁を縫わねばならず、縫える人がいなければ人に頼まねばならず、縫える人がいなければ人に頼まねばならなかった。頼まれるにしても洋裁技術をどこかで習わねばならなかった。こうした洋裁熱の二次的欲求として、ミシン需要も起こってくる」²⁰⁾と述べている。このように、この当時の女性たちにとっ

て、ミシンは憧れの的であり、洋裁技術習得は夢であった。これに伴い、昭和 30 年代になってミシンの生産は、都市部で普及率 75% という数字に達し、家庭洋裁はもちろんのこと、職業洋裁も一大隆盛期を迎え、洋服化が急速に進んだ。全国各地に見られた洋裁教室の乱立も丁度この頃である。

「夏の帽子」50 巻(1956 年)6 号において「ここに選んだ帽子は今年の流行を取り入れた、堅重で応用の広いものです」と記載されているように、流行やおしゃれといった記事が徐々に目立ち始める。これは戦後の復興への兆しであるといえよう。昭和 40～50 年代になると、洋服の本格化とともに、高度な技術力やデザイン力に力点が置かれ初め、既製服の普及が決定的な要因となって家庭洋裁や町の洋裁店はその任務を終えた。このような洋裁、あるいはミシンの盛衰を振り返ると、大規模な洋裁学校を筆頭に、終戦直後に手探りで洋裁に取り組んだ動き全体は、終戦後の厳しい生活環境に密着した形で衣服革命が展開したのだと思われる。昭和 30 年代から登場した既製服には、合成繊維の発展と大規模なアパレル産業の台頭が背景にある。

第五期中期～後期にかけて「お直し」自体の記述が少なくなる。特に 1963, 64, 68～72 年において洋裁関連記事は掲載されているが、「お直し」に関する記事が掲載されていない。つまり、安価で誰もが着やすい既製服が洋服の主要ジャンルとなっていき、出来たものを買うという現代の流れが生まれていることが読み取れる。

この時代背景を以下に詳しくみていく。

1960 年代は、日本が本格的に高度成長に乗り出した時期にあたる。都市化、サラリーマン化、核家族化などが進み、都市的なライフスタイルや価値観が社会のすみずみまで浸透していく。洗濯機・炊飯器・冷蔵庫をはじめとする家電製品の普及をはじめとする家庭製品の普及は、家事の処理方法を根底から変えるとともに、家事に対する女性たちの意識にも変化をもたらした。洗濯しながら掃除ができる。眠っている間にご飯が炊ける。まとめ買いができる。こうした目に見える効果は“ムダを省いた家事ほど望ましい”という意識を広め、女中にとって代わる家庭の電化を推し進めた²¹⁾。

また、1967(昭和 42)年出版の戦後のベストセラーで『戦後の家事秘訣集じょうずにサボる法』という本がある。この本は、炊事・洗濯・整理整頓などを合理的に手早くすませるアイディアを並べたものである。著者の犬養智子は、「あなたの貴重な時間を、洗っても洗っても尽きない、お皿やシャツや窓ガラスのために費やすのは、最小にとどめようではありませんか。家事をサボるといって、『女性から家事を取ったらなにが残る。』と避難する男性がいるかもしれません。この批判を恐れる必要はないと思います。家事は、あなたと家族が快適に暮らしていくための手段であって、決してあなたの生涯の目的ではないのですから。(中略)家事の重荷から解放されて、愉快でチャーミングなあなたになってください。家事をサボって浮いた時間は、あなたの好きに使いましょう」²²⁾と、「まえがき」のなかで述べている。この時代はサラリーマンが増え、その妻である大量の専業主婦が誕生し、核家族化が進んだ時代である。「家事を合理化して浮いた時間を自分のために使おう」という呼びか

けは、主婦たちの心をとらえたのである。1970年代に入ると、多くの主婦がパート就労、カルチャーセンター、ボランティアなど家庭外へも活動の範囲を広げていく。家事は軽減するのが望ましい、主婦は家事だけに専念しなくてよい。という家事観が実現したのである。

また、パンティストッキング(以下パンスト)について注目する。60年代末に急激な勢いで普及したパンストは、それまでのストッキングであれば、片方に穴があいても、もう一方が無事であるかぎり、捨てることには抵抗感があつた。パンストは違う。どちらか片方に穴が開けば、全体を捨てなければならない。モノがすべての用を失ったわけではないのに、あっさりと捨てることに人々が抵抗感を抱かなくなったのは、そのころからである。パンストは、その「履き心地」によって、女性の身ぶりや姿勢の変化をもたらしたが、それだけでなく、過剰消費主義にむけて、女性の内なる意識の「転向」をすすめたのである²³⁾。このように、パンストを1ダースも2ダースもまとめ買いし、惜し気もなく使い捨てる。そんな過剰消費がこの頃から始まったのである。

4-3 まとめと考察

本章では、『婦人之友』の記事内容を対象に、記事に表れた「お直し」の全体像を明らかにした。

4-3-1 時代別まとめ

(1)第二期：昭和初期

(第二期：昭和初期)は、服装の合理化を勧めるため、洋服を「紹介」する記事が多く、第二期の初期では「お直し」記事が少なかった。また服装の合理化という考え方から、和服から洋服への「お直し」が数多く掲載されていた。和服を洋服に「お直し」することは、この当時の女性たちがたくさん持っている和服を使わずに新しく洋服への移行することへの抵抗と、その不安を解消する意味でも適していた。技術面と工程に関しては、基本的な技術は習得していたため、詳しいことは説明していない。

(2)第三期：戦中

(第三期：戦中)は、戦争による物資不足のため、手元にあるものを最大限に生かす「お直し」が活躍していた。そのことは、「お直し」の「対象者」「目的」「パタン」全てから読み取ることができる。また、物資が少ないことを「モノが少ないから整理しやすい」と婦人たちは前向きにとらえていた。

(3)第四期：戦後

(第四期：戦後)は、戦争の影響から、衣服が底をついてしまった時代であった。そのため、「節約」「代用」を目的とした記事が多数掲載される。主婦が家庭を守ることが当たり前となり、洋裁の技術を身に付けることが女性にとって必需であり、ステータスとなる。そのため、基本的な技術よりもさらに詳しい技術が紹介され、工程数も第二期第三期に比べて

多い。また大人服から子供服への「お直し」が多く、いいものを着せたいという母の思いがある。

(4)第五期：高度経済成長期

(第五期：高度経済成長期)は、「大人」を対象とした記事が最も多く、「子供」を対象とした記事が最も少ない。また、技術において「編む」が最も多い。「愛情」を注いで編んでいたことが読み取れる。第五期になると第二期・第三期に比べ、基本的に持っている洋裁の知識が少ないことから、技術・工程数共に詳しく説明されている。

4-3-2『婦人之友』における「お直し」

「一つひとつの家庭がより良くなることが、社会をより良くすることである」を基本思想に持つ『婦人之友』は、「お直し」を前向きな姿勢でとらえていた。「お直し」したものに少し装飾を加えるひと手間や、思い出の品を新しいものへの「お直し」。また、「お直し」することで、さらにその品物に愛情を持ち、モノを大切にするという流れがうまれる。さらに、人に贈ることで、絆を築いていた。また、物資が少ない時代には、少ないことをマイナスにとらえるのではなく、逆に整理できて合理的に暮らせるととらえている。

このように、『婦人之友』は「お直し」を「手仕事の創造的価値」として高く評価し、衣生活におけるコミュニケーションとして大切にしていたのである。

【引用文献】

- 1)小林操子：大正～昭和初期における衣生活の近代化--婦人雑誌『主婦の友』衣生活関係記事と生活改善運動，戸板学園出版局，戸板女子短期大学研究年報(45),p.13 (2002)
- 2)婦人之友社：読者と共に歩んだ一世紀展 p.7
- 3)日本生活学会編：家庭生活の 100 年ドメス出版,p.247 (2003)
- 4)日本生活学会編：前掲書,p.25 (2003)
- 5)日本生活学会編：前掲書,p.252 (2003)
- 6)小泉和子：洋裁の時代 日本人の衣服革命，OM 出版,p.42 (2004)
- 7)日本生活学会編：前掲書,p.253 (2003)
- 8)女性誌総合研究会：日本女性生活史(5)現代,東京大学出版会,p.110 (1990)
- 9)日本生活学会編：家庭生活の 100 年ドメス出版,p.253 (2003)
- 10)石田あゆ：大正期婦人雑誌における女性・消費イメージの変遷『婦人世界』を中心に，京都社会学年報 9,p.66 (2001)
- 11)女性誌総合研究会：日本女性生活史(5)現代,東京大学出版会,p.50 (1990)
- 12)小泉和子：前掲書， p.121 (2004)
- 13)天野正子：モノと女の戦後史，有心堂,p.49 (1992)
- 14) 木村涼子：婦人雑誌の情報空間と女性大衆読者層の成立--近代日本における主婦役割の形成との関連で，思想(812), p.242 (1992)
- 15)日本生活学会編：家庭生活の 100 年ドメス出版,p.37 (2003)
- 16)小泉和子：前掲書， p.5 (2004)
- 17) 小泉和子：前掲書， p.57 (2004)
- 18)A 氏， 2012-11-15， ヒヤリング
- 19)日本生活学会編：家庭生活の 100 年ドメス出版,p.38 (2003)
- 20)小泉和子：前掲書， p.31 (2004)
- 21)日本生活学会編：家庭生活の 100 年ドメス出版,p.254 (2003)
- 22)戦後の家事秘訣集じょうずにサボる法・400,光文社,pp.4-5 (1967)
- 23)天野雅子・桜井厚：「モノと女」の戦後史 身体性・家庭性・社会性を軸に，有信堂高文社,p.9 (1992)

第五章 結論

5-1 各章のまとめ

第1章では、本研究の序章という形で、「お直し」の定義や取り巻く環境についてまとめた。大量生産・大量消費の現状もあるが、環境に配慮したファッションへの注目も徐々に高まってきている。環境へ配慮したファッションの中の一つの視点として「お直し」を取り上げ、「お直し」の全容を明らかにするため、長年に渡り発行され続けている雑誌『婦人之友』を分析対象として扱うことにした。既存の雑誌研究において、『婦人之友』は、羽仁と読者によって展開される良妻賢母思想、家庭観、身体観、住居観などの変遷を読み解く素材としての役割を果たしていることが明らかとなり、本研究の「お直し」という視点の解明に資するものであると示し、本研究の視点と目的を把握した。

第2章では、婦人・裁縫雑誌をまとめ、本研究対象の『婦人之友』がどのような位置付けにあったか、『婦人之友』の読者である「友の会」について整理した。その結果、『婦人之友』は、羽仁が示す“合理化”という視点のもと、生活環境を最適な方向へ導くために雑誌が編集されていること、その考えのもとに、「友の会」が存在することが確認できた。

第3章では、そこで、分析対象記事の選定方法と分類項目、時代区分、ヒアリングなど、本研究の具体的な分析方法について述べ、次章から雑誌分析を試みることを示した。

第4章では、雑誌『婦人之友』の記事タイトルを対象とした全体傾向分析から、記事内容を対象とした内容分析を試み、『婦人之友』は「お直し」を「手仕事の創造的価値」として高く評価し、衣生活におけるコミュニケーションとして大切にしていた。

5-2 『婦人之友』からみる「お直し」

5-2-1 「お直し」の変遷

(第二期：昭和初期)は、服装の合理化を勧めるため、洋服を「紹介」する記事が多く、第二期の初期では「お直し」記事が少なかった。また服装の合理化という考え方から、和服から洋服への「お直し」が数多く掲載されていた。和服を洋服に「お直し」することは、この当時の女性たちがたくさん持っている和服を使わずに新しく洋服への移行することへの抵抗と、その不安を解消する意味でも適していた。技術面と工程に関しては、基本的な技術は習得していたため、詳しいことは説明していない。

(第三期：戦中)は、戦争による物資不足のため、手元にあるものを最大限に生かす「お直し」が活躍していた。そのことは、「お直し」の「対象者」「目的」「パタン」全てから読み取ることができる。また、物資が少ないことを「モノが少ないから整理しやすい」と婦人たちは前向きにとらえていた。

(第四期：戦後)は、戦争の影響から、衣服が底をついてしまった時代であった。そのため、「節約」「代用」を目的とした記事が多数掲載される。主婦が家庭を守ることが当たり前と

なり、洋裁の技術を身に付けることが女性にとって必需であり、ステータスとなる。そのため、基本的な技術よりもさらに詳しい技術が紹介され、工程数も第二期第三期に比べて多い。また大人服から子供服への「お直し」が多く、いいものを着せたいという母の思いがある。

(第五期：高度経済成長期)は、「大人」を対象とした記事が最も多く、「子供」を対象とした記事が最も少ない。また、技術において「編む」が最も多い。「愛情」を注いで編んでいたことが読み取れる。第五期になると第二期・第三期に比べ、基本的に持っている洋裁の知識が少ないことから、技術・工程数共に詳しく説明されている。

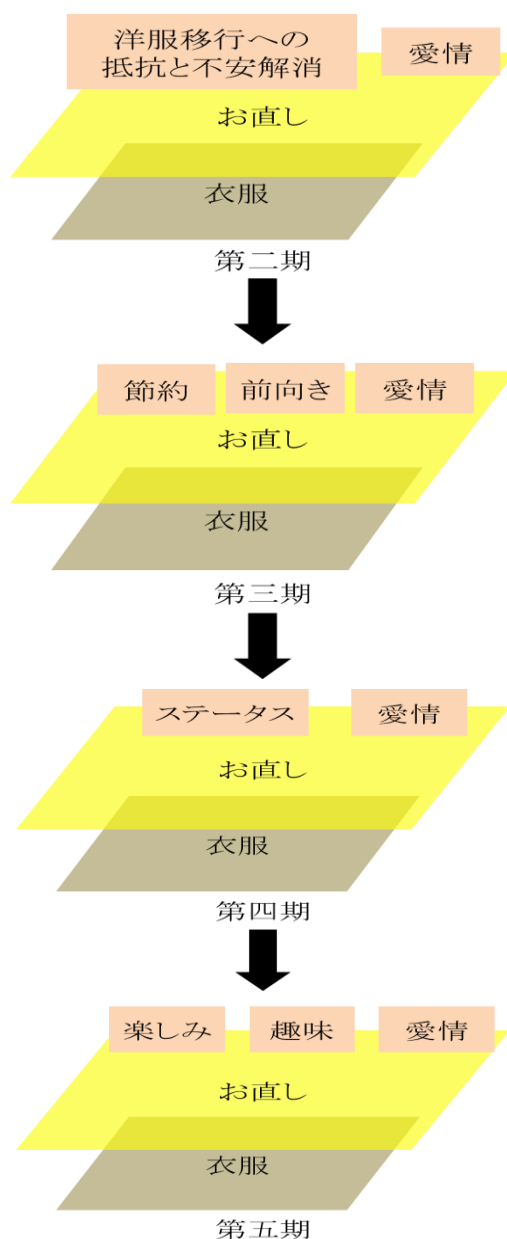


図 5-1 「お直し」時代変遷図

5-2-2 「お直し」の工夫

「お直し」の工夫には、ふたつの考え方がみられた。

一つ目は、合理的な「お直し」である。例えば、洋服が浸透しておらず、和服しか手元になかった時代は、和服から洋服への「お直し」が行われていた。物資が少ない時代には、少ないことをマイナスにとらえるのではなく、逆に整理できて合理的に暮らせると、とらえている。また、あえて傷んでいるところを使うことで、早く簡単に「お直し」する時間的工夫もある。

二つ目は、「お直し」を楽しむ工夫である。例えば、「お直し」したものに少し装飾を加えるひと手間や、「お直し」して残った布からまた「お直し」することで、思い出の品を余すことなく新しいものに変えている。それは特に大人服から子供服への「お直し」でみられる。さらに、人と協力することで、「お直し」を楽しんで行い、出来たものを人に贈ることで、絆を築いていたのである。

また、「お直し」が得意な人がいる方で、苦手な人も存在した。現在ほど情報が多様化されていない当時、そういう人たちは特に雑誌で学びながら向上するのである。だからこそ、「お直し」の工夫が誌面で、より価値を上げていたのである。

5-2-3 「お直し」の価値観

ここまで、『婦人の友』における洋裁関連記事とお直し記事の変遷とその工夫を追ってきたが、その中で見えてきた『婦人の友』における「お直し」の考え方として挙げられるのが、「手仕事の創造的価値」として高く評価し、衣生活におけるコミュニケーションとして、とても前向きにとらえていたことである。

衣生活のコミュニケーションとは、捨てられようとするもの・箆笥に眠っているもの・母や父の服など思い出の詰まったものを「お直し」することで、新たな生命を吹き込み、新しいものへと変化させる。「お直し」されたものには、昔着ていた人の思いと作り手の思いが込められているため、愛着を持ち、モノを大切にするという流れが生まれるのである。また、「お直し」は、家族の思い出の共有・近所の人との協力など人との絆を生む。一見ものとしては価値が下がったものでも、思い出・愛情という付加価値がついているのである。つまり、「お直し」は「生命の通った手ごたえのある仕事」と結論づけることができよう。

5-3 「お直し」の現代への展望

毎日新聞 2012 年 9 月 16 日「女の気持ち」の中の記事の一つ

【押し入れの整理をしていると、母が若かった頃に縫おうとしていたジャケットが、未完成のまま出てきた。生地は服の形に裁断されていて、もう少しで仕上がっていたはずなのに、幼かった姉と私の世話や、家事に追われて完成しなかったのだろうと思う。母に見せると、母は「この生地は京都から嫁いできた近所の奥さんに、京都で買ってきてもらったんよ。この辺にはない、良い生地なんやで」と、得意気に言った。母の好きなきれいな藤色で涼しそうな木綿だが、今は見かけないシャッキリとした生地だった。今となっては

母には派手な色なので、「好きにしていよいよ」と言ってくれた。半袖でデザインが古い気がしたので、袖に幅広い白のレースをつけて五分袖にすると、今風で優しい雰囲気になった。裾にも可愛いレースをつけて、自分好みのジャケットに変化していくのが楽しかった。】¹⁾

このように、思い出の服を「お直し」することで、新たな生命を吹き込み、新しい一着へと変化させている。現在の「お直し」においても、『婦人之友』の「お直し」から見えてきた思い出詰まった一着を「お直し」する価値観が存在している。

また、毎日新聞 2012 年 5 月 23 日「女の気持ち」では、

【気に入って買ったはずの洋服でも、しばらく着ていると、少しずつ気に入らなくなってくることもある。もう少し丈が短い方がいいと思うチュニック、もう少し細い方がいいと思うパンツなどなど。でも、せっかく買った服だし、手放してしまうのも惜しい。かと言って不満を持ったまま着続けるのもストレスになる。そこで、私は思い切って自分で直してしまうことにした。これまで洋裁を本格的に習ったわけではないが、服を一から作るのではない。ほんの数十センチ、ミシンをカタカタと掛けるだけなのだ。自己流ながら、勇気を出してやってみた。最初はエプロン。私には丈が長すぎるので、肩ひもをちょいとおまむ。次はスカート。色合いは気に入っているのだが、裾のフリルが年相応ではない。そこで、フリルをちょっと短く。簡単な物からトライした。このプチリフォーム、今のところ成功率は 90%にのぼっている。リフォームされた服は、ほぼ思い通りのシルエットに変身を遂げ、クローゼットの中で、大威張りで掛かっている。気に入らないかと思いがらいやいや着るストレスから解放されて、おしゃれも楽しくなった。さらに、直線縫いしか使ったことのない安物のミシンだけれど、私にとって大切な相棒となった。働き者のミシンに感謝。】²⁾

このように、全てを作り変えるのではなく、少しだけ「お直し」という考えが現在にある。これは難しい洋裁の技術を持っていなくてもでき、「お直し」を楽しむという点で過去の「お直し」の価値観と共通している。

この二つから、「お直し」することで、その品物に愛情を持ち、モノを大切にするという流れがうまれていることが読み取れる。また、洋裁の技術を持っている人、例えば母や祖母から教わることで、新たな衣生活のコミュニケーションになるのではないか。

さらに、現代の「服を買う」というライフスタイルは、ファストファッションのように大量生産され、誰が作ったものか分からない服を着ているのであり、よほど気に入ったものでない限り愛着を持つのは難しい。それに比べて「お直し」された服は、作った人の顔が分かり、愛着を持ちやすい。ヒアリングを行った際、B 氏は「自分で作ったものはほっとする」³⁾と言っていた。安価な既製服を購入し、ワンシーズンで捨てるという考えの現代だからこそ、「お直し」ならではの思い出や愛情という付加価値が大切であり、一つのものを長く大切に使うことが現代の衣服サイクルにおいて重要な視点である。

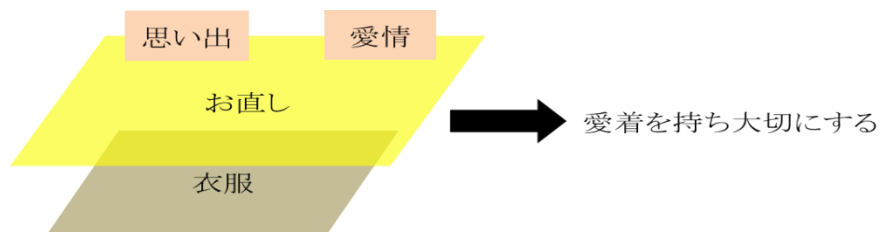


図 5-2 現代の「お直し」

5-4 今後の課題

本研究は主に第二期～第五期(1927 年～1972 年)までの雑誌『婦人之友』記事の内容に着目し、研究した。「お直し」の工夫・価値観を書き記すという点で、雑誌の記事の変遷を追っていったことは分析手法として、適していたと考える。しかし、あくまでも『婦人之友』の記事であり、誌面であるため、実際に世間の人がある「お直し」を行っていたかどうか、実践面の一般化については言及することは難しい面がある。また、「お直し」の価値観の面で、現代への「お直し」の展望として、思い出の品のお直しなど共通する価値観を挙げた。今後の課題は、現代人にとって「お直し」の価値観を具体的に明らかにし、共通する価値観を具体的に導き出し、分析・追及していく必要があると考える。

【参考文献】

1)毎日新聞女の気持ち：母の服

<<http://mainichi.jp/feature/news/20120509ddm013070173000c.html>>, 2012-9-26

2)毎日新聞女の気持ち：ミシンに感謝

<<http://mainichi.jp/feature/news/20120509ddm013070173000c.html>>, 2012-9-26

3)B 氏：ヒアリング, 2012-11-17

APPENDIX

○『婦人之友』分析対象記事入力結果

年月	時代区分	タイトル	記事内容	巻号	頁	著者	対象物	対象者	用いたもの	用いた技術	工 程 数	お直し品	目的
1927年1月	第二期	新手芸マクメラ	新手芸マクメラ	21巻1号	235	土屋許子	赤ん坊衣服(肌着・上着・チョッキ・おくるみ)	赤坊	晒・綿ネル	型紙・裁断・縫う・編む	5	晒から肌着三枚、綿ネルから上着三枚とおくるみ一枚	節約・代用
	第二期	冬向きの温かい毛糸あみもの	冬向きの温かい毛糸あみものを紹介		236	豊川エルザ	あみもの	婦人・子供		編む	1		紹介
	第二期	芸術おもちゃ兎と虎の子	おもちゃ兎と虎の子の作り方を紹介		242	香川せき子	おもちゃ	子供					紹介
	第二期	着映えのするスウェーター	着映えのするスウェーターの編み方を紹介		244	杉本郁子	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	手芸問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		246			婦人					紹介
1927年2月	第二期	軽快で可愛い新しい新型遊び着	軽快で可愛い新しい新型遊び着の作り方を紹介	21巻2号	217	西島芳太郎		子供					紹介・合理的
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		228			婦人					紹介
	第二期	婦人の服装はその色彩	婦人の服装の色彩について紹介		236	早見君子		婦人					紹介
	第二期	マクメラの仕方	マクメラの仕方を紹介		238	土屋許子	マクメラ	婦人		編む	1		紹介
	第二期	ロンパースとボーイフレンドスーツの編み方	ロンパースとボーイフレンドスーツの編み方を紹介		242	豊川エルザ	ロンパース・ボーイスーツ	子供					紹介
	第二期	毛糸編物誌上展覧会	毛糸編物誌上展覧会の記事		276			婦人					紹介
1927年3月	第二期	毛糸はなぜ安くなったのか	毛糸はなぜ安くなったのかを分析し、紹介	21巻3号	86	有川治助		婦人					紹介
	第二期	ハイカラな春向けドレス	ラグラン型を兼用し、ハイカラなドレスの作り方を紹介		132	西島芳太郎	ドレス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	洋服は和服よりあたたかです	冬になると和服に戻る人が増えるが、実は洋服の方が温かいということを紹介。		128			婦人					紹介
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		139			婦人					紹介
	第二期	簡単な湯たんぼ覆いの作り方	湯たんぼ覆いの作り方を紹介。		131		湯たんぼ覆い	婦人					合理的・紹介
	第二期	マクメラの仕方	なんにでも兼用できる美しい飾房の結び方を紹介		228	土屋許子		婦人					紹介
	第二期	春向けの美しいスウェーターと女児服	女児服とスウェーターの作り方を紹介		230	豊川エルザ	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	手芸百科全書	アップリケの仕方を紹介		236			婦人					紹介
	第二期	手芸問答	手芸についての質問を読者が問い合わせる。		238			婦人					紹介
1927年4月	第二期	服装と身だしなみの研究	服装と身だしなみの研究を紹介	21巻4号	2			婦人					紹介・提案
	第二期	容易く縫える女児服三種	容易く縫える女児服三種の作り方を紹介		214	西島芳太郎	女児服	女児					紹介・合理的
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		224			婦人					紹介
	第二期	手芸百科祭典	手芸百科祭典		231			婦人					紹介
	第二期	春の女児用スウェーター	春の女児用スウェーターの編み方を紹介		234	豊川エルザ	スウェーター	女児		編む	1		紹介
	第二期	マクメラの仕方	マクメラの仕方を紹介		238	土屋許子	マクメラ	婦人		編む	1		紹介
1927年5月	第二期	軽快な初夏の婦人服	初夏の散歩着に、平常着に、手軽な外出着となる初夏の婦人服の型を紹介	21巻5号	202	西島芳太郎	婦人服	婦人		型紙・裁断・縫う	3		合理的・紹介
	第二期	男洋服をどうして経済的に作るか	注文した洋服は裁縫が丁寧であるばかりでなく、注文した方もまた洋服屋の方にも随分無駄な手数がかかっている。この無駄な手数を奥様方の注意一つで省くことが出来、同時に安く調整できることを紹介。		216	歌代縫之助		男					合理的・紹介・節約
	第二期	春にふさはしい着物の着付け	着物の着付けの仕方を紹介		220	早見君子	着物	婦人					紹介
	第二期	手芸百科祭典	フィレ・レースの作り方を紹介		230		フィレ・レース	婦人		編む	1		紹介
	第二期	マクメラで作った美しい電燈覆い	マクメラで作った電燈覆いの作り方を紹介		234	土屋許子	電燈覆い	婦人		編む	1		紹介
	第二期	レース模様の少女服	レース模様の少女服の作り方を紹介		236	豊川エルザ	少女服	少女		編む	1		紹介
	第二期	手芸問答	手芸についての質問を読者が問い合わせる。		239			婦人					紹介
1927年6月	第二期	正しい着物の着付	正しい着物の着付	21巻6号	231	早見君子	着物	婦人					紹介
	第二期	簡単に縫える少女の服	簡単に縫える少女の服		215	西島芳太郎	少女服	少女					紹介
	第二期	夏向けの男子服についてしておくべき事	夏向けの男子服についてしておくべき事		210	歌代縫之助	男児服	男子					紹介
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		219			婦人					紹介
	第二期	私たちの作った贈り物	私たちの作った贈り物		228	森田操子		婦人					紹介
	第二期	極細2オンスで編める女児服	極細2オンスで編める女児服		222	豊川エルザ	女児服	女児		編む	1		紹介
	第二期	手芸百科祭典	手芸百科祭典		226			婦人					紹介
	第二期	マクメラのテーブルセンター	マクメラのテーブルセンター		220	土屋許子	マクメラ	婦人		編む	1		紹介
1927年7月	第二期	針一本で出来るビーズ手芸	ビーズ手芸の仕方を紹介	21巻7号	220	安藤さく子		婦人		編む	1		紹介
	第二期	美しいマクメラの草履	マクメラの草履の作り方を紹介		223	土屋許子	草履	婦人		編む	1		紹介

	第二期	手芸百科祭典	ハードアンガーの刺し方を紹介		226			婦人		編む	1		紹介
	第二期	婦人用ブラウス13種	婦人用ブラウス13種類の作り方を紹介		229	西島芳太郎	婦人用ブラウス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	洋服の手入れとたたみ方	毛織物の害虫や洋服の保存法・たたみ方など洋服の手入れと仕舞い方を紹介		238	歌代縫之助		婦人					紹介
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		241			婦人					紹介
	第二期	婦人の力と服装の改善	和服から洋服への服装改善と婦人の力について意見している		262	帆足みゆき		婦人					紹介・提案
	第二期	服装について	流行に惑わされず、自分の好みの服をすべきだと意見を上げている。		257	松平里子		婦人					提案
1927年8月	第二期	海水着とロンパースとドレス	海水着とロンパースとドレスの作り方を紹介	21巻8号	194	西島芳太郎	海水着・ロンパース・ドレス	子供					紹介
	第二期	男子服一通りをそろえろとしたら	男子服一通りをそろえろとしたらを考えた記事		234	歌代縫之助	男子服	男子					紹介
	第二期	気のきいたマクラメの手カバン	マクラメの手カバンの作り方を紹介		237	土屋許子	手カバン	婦人					紹介
	第二期	手芸慶用編	手芸慶用編		247			婦人					紹介
1927年9月	第二期	家庭でできる洋服の修繕法	家庭でできる洋服の修繕法を紹介	21巻9号	110	歌代縫之助		婦人					紹介・節約
	第二期	可愛らしい秋の男児服	可愛らしい秋の男児服を紹介		204	西島芳太郎	男児服	男児					紹介
	第二期	夏から秋の洋服姿	夏から秋の洋服姿を紹介		214			婦人					紹介・提案
	第二期	可愛らしいマクラメ帽子の作り方	可愛らしいマクラメ帽子の作り方を紹介		226	土屋許子	帽子	子供					紹介
	第二期	軽くて締め心地のよい軽便帯	軽くて締め心地のよい軽便帯の作り方を紹介		230	落合光子	軽便帯	婦人					紹介・合理的
1927年11月	第二期	羽織を着る頃の注意	羽織を着る頃の注意を紹介	21巻11号	119	早見君子		婦人					紹介
	第二期	洋服裁縫誌上講習	洋服裁縫誌上講習		85	西島芳太郎		婦人					紹介
	第二期	新意匠マクラメのスウェーター	新意匠マクラメのスウェーターの編み方を紹介		92		スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	ハイカラな秋のジャンパー	ハイカラな秋のジャンパーを紹介		116		ジャンパー	婦人					紹介
	第二期	編物の男児服	男児服の編み方を紹介		110	豊川エルザ	男児服	男児		編む	1		紹介
1927年12月	第二期	今年のショールの流行と基掛方	今年のショールの流行と基掛方を紹介	21巻12号	83	早見君子	ショール	婦人		編む	1		紹介
	第二期	男子服の修繕法	男子服の修繕法を紹介		114			男子					紹介・節約
	第二期	新手芸紹介	新手芸紹介		70			婦人					紹介
	第二期	マクラメの柱掛	マクラメの柱掛の紹介		74		柱掛け	婦人					紹介
1928年1月	第二期	毛糸あみもの四種	毛糸あみもの四種を紹介	22巻1号	135			婦人		編む	1		紹介
	第二期	赤坊のための新工夫	赤坊のための新工夫を紹介		142		赤坊	赤坊					紹介・提案・合理的
	第二期	スモッキングドレス	スモッキングドレスの作り方を紹介		150	西島芳太郎	スモッキングドレス	婦人					紹介
	第二期	冬の晴れ着の手入れ	冬の晴れ着の手入れを紹介		149	山下栄蔵	晴れ着	婦人					紹介
1928年2月	第二期	マクラメ	マクラメの仕方を紹介	22巻2号	132	土屋許子	マクラメ	婦人		編む	1		紹介
	第二期	古銘仙を染めて外出着	古銘仙を染めて外出着を紹介		126	鈴木光子	外出着	婦人	古銘仙	染める	1	古銘仙から外出着	紹介・代用
	第二期	贈り物にしたる手芸品	贈り物にしたる手芸品を紹介		138	末永静江		婦人					紹介
	第二期	厳冬のスウェーター二種	厳冬のスウェーター二種の編み方を紹介		128	豊川エルザ	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	春向きの婦人服	春向きの婦人服の作り方を紹介		145	西島芳太郎	婦人服	婦人					紹介
	第二期	男子洋服とスタイル	男子洋服とスタイルの紹介		150	歌代縫之助	男子服	男子					紹介
1928年3月	第二期	服装についての座談会	服装についての座談会	22巻3号	58			婦人					紹介
	第二期	新入学用女児服	新入学用女児服の作り方を紹介		148	西島芳太郎	女児服	女児					紹介
	第二期	オーバーいろいろ	オーバーのいろいろを紹介		144	歌代縫之助	オーバー	婦人					紹介
	第二期	洋服裁縫解析	洋服裁縫を解析しかた記事		137			婦人					紹介・提案
	第二期	少女用スウェーター	少女用スウェーターの編み方を紹介		143		スウェーター	少女		編む	1		紹介
1928年4月	第二期	四五才用の男児服	四五才用の男児服の作り方を紹介	22巻4号	144	西島芳太郎	男児服	男児					紹介
	第二期	合服背広の日本人向けスタイル	合服背広の日本人向けスタイルを紹介		140	歌代縫之助		婦人					紹介
	第二期	冬着の始末の仕方	冬着の始末の仕方		136	山下栄蔵		婦人					提案
	第二期	明るい美しい春の少女用スウェーター	明るい美しい春の少女用スウェーターの作り方を紹介		164	豊川エルザ	スウェーター	少女		編む	1		紹介・合理的
1928年5月	第二期	着映えのする婦人服	着映えのする婦人服の作り方を紹介	22巻5号	145	西島芳太郎	婦人服	婦人					紹介
	第二期	爽やかな女児服・少女服	爽やかな女児服・少女服の作り方を紹介		142	豊川エルザ	女児服・少女服	女児・少女					紹介
1928年6月	第二期	可愛らしい女児服	可愛らしい女児服の作り方を紹介	22巻6号	142	西島芳太郎	女児服	女児					紹介・合理的
	第二期	合服はどんなものがよいか	合服はどんなものがよいかを分析		138	歌代縫之助		婦人					紹介
	第二期	梅雨頃の毛糸あみもの	梅雨頃の毛糸あみものを紹介		124	豊川エルザ		婦人					紹介
1928年7月	第二期	少女通学服二種	少女通学服二種の作り方を紹介	22巻7号		西島芳太郎	通学服	少女					紹介・合理的
	第二期	沸蘭西風の子供服	沸蘭西風の子供服を紹介			足立千枝子	子供服	子供					紹介・提案

	第二期	子供服二種	子供服二種を紹介			マダム・モルバン	子供服	子供					紹介
	第二期	手拭地の洋服	手拭地の洋服の作り方を紹介			高木澤子		婦人	手拭			手拭地から洋服	紹介・代用
	第二期	女児服と男児服	女児服と男児服についての記事			椎葉靖子	女児服・男児服	女児・男児					紹介
	第二期	温和な婦人服	温和な婦人服を紹介			エリザベス・ウエンライト	婦人服	婦人					紹介
	第二期	外出着二種	外出着二種の作り方を紹介			ガントレット垣子	外出着	婦人					紹介
	第二期	上品な外出着	上品な外出着を紹介			北島フツ子	外出着	婦人					紹介
1928年8月	第二期	フイレ・レース	フイレ・レースを紹介	22巻8号	129	山脇敏子	フイレ・レース	婦人		編む	1		紹介
	第二期	涼しげな女児服と夏の遊び着	涼しげな女児服と夏の遊び着の作り方を紹介		136	豊川エルザ	女児服遊び着	女児					紹介・合理的
	第二期	邦人向きの夏の運動服	邦人向きの夏の運動服を紹介		138	歌代縫之助	運動服	婦人					紹介・合理的
	第二期	夏の男児服と女児服	夏の男児服と女児服の作り方を紹介		142	西島芳太郎	男児服・女児服	男児・女児					紹介・合理的
1928年9月	第二期	婦人帽子の作り方	婦人帽子の作り方を紹介	22巻9号	138	歌代縫之助	帽子	婦人					紹介
	第二期	中年に向く初秋の婦人服	中年に向く初秋の婦人服の作り方を紹介		146	西島芳太郎	ワンピース	婦人					紹介
	第二期	秋の服装	秋の服装について		124	早見君子		婦人					紹介
1928年10月	第二期			22巻10号				婦人					紹介
1928年11月	第二期	新しき意匠の毛糸あみもの	新しき意匠の毛糸あみものを紹介	22巻11号	130			婦人					紹介
	第二期	誰でも仕立てられる女児服	誰でも仕立てられる女児服を紹介		154	西島芳太郎	女児服	女児					紹介・合理的
	第二期	家庭で出来る男子服の修理	家庭で出来る男子服の修理の仕方を紹介		151	歌代縫之助	男子服	男子					紹介・節約
	第二期	今秋流行の婦人帽子	今秋流行の婦人帽子を紹介		141	井上富美子	帽子	婦人					紹介
	第二期	すっきりした装いの工夫	すっきりした装いの工夫		126	早見君子		婦人					紹介・合理的・提案
1928年12月	第二期	美しいデザインのスウェーター	美しいデザインのスウェーターの編み方を紹介	22巻12号	136	豊川エルザ	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	美しい色彩のスウェーター	美しい色彩のスウェーターを紹介		140		スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	家庭における高級洋服の修繕	家庭における高級洋服の修繕の仕方を紹介		132	井上富美子		婦人					紹介・節約
	第二期	外套代わりになるコートドレス	外套代わりになるコートドレスを紹介		114	西島芳太郎	コートドレス	婦人					紹介
1929年1月	第二期	お正月にこの服をおは立て下さい	お正月仕立てる服を紹介	23巻1号	156	西島芳太郎		婦人					紹介
	第二期	厳冬用のあみもの	厳冬用のあみものを紹介		150	豊川エルザ		婦人					紹介
	第二期	パリ―好みの帽子	パリ―好みの帽子を紹介		154	井上富美子	帽子	婦人					紹介
	第二期	洋服裁縫てほどき	洋服裁縫てほどきについて		163	西島芳太郎		婦人					紹介・提案
	第二期	オーバーコート	オーバーコートの作り方を紹介		164	歌代縫之助	オーバーコート	婦人					紹介
	第二期	新しい型・よい型	新しい型・よい型を紹介		166	前田房子		婦人					紹介・合理的・提案
1929年2月	第二期	上品で可愛い男児のセーラーズーツ	上品で可愛い男児のセーラーズーツの紹介	23巻2号	148	西島芳太郎	セーラーズーツ	男児					紹介
	第二期	洋服裁縫てほどき	洋服裁縫てほどきを紹介		156	西島芳太郎		婦人					紹介
	第二期	色彩の美しいスウェーター	色彩の美しいスウェーターの編み方を紹介		162	豊川エルザ	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
1929年3月	第二期	春のスウェーター九種	春のスウェーター九種の編み方を紹介	23巻3号	138		スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	春着によい少女服二つ	春着によい少女服二つの作り方を紹介		165	西島芳太郎	少女服	少女					紹介
	第二期	裏の修理身頃の修理	裏の修理身頃の修理の仕方を紹介		162	歌代縫之助		婦人					紹介
	第二期	洋服裁縫てほどき	洋服裁縫てほどき		159	西島芳太郎		婦人					紹介
1929年4月	第二期	春向の婦人帽子	春向の婦人帽子を紹介	23巻4号	109	井上富美子	帽子	婦人					紹介
	第二期	服装一年の計を読んで	服装一年の計を読んで		96	松岡久子		婦人					紹介・提案
	第二期	春向の上品な婦人服	春向の上品な婦人服の作り方を紹介		114	西島芳太郎	婦人服	婦人					紹介
1929年5月	第二期	婦人子供服の常識	婦人子供服の常識	23巻5号	169		婦人服・子供服	婦人・子供					紹介
	第二期	婦人子供服新型四十種	婦人子供服新型四十種を紹介		210		婦人服・子供服	婦人・子供					紹介・提案
1929年6月	第二期	洋服の着こなし	洋服の着こなしについて	23巻6号	144	歌代縫之助		婦人					紹介
	第二期	初夏によい少女服	初夏によい少女服の作り方を紹介		146	西島芳太郎	ブラウス	少女		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	梅雨時に着せたい赤坊スウェーター	梅雨時に着せたい赤坊スウェーターの編み方を紹介		152		スウェーター	赤坊		編む	1		紹介・合理的
1929年7月	第二期	婦人の服装	婦人の服装について	23巻7号	154			婦人					紹介
	第二期	実験的児童学	児童学について		174	山下徳治		学生					紹介
	第二期	服装漫談	服装漫談について		180			婦人					紹介
	第二期	浴衣地で出来る洋服十一種	浴衣地で出来る洋服十一種の作り方を紹介		188		女児服・少女服・婦人服	女児・少女	浴衣地	型紙・裁断・縫う	3	浴衣地から女児服・少女服・婦人服	紹介・代用・合理的

1929年8月	第二期	手縫いで出来る婦人服	手縫いで出来る婦人服を紹介	23巻8号	135	西島芳太郎	婦人服	婦人	手拭	型紙・裁断・縫う	3	手拭	紹介・代用・合理的
	第二期	可愛らしい子供服・美しい少女服	可愛らしい子供服・美しい少女服の作り方を紹介		139		子供服	子供					紹介
1929年9月	第二期	実験的児童学	児童学について	23巻9号	84	山下徳治		学生					紹介
	第二期	簡単に出来る初秋の子供服	簡単に出来る初秋の子供服の作り方を紹介		160	西島芳太郎	子供服	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	靴下とワイシャツの修理法	靴下とワイシャツの修理法		156	菅谷喜代子	靴下・ワイシャツ	婦人					紹介・節約
1929年10月	第二期			23巻10号				婦人					紹介
1929年11月	第二期	実験的児童学	児童学について	23巻11号	137	山下徳治		学生					紹介
	第二期	スウェーター五種の意匠と編み方	スウェーター五種の意匠と編み方を紹介		150		スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	赤坊の洋服とおしめの用意	赤坊の洋服とおしめの用意		106		おしめ	赤坊					紹介・愛情
1929年12月	第二期	男児のためのボーイスーツ	男児のためのボーイスーツの作り方を紹介	23巻12号	166	西島芳太郎	ボーイスーツ	男児					紹介
	第二期	こんな美しいスウェーターをお編下さい	美しいスウェーターの編み方を紹介		137	豊川エルザ	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
1930年1月	第二期	何としても衣服費が足らぬ	衣服費に関する記事	24巻1号	78	良子		婦人					紹介
	第二期	新春のアフタヌンドレス	新春のアフタヌンドレスの作り方を紹介		126	西島芳太郎	アフタヌンドレス	婦人					紹介
	第二期	温かい少女用スウェーター	温かい少女用スウェーターの編み方を紹介		151	増田稲子	スウェーター	少女		編む	1		紹介
1930年2月	第二期	温かな下着の工夫と作り方	温かな下着の工夫と作り方	24巻2号	152		下着	婦人					紹介・合理的
	第二期	婦人用ジャケット	婦人用ジャケットの作り方を紹介		135	西島芳太郎	ジャケット	婦人					紹介
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		135			婦人					紹介
1930年3月	第二期	新しい意匠のスウェーター	新しい意匠のスウェーターの編み方を紹介	24巻3号	137	山岸敬子	スウェーター	婦人		編む	1		紹介・提案
	第二期	可愛らしい少女服二種	可愛らしい少女服二種の作り方を紹介		153	西島芳太郎		少女					紹介
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		153			婦人					紹介
1930年4月	第二期	賀川服	賀川服について	24巻4号		賀川はる子		婦人					紹介
	第二期	自由な服装を	自由な服装について			安宅ふくみ		婦人					紹介・提案
	第二期	協同の生産機関をもちたい	協同の生産機関をもちたい			奥むめお		婦人					提案
	第二期	個性のある服装	個性のある服装について			深澤紅		婦人					紹介
	第二期	煩はされない服装	煩はされない服装について			西富貴子		婦人					紹介
	第二期	可愛らしいエプロン四種	可愛らしいエプロン四種の作り方を紹介				エプロン	婦人					紹介
1930年5月	第二期	如何に洋服を着るべきか	如何に洋服を着るべきかについて	24巻5号	36			婦人					紹介
	第二期	洋服の着方百カ条	洋服の着方百カ条		46			婦人					紹介
	第二期	誌上洋服相談所	誌上洋服相談所		50			婦人					提案
	第二期	洋服問題の方向転換	洋服問題の方向転換について		54	羽仁説子		婦人					紹介・提案
	第二期	始めて洋服を着る人のために	始めて洋服を着る人のために		57	西島芳太郎		婦人					紹介
	第二期	和服を仕立て直した洋服	和服を仕立て直した洋服を紹介		70			婦人	和服			和服から洋服	紹介・代用
	第二期	洋行する人に作った問着訪	洋行する人に作った問着訪を紹介			前田房子		婦人					紹介
	第二期	一枚の羽織から二枚のドレス	一枚の羽織から二枚のドレスへのお直しを紹介			土屋許子	ドレス	婦人	羽織			羽織からドレス	紹介・代用
	第二期	綿紬の着物を外出着に	綿紬の着物を外出着へのお直しを紹介			深田和気子	外出着	婦人	着物			着物から外出着	紹介・代用
	第二期	羽織と丸帯をアフタヌンドレスに	羽織と丸帯をアフタヌンドレスへのお直しを紹介			西山時子	アフタヌンドレス	婦人	羽織・丸衿			羽織と丸帯からドレス	紹介・代用
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		58			婦人					紹介
1930年6月	第二期	初夏の女兒服八種	初夏の女兒服八種の作り方を紹介	24巻6号	120	西島芳太郎	女兒服	女児					紹介
	第二期	婦人用スウェーター	婦人用スウェーターの編み方を紹介		150	豊川エルザ	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	オーガンディの衿をつけて	オーガンディの衿をつけを紹介		151	近藤磨理子	衿	婦人					紹介
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		125			婦人					紹介
1930年7月	第二期	「洋服は如何に着るべきか」の巻を読んで	「洋服は如何に着るべきか」の巻を読んだ読者の感想	24巻7号	132	羽仁説子		婦人					紹介
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		146			婦人					紹介
1930年8月	第二期	フィレレースのショール	フィレ・レースのショールの刺し型を紹介	24巻8号	150	足立千枝子	フィレ・レースのショール	婦人		編む	1		紹介
	第二期	夏の働き着・夏の外出着	7種類のドレスの型の作り方を詳しく紹介		139	西島芳太郎	ドレス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		159			婦人					紹介
1930年9月	第二期	家庭ではスモックを着せませう	スモックの勧め	24巻9号	152	西島芳太郎	スモック	婦人					紹介・提案
	第二期	羽を刺して作ったクッション	羽を刺して作ったクッションを紹介		140	落合うの	クッション	婦人					紹介
	第二期	洋服問答	洋服についての質問を読者が問い合わせる。		152			婦人					紹介

1930年11月	第二期	秋のスウェーター	秋のスウェーターの作り方を紹介	24巻11号	143	豊川エルザ	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	妊娠中にはどんな服を着たらよいでせう	妊娠中に着る洋服8種の作り方を紹介		150	西島芳太郎	妊娠中の婦人服	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1930年12月	第二期	赤坊を洋服で育てるには	赤坊を洋服で育てるために様々なことを紹介	24巻12号	42	鶴見英子	赤坊の洋服	赤坊					紹介・合理的
	第二期	オーバーコート	オーバーコートの作り方を紹介		160	西島芳太郎	オーバーコート	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	残り布で出来た帽子	洋服の残り布から婦人帽の作り方を紹介		176		婦人帽子	婦人	余り布	型紙・裁断・縫う	3	残り布から婦人帽子	紹介・節約
	第二期	一ヤール二分で出来た仕事着	少しの布から作る仕事着を紹介		176		仕事着	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・節約・合理的
	第二期	温かい毛立のスカーフ	スカーフの作り方を紹介		176		スカーフ	婦人		編む	1		紹介
	第二期	工夫された仕事着	裾を短くし、働く人に適した洋服の作り方を紹介		176		仕事着	婦人		縫う	1		紹介・合理的
	第二期	羽のショール	羽のショールの作り方を紹介		176		ショール	婦人		縫う	1		紹介・合理的
1931年1月	第二期	初春に美しいスウェーター	初春のスウェーターの作り方を紹介	25巻1号	141	落合うの	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	羽毛で造った飾り花	羽で作る造花の作りかたを紹介		147	落合うの	造花	婦人		縫う・刺す	2		紹介
	第二期	童謡人形嬢ちゃんねずみ	ネズミの人形の作り方を紹介		149	香月せき	人形	婦人					趣味
	第二期	お正月の晴れ着ボーイスーツ	お正月の晴れ着のボーイスーツの作り方を紹介		152	西島芳太郎	ボーイスーツ	男児		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1931年2月	第二期	軽やかな毛糸あみ幼児服	軽やかな毛糸あみ幼児服編み方を紹介	25巻2号	154		幼児服	幼児		編む	1		紹介
	第二期	早春の美しいスウェーター	早春の美しいスウェーターの編み方を紹介		154	山口笑子	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	刺繍糸をつかって工夫したスウェーター	刺繍糸をつかって工夫したスウェーターの編み方を紹介		156	小畔宮子	スウェーター	婦人		編む	1		紹介・合理的
	第二期	家庭着・働き着としてのスカート	家庭着・働き着としてのスカートの作り方を紹介		145	西島芳太郎	スカート	婦人					紹介
1931年3月	第二期	童謡人形・昔の子ども	童謡人形の作り型を紹介	25巻3号	163		人形	子供					趣味
	第二期	赤坊のためのあみもの一揃い	赤坊のための編物を紹介		165		赤帽の編物	赤坊		編む	1		紹介
	第二期	幼児のための温かい品々	幼児のための温かい品々を紹介		169		ケープ・帽子	幼児		編む	1		紹介・愛情
	第二期	新入学の子どものための洋服	新入学の子どものために2種類の洋服を紹介		174		新入学の洋服	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	文化の遅れた雪国に洋服を普及させた村田かう子さんを推薦	文化の遅れた雪国に洋服を普及させた村田かう子さんを推薦する		112			婦人					紹介
1931年4月	第二期	春のジャンパー	春のジャンパーを紹介	25巻4号	147	落合うの	ジャンパー	婦人					紹介
	第二期	可愛らしいエプロン	可愛らしいエプロンを紹介		149		エプロン	婦人					紹介
	第二期	お勧めしたい春の装い	お勧めしたい春の装いを紹介		158	豊川エルザ		婦人					紹介・提案
	第二期	あなたの家の働き着	働き着について		160	西島芳太郎	働き着	婦人					紹介・提案
1931年5月	第二期	着物・人・生活	着物・人・生活	25巻5号	118	ちよ子		婦人					紹介・提案
	第二期	Aさんの服装	読者投稿		116	T・K		婦人					紹介
	第二期	彼女が洋服を着るまで	読者投稿		125	晴子		婦人					紹介
	第二期	簡素な子供服	子供の平常着の作り方を紹介		153	西島芳太郎	子供の平常着	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	友の会ゆかた	友の会ゆかたについて		222		ゆかた	子供					協力・合理的
1931年6月	第二期	毛糸編物時代より毛織時代へ	毛糸編物時代より毛織時代への記事	25巻6号	168	山本		婦人					紹介・提案
	第二期	初めて洋服を着る人のために	初めて洋服を着る人のために洋服について		179			婦人					紹介・提案
	第二期	洗いのよく利くギンガムの家庭着	洗いのよく利くギンガムの家庭着の作り方を紹介		189	深田和気子	家庭着	婦人					紹介・合理的
	第二期	着心地がよくて美しいメリアスの家庭着	着心地がよくて美しいメリアスの家庭着を紹介		190	ウォニーガントレット	家庭着	婦人					紹介・合理的
	第二期	ボイル・富士絹の花模様の外出着	ボイル・富士絹の花模様の外出着について		192	深田和気子	外出着	婦人					紹介
	第二期	スリッパ・ブラジャー・ブルーマー・コーセットの作り方	スリッパ・ブラジャー・ブルーマー・コーセットの作り方		194		下着	婦人					紹介
1931年7月	第二期	労働夫人の服装研究	労働夫人の服装研究	25巻7号	149			婦人					紹介・提案
	第二期	友の会浴衣で出来た思いつきな意匠の洋服十二種	友の会浴衣で出来た思いつきな意匠の洋服十二種を紹介		160			婦人・子供	浴衣地			浴衣地から	紹介・代用
	第二期	ハイカラな夏の少女服いろいろ	ハイカラな夏の少女服の作り方を紹介		171	西島芳太郎	少女服	少女					紹介
	第二期	洋傘を自分で染めましょう	洋傘の染め方を紹介		166		傘	婦人					紹介
1931年8月	第二期	夏の遊び着六種	夏の遊び着六種の作り方を紹介	25巻8号	98		遊び着	子供					紹介
	第二期	虫の眉で出来るハンドバッグ	虫の眉で出来るハンドバッグを紹介		104		ハンドバッグ	婦人					紹介
	第二期	簡単にできる夏の帽子	簡単にできる夏の帽子の作り方を紹介		105	吉田勝	帽子	婦人					紹介・合理的
	第二期	23歳から大人にまでよい夏服	23歳から大人にまでよい夏服の作り方を紹介		110	西島芳太郎		婦人					紹介
1931年9月	第二期	初夏の婦人服	初夏の婦人服の作り方を紹介	25巻9号	130	西島芳太郎	婦人服	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的

1931年10月	第二期	活動的な経済的なそして誰にでも似合う女教員服	活動的な経済的なそして誰にでも似合う女教員服の作り方を紹介	25巻10号	78	自由学園卒業生	女教員服	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	取り外しに便利な紐なし前掛け	友の会の浴衣に合う合理的な前掛けの作り方を紹介		202	古澤満江	前掛け	婦人		裁断・縫う	2		紹介・合理的
	第二期	この秋に選びたい少女服二種	二種類の秋の少女服の作り方を紹介		203	西島芳太郎	少女服	少女		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1931年11月	第二期	外山にも盲校着にもよい男児服	男児スーツの作り方を紹介	25巻11号	182	西島芳太郎	男児スーツ	男児		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	チャージーは冬の子供服に理想的です	近頃流行し出したチャージー(メリアス地)を使って子供服の作り方を紹介		163		子供服	子供		裁断・縫う	2		紹介
	第二期	子供のために考案された新しい重曹な毛糸のあみもの	子供のために考案された新しい毛糸の編物を紹介		171		ドレス・パンツ	子供		編む	1		紹介
1931年12月	第二期	幼稚園くらいの子どものよい遊び着	七八歳くらいの子どもの遊び着の作り方を紹介	25巻12号	67		遊び着	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	和服から洋服へ	和服と洋服とどちらが合理的か、5年間の補充、修繕の比較を行い、洋服の合理的なところを紹介		131			婦人					紹介・合理的
	第二期	通学服	十三四歳の通学服の作り方を紹介		138		通学服	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	簡単に仕立てられた男児にも女児にもよいラグランドレス	ラグラン型から作ったラグランドレスの作り方を紹介		143	西島芳太郎	ラグランドレス	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1932年1月	第二期	合理的服装	合理的服装について	26巻1号	143	彌生		婦人					提案・合理的
	第二期	小学男児の衣服換算	絵と図で紹介		74			男児					合理的
	第二期	小学女児の衣服換算	絵と図で紹介		76			女児					合理的
	第二期	甲子さんの服装整理	絵で服装整理を紹介		79			婦人					合理的
	第二期	新春の婦人服	新春の婦人服の作り方を紹介		265	西島芳太郎	婦人服	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	特選毛糸あみもの9種	9種類の編物の作り方を紹介		249	豊川エルザ	編物	婦人・子供		編む	1		紹介
1932年2月	第二期	足の防寒のために	足の防寒のために6種類の毛糸編物を紹介	26巻2号	136		足の防寒具	婦人		編む	1		紹介
	第二期	私のデザインしたスウェーター	デザインしたスウェーターの編み方を紹介		143		スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	同原型を基にしてできる女児服	同じ原型を基にしてできる五種類の女児服の作り方を紹介		150	西島芳太郎	女児服	女児		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1932年4月	第二期	市長の娘の名に縛られず呉服屋の洋服部に勤める丸山さん	市長の娘の名に縛られず呉服屋の洋服部に勤める丸山さんを紹介	26巻4号	220			婦人					紹介
	第二期	同じ原型を基にしてできる春の男児服	同じ原型を基にしてできる春の五種類の男児服の作り方を紹介		182		男児服	男児		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	合理化展覧会に励まされて衣類を整理しました	友の会の合理化展覧会に刺激され、衣類の整理をした河本さんを紹介した記事		162			婦人					紹介・合理的
1932年5月	第二期	和服を直して	和服を直して洋服にしたものを紹介	26巻5号			婦人服	婦人					紹介・合理的
	第二期	洋服の正しい着方の座談会	洋服の正しい着方の座談会		62			婦人					提案
	第二期	私たちの着物の問題	主婦が洋服にして語学勉強の時間を作った経験・近く洋服にした現在の持ち物などを紹介		74			婦人					紹介・合理的
	第二期	ニューファッション	ニューファッションとして8種の型を紹介		90		ニューファッション	婦人					紹介
	第二期	これからの帽子の選び方とかぶり方	帽子の選び方とかぶり方を紹介		96	筒井光康	帽子	婦人					紹介
	第二期	春の婦人の服装・ブラウスとスカート二種	ブラウスとスカート二種の作り方を紹介		99		ブラウス・スカート	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	誰にも似合う・誰でも縫える婦人服	誰にも似合う・誰でも縫える婦人服二種の作り方を紹介		110		婦人服	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	毛織物を最も長くする合理的な方法	毛織物を最も長くする合理的な法を紹介		126			婦人					紹介・合理的
	第二期	簡単にできるガーター・コルセット	ガーター・コルセットの作り方を紹介		109		ガーター・コルセット	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	可愛らしく健康的なロンパース	ロンパースの作り方六種を紹介		199		ロンパース	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	ジャージのもつ特色いろいろ	ジャージのもついろいろな特色を紹介		136			婦人					紹介
	第二期	フロックコートをスプリングコートに	フロックコートを直してスプリングコートを作成したものを紹介		138		スプリングコート	婦人	フロックコート			フロックコートからスプリングコート	紹介・代用
1932年6月	第二期	可愛い夏の子供服二種の作り方	同じ原型を基にしてできる夏の子供服二種類の作り方を紹介	26巻6号	162	西島芳太郎	女児服	女児		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	子供のニュー・ファッション	子供のニューファッションを紹介		168		子供のニューファッション	子供					紹介
	第二期	新芸芸ペインテックスの仕方	ペインテックスを使った手芸を紹介		172		ペインテックス	婦人					紹介・趣味
	第二期	重要な裁縫エプロン二種	重要な裁縫エプロン二種の作り方を紹介		176		裁縫エプロン	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1932年7月	第二期	座談会洋服を上手に縫う秘訣	洋服を上手に縫うために様々な秘訣を紹介	26巻7号	147			婦人					紹介・合理的
	第二期	男女用のロンパス	男女児用のロンパースの作り方を紹介		155	西島芳太郎	ロンパース	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	子供の水着の新しい工夫二種	子供の水着の作り方を紹介		160		子供の水着	子供		編む・裁断・縫う	3		紹介

	第二期	出来るだけ少ない布地で出来るだけ簡単にした小児の寝巻	出来るだけ少ない布地で出来るだけ簡単にした小児の寝巻の作り方を紹介		167		小児の寝巻	小児		型紙・裁断・縫う	3		紹介・節約・合理的
1932年8月	第二期	洋裁美の考察	帽子・マント・靴・靴下について考察	26巻8号	169	マリア・マグダレナ		婦人					紹介
	第二期	浴衣の洋服の仕立て方	浴衣から作った洋服を紹介		172			婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	女学生向きの上品なドレス二種	同じ原型を基にしてできる夏の女学生のドレス二種類の作り方を紹介		175	西島芳太郎	ドレス	女学生		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	涼しげな手編みレースの仕方	涼しげな手編みレースの仕方を紹介		190		レース	婦人		編む	1		紹介・趣味
	第二期	夏の婦人帽の作り方	夏の帽の作り方を紹介		184		帽子	婦人		編む	1		紹介
	第二期	ライトドレス	ライトドレスについて語りあい		164		ライトドレス	婦人					紹介
	第二期	手ぬぐい浴衣地で作ったカーテン	手拭で作ったカーテンを紹介		58		カーテン	婦人	手拭			手拭からカーテン	紹介・代用
1932年9月	第二期	軽快な秋の婦人服一揃	秋の婦人服一揃を紹介	26巻9号	183	西島芳太郎	婦人服	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	軽快な初夏のスウェーター四種	初夏のスウェーター四種の作り方を紹介		176		スウェーター	婦人		編む	1		紹介
1932年10月	第二期	洋服を美しく着るために	田中婦人の洋服の着方を紹介し、美しい洋服の着方について紹介	26巻10号		田中千代子		婦人					紹介
	第二期	秋の少女の通学服	秋の少女の通学服の作り方を紹介		187	西島芳太郎	通学服	少女		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1932年11月	第二期	お母さんのアワイブした子供の帽子	お母さんのデザインした子供の帽子の作り方を紹介	26巻11号			子供の帽子	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介・愛情
	第二期	新しいカラーの工夫	新しいカラーの工夫を紹介		188	清水真空	カラー	婦人					紹介・合理的
	第二期	女学生にも若い婦人にも向く冬の外套	女学生にも若い婦人にも向く冬の外套の作り方を紹介		191	西島芳太郎	外套	女学生・婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1932年12月	第二期	毛糸のあみもの二種	毛糸のあみもの二種類の作り方を紹介	26巻12号	184	豊川エルザ	編物	婦人		編む	1		紹介
	第二期	外套の話	外套の色や型についての話を紹介		180	田中千代子	外套	婦人					紹介
	第二期	クリスマス・お正月に可愛い男児スーツ	男児のスーツの作り方を紹介		174	西島芳太郎	男児スーツ	男児		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1933年1月	第二期	中年の婦人に最も似合う服	中年の婦人に似合う服を考案し、紹介	27巻1号	208	西島芳太郎	中年の婦人服	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	冬に向う下着の着方	冬に向かうための下着について紹介		205	田中千代子	下着	婦人					紹介
1933年2月	第二期	婦人之友の洋裁の記事で農漁村の娘たちに教える	長崎の船引ヌイノさんの話を紹介	27巻2号	134			婦人					紹介・協力
	第二期	コルセットの使い方	コルセットの使い方を紹介		189	田中千代子	コルセット	婦人					紹介
	第二期	ブラウスの縫い方	二種類の婦人のブラウスの作り方を紹介		193	西島芳太郎	ブラウス	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	ワイシャツ仕立て方	ワイシャツの仕立て方を紹介		182	歌代縫之助	ワイシャツ	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	二時間で編めるスマートな帽子	二時間で編める帽子の作り方を紹介		172	近藤磨理子	帽子	婦人		編む	1		紹介
	第二期	防寒具	防寒具として、レギンス・オーバーオール・おくるみの作り方を紹介		174		防寒具	婦人		型紙・裁断・縫う・編む	4		紹介
1933年3月	第二期	新入学の女児服とエプロン	新入学の女児服とエプロンの作り方を紹介	27巻3号	198	西島芳太郎	女児服・エプロン	女児		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	春の美しいスウェーター四種	スウェーターの編み方四種を紹介		188		スウェーター	婦人		編む	1		紹介
1933年4月	第二期	パジャマの作り方	パジャマの仕立て方を紹介	27巻4号	190	歌代縫之助	パジャマ	家族		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	ジャンパードレス	女学生に似合うジャンパードレスの作り方を紹介		195	西島芳太郎	ジャンパードレス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	新しい手芸テール	テールの編み方を紹介		180		テール	婦人		編む	1		紹介
1933年5月	第二期	春の婦人スーツ	婦人のスーツの作り方を紹介	27巻5号	194	西島芳太郎	婦人スーツ	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	チェコ風の皮細工	皮細工の紹介		188	山室光子	皮細工	婦人					紹介
	第二期	新手法テール	テールの編み方を紹介		192	今井和子	テール	婦人		編む	1		紹介
1933年6月	第二期	初夏の頃の婦人服と少女服	初夏の婦人服と少女服の作り方を紹介	27巻6号	192	西島芳太郎	婦人服・少女服	婦人・少女		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	バスローブの仕立て方	バスローブの仕立て方を紹介		187	歌代縫之助	バスローブ	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	余り布で出来た六枚のエプロン	洋服の余り布で作ったエプロンの作り方を紹介		174		エプロン	婦人	余り布	裁断・縫う	2	余り布からエプロン	紹介・節約・代用
	第二期	おばあさんの作った帽子	おばあさんの作った帽子の作り方を紹介		172		帽子	婦人		編む	1		紹介・愛情
	第二期	洋服手芸問答	洋服手芸の質問に答えるコーナー		274			婦人					提案
1933年7月	第二期	夏の少女用ドレス	夏の少女のドレスの作り方を紹介	27巻7号	163		少女のドレス	少女		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	夏の幼児用ドレス	夏の幼児用ドレスの作り方を紹介		168		幼児用のドレス	幼児		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	夏のライトドレスの型紙	夏のライトドレスの型紙の作り方を紹介		118		ライトドレス	婦人					紹介

	第二期	チェコスロバキア風の皮細工	チェコの皮細工を紹介		183		皮細工	婦人					紹介
	第二期	チュールで作ったブラウス	チュールで作ったブラウスの作り方を紹介		186		ブラウス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1933年8月	第二期	ハンチョウの作り方	ーメートルの布で出来る縫い目なしのブラウスハンチョウの作り方を紹介	27巻8号	188	篠原かね子	ハンチョウ	婦人					紹介・合理的
	第二期	婦人帽子の作り方	夏の婦人帽子の作り方を紹介		190	筒井光康	婦人帽子	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	夏の子どもの洋服	夏の子供服の作り方を紹介		160		子供服	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	服装の研究	洋服をきちんと着る工夫と気持ちよく着る工夫を紹介		117		帽子・下着	婦人					紹介
	第二期	夏のズボンの仕立て方	夏のズボンの仕立て方を紹介		164	歌代縫之助	ズボン	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1933年9月	第二期	初夏の頃のスウェーター	初夏のスウェーター五種の作り方を紹介	27巻9号	165		スウェーター	子供		編む	1		紹介
	第二期	アメリカの遊び着の作り方	アメリカの遊び着の作り方を紹介		172		遊び着	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	服装の研究 靴	靴の研究		186		靴	婦人					紹介
	第二期	男児のシャツブラウスとズボンの作り方	男児のシャツブラウスとズボンの作り方を紹介		190	西島芳太郎	シャツブラウス・ズボン	男児		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1933年10月	第二期	この秋のコスチューム	フランスのファッションブックの中から日本人に似合うような型を紹介	27巻10号				婦人					紹介・提案
	第二期	秋の少女服とアンサンブルコート	秋の少女服とアンサンブルコートの作り方を紹介		180	西島芳太郎	アンサンブルコート	少女		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	洋服手芸問答	洋服手芸の質問に答えるコーナー					婦人					紹介
1933年11月	第二期	毛糸の手芸	毛糸の手芸を紹介	27巻11号	164		手芸	婦人		編む	1		紹介
	第二期	詰襟服の仕立て方	詰襟服の仕立て方を紹介		187	歌代縫之助	詰襟服	婦人		裁断・縫う	2		紹介
	第二期	中年婦人の秋のドレス	中年の婦人に向いている秋のドレスを紹介		190	西島芳太郎	ドレス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	衣類	揃えるべき洋服の一式を表で紹介		96			婦人					紹介・合理的
1933年12月	第二期	衣服費の換算会議	来年必要な衣服費を家族で話し合う	27巻12号	86			婦人					紹介・合理的・協力
	第二期	チェッコのクッション	チェッコのクッションのを紹介		175		クッション	婦人					紹介
	第二期	婦人用のオーバーコート	婦人用のオーバーコートの作り方を紹介		186	西島芳太郎	オーバーコート	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	詰襟服の仕立て方	詰襟服の仕立て方を紹介		184	歌代縫之助	詰襟服	男児					紹介
1934年1月	第二期	小学校時代の子どもの洋服の着方	小学校時代の子どもの洋服の着方について紹介	28巻1号	152		子供服	子供					紹介・愛情
	第二期	友愛セールについて	友愛セールについて		120			婦人					協力
	第二期	女兒のオーバーコート	女兒のオーバーコートの作り方を紹介		192	西島芳太郎	オーバーコート	女兒		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	洋裁手芸問答	洋服手芸の質問に答えるコーナー		262			婦人					提案
1934年2月	第二期	冬の子どもの毛糸あみもの	冬の子どもの毛糸あみものを紹介	28巻2号	172		子供のスウェーター	子供		編む	1		紹介・愛情
	第二期	美しい模様編みの手袋	手袋の編み方を紹介		168		手袋	婦人		編む	1		紹介
	第二期	赤ん坊服ー揃の作り方	赤ん坊ー揃えを紹介		185	西島芳太郎	赤坊服	赤坊		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	学生服の修繕法	経済的に着るために学生服の修理法を紹介		182	歌代縫之助	学生服	学生					紹介・合理的・節約
	第二期	洋服手芸問答	洋服手芸の質問に答えるコーナー					婦人					提案
1934年3月	第二期	ヨークつきの毛糸の洋服	ヨークつきの毛糸の洋服の編み方を紹介	28巻3号	188		毛糸服	婦人		編む	1		紹介
	第二期	模様編みの毛糸の洋服	模様付きの毛糸の洋服の編み方を紹介		190		毛糸服	婦人		編む	1		紹介
	第二期	理想的な小学生の通学服	自由学園衣服研究部の考案した理想的な小学生の通学服を紹介		192		通学服	学生		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	新学期を迎える小学生の通学服	小学生の通学服の作り方を紹介		205	西島芳太郎	通学服	学生		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	着古した背広から小学生服を作る	着古した背広服から小学生服へのお直しを紹介		202	歌代縫之助	小学生服	学生	背広			着古した背広から小学服	紹介・合理的・代用
1934年4月	第二期	服装合理化への新しい運動	服装合理化への新しい運動を紹介	28巻4号	150			婦人					紹介・合理的・協力
	第二期	女学校時代のドレス二種	女学校時代のドレス二種の作り方を紹介		201	西島芳太郎	ドレス	女学生		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	私の工夫したブルーズ	4人の工夫したブルースの作り方を紹介		190		ブルース	婦人					紹介
	第二期	春のカーディガンと帽子	春のカーディガンと帽子の作り方を紹介		198		カーディガン・帽子	婦人					紹介
1934年5月	第二期	婦人用の下着の縫方	婦人用スリッパとドローズの作り方を紹介	28巻5号	188	西島芳太郎	婦人下着	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	大人のレインコートをお子に	大人のレインコートから子供服へのお直しを紹介		194	歌代縫之助	子供服	子供	レインコート	型紙・裁断・縫う	3	大人のレインコートから子供服	紹介・代用
	第二期	持ち合わせの和服からこんなハイクラな洋服が出来ます	持ち合わせの和服から洋服へのお直しを紹介		184	大脇道子	洋服	婦人	和服	型紙・裁断・縫う	3	和服から洋服	紹介・合理的・代用

1934年6月	第二期	初夏の装い	初夏の装いとして、三人が紹介	28巻6号	186	今井和子・山室光子・羽仁説子・近藤磨理子		婦人						紹介・合理的
	第二期	初夏の幼児服三種	初夏の幼児服三種類の作り方を紹介		177	西島芳太郎	幼児服	幼児		型紙・裁断・縫う	3			紹介
	第二期	ネットのブラウスの作り方	ネットのブラウスの作り方を紹介		158		ブラウス	婦人						紹介
	第二期	毛糸で編んだ遊び着	毛糸で編んだ遊び着を紹介		160		遊び着	婦人						紹介
1934年7月	第二期	若い人にふさわしい夏の外出着	夏の外出着二種の作り方を紹介	28巻7号	193	西島芳太郎	外出着	婦人		型紙・裁断・縫う	3			紹介
	第二期	服装の合理化運動 秋の一揃い	身軽な洋服で働くことを推進し、秋の服装の合理化を目指す		162			婦人						紹介・合理的
1934年8月	第二期	夏のハウンドドレス三種	夏のハウンドドレス三種類の作り方を紹介	28巻8号	199	西島芳太郎	ハウンドドレス	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4			紹介
	第二期	和服を洋服になおす工夫	和服を洋服に直す工夫を紹介		185		洋服	婦人	和服				和服から洋服	紹介・合理的・代用
	第二期	黒い平絹の外出着	黒の縦の平絹を有り合わせのジョーゼットを少し取り入れ、新しいものに		186	土屋許子	外出着	婦人	平絹	型紙・裁断・縫う	3		平絹から外出着	紹介・合理的
	第二期	派手なモスリン絹の外出着	着古した和服をモスリン絹の服に		188	土井和子	モスリン絹	婦人	和服	型紙・裁断・縫う	3		和服からモスリン絹	紹介・合理的・代用
	第二期	裾回しで出来たブラウス	裾回しで出来たブラウスを紹介		189	林喜美子	ブラウス	婦人	裾回し	型紙・裁断・縫う	3		裾回しからブラウス	紹介・合理的・代用
	第二期	黒縮のサンマーコート	黒縮緬で出来たコートを紹介		190	グリゴフエフマヤ	コート	婦人	黒縮緬	型紙・裁断・縫う	3		黒縮緬からコート	紹介・合理的・代用
	第二期	ロンパース二種	ロンパース二種の作り方を紹介		193		ロンパース	子供		型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1934年9月	第二期	初秋の男児服	初秋の男児服の作り方を紹介	28巻9号	168	西島芳太郎	男児服	男児		型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
	第二期	初秋の装いに最も適したブラウス	ブラウス29種類の作り方を紹介		182		ブラウス	婦人						紹介・合理的
	第二期	毛糸のあみもの 遊び着三種	子供の遊び着三種の編み方を紹介		194		遊び着	婦人		編む	1			紹介・愛情
1934年10月	第二期	服装合理化運動 冬の服装一揃い	冬の服装一揃いを紹介	28巻10号	188	友の会中央消費組合		婦人						提案・合理的
	第二期	美しい秋の婦人服二種	秋の婦人服二種の作り方を紹介		190	西島芳太郎	婦人服	婦人	羽織・小紋	型紙・裁断・縫う	3		古い縮緬の羽織・小紋等のから和服婦人服	紹介・代用
	第二期	右いすに向く秋のスウェーター二種	秋のスウェーター三種の作り方を紹介		199		スウェーター	婦人		編む	1			紹介
	第二期	スモッキングをした可愛い毛糸の洋服	スモッキングをした毛糸の洋服を紹介		206		毛糸服	婦人		編む	1			紹介・愛情
1934年11月	第二期	秋から冬にかけての女児ドレス二種	女児ドレス二種の作り方を紹介	28巻11号	195	西島芳太郎	女児ドレス	女児		採寸・型紙・裁断・縫う	4			紹介
	第二期	型を整えるスリッパとブラジャー	スリッパとブラジャーの作り方を紹介		202		スリッパ・ブラジャー	婦人		型紙・裁断・縫う	3			紹介
	第二期	少女用スウェーター	少女用スウェーターの編み方を紹介				少女用スウェーター	少女		編む	1			紹介
	第二期	婦人用スウェーター	婦人用スウェーターの編み方を紹介				婦人用スウェーター	婦人		編む	1			紹介
	第二期	思いつきなケーブと帽子	思いつきなケーブと帽子の作り方を紹介		209	坂野敏子	ケーブ・帽子	婦人		型紙・裁断・縫う	3			提案
1934年12月	第二期	冬の婦人外套	婦人外套の作り方を紹介	28巻12号	190	西島芳太郎	婦人外套	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4			紹介
	第二期	軽い毛糸の帽子二種	帽子三種の編み方を紹介		202	近藤磨理子	帽子	婦人		編む	1			紹介
	第二期	クリスマスの洋服と帽子	クリスマスの洋服と帽子の作り方を紹介		199	坂野敏子	洋服・帽子	婦人		編む	1			紹介
1935年1月	第二期	娘の持ち物	働き着の多い農村の娘の持ち物を紹介	29巻1号	34			子供						紹介・合理的
	第二期	女児のオーバーコート	女児のオーバーコートの作り方を紹介		178	西島芳太郎	女児のオーバーコート	女児		採寸・型紙・裁断・縫う	4			紹介
	第二期	美しい衿飾り六趣	衿飾り六趣の作り方を紹介		188	中江研子	衿飾り	婦人		型紙・裁断・縫う	3			紹介
	第二期	思いつきな防寒具「膝ぐるみ」	膝ぐるみの作り方を紹介		196		膝ぐるみ	婦人		編む	1			提案
	第二期	スウェーターと帽子	フランスから送られた可愛いスウェーターと帽子の紹介		192		スウェーター・帽子	婦人		編む	1			紹介
	第二期	洋服手芸問答	洋服手芸の質問に答えるコーナー		256			婦人						提案
1935年2月	第二期	私の「一年一着」主義		29巻2号		エレナ・メクレンブルグ		婦人						紹介
	第二期	底のとりかへられるソックスの編み方	底のとりかへられるソックスの編み方を紹介		116	落合うの	ソックス	家族		編む	1			提案・合理的
	第二期	手軽に編める毛糸の袋二種	毛糸の袋ふたつの作り方を紹介		182	近藤磨理子	毛糸のふくろ	婦人		編む	1			紹介・合理的
	第二期	男児のセーラー・スーツ	男児のセーラー・スーツの作り方を紹介		172	西島芳太郎	男児のセーラー・スーツ	男児		採寸・型紙・裁断・縫う	4			紹介
1935年3月	第二期	女児の通学服	女児の通学服の作り方を紹介	29巻3号	191	西島芳太郎	女児通学服	女児		採寸・型紙・裁断・縫う	4			紹介・合理的

	第二期	働きよいエプロン二種	エプロン二種の作り方を紹介		202		エプロン	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	スウェーター五種	スウェーター五種の作り方を紹介		204		スウェーター	家族		編む	1		紹介・愛情
	第二期	三月の衣服整理	三月の衣類整理についての記事		184			婦人					提案・合理的
1935年4月	第二期	さまざまな席で美しい印象を興へた洋服	さまざまな席での美しい洋服を紹介	29巻4号	126	西島芳太郎		婦人					紹介
	第二期	かけつぎの仕方	かけつぎの仕方を紹介		184	武末久仁子		婦人					紹介
	第二期	春の婦人外出着	春の婦人外出着の作り方を紹介		193	西島芳太郎	婦人外出着	婦人	羽織	型紙・裁断・縫う	3	着古した羽織・着物	紹介・合理的・代用
	第二期	若い人の春の帽子	春の帽子二種の作り方を紹介		200	筒井康光	帽子	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	背広服と靴の手入れ	背広服と靴の手入れの仕方を紹介		119			婦人					紹介
	第二期	友愛セール	友の会が全国各地に古着からお直したものを送る					婦人					協力
1935年5月	第二期	春のブラウスとスカート	春のブラウスとスカートを紹介	29巻5号	188		ブラウス・スカート	婦人					紹介
	第二期	春の婦人のブラウス	婦人のブラウスの作り方を紹介		198	西島芳太郎	婦人ブラウス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	かけつぎの仕方	かけつぎの仕方を紹介		210	武末久仁子		婦人					紹介
	第二期	ボンネットと洋服	ボンネットと服の作り方を紹介		206		ボンネット	婦人					紹介・合理的
1935年6月	第二期	科学的・実験的百時間裁縫	すべての子どもが同じレベルにそろって楽しく勉強できる和服裁縫を紹介	29巻6号	162	青芳とみ子	和服裁縫	婦人					紹介
	第二期	一日の服装	4人の一日の服装について紹介		188			婦人					紹介・合理的
	第二期	子供の夏誌上セール	夏の子供服誌上セールの紹介		198			子供					協力
	第二期	春のスエーター二種	春のスウェーター二種の編み方を消化		216		スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	初夏の頃の婦人服	初夏の婦人ドレスの作り方を紹介		200	西島芳太郎	婦人ドレス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1935年7月	第二期	簡単にできる子供の夏の遊び着四種	子供の夏の遊び着四種の作り方を紹介	29巻7号	206		遊び着	子供		型紙・裁断・縫う・編む	4		紹介
	第二期	可愛い夏の子供服四種	夏の子供服四種の作り方を紹介		196	西島芳太郎	子供服	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1935年8月	第二期	真白い衿	真っ白な衿の作り方を紹介	29巻8号	193		衿	婦人		型紙・裁断・縫う	3		提案
	第二期	単純で美しい夏のドレス二種	夏のドレス二種の作り方を紹介		202	西島芳太郎	ドレス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1935年9月	第二期	赤坊あみもの一揃	赤坊のあみもの一揃いの作り方を紹介	29巻9号	184		赤坊の編物	赤坊		編む	1		紹介・愛情
	第二期	誌上紙学校	靴下・ハンカチーフ・アイロンのかけ方などを誌上で講習		116			婦人					紹介
	第二期	秋のコスチューム	秋のコスチュームを紹介		200		コスチューム	婦人					紹介
	第二期	秋の女児ドレス	秋の女児ドレスの作り方を紹介		206	西島芳太郎	女児ドレス	女児					紹介
	第二期	友の会	東北支援のためにお金・古着古布の送付の紹介					婦人					協力
1935年10月	第二期	秋のあみもの	スウェーターの編み方を紹介	29巻10号	180	自由学園工芸研究所	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	秋の婦人ドレス	秋の婦人ドレスの作り方を紹介		196	西島芳太郎	婦人ドレス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1935年11月	第二期	七五三の可愛い洋服	七五三の洋服を紹介	29巻11号	167		洋服	子供					紹介
	第二期	帽子とショールのデザイン五種	秋の帽子とスカーフ5種の作り方を紹介		180		帽子・スカーフ	婦人					紹介
	第二期	秋のスーツ仕立て方	秋のスーツの仕立て方を紹介		194	西島芳太郎	スーツ	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1935年12月	第二期	誌上家事学校 背広服の手入れ	背広の手入れの仕方を紹介	29巻12号	140		背広	婦人					紹介
	第二期	冬の婦人外套	冬の婦人外套の作り方を紹介		207	西島芳太郎	外套	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	二時間半で女児外套が縫い上がる	二時間半で女児外套が縫い上がる工夫を紹介		204		外套	女児					紹介・合理的
	第二期	子供の冬着	子供の冬着オーバーオールと帽子的作り方を紹介		200		オーバーオール・帽子	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	私の作った贈り物	姪への贈り物のネズミ人形・孫への贈り物を紹介		192		人形	婦人					紹介
1936年1月	第二期	私のスウェーター四種	四種類のスウェーターの作り方を紹介	30巻1号	248		スウェーター	婦人		縫う	1		紹介
	第二期	可愛い整理袋	整理袋の作り方を紹介		246		整理袋	婦人					紹介・合理的
	第二期	子供の外套	子供の外套の作り方を紹介		296	西島芳太郎	外套	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
1936年2月	第二期	毛糸の手芸さまざま	赤ちゃんのサスペンダー・カラーの編み方を紹介	30巻2号	241		サスペンダー・カラー	婦人		編む	1		紹介
	第二期	ボーイスーツの仕立て方	ボーイスーツの作り方を紹介		250	西島芳太郎	ボーイスーツ	男児		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	洋服手芸問答	洋服手芸の質問に答えるコーナー		266			婦人					紹介
1936年3月	第二期	子供のスモック三種	子供のスモック三種の作り方を紹介	30巻3号	250		スモック	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	可愛いケーブと帽子	ケーブと帽子の作り方を紹介		256		ケーブ・帽子	赤坊		型紙・裁断・縫う	3		紹介

	第二期	新入学の子どもの洋服	新入学の子どものためのドレスを二種紹介		220	西島芳太郎	ドレス	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	洋服手芸問答	洋服手芸の質問に答えるコーナー		266		男児服	男児	背広			肩広から男児服	提案
1936年4月	第二期	新入学の子どもへお母様からのプレゼント	新入学の子どもへお母さまからのプレゼントを紹介	30巻4号	254		帽子・着物入れ・遠足袋	子供	ズック			ズックで作った遠足袋	紹介・愛情・代用
	第二期	女学校へ通う頃の少女服二種	少女服二種類の作り方を紹介		244	西島芳太郎	少女服	少女		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	衣服の寿命	実証したものを表にまとめ衣服の寿命について紹介		150			婦人					紹介・合理的
	第二期	洋服手芸問答	洋服手芸の質問に答えるコーナー		262			婦人					提案
1936年5月	第二期	子供の編物三種	三種の子どもの編物を紹介	30巻5号	264		編物	子供		編む	1		紹介
	第二期	チェッコの頭巾	チェッコの頭巾を紹介		253		頭巾	婦人					紹介
	第二期	春から初夏にふさわしいブラウス三種	ブラウス三種の作り方を紹介		256	西島芳太郎	ブラウス	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
1936年6月	第二期	赤坊の衣服について	赤坊の衣服について紹介	30巻6号	126			赤坊					紹介
	第二期	さっぱり第一の夏の子供服	夏の子供服の作り方を紹介		226		子供服	子供					紹介・合理的・愛情
	第二期	重宝なベビー靴	重宝するベビー靴の作り方を紹介		232		ベビー靴	赤坊		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的・愛情
	第二期	フランス風の子供帽子	フランス風の子供帽子の作り方を紹介		234	中島静江	子供帽子	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的・愛情
	第二期	簡単な夏の子供服二種	二種類の簡単な子供服の作り方を紹介		250	西島芳太郎	子供服	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
1936年7月	第二期	夏の間に必要な赤ちゃんの毛糸編物	夏の間に必要な赤ちゃんの毛糸編物を紹介	30巻7号	244		編物	赤坊		編む	1		紹介・合理的
	第二期	さっぱりとした普段着と外出着の縫い方	夏服は自分で縫いましょうと、普段着・外出着の作り方を紹介		252	西島芳太郎	普段着・外出着	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1936年8月	第二期	この夏補充した衣類	この夏補充した衣類を紹介	30巻8号	219	堀江いち		婦人					紹介・合理的
	第二期	夏の手芸	海や山で楽しくできる手芸四種を紹介		224		手芸	婦人		編む	1		紹介・趣味
	第二期	マネカンの作り方	マネカンの作り方を紹介		241	西島芳太郎	マネカン	婦人					紹介
1936年9月	第二期	東北農村生活合理化運動 お金や古着を送りましょう	東北農村生活合理化運動としてお金や古着を送る	30巻9号	245			婦人					協力
	第二期	初秋の帽子	初秋の帽子の作り方を紹介		248		帽子	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	子供の寝衣三種の縫い方	三種の子どもの寝衣の縫い方を紹介		241	西島芳太郎	寝巻	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1936年10月	第二期	中年婦人の洋装を美しくしたい	中年婦人の洋装を美しくするために洋装について紹介	30巻10号	225	中島静江	洋装	婦人					紹介
	第二期	初秋にふさわしい女学生のドレス三種	女学生のドレス三種の作り方を紹介		254	西島芳太郎	ドレス	女学生		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	秋のスカーフ	秋のスカーフの作り方を紹介		261		スカーフ	婦人		編む	1		紹介
	第二期	私が洋服になった動機	洋服になった動機を紹介		250	永坂文代		婦人					紹介・合理的
1936年11月	第二期	和服地で作った洋服	和服地で作った洋服を紹介	30巻11号			洋服	婦人	和服			和服地から洋服	紹介
	第二期	子供の服装を可愛くするために	子供の服装を可愛くするために色・型など様々な工夫を紹介		258	中島静江		子供					紹介・愛情
	第二期	可愛い手編みの洋服	手編みの子供服を紹介		252	落合うの	子供服	子供		編む	1		紹介・愛情
	第二期	秋の婦人スーツの作り方	秋のスーツの縫い方を紹介		242	西島芳太郎	スーツ	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
1936年12月	第二期	クリスマスや新年によい女兒の外装	女兒の外装二種の作り方を紹介	30巻12号	218	西島芳太郎	外套	女兒		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	クリスマスの贈り物に	クリスマスの贈り物を紹介		254		クッション	婦人					紹介
1937年1月	第二期	婦人のオーバーコート	婦人のオーバーコートの作り方を紹介	31巻1号	185	西島芳太郎	オーバーコート	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	東北に贈る手紙 農村生活合理化のために	最も簡単な生活のために必要な一軒の家の持ち物を紹介		104			婦人					協力
	第二期	新年の部屋を飾る美しい手芸	新年の部屋を飾る手芸を紹介		175		手芸	婦人		編む	1		紹介
1937年2月	第二期	農民の服装の中から	農民たちの装いに愛着を感じることを記述	31巻2号		今和次郎		婦人					紹介
	第二期	通学着にふさわしいさっぱりした男子スーツ	通学服にふさわしい男児スーツの作り方を紹介		163	西島芳太郎	男児スーツ	男児		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	楽しい毛糸の手芸	毛糸の手芸を紹介		194		手芸	婦人		編む	1		紹介
	第二期	洋服は先ず下着から	下着の大事さを紹介			中島静江	下着	婦人					紹介・合理的
1937年3月	第二期	春らしい美しいスウェーター	春のスウェーターの作り方を紹介	31巻3号	208	自由学園工芸研究所	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	新入学の子どもたちによいドレス三種	新入学の子どもたちによいドレス三種を紹介		192	西島芳太郎	ドレス	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1937年4月	第二期	新入学の子どもに、手作りの帽子を送りましょう	手作りの帽子の作り方を紹介	31巻4号		筒井光康	帽子	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介

	第二期	清楚な春の婦人服	春の清楚な婦人服の作り方を紹介			西島芳太郎	婦人服	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1937年5月	第二期	初夏のブラウスの縫い方	春のブラウスの縫い方を紹介	31巻5号	192	西島芳太郎	ブラウス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	初夏の服装に軽やかなスカーフ五種	スカーフ五種の作り方を紹介		2	中島静江	スカーフ	婦人		編む	1		紹介
	第二期	軽快な美しいスウェーター	スウェーターの編み方を紹介		207	自由学園工芸研究所	スウェーター	婦人		編む	1		紹介
	第二期	可愛らしいベビーセット	ベビーセットの編み方を紹介		210	落合うの	ベビーセット	赤坊		編む	1		紹介
1937年6月	第二期	全国十九都市女性服装調査	全国十九都市で女性服を調査した結果を記載	31巻6号	90～			婦人					紹介・合理的
	第二期	毛糸で作った可愛らしい遊び着二種	遊び着二種の作り方を紹介		196	落合うの	遊び着	子供		編む	1		紹介
	第二期	初夏の可愛らしい女児服	初夏の女児服の作り方を紹介		200	西島芳太郎	女児服	女児		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	梅雨時の服装	梅雨時の服装を紹介		191	中島静江		婦人					紹介・合理的
1937年7月	第二期	軽やかな夏の外出着と働き着	夏の外出着と働き着を紹介	31巻7号	196	西島芳太郎	外出着・働き着	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	夏の遊び着に可愛いロンパース五種	五種の夏の遊び着の作り方を紹介		184		遊び着	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	ブラネテを使って夏の手芸	ブラネテを使った簡単な手芸を紹介		192		ブラネテ	婦人					紹介
1937年8月	第二期	真夏にはこの涼しげな健康的な遊び着が何よりです	遊び着の作り方を紹介	31巻8号	194	西島芳太郎	遊び着	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	夏の手芸	夏の手芸を紹介		186		手芸	婦人		編む	1		紹介
1937年9月	第二期	家庭で出来るホワイシャツ	家庭で出来るホワイシャツの作り方を紹介	31巻9号	184	西島芳太郎	ホワイシャツ	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1937年10月	第二期	絹糸で編んだ洋服	絹糸で編んだ洋服の作りかたを紹介	31巻10号	188	自由学園工芸研究所		婦人		編む	1		紹介
	第二期	どこの家庭にもある不要な布、毛糸、古靴下を使って作る新聞入れ、テーブルセンター、手提げ袋、バスマットの作り方を紹介	どこの家庭にもある不要な布、毛糸、古靴下を使って作る新聞入れ、テーブルセンター、手提げ袋、バスマットの作り方を紹介		193		新聞入れ、テーブルセンター、手提げ袋、バスマット	婦人	靴下			古靴下から新聞入れ、テーブルセンター、手提げ袋、バス	紹介・合理的・代用
	第二期	中年の婦人に向く秋のドレス	中年婦人に向く秋のドレスの作り方を紹介		200	西島芳太郎	ドレス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	なほしもの 物資を活用しましょう 礼十八種	物資を活かしたなほしものを写真つきで紹介					婦人・子供					紹介・代用
1937年11月	第二期	温かいオーバーの仕立て方	温かいオーバーコートの作り方を紹介	31巻11号	208	西島芳太郎	オーバーコート	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	家庭機で秋の装飾品を作ろう	家庭機で秋の装飾品の作り方を紹介		201		装飾品	婦人		編む	1		紹介
	第二期	紺の制服をズボンスカートの	物資を活かしたなほしものを紹介		196		ズボンスカート	子供	制服	型紙・裁断・縫う	3	紺の制服をズボンスカートに	紹介・代用
	第二期	ワイシャツを子供のシャツに	物資を活かしたなほしものを紹介				子供シャツ	子供	ワイシャツ	型紙・裁断・縫う	3	ワイシャツを子供のシャツに	紹介・代用
	第二期	男物のズボンをスカートの	物資を活かしたなほしものを紹介				スカート	婦人	ズボン	型紙・裁断・縫う	3	男物のズボンをスカートの	紹介・代用
	第二期	スカートを男児用ジャンパーに	物資を活かしたなほしものを紹介				男児用ジャンパー	男児	スカート	型紙・裁断・縫う	3	スカートを男児用ジャンパーに	紹介・代用
	第二期	和服のセルを部屋着に	物資を活かしたなほしものを紹介				部屋着	婦人	セル	型紙・裁断・縫う	3	和服のセルを部屋着に	紹介・代用
1937年12月	第二期	オーバーコートの縫い方	外套を容易く縫える工夫を紹介	31巻12号	204	西島芳太郎	オーバーコート	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	子供にできるやさしい手芸	子供にもできる手芸を紹介		190～195		手芸	子供		編む	1		紹介
	第二期	家庭機誌上講習	家庭機を使ったチョッキの作り方を紹介		198～202		チョッキ	婦人		編む	1		紹介
1938年1月	第二期	お正月の晴れ着	お正月の晴れ着に同じ型から男女児の洋服の作り方を紹介	32巻1号	199	西島芳太郎	晴れ着	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	洋服裁縫の能率的な基礎勉強	洋服裁縫の能率的な基礎勉強を掲載		123	自由学園洋裁グループ		婦人					紹介・提案
	第二期	誰にでもやさしくできる手芸	やさしい手芸として子犬の人形の作り方を紹介		191		人形	婦人		編む	1		紹介
1938年2月	第二期	新しく工夫されたパジャマと重宝なガウン	パジャマとガウンの作り方を紹介	32巻2号	169	西島芳太郎	パジャマ・ガウン	家族		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	面白いリング手芸	リング手芸を紹介		184		手芸	婦人		編む	1		紹介
	第二期	防寒用のマフラー四種	防寒用のマフラー四種の作り方紹介		187		マフラー	婦人		編む	1		紹介
	第二期	洋服にうつりたい	洋服にうつりたい人との対談					婦人					紹介
1938年3月	第二期	洋服裁縫の能率的な基礎勉強	洋服裁縫の能率的な基礎勉強を掲載	32巻3号	104	自由学園洋裁グループ		婦人					紹介

	第二期	若い方たちのためにブラウスとスカート	ブラウスとスカートの作り方を紹介		150	西島芳太郎	ブラウス・スカート	婦人	男性服	型紙・裁断・縫う	3	男物の洋服からブラウス・スカート	紹介
1938年4月	第二期	洋服裁縫の効率的な基礎勉強	洋服裁縫の能率的な基礎勉強を掲載	32巻4号	146	自由学園洋裁グループ		婦人					紹介
	第二期	和服地を使って服を作るとき	和服地を使って服を作るための布の選び方と模様・型について紹介		212			婦人					紹介
	第二期	子供のお手伝いエプロン	子供のお手伝いエプロンの作り方を紹介		223		エプロン	子供					紹介・愛情
	第二期	活発でかわいい一年生の服	一年生の服を紹介		216	西島芳太郎	スカート・ブラウス	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	婦人之友と服装合理化三十五年	婦人之友と服装の合理化三十五年を振り返る		291～310	羽仁説子		婦人					紹介・合理的
1938年5月	第二期	一年生の服装持ち物	一年生の一年間の服装と持ち物を表で紹介	32巻5号	120			子供					紹介・合理的
	第二期	手編みの可愛いジャケットとボンネット	手編みの可愛いジャケットとボンネットを紹介		197		ジャケット・ボンネット	子供		編む	1		紹介
	第二期	軽くて愛らしいワンピース	ワンピースの作り方を紹介		220	西島芳太郎	ワンピース	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
1938年6月	第二期	洋服裁縫の能率的な基礎勉強	洋服裁縫の能率的な基礎勉強を掲載	32巻6号	136	自由学園洋裁グループ		婦人					紹介
	第二期	初夏の婦人服	初夏の婦人服の作り方を紹介		194		婦人服	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	軽快な着心地のよいスウェーターを編みましょう	スウェーターの編み方を紹介		182		スウェーター	子供		編む	1		紹介
1938年7月	第二期	私の夏着の工夫	夏着の工夫を紹介	32巻7号	112		夏着	婦人					紹介・合理的
	第二期	夏の子供服	夏の子供服の作り方を紹介		206	西島芳太郎	子供服	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	遊び着を作しましょう	遊び着の作り方を紹介		196		遊び着	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	涼しげな手編み手袋	手編みの手袋の編み方を紹介		202		手袋	婦人		編む	1		紹介
1938年8月	第二期	不用品を生かしましょう	長襦袢の袖で作ったクッションを紹介	32巻8号	177		クッション	婦人	長襦袢の袖			長襦袢の袖からクッション	代用
	第二期	不用品を生かしましょう	半袖で作ったスリッパを紹介		177		スリッパ	婦人	半袖			半袖で作ったスリッパ	代用
	第二期	不用品を生かしましょう	小布で子供のチョッキとパス入れを紹介		177		チョッキ・パス入れ	子供	余り布			小布で子供のチョッキとパス入れ	代用
	第二期	不用品を生かしましょう	羽織裏の残りで作った簡単帯を紹介		177		簡単帯	婦人	羽織裏			羽織裏の残りで簡単帯	代用
	第二期	不用品を生かしましょう	四つ身をなほしたブラウスを紹介		177		ブラウス	婦人	四つ身			四つ身からブラウス	代用
	第二期	不用品を生かしましょう	洋服の残り布からテーブルかけへのお直しを紹介		177		テーブルかけ	婦人	残り布			洋服の残り布からテーブル	代用
	第二期	不用品を生かしましょう	お姉さんの水兵服から日よけぼうしとワンピースへお直し		177		帽子・ワンピース	子供	水兵服			お姉さんの水兵服から日よけぼうしとワン	代用
	第二期	涼しげな家庭着	家庭着の作り方を紹介		196	西島芳太郎	家庭着	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1938年 臨時増刊	第二期	赤坊衣服一揃いの縫い方	赤坊の衣服一揃いの縫い方を紹介		151		赤坊衣服	赤坊		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	新案の半袖下着・遊び着・パジャマの縫い方	新案の半袖下着・遊び着・パジャマの縫い方を紹介		158		下着・遊び着・パジャマ	子供					紹介・提案
	第二期	赤坊とおむつ	赤坊のおむつについて紹介		162		おむつ	赤坊					紹介
1938年9月	第二期	容易くできる可愛いシャツとズボン	容易くできるシャツとズボンの作り方を紹介	32巻9号	191	西島芳太郎	シャツ・ズボン	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・愛情
	第二期	身近な材料で美しいジレーを作しましょう	身近な布・テープ・糸からジレーの作り方を紹介		197		ジレー	婦人		裁断・縫う	2		紹介・代用
1938年10月	第二期	女学生の通学着	お家にある和服地を生かして女学生の通学着の作り方を紹介	32巻10号	203	西島芳太郎	通学着	女学生	和服地	採寸・型紙・裁断・縫う	4	和服地から通学着	紹介・代用・合理的
1938年11月	第二期	不用品交換即売会の成功	女性の協力による不用品交換大即売会の成功を紹介	32巻11号	208			婦人					協力
	第二期	和服地一反からワンピースに上衣を揃えて	和服地からワンピースへの作り方を紹介		162	西島芳太郎	ワンピース	婦人	和服地	採寸・型紙・裁断・縫う	4	和服地からワンピース	紹介・代用・合理的
	第二期	和服の袖で出来る上衣	和服の袖から上衣への作り方を紹介				上衣	婦人	和服の袖	型紙・裁断・縫う	3	和服の袖から上衣	紹介・代用
	第二期	誰にでも似合う可愛い帽子	お母さまの古い帽子を直して子供の帽子の作り方を紹介		159		子供の帽子	子供	母の帽子	縫う	1	母の帽子から子供の帽子	紹介・代用・合理的

1938年12月	第二期	家族の衣服を工夫して	家族の衣服を苦勞なしにてがけていく主婦の工夫を紹介	32巻12号	80	堀江いち代		家族					紹介・合理的
	第二期	可愛い子供の外套	初めて縫う人にも簡単にできる子供の外套の作り方を紹介		141	西島芳太郎	外套	子供	母・姉の外套	採寸・型紙・裁断・縫う	4	母姉の外套が ら子供の外套	紹介・合理的・代用
	第二期	染めてみた私の経験	ショール・ベレー帽子・子供服・スウェーターを実際に染めてみた経験を紹介		158			婦人		染める	1		紹介
1939年1月	第二期	子供の普段着	子供の平常着の作り方を紹介	33巻1号	183	西島芳太郎	平常着	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
	第二期	楽しい手芸六趣	六種の手芸を紹介		162		手芸	婦人		編む	1		紹介
1939年2月	第二期	子供のための戸外スーツ	子供のための戸外スーツの作り方を紹介	33巻2号	161	西島芳太郎	戸外スーツ	子供	父の服	採寸・型紙・裁断・縫う	4	父の古い服から 子供のスー	紹介・合理的・代用
	第二期	気のきいた帽子とスカーフ	残り毛糸で出来る気の利いた帽子とスカーフを紹介		169	大森松代	帽子・スカーフ	婦人	余り毛糸	編む	1	残り毛糸から 帽子スカーフ	紹介・節約
1939年3月	第二期	春の上衣とスカートの作り方	春の婦人服の上衣とスカートのツープースの作り方を紹介	33巻3号	172	西島芳太郎	ツープース	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	新入学の服装をこうして揃えましょう	純子さんと洋子さんの新入学の服装を紹介				入学服	子供	母・祖母の服			お母様、叔母様のお古から 子供服	紹介・代用
1939年4月	第二期	一人一人の工夫から生まれた家庭スモックを着よう	工夫から生まれた家庭スモックを紹介	33巻4号	102		スモック	婦人					紹介・合理的
	第二期	一人で着やすいシャツとズボン	子供がひとりで着やすいシャツとズボンの作り方を紹介		147	西島芳太郎	シャツ・ズボン	子供	大人の服	採寸・型紙・裁断・縫う	4	大人の古い服から子供のシャ ツ・ズボン	紹介・代用
	第二期	子供の帽子を作りましょう	子供の帽子の作り方を紹介		156		帽子	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1939年5月	第二期	軽快な春のワンピース	春の清楚なワンピースの作り方を紹介	33巻5号	164	西島芳太郎	ワンピース	婦人	制服・和服	採寸・型紙・裁断・縫う	4	制服・和服から ワンピース	紹介・代用・合理的
1939年6月	第二期	衣類を大切に用いるために合理的な衣更への仕方		33巻6号	89			婦人					紹介
	第二期	夾襦染めの夏布団	古布を更生させて夏布団を作る紹介		178	自由学園工芸研究所	布団	婦人	古布	染める	1	古布から夏布 団	紹介・代用
	第二期	レインコートの仕立て方	和服を染めて防水し、レインコートを作る		183	西島芳太郎	レインコート	子供	和服	採寸・型紙・裁断・縫う・染める	5	和服を染めて 防水し、レイン コートを作る	紹介・代用
1939年7月	第二期	下着を気持ちよく大切に着よう	下着を大切に気持ちよく着るための工夫を紹介	33巻7号	140		下着	子供	母の下着・父のシャツ			母のシミードウ エスト・父の縮 みシャツから子 供下着	紹介・提案・合理的
	第二期	可愛い夏の子供服	夏の子供服の作り方を紹介		167	西島芳太郎	子供服	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	真夏の子どもの遊び着	子供の遊び着の作り方を紹介		154		遊び着	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	古着から子供の簡単服	古着から子供服など古着が見違えるように役に立つことを紹介		177		子供服	子供	背広・ベビー服			背広から子供の 外出着・ベビー服を三四 歳の遊び着	紹介・代用
1939年8月	第二期	真夏のワンピース	真夏のワンピースの作り方を紹介	33巻8号	172	西島芳太郎	ワンピース	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
	第二期	私の衣服整理日記	衣服の整理日記を表を使い紹介		131			婦人					紹介・合理的
1939年9月	第二期	真っ白な刺繍糸で編んだベビーセット	刺繍糸で編んだベビーセットを紹介	33巻9号	173		刺繍	赤坊		編む	1		紹介
	第二期	着古した夏のワンピースでエプロン四種	夏に着古したワンピースを利用して仕事着の作り方を紹介		162		仕事着	婦人	ワンピース	型紙・裁断・縫う	3	夏のワンピ ースから仕事着	紹介・代用・合理的
	第二期	初秋のブラウスとスカート	初秋のブラウスとスカートの作り方を紹介		172	西島芳太郎	ブラウス・スカート	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
1939年10月	第二期	和服から洋服へ	新しい布を一切買わずに和服から洋服への紹介	33巻10号	88	Yさん	スーツ・ブラウス	婦人	コート・肩掛け			コートをス ーツに・レースの肩 掛けをブラウ スに・絹メリヤ ス編肩掛けを ブラウスに	紹介・合理的・節約・ 代用
	第二期	戦時下働く婦人の服装	戦時下で働く婦人の服装を対談で紹介					婦人					紹介
	第二期	子供洋服リレー	友愛セールの提案で子供洋服リレーを紹介		108			子供					紹介・合理的・協力

	第二期	秋から冬への衣服の工夫	衣服の工夫を紹介		111		子供服	子供	毛布・大人 シャツ			古毛布から子 供ズボン・大人 用ラクダシャツ から子供コンビ ネーション	紹介・合理的・節約・ 代用
	第二期	婦人スーツ	秋の外出着の婦人スーツの作り方を紹介		137	西島芳太郎	婦人スーツ	婦人	和服地	採寸・型紙・裁 断・縫う	4	和服地から スーツ	紹介・合理的・代用
	第二期	チョッキ二種	残り布やのこり糸を利用したチョッキ二種の作り方を紹介				チョッキ	婦人	余り布	採寸・型紙・裁 断・縫う	4	残り布から チョッキ	紹介・合理的・節約
1939年11月	第二期	和服から洋服へ	和服から洋服への実行を紹介	33巻11号	124		スモック	婦人	セル			古いセルから スモック	紹介・代用
	第二期	男女児によい可愛い外套	男女児によい外套の作り方を紹介		145	西島芳太郎	外套	子供		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	残り布を利用したジレー	残り布を利用したジレーを紹介				ジレー	婦人	余り布			残り布からジ レー	紹介・合理的
1939年12月	第二期	娘の晴れ着の工夫(一枚の洋服 をさまざまに活用して)	一枚の洋服をさまざまに活用した晴れ着の工夫を紹介	33巻12号	82		晴れ着	子供					紹介・合理的
	第二期	和服から洋服へ	和服から洋服への実行を紹介		148		外套	婦人	セルのコート			セルのコートか ら外套	紹介・合理的
	第二期	さっぱりとした少女の外着	少女の外着の紹介		163	西島芳太郎	外着	少女		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介
1940年1月	第二期	清楚な春のワンピース	清楚な春のワンピースの作り方を紹介	34巻1号	188	西島芳太郎	ワンピース	婦人		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介
	第二期	古帽子で作った敷物	古帽子で作った敷物を紹介		178	自由学園工 藝研究所	敷物	婦人	帽子			古帽子から敷 物	紹介・代用・節約
1940年2月	第二期	温かい子供の「レギンス」と重宝 な母親の家着	温かい子供の「レギンス」と重宝な母親の家着の作り方を紹介	34巻2号	177	西島芳太郎	レギンス・家着	子供		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介
	第二期	子供の手芸	子供の手芸を紹介		188	自由学園工 藝研究所	クッション	子供		編む	1		紹介
1940年3月	第二期	可愛い通学服	可愛い通学服	34巻3号	191	西島芳太郎		子供					紹介
	第二期	赤ちゃんのアフガン二つ	赤ちゃんのアフガン二つ		200	自由学園工 藝研究所		赤坊					紹介
1940年4月	第二期	大巾一丈で出来る着物	大巾一丈で出来る着物を紹介	34巻4号	110	藤田阿津子	着物	婦人		裁断・縫う	2		紹介・合理的
	第二期	清楚な春のワンピース	清楚な春のワンピースの作り方を紹介		186	西島芳太郎	ワンピース	婦人		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	手作りの子ども運動靴	手作りの子ども運動靴を紹介		193	自由学園工 藝研究所	子ども運動靴	子供	レインコート			レインコートか ら運動靴	紹介・合理的・代用
	第二期	竹の皮から出来た美しい敷物	竹の皮から出来た美しい敷物を紹介		193	自由学園工 藝研究所	敷物	婦人	竹の皮			竹の皮から敷 物	紹介・代用
1940年5月	第二期	軽やかなブラウス二種	軽やかなブラウス二種の作り方を紹介	34巻5号	179	西島芳太郎	ブラウス	婦人		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介
	第二期	面白い買い物袋	面白い買い物袋の作り方を紹介		186	自由学園工 藝研究所	買い物袋	婦人		裁断・縫う	2		紹介
1940年6月	第二期	協力裁縫 少ない物資を生かせ 衣について	協力裁縫について紹介	34巻6号	117		上靴・スリッパ・ 掛布団	婦人	靴・カラー・半 襟			古靴から上靴・ 古カラーからス リッパ・半襟か ら掛布団	協力・合理的・代用
	第二期	見るからに可愛い子供服	可愛い子供服の作り方を紹介		181	西島芳太郎	子供服	子供		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介
	第二期	子供帽子を手作りしましょう	子供帽子を手作りする方法を紹介		188	自由学園工 藝研究所	帽子	子供		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介・愛情
1940年7月	第二期	協力裁縫・協力食事いよいよお くる	協力裁縫・協力食事の紹介	34巻7号	109			婦人					紹介・協力
	第二期	清楚な夏のワンピース	清楚な夏のワンピースの作り方を紹介		167	西島芳太郎	ワンピース	子供		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	子供の海水着	古い下着を利用した子供の海水着の作り方を紹介		170	自由学園工 藝研究所	海水着	子供	母の下着・父 のシャツ	型紙・裁断・縫う	3	シミード、父の ラクダシャツ、 腹巻から海水	紹介・代用
1940年8月	第二期	協力裁縫・協力食事その後	協力裁縫・協力食事その後を紹介	34巻8号	196			婦人					紹介・合理的・協力
	第二期	可愛い男児スーツ	可愛い男児スーツの作り方を紹介		181	西島芳太郎	男児スーツ	男児	父の服・母の ワンピース・和 服	採寸・型紙・裁 断・縫う	4	父の麻の服、 母のワンピー ス、和服から男 児スーツ	紹介・代用

	第二期	古レースや網のカーテンを工夫して	古レースや網のカーテンの工夫を紹介		190	自由学園工芸研究所		婦人					紹介・合理的
1940年9月	第二期	お父さんお兄さんの運動シャツと家着	お父さんお兄さんの運動シャツと家着の作り方を紹介	34巻9号	180	西島芳太郎	運動シャツ・家着	父・男児		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
	第二期	男女児お揃いの手編みスーツ	男女児お揃いの手編みスーツを紹介		186	自由学園工芸研究所	スーツ	子供		編む	1		紹介・愛情
	第二期	帽子つきのケーブとよだれかけ	帽子つきのケーブとよだれかけの作り方を紹介		190	自由学園工芸研究所	ケーブ・よだれかけ	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	可愛い赤坊帽子二つ	可愛い赤坊帽子二つの作り方を紹介		193	近藤真佐子	帽子	赤坊		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1940年10月	第二期	清楚なツーピース	清楚なツーピースの作り方を紹介	34巻10号	183	西島芳太郎	ツーピース	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1940年11月	第二期	ブラウスをいつもきれいに着るために	ブラウスをいつもきれいに着るための工夫を紹介	34巻11号	130		ブラウス	婦人					紹介・合理的
	第二期	衣服日記の一節より	衣服日記の一節より 身軽にさっぱりとなつてを紹介		135			婦人					紹介・合理的
	第二期	スモックを作りましょう	スモックの作り方を紹介		189	西島芳太郎	スモック	婦人	和服	採寸・型紙・裁断・縫う	4	着古した和服のメリヤス、銘仙、セル等からスモック	紹介・合理的・代用
1940年12月	第二期	古靴下を染めて厚い手編ソックス	古靴下を染めて厚い手編ソックスの作り方を紹介	34巻12号	132		ソックス	家族	靴下	編む・染める	2	古靴下からソックス	紹介・合理的・代用
	第二期	お父さんのシャツを使って温かい下ばき	お父さんのシャツを使って温かい下ばきの作り方を紹介		134		下ばき	家族	父のシャツ	裁断・縫う・d¥染める	3	父のシャツから下ばき	紹介・合理的・代用
	第二期	真綿の入った着心地よいスモック	真綿の入った着心地よいスモックを紹介		135		スモック	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
	第二期	ラグラン袖の外套の仕立て方	ラグラン袖の外套の仕立て方を紹介		182	西島芳太郎	外套	子供	父の外套	採寸・型紙・裁断・縫う	4	父の古い外套から子供の外套	紹介・代用
1941年1月	第二期	少ない衣服費の工夫	少ない衣服費の工夫を紹介	35巻1号	88		下着・ブルマース・チョッキ・ブラウス・ハーフコート	赤坊・婦人・子供	座布団カバー・下着			座布団カバーから下着、父のシャツからブルマース、赤ちゃんのアフガンからチョッキ、夏のワンピースからブラウス、祖母のシャツからハーフコート	紹介・代用・節約・合理的
	第二期	子供洋服仕立て方	古い布を刺繍で生かした子供洋服仕立て方を紹介		166	西島芳太郎	子供服	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4	古布から子供服	紹介・代用・合理的
1941年2月	第二期	少女用の上衣	少女用の上衣の作り方を紹介	35巻2号	106	西島芳太郎	上衣	少女		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
1941年3月	第二期	清楚なワンピース仕立て方	清楚なワンピース仕立て方を紹介	35巻3号	122	西島芳太郎	ワンピース	少女		採寸・型紙・裁断・縫う	4	紺サージの制服からワンピース	紹介・代用・合理的
1941年4月	第二期	新入学にふさわしい子供服	新入学にふさわしい子供服の作り方を紹介	35巻4号	102	西島芳太郎	子供服	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的・節約
	第二期	新入学の贈り物	新入学の贈り物を紹介		110		手提げ鞆	子供		裁断・縫う	2		紹介
1941年5月	第二期	若い人のブラウスとスカート	若い人のブラウスとスカートの作り方を紹介	35巻5号	118	西島芳太郎	ブラウス・スカート	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1941年6月	第二期	初夏の軽やかな外出着	初夏の軽やかな外出着の作り方を紹介	35巻6号	116	西島芳太郎	上衣・スカート	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
1941年7月	第二期	夏の可愛らしい子供服	夏の可愛らしい子供服の作り方を紹介	35巻7号	96	西島芳太郎	子供服	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1941年8月	第二期	着心地のよい下着	着心地のよい下着の作り方を紹介	35巻8号	94	西島芳太郎	下着	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1941年9月	第二期	半外套	半外套の作り方を紹介	35巻9号	88	西島芳太郎	半外套	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1941年10月	第二期	現代服装パノラマ	現代服装のパノラマを紹介	35巻10号	38			婦人					紹介
	第二期	ジャンパードレス	ジャンパードレスの作り方を紹介		106	西島芳太郎	ジャンパードレス	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
1941年11月	第二期	古い布を応用して出来る温かい外套	古い布を応用して出来る温かい外套の作り方を紹介	35巻11号	87	西島芳太郎	外套	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4	古い布から外套	紹介・合理的・代用
1941年12月	第二期	小さい子供たちのために温かい一揃い	小さい子供たちのために温かい一揃いを紹介	35巻12号	108	西島芳太郎	コート・レギンス	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・愛情

1942年1月	第三期	赤ん坊服一揃いの仕立て方	母親の工夫によって、赤ん坊から小学校時代までの最も成長の激しい子供たちのために、型、地質、持ち数、着方までを研究。物質不足の時代にどうしたら暖かい一揃いをそろえられるか、配給の綿ネル晒等から当を上手に裁ち合わせて大ではおつくりがちなワンピースをみんなまで協力して作る。	36巻1号	85		赤ん坊衣服(肌着・上着・チョッキ・おくるみ)	赤坊	配給の綿ネル晒等、アイロン	型紙・裁断・縫う・編む	4	晒から肌着三枚、綿ネルから上着三枚とおくるみ一枚	節約・代用
1942年2月	第三期	協カクリーニング		36巻2号	35			婦人					合理的・提案
1942年2月	第三期	和服のセルコートで働き者	働きやすく、着やすく、仕立てが簡単で誰でも手軽に縫えることを考え和服のセルコートを直して働き着に工夫。戦時下の日常生活に主婦はいつの場合にも問い乱さないきりとした服装をしたいと思います。	36巻2号	54		働き着	婦人		型紙・裁断・縫う	3		合理的・提案
1942年3月	第三期	切符制になって一層重要になる衣類整理	衣料切符制の始まりと共に一層重要になる衣服整理。ワイシャツのお古からシャツブラウス、婦人が子供の時に着た紺色のジャージーの海水着で作ったブラウスの袖口と襟ぐりへ毛糸で編み足したもの、コンビネーションを直したシャツ等々、何から何まで家じゅうの方のお古や廃物が上手に生かされています。	36巻3号	62	中條千枝子	家族の家着	家族				ワイシャツのお古からシャツブラウス、婦人が子供の時に着た紺色のジャージーの海水着で作ったブラウスの袖口と襟ぐりへ毛糸で編み足したもの、コンビネーションを直	合理的・節約
1942年3月	第三期	重點主義の衣服計量	小山博子さん4人家族は衣服費を少なくするためにできる限りの工夫をしている。長女は兄のお譲りや叔母たちの古いものを作りかえたりして5年間ほとんど新調したことがない。下着類もあり布をつかい手縫いの下着を着せている。	36巻3号	66	小山博子		婦人					合理的・節約
1942年3月	第三期	衣類を簡素にして真物の寿命を知る	大倉經子さん6人家族の衣類の整理の仕方を紹介	36巻3号	67	大倉經子		婦人					合理的
1942年3月	第三期	大家族の衣類を上手に繰り回す	国澤春子さん11人家族の衣類の繰り回し方を紹介	36巻3号	68	國澤春子		家族				家族の服→家族の服	合理的・節約・代用
1942年3月	第三期	五年間の靴下と足袋	5年間につかった靴下と足袋の数を明らかにし、お直しなどを紹介している。	36巻3号	69	竹村郁子	靴下	家族				主人の靴下のふるくなったのは小さい子供の靴下に作り変えて使い、冬のソックスは古毛糸を編み直	合理的・節約
1942年3月	第三期	女兒の連子服にスポン式スカーフ	新入子の手ももたちのためにスポン式スカーフの作り方を紹介	36巻3号	92	西島芳太郎	スポン式スカーフ	女兒			型紙・裁断・縫う	3	提案
1942年4月	第三期	子どもの衣類六年間の記録	子供の衣類六年間の記録し、表にまとめたものを紹介	36巻4号	72	秦美代		子供					合理的・紹介
1942年5月	第三期	子供服軍純化のために	子供服軍純化のためにロンパース・ジャケット・ワンピースの作り方を紹介	36巻5号	88	自由学園消費組合作成	ロンパース・ジャケット・ワンピース	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1942年5月	第三期	東北の子どもたち春の装い	福島での協力裁縫を紹介	36巻5号	78	自由学園消費組合作成		子供					合理的
1942年6月	第三期	川村婦人と乙さんの衣服整理問答		36巻6号	66			婦人	布(ブロードクロス・ペローア・紺サージ・ビロード等)				紹介
1942年6月	第三期	男の子のために軽快なシャツとズボン	十歳前後の男児服、開襟シャツとズボンの作り方を紹介。	36巻6号	85	西島芳太郎	シャツ・ズボン	男児		型紙・裁断・縫う	3		合理的・節約・紹介
1942年7月	第三期	小さい子供の遊び着	小さい子供たちの遊び着を二つ紹介	36巻7号	83		子供の遊び着	子供		型紙・裁断・縫う	3	お父様のワイシャツやお母様の服のお古から遊び着	合理的・紹介
1942年7月	第三期	私の合間仕事	仕事の合間を利用し、残り布などを使い様々なものを作成することを紹介	36巻7号	80	伊丹さち		婦人	布・綿			残り布から枕カバーとハンカチ、麻の残り布で作ったエプロン、古長靴のゴムと残り布で作った爪革	合理的・趣味
1942年7月	第三期	私の働き着	働き着の作り方を紹介。	36巻7号	69	自由学園女子部新卒業生考案	働き着	婦人		型紙・裁断・縫う	3	古いカーテンの布を水色に染めて作る	合理的・紹介

1942年8月	第三期	裁ち落しの端布を集めて美しいブラウス	裁ち落しの端布をあつめて協力裁縫から生まれた美しい接ぎ合せのブラウスの作り方を紹介	36巻8号	69		ブラウス	婦人	毛糸	型紙・裁断・縫う・編む	4		合理的・紹介
1942年8月	第三期	夏の涼しい子供帽の作り方	子供たちのために涼しい帽子の作り方を紹介	36巻8号	73		子供の帽子	子供		型紙・裁断・縫う	3	僅かの残り布から子供の帽	合理的・節約・紹介
1942年8月	第三期	協力布団が出来上がるまで	東北の子どもたちへの贈り物として東京友の会の千人針で出来た百二十枚のおひるね用綿なしぶとんの記事	36巻8号	58		協力ふとん	婦人		縫う・裁断	2	ありあわせの洋服の布からふとん	紹介
1942年9月	第三期	着心地のよい妊婦服	和服の着物と羽織の形を応用した妊婦服のワンピースと上着の一揃いの作り方を紹介	36巻9号	91	西島芳太郎	ワンピースと上着	妊婦		型紙・裁断・縫う	3		合理的・紹介
1942年10月	第三期	秋のハーフコート	秋のハーフコートの作り方を紹介	36巻10号			ハーフコート	婦人		型紙・裁断・縫う	3		合理的・紹介
1942年11月	第三期	めだたかい子供の防寒防空服	子供の防寒兼防空服の作り方を紹介	36巻11号	79	中島静江	子供の防空服	子供		型紙・裁断・縫う	3	古布から防空服	合理的・節約・紹介
1942年11月	第三期	幼児用のスウェーターとレギンス	幼児用のスウェーターとレギンスの一揃いの作り方を紹介	36巻11号	93	伊藤磨理子	セーターとレギンス	幼児		解く・編む	2	大人のセーターから幼児のセーターとし	合理的・節約・紹介
1942年12月	第三期	若い人のための冬の働き着兼非常時服	冬の働き着兼非常時服の作り方を紹介	36巻12号	61	西島芳太郎	冬の働き着兼非常時服	婦人		型紙・裁断・縫う	3		合理的・紹介
1942年12月	第三期	子供のためのあたたかな編みもの	肩でとめるレギンスの作り方を紹介	36巻12号	53		レギンス	子供		解く・編む	2	赤ん坊の時の上着とレギンスからレギンス	合理的・節約
1943年1月	第三期	暖かい洋服の丹前	燃料節約のために和服を作り直して洋服の上に着るあたたかい丹前の作り方を紹介	37巻1号	84	中島静江	丹前	婦人	布	型紙・裁断・縫う・衿つけ・袖つけ	6	和服から洋服の上に着るあたたかい丹前	合理的・節約・代用
1943年1月	第三期	古いシャツで赤坊の上衣とレギンス	古いシャツとズボン下で赤ん坊の上衣とレギンスの作り方を紹介	37巻1号	90	若山志子	上衣・レギンス	赤坊		型紙・裁断・縫う・編む	4	古いシャツとズボン下で赤ん坊の上衣とレギンス	節約・代用
1943年2月	第三期	頭巾つきの部屋着	子供の防寒のために頭巾つきの部屋着の作り方を紹介	37巻2号	62		頭巾つき部屋着	子供		型紙・裁断・縫う・裾上げ・袖つけ	5		合理的・紹介
1943年3月	第三期	衣類が驚くほど長命する	何でも物をいためない川村さんの手際を紹介	37巻3号	18			婦人					合理的・紹介
1943年3月	第三期	一枚の子供服の行方	小さくなった子供のワンピースをスカートに作り替えたり、あまりの布で小物を作ったりと器用な主婦の合間仕事を紹介	37巻3号	19		スカート	子供	糸			小さくなったワンピースからスカート・小物	節約・代用・紹介
1943年3月	第三期	修繕まで自分でする	修繕まですべて自分でする松永氏の生活法を紹介	37巻3号	23			婦人	毛糸				紹介
1943年4月	第三期	子供靴	どこの家にもある小布を用いて子供靴の作り方を紹介	37巻4号	56	自由学園工芸研究会	子供靴	子供		型紙・裁断・縫う・貼り合わせ	4	小布・フェルトの古帽子・古いカラー・破れた古足袋から子	合理的・節約・代用・紹介
1943年5月	第三期	新しいものをひとつも買わずに揃えた赤坊一年間の衣類と新入学の支度一揃	近所の人たちの協力から、新しいものをひとつも買わずに揃えた赤坊一年間の衣類と新入学の支度一揃を紹介	37巻5号	46			赤坊					紹介
1943年6月	第三期	時代に適った服装をするためによい下着を着ませう	時代に適った服装をするためによい下着の作り方を紹介	37巻6号	50	西島芳太郎	下着	子供		型紙・裁断・縫う	3	配給のさらし・金巾などのせまい布から下	合理的・紹介
1943年7月	第三期	配給のタオル二本で出来た赤坊の寝衣	配給のタオル二本から赤坊の寝衣の作り方を紹介	37巻7号	56		赤ん坊の寝衣	赤坊		型紙・裁断・縫う	3	配給のタオル地の手ぬぐい2本から赤ん坊の寝衣	合理的・節約・紹介
1943年8月	第三期	子供たちの健民着	女の子に似合う型・一枚の布で縫い目なしの簡単な型・小さい布を5枚合わせてなど子供たちの夏の健民着の作り方を紹介	37巻8号	50		子供の健民着	子供		型紙・裁断・縫う	3	浴衣の片袖・配給のタオルから子供の健民着	節約・代用・紹介
1943年9月	第三期	決戦下の秋の服装	防空服にもなる秋の服装の作り方を紹介	37巻9号	53	西島芳太郎	ブラウス・スカート	婦人		型紙・裁断・縫う	3		合理的・紹介
1943年10月	第三期	協力によって出来た赤坊衣類一揃いの用意	親しい友達・親戚に洋服を譲ってもらい、そこから赤坊の一式をそろえる	37巻10号	49		赤坊衣類	赤坊		型紙・裁断・縫う・編む	4	譲ってもらった服からお直しし、赤坊の衣類一式を作成	合理的・代用・協力
1943年12月	第三期	靴下繕ひ誌上講習会	ボロボロの靴下が面白いようにきれいに構成する一本の糸まで残りなく利用される靴下を完全活用する方法を紹介	37巻12号	44	落合うの	靴下	婦人				ボロ靴下からいろいろ	合理的・節約・代用
1943年12月	第三期	温かく働きやすい冬の家庭着の工夫	冬のための家庭着の工夫を紹介	37巻12号	24	河野貞子	家庭着	婦人		縫う	1	古いセルの着物から長襦袢	合理的・紹介
1944年1月	第三期	丈夫な野良着をつくるために早くも全国から百十九本の帯芯が集まりました	丈夫な野良着を作るために全国から帯芯が集まったことを紹介	38巻1号	37			婦人	糸				協力

1944年2月	第三期	繕ひもの読本	毛織物の様々な縫い方を紹介	38巻2号	33			婦人	糸	縫う	1		節約
1944年2月	第三期	洋風裁縫も短い時間に効率的に温かい子供の下着	決戦下の中家庭の生活の限られた時間を有効活用するために効率よく子供の下着を作る方法を紹介	38巻2号	37	西島芳太郎	子供の下着	婦人	糸	型紙・裁断・縫う	3		合理的
1944年2月	第三期	紐なしの着物		38巻2号	31			婦人	布				紹介
1944年3月	第三期	農村の小母さんたちの協力裁縫始まる	全国から集まった帯芯を使い協力裁縫が始まったことを紹介	38巻3号	32			婦人					協力
1944年3月	第三期	回讀の婦人之友に丈夫な被ひをつくりませう		38巻3号	19			婦人					紹介
1944年3月	第三期	軽快な作業服	日常着にも防空服にもなる作業服の作り方を紹介	38巻3号	40		作業着	婦人		型紙・裁断・縫う	3		合理的
1944年4月	第三期	戦時下の通学服	戦時下の子どもたちの通学服の作り方を紹介	38巻4号	37	西島芳太郎	通学服	学生		型紙・裁断・縫う	3		合理的・紹介
1944年5月	第三期	ぼろ布で出来る丈夫なスリッパ	ぼろ布からスリッパへのお直しを紹介	38巻5号	32		スリッパ	家族		編む	1	ぼろ布からスリッパへのお直しを紹介	合理的・節約・代用・紹介
1944年6月	第三期	小布で出来る赤坊の夏着	小布で出来る赤坊の夏着を紹介	38巻6号	30		赤坊の夏着	赤坊		型紙・裁断・縫う	3	小布で出来る赤坊の夏着を	合理的
1944年7月	第三期	主婦の手で出来る背広服の修理	背広の修理を主婦の手でもできるように詳しく紹介	38巻7号	25		背広	父					節約・
1944年7月	第三期	単衣帯で出来るリュックサック	古い単衣帯一本で丈夫なリュックサックの作りかたを紹介	38巻7号	29		リュックサック	家族		裁断・縫う	2	単衣帯→リュックサック	節約・代用・紹介
1944年8月	第三期	三つに分類して暮らす衣生活	衣類を徹底に整理し3つに分類して暮らす衣生活を紹介	38巻8号	5			婦人					合理的
1944年9月	第三期	背広を国民服に	背広を国民服に仕立て直し方を紹介	38巻9号	32	西島芳太郎	国民服	父		型紙・裁断・縫う	3	背広から国民服	合理的・代用
1944年9月	第三期	靴の修繕	家庭で出来る靴の修繕を紹介	38巻9号	34		靴	家族					合理的・紹介
1944年10月	第三期	疎開した子どもたちにおくるあたたかい冬着の工夫	疎開した子供たちに贈るあたたかい冬着の工夫を紹介	38巻10号			冬着	子供				大人服→子供服	合理的・代用・紹介・愛情
1944年11月	第三期	簡単な戦闘帽の作り方	戦闘帽の作り方を紹介	38巻11号	22	西島芳太郎	戦闘帽	子供		型紙・裁断・縫う	3		合理的・紹介
1944年11月	第三期	家庭で作れる戦時下駄	戦時下駄の作り方を紹介	38巻11号	22		戦時下駄	家族					合理的・紹介・節約
1944年12月	第三期	あたたかい室内ばき	和服の残り布からあたたかい室内履きの作り方を紹介	38巻12号	28		室内履き	家族		型紙・裁断・縫う	3		合理的・節約・代用・紹介
1946年1月	第四期	誌上裁縫基礎講習1 原型採寸の新研究		40巻1号	25	西島芳太郎		婦人					紹介
1946年2月	第四期	正しい袖原型	袖型の作り方を紹介	40巻2号	26	西島芳太郎	袖型	婦人		採寸・型紙・裁断	3		紹介
1946年3月	第四期	衣料用品の合理化のために	衣料用品の合理化のために、家庭はどんなものを欲しがっているのかを主婦が集って研究会を開く。	40巻3号	15		肌着のメリアス・綿ジャージー・天竺・さらし・ネル・ゆかた・ワイシャツ・ブラウス・靴下・足袋・手袋・タオル・ハンカチ・手ぬぐ	婦人					合理的・知識
1946年3月	第四期	スカート型紙の簡単な作り方	大人もの・子供用スカートの原型の作り方を紹介	40巻3号	24		大人・子供のスカートの原形	婦人		採寸・型紙・裁断	3		紹介
1946年4・5月	第四期	洋服裁縫基礎講習	一つの型紙で幼児から大人までを紹介。型紙がわかれば縫い方は簡単とし、縫うことは自学としている。	40巻4・5号	32		ワンピース・ブラウスの型紙	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		合理的
1946年6月	第四期	洋服裁縫基礎講習	67歳から大人まで使える開襟シャツのかたがみの作り方・縫い方を紹介	40巻6号	42		男子シャツの型紙	婦人	布	採寸・型紙・裁断・縫う	4		合理的
1946年7・8月	第四期	洋服裁縫誌上講習	手軽にできる夏服の型紙の作り方・縫い方を紹介。男の子なら4・5歳～7・8歳 女の子なら8・9歳～12・13歳に使用できる	40巻7・8号	32		夏服の型紙	婦人	布	採寸・型紙・裁断・縫う・アイロン	5		合理的
1946年7・8月	第四期	手作りの靴	古い運動靴の底を利用して思い思いにデザインした靴の作り方を紹介。	40巻7・8号	34		靴	家族	布・古運動靴のゴム底	採寸・型紙・裁断・縫う・ミシン	5	靴	代用
1946年9月	第四期	誌上洋服裁縫基礎講習7 秋にふさわしい衿なしのコート		40巻9号	38	西島芳太郎		婦人					紹介
1946年10月	第四期	幼児の秋の服装一揃	幼児の秋の服装に最小限の持ち数でよい形のもの一式を紹介	40巻10号	36		幼児の服装	幼児		採寸・型紙・裁断・縫う	4		合理的
1946年11月	第四期	誌上洋裁基礎講習9 男子服の製図		40巻11号	34	西島芳太郎		男子					紹介
1946年11月	第四期	温かき贈り物にそえて		40巻11号	45			婦人					紹介
1946年12月	第四期	アメリカからのスノウスーツ	冬の用意の参考のためにコート・ズボン、ボウシの採寸・縫い方を紹介	40巻12号	36		アメリカのスノウスーツ	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1946年12月	第四期	温い冬の贈物	残り糸とや小布を使って、手袋・マフ・きやはん・お茶ボウシなどを紹介	40巻12号	38			婦人	のこり糸・小布	型紙・編む	2		節約
1946年12月	第四期	洋裁基礎講習	男子服のズボンの縫い方を細かく紹介	40巻12号	40	西島芳太郎		婦人					紹介

1946年12月	第四期	ネクタイの作り方	ネクタイの型紙の取り方から縫い方までを細かく紹介	40巻12号	45			婦人	残り布	型紙・裁断・縫う・アイロン	3		合理的・紹介
1947年1・2月	第四期	男子服上着の縫方	男子服の上着の仕立て方を細かく紹介	41巻1・2号	36	西島芳太郎		男子					紹介
1947年3月	第四期	美しいカラーの作り方	春の装いに衿の作り方を紹介	41巻3号	24		衿	婦人	紙・布・糸	裁断・縫う・刺繍・ミシン・アイロン	5		紹介
1947年3月	第四期	学童服	男の子の学童服の作り方を紹介	41巻3号	26	西島芳太郎		学生	布(父の背広や母のお古コート・和服地)	型紙・縫う・裁断・アイロン・ミシン	5		紹介
1947年4月	第四期	裏表紙 服装と配色		41巻4号	裏表紙			婦人					紹介
1947年4月	第四期	かるやかな春のブラウス	ブラウスの作り方を細かく紹介 おしゃれな着方も紹介	41巻4号	24			婦人					紹介・提案
1947年5・6月	第四期	着心地のよいジャンパー	ジャンパードレスの作り方を紹介。小さくなったワンピースや布地がスーツには足りないようなときワンピースやスーツには直せないものもジャンパードレスにできると紹介。	41巻5・6号	58		ジャンパードレス	婦人	小さくなったワンピースや布地がスーツには足りないような布地	型紙・裁断・縫う	3		紹介・代用
1947年7月	第四期	協力佳話二篇	東京南澤友の会のメンバーが物と心の協力から夏の子供服を作る	41巻7号	25		子ども服	子供	不用品(ワイシャツ・ワンピースなど)・裁ち残された小布			ワイシャツ→男の子の服・ワンピース→ブラウス2枚・裁ち残された小布→鼻緒、銅持ち	合理的・協力
1947年7月	第四期	さっぱりと可愛い子供服	子どものためにそれぞれの個性に合わせた様々なデザインの服を記載	41巻7号	44			子供					紹介
1947年7月	第四期	下着をととのえましょう	スリッパ・ブルマース・ブラジャーの作り方を紹介	41巻7号	46		女性下着	婦人	手持ちの布地	型紙・裁断・ミシン	3		紹介
1947年8月	第四期	仕事着の工夫いろいろ	古いワンピース・ブラウス・端布を使い、4種類のきれいなエプロンへのリメイクを紹介	41巻8号	48		エプロン	婦人	古いワンピース・ブラウス・端布	型紙・裁断・縫う	3		合理的・代用
1947年8月	第四期	ジャケットとスカート	女性の初秋の服装のジャケットとスカートの作り方を紹介	41巻8号	52		ジャケットとスカート	婦人	布地	型紙・ミシン・アイロン	3		紹介
1947年9月	第四期	秋の服装を美しく整えましょう	普段着をよくすることを主題として、主婦の方々と集まり、秋の服装について考えあったことを紹介	41巻9号	21		ブラウス・スカート・スモック・上衣・スーツ・ワンピース	婦人	布				知識
1947年9月	第四期	子供のチョッキ	子どものためのいろいろな上着を作り方を残り布を使って紹介	41巻9号	48		ジャケット・ウエスト・チョッキ	子供	古布	型紙・縫う・ミシン・裁断	4	ブルー→男児ジャケット・スカーレットの残り布→女児ジャケット・斜布→チョッキ	代用
1947年10月	第四期	家着のコート(二種)	家着コートの作り方を2種類紹介	41巻10号	53		家着コート	婦人	布	型紙・縫う・ミシン・裁断・アイロン	5		紹介
1947年11月	第四期	防寒用のボンネット	子どもたちの冬支度のために防寒用ボンネットをの作り方を紹介	41巻11号	50		防寒用ボンネット	婦人	外套の残り布・薄手の	型紙・縫う・ミシン・裁断・アイロン	5		紹介
1947年11月	第四期	スノースーツとラグランコート	子どものためのスノースーツとラグランコートの作り方を紹介	41巻11号	52		スノースーツ・ラグランコート	婦人	布	型紙・縫う・ミシン・裁断・アイロン	5		紹介
1947年12月	第四期	たのしい冬のおくりもの		41巻12号	43			婦人					紹介
1947年12月	第四期	それぞれの場合にワンピース		41巻12号	47	西島芳太郎		婦人					紹介
1948年1月	第四期	子供服一揃	一年の服装計画を立てる事を提案し、読者三人の場合を紹介している	42巻1号	50			子供					提案
1948年2月	第四期	子供カバンと上ばき	子どものかばんと上ばき靴の作り方を紹介	42巻2号	48		子供靴・上ばき靴	子供	布	型紙・縫う・ミシン・裁断	4		紹介
1948年2月	第四期	男物の下着	男物のパジャマと下着の作り方を紹介	42巻2号	50		パンツ・ズボン下・パジャマ	男	布	型紙・縫う・ミシン・裁断	4		紹介
1948年3月	第四期	新入生の服装一揃い	一年生の服装の一揃いを紹介し、男子用スーツ・ジャンパードレス・襟なしジャケットの作り方を紹介	42巻3号	46		男子用スーツ・ジャンパードレス・襟なしジャケット	学生	布	型紙・縫う・ミシン・裁断・アイロン	5		紹介
1948年4月	第四期	明日の家庭生活誌上展覧会 衣の経営が一人前になるために	こどもが衣類整理や衣の経営について一人前になるために母と子の協力の実例を紹介	42巻4号	28			婦人					知識・提案
1948年4月	第四期	スモックを作りましょう	7種類のスモックの作り方を紹介	42巻4号	58		スモック	婦人	布	型紙・縫う・ミシン・裁断	4		紹介

1948年5月	第四期	レインコート	レインコートの作り方を子供と大人合わせて4種類を紹介	42巻5号	50	西島芳太郎	レインコート	子供	布地	型紙・ミシン・アイロン	3		紹介
1948年5月	第四期	気持ちのよい手提	ありあわせの布で手提げ袋の正しい仕立て方を3種類紹介	42巻5号	54		手提げ袋	婦人	ありあわせの布地	裁断・縫う・ミシン	3	余り布→手提げ袋3種類	紹介・節約
1948年6月	第四期	夏のワンピース	3種類の夏のワンピースの作り方を紹介	42巻6号	56		夏のワンピース	婦人	布地	型紙・縫う・ミシン	3		紹介
1948年7月	第四期	ブラウスのデザイン	自由学園女子部卒業勉強がブラウスのデザインを紹介	42巻7号	27			婦人					提案
1948年7月	第四期	開襟シャツの作り方	開襟シャツの作り方を紹介	42巻7号	54	西島芳太郎	開襟シャツ	婦人	布地	型紙・裁方・縫う・ミシン・アイロン	5		紹介
1948年8月	第四期	可愛い子供帽子	一年中かぶれるかわいらしい子供ぼうしをセーラーキャップ・日よけぼうし・花のついたベレー・赤ちゃんフードぼうしなど4	42巻8号	44		子どものぼうし	子供	布地	型紙・裁断・縫う・ミシン・アイロン	5		紹介
1948年8月	第四期	赤坊一年間の衣類計算絵とき	赤ちゃんのために用意するものを掲載し、肌着・上着・チョッキ・スリーピングバック・おむつカバー・ロンパース・ケープとぼうし・ズボンの作り方を紹介	42巻8号	46		赤ちゃんのためのもの一式	赤坊	布地	型紙・裁断・縫う	3		紹介・提案
1948年9月	第四期	秋から冬への服装計画 働く娘の一揃い Aさん姉妹の服装より	Aさん姉妹と自由学園衣服部の中島静江を中心に秋から冬への計画を立てる。	42巻9号	35			婦人					提案
1948年9月	第四期	とりどりの室内ばき	4種類の室内履きの作り方を紹介	42巻9号	44		室内履き	婦人	布地・フェルト	型紙・裁断・縫う・ミシン	4		紹介
1948年10月	第四期	新しい編物		42巻10号	36	落合うの		婦人					紹介
1948年10月	第四期	秋と冬のスーツ	2種類のスーツの仕立て方を2号に渡って紹介。今月は裁断と仮縫いを紹介	42巻10号	40	西島芳太郎	秋と冬のスーツ	婦人	布地				紹介
1948年11・12月	第四期	ドルトン夫人の服装を見る	ドルトン婦人の洋服の選び方・型のこと・スーツの利用・アメリカ服装の教育について掲載	42巻11・12号	36			婦人					提案
1948年11・12月	第四期	スーツの仕立方	2種類のスーツの仕立て方を紹介	42巻11・12号	64	西島芳太郎	スーツ	男	布地	型紙・裁断・縫う・ミシン・アイロン	5		紹介
1949年1月	第四期	衣料にたいする希望と現状	衣料の現状と見通し・既製服・主婦同士の協力について述べている	43巻1号	41			婦人					知識
1949年1月	第四期	子供の防寒服	満一歳の男児用のスウェーターとレギンスの作り方・ウインター・スーツとコンビネーションスーツの作り方を紹介	43巻1号	72	西島芳太郎	スウェーターとレギンス・ウインター・スーツとコンビネーション	子供	布	型紙・裁断・縫う・ミシン・アイロン	5		紹介
1949年2月	第四期	私の衣服日記	大阪友の会のリーダーの安田さんの衣服日記を紹介。衣服の寿命表や四季ごとの衣服の表などが掲載されている	43巻2号	26			婦人					合理的・節約
1949年2月	第四期	日本の友にすすめたい服装	ミセスウエツプの生活に即した服装の意見を紹介	43巻2号	46	ウエツプ		婦人					提案
1949年2月	第四期	男子服の仕立方	男子服の仕立て方を紹介	43巻2号	48	西島芳太郎	男子服	男子	布	型紙・裁断・縫う・ミシン・アイロン	5		紹介
1949年2月	第四期	靴下ソックスの編方	ソックスと靴下の編み方、かかと・修理の工夫を紹介	43巻2号	52	落合うの	ソックス・靴下	婦人	毛糸	編む	1		紹介・節約
1949年3月	第四期	似合うスーツを選びましょう	女性の似合うスーツの選び方を紹介	43巻3号	52		スーツ	婦人					紹介
1949年3月	第四期	春のスウェーターとチョッキ	春のスウェーターとチョッキの編み方を紹介	43巻3号	71		スウェーター・チョッキ	婦人	毛糸	編む	1		紹介
1949年3月	第四期	男物ポケットの仕立方	男物に使う3種類のポケットの作り方を紹介	43巻3号	74		胸ポケット・裏ポケット・チョッキポケット	男	布	型紙・裁断・縫う・ミシン・アイロン	5		紹介
1949年4月	第四期	衣料を長持ちさせるために	衣料を長持ちさせるための工夫を三人の専門家が主婦の質問に答える	43巻4号	43			婦人					合理的・知識
1949年4月	第四期	ブラウスとその選び方	ブラウスとその選び方を紹介	43巻4号	58	G・ウエツプ		婦人					紹介
1949年4月	第四期	手作りのハンドバック	3種類の手作りのハンドバックの作り方を紹介	43巻4号	65		ハンドバッグ	婦人	残り布	型紙・裁断・縫う・アイロン・ミシン	5		紹介
1949年4月	第四期	ワイシャツの仕立方	ワイシャツの作り方を紹介	43巻4号	68	西島芳太郎	ワイシャツ	婦人	布	型紙・裁断・縫う・アイロン・ミシン	5		紹介
1949年5月	第四期	刺繍のブラウス	ブラウスへの4種類の刺繍の仕方を紹介	43巻5号	61			婦人		刺繍	1		紹介
1949年5月	第四期	親子おそろいの服	母子お揃いの服の面白さを紹介 大人一人分の布でできるので、経済的であると紹介 近隣裁縫グループを作ることも	43巻5号	66	ウエツプ	母子お揃いの服	家族	母の残り布				提案・合理的
1949年5月	第四期	男物ズボン	男物ズボンの仕立て方を細かく紹介	43巻5号	68	西島芳太郎	男物ズボン	男	布	型紙・裁断・縫う・アイロン・ミシン	5		紹介
1949年6月	第四期	座談会 主婦と夏着		43巻6号	35	坂倉ユリ、ほか		婦人					紹介
1949年6月	第四期	涼しげなドロンワークのテーブルセンター		43巻6号	70			婦人					紹介
1949年7月	第四期	アイロンのかけ方	アイロンを上手にかけるための知識を紹介。また、ワイシャツの仕上げ・ブラウスの仕上げ方についても紹介	43巻7号	48			婦人					知識
1949年7月	第四期	合理的で可愛い幼児の夏着	合理的でかわいらしい子供の夏服を紹介	43巻7号	56		子どもの夏服	幼児					合理的
1949年7月	第四期	子供の海水着	子どもの海水着の作り方を紹介	43巻7号	65		子どもの海水着	子供	毛糸	編む	1		紹介

1949年8月	第四期	夏の手芸	3種類の刺繍を紹介	43巻8号	69			婦人	糸	刺繍	1		紹介・趣味
1949年8月	第四期	初秋の美しいウエーター	4種類のスウェーターの編み方を紹介	43巻8号	71	落合うの	スウェーター	婦人	毛糸	編む	1		紹介
1949年8月	第四期	男子用の家着コート	男子用の家着のコート2種類の作り方を紹介	43巻8号	75	西島芳太郎	男子用家着コート	男子	布	型紙・裁断・縫う・アイロン・ミシン	5		紹介
1949年9月	第四期	男の子のために秋の服装「セツ」		43巻9号	73	西島芳太郎		男子					紹介
1949年9月	第四期	さっぱりした手編みの帽子		43巻9号	78	落合うの		婦人					紹介
1949年10月	第四期	活発なジャンパードレス	フランスのスタイルブックから少女のためのジャンパードレスのデザインを14種類紹介し、作り方についても紹介	43巻10号	74		ジャンパードレス	子供	布	型紙・裁断・縫う・アイロン・ミシン	5		紹介
1949年10月	第四期	フランス好みの秋の服装	木下リアン婦人の秋の洋服を写真付きで紹介 おぢいさまの角袖やおかあさまの着ておられたものをお直したのも、ドレスはすべて自分で仕立てる	43巻10号	口絵	木下アリン	ドレス・ベルト	子供	布			おぢいさまの片袖やおかあさまの着ておられたものをお	紹介・代用
1949年11月	第四期	衿なしのコート二種	秋から冬にかけての2種類のジャケット・ブラウスの作り方を紹介	43巻11号	80		襟なしのコート2種	婦人	布地	型紙・縫い方・ミシン・アイロン	4		紹介
1949年12月	第四期	子どもたちの帽子		43巻12号	57		帽子	子供					紹介
1950年1月	第四期	子供服研究室	子どもの服装を生き生きと愛らしく美しくするために子供服の相談・質問に答える。例として三姉妹のブラウスとスカートの作り方を掲載	44巻1号	50	中島静江	子供服	子供	三姉妹同じ布	型紙・裁断・縫う・アイロン・ミシン	5		知識・紹介
1950年1月	第四期	ハンドバッグいろいろ	2種類のハンドバッグの作り方を紹介	44巻1号	80		ハンドバッグ	婦人	布	型紙・裁断・縫う・アイロン・ミシン	5		紹介
1950年2月	第四期	たのしい動物園“さる”	ぬいぐるみのおさるさんの作り方を紹介	44巻2号	76		ぬいぐるみのおさる	子供	茶色い古靴下	裁断・縫う・編む	3		趣味
1950年2月	第四期	子供服研究室	下着・ねまき・ガウンの知識と作り方を紹介	44巻2号	79	中島静江	下着・ねまき・ガウン	子供	ありあわせの布	型紙・裁断・縫う・アイロン・ミシン	5		知識・紹介
1950年2月	第四期	男子用ガウン	男子用のガウンの作り方を紹介	44巻2号	86	西島芳太郎	男子用ガウン	男子	布	型紙・裁断・縫う・アイロン・ミシン	5		紹介
1950年3月	第四期	手作りの風俗人形	フィンランドの子供の人形の作り方を紹介	44巻3号	84		人形	子供	布・毛糸	型紙・縫う・刺繍	3		趣味
1950年3月	第四期	少女のスーツ	新入学の少女のためにコートやスカートの作り方を紹介	44巻3号	86	中島静江	少女のスーツ	少女	布	型紙・裁断・縫う・仮縫い・ミシン・アイロン	6	母のスカート⇒子供のスカート	紹介
1950年4月	第四期	男児服一そろい	男の子の服装一揃いとして生活園のHさんとさんを紹介し、ズボン・ブラウス・カーディガンの作り方をかなり細かく紹介	44巻4号	88	中島静江	男の子のズボン・ブラウス・カーディガン	男児	布	型紙・裁断・縫う・ミシン・アイロン・編む	6		紹介・提案
1950年4月	第四期	春の手芸“チュール”	チュールの編み方を紹介	44巻4号	94		チュール	婦人	糸	編む	1		紹介
1950年5月	第四期	子供服研究室	ワンピースの作り方を紹介。お母さんやお姉さんの小さくなったのをなして新しい感じにすることを提案。何回か着たものを裾を上げたり、袖を短くするだけでなく、面倒でもほどいてすっかり縫いかえる。	44巻5号	58	中島静江	ワンピース	子供	布	型紙・裁断・縫う・縫い合わせ・仮縫い・ミシン・アイロン	7	母の古くなったドレス・小物⇒子供のワンピース	紹介・節約
1950年5月	第四期	レインコートの仕立て方	大人用男物・少年用の2種類のレインコートの作り方を紹介	44巻5号	65	西島芳太郎	レインコート	婦人	布	型紙・裁断・縫う・縫い合わせ・仮縫い・ミシン・アイロ	7		紹介
1950年6月	第四期	ライオンとキリン	ライオンとキリンのぬいぐるみの作り方を紹介	44巻6号	60		ぬいぐるみ	子供	布	裁断・縫う・編む	3		趣味
1950年6月	第四期	レインコートとレインハット	10歳ぐらいの女の子のレインコートとレインハットの作り方を紹介	44巻6号	66	中島静江	レインコート・レインハット	婦人	布	型紙・裁断・縫う・縫い合わせ・仮縫い・ミシン・アイロ	7		紹介
1950年6月	第四期	開襟シャツ	開襟シャツの作り方を紹介	44巻6号	71	西島芳太郎	開襟シャツ	婦人	布	型紙・裁断・縫う・縫い合わせ・仮縫い・ミシン・アイロ	7		紹介
1950年7月	第四期	衣生活を高めるために（主婦のふだん着）	衣生活を高めるため、主婦の夏着を中心に中島静江と東京友の会グループがまとめたものを紹介。また、書着・朝着の作り方を紹介し、正しい仕立て方を細かく掲載	44巻7号	45	中島静江	書着・朝着	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6		紹介・提案
1950年8月	第四期	夫婦共に働く小学校教員の家計	小学校教員の家計簿の被服費にお直したものをたくさん掲載	44巻8号	38			家族				妹の小さいセーラー→長女の学校着・一つ身のネル→ジャンパースカート・校服→長袖ハーフコート・紅梅織の一つ身→ワンピース20年 前のマント→真	合理的・節約

1950年8月	第四期	パリの女性と流行	パリの女性の生き方と流行のとらえ方について紹介	44巻8号	44	岡鹿之助		婦人						知識
1950年8月	第四期	スエーターのくりまわし	スエーターの手入れの仕方を紹介	44巻8号	86		スエーター	婦人		クリーニング・編み返す	2			紹介
1950年8月	第四期	ブラウスとスカート	スカートとブラウスの作り方と知識を紹介	44巻8号	89	中島静江	スカート・ブラウス	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6			紹介・知識
1950年8月	第四期	楽しい夏の手芸	組紐・小鞆の作り方を紹介	44巻8号	96		組紐・小鞆	婦人	毛糸・布	編む・裁断・縫う	3			紹介
1950年8月	第四期	人形の着物を作しましょう	人形に着せる服の作り方を紹介	44巻8号	98		人形の服(洋服・着物)	子供	布	採寸・裁断・縫う・ミシン・アイロン	5			趣味
1950年9月	第四期	りすとみみずく	りすとみみずくの作り方を紹介	44巻9号	81		ぬいぐるみ	子供	布	裁断・縫う・編む	3			趣味
1950年9月	第四期	ゆるやかなハーフコート	ハーフコートの作り方と知識・ピロード類のアイロンのかけ方を紹介	44巻9号	84	中島静江	ハーフコート	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6			紹介・知識
1950年10月	第四期	若々しいワンピース	外出着としてのワンピースの布地・型の選び方・作り方を紹介	44巻10号	68	中島静江	ワンピース	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6			紹介
1950年10月	第四期	模様編みのスエーター	模様編みの秋のスエーター2種類の作り方を紹介	44巻10号	88		スエーター	婦人	毛糸	型紙・編む	2			紹介
1950年11月	第四期	子供のジャンパーとカーディガンの編み方	子供のジャンパーとカーディガンの編み方を紹介	44巻11号	85	三輪輝子	ジャンパー・カーディガン	子供	毛糸	型紙・編む	2			紹介
1950年11月	第四期	子供たちがつくったブラウスとエプロン	子供たちがつくったブラウスとエプロンの刺繍を紹介	44巻11号	88		刺繍	子供	糸	刺繍	1			趣味
1950年11月	第四期	外套をぬいましょう	外套の作り方を紹介 良い布で、流行にながされない長年着れるものを作ることを提案	44巻11号	91	中島静江	外套	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・裏裁ち・縫う・ミシン・アイロン	7			合理的・紹介
1950年12月	第四期	贈りもの	プレゼントになるカラー・ハンドバッグ・ヘルメット・帽子の作り方を紹介	44巻12月	76		カラー・ハンドバッグ・ヘルメット・帽子	婦人	布	型紙・裁断・縫う・ミシン	4			紹介
1950年12月	第四期	子供の冬着	子どもの冬着の作り方を紹介	44巻12月	78	中島静江	冬着	子供	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6			紹介
1951年1月	第四期	働く娘の衣服計画	働く娘の衣服計画として、よい計量を立てるためにを1年単位で紹介	45巻1号	93			子供						提案・合理的
1951年1月	第四期	綿入ガウン	古い反物を利用して暖かいガウンの作り方を紹介	45巻1号	92		ガウン	婦人	和服地	型取り・裁断・縫う	3	反物→ガウン		紹介・代用
1951年2月	第四期	かりぬい上手になりましょう	かりぬいの詳しいやりかたを写真で細かく紹介	45巻2号	77		ブラウス	婦人		型紙・裁断・縫う	3			知識
1951年2月	第四期	下着を正しく美しく着よう	下着の着方などの知識とスリップと手編みの下着の作り方を紹介	45巻2号	81		スリップ・手編みの下着	婦人	布	型紙・裁断・縫う・編む	4			紹介・知識
1951年3月	第四期	働く娘の生活	4人の働く娘の生活を衣服を中心に語る	4巻3号	58			子供						合理的・知識
1951年3月	第四期	衿・袖のかりぬい	袖・衿のかりぬいの仕方を写真で細かく紹介	4巻3号	77		袖・衿のかりぬい	婦人	布	裁断・縫う	2			紹介
1951年3月	第四期	ジャンパーの選び方作り方	ジャンパーの作り方ち選び方を紹介	4巻3号	68		ジャンパー	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う	4			紹介・提案
1951年4月	第四期	ツーピース	ツーピースの作り方を紹介	45巻4号	72		ツーピース	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・裏裁ち・縫う	5			紹介
1951年4月	第四期	スカートのかりぬい	スカートのかりぬいの仕方を写真で細かく紹介	45巻4号	77		スカートのかりぬい	婦人	布	裁断・縫う	2			紹介
1951年4月	第四期	つめえりの学生服	学生服(ズボン・上衣)の作り方を紹介	45巻4号	81		学生服	学生	布	型紙・裁断・仮縫い・裏裁ち・縫う・ミシン・アイロン	7			紹介
1951年4月	第四期	靴の選び方・はき方	若い人々のために靴の履き方選び方を紹介	45巻4号	70		靴	婦人						紹介・提案
1951年5月	第四期	帽子の選び方	帽子の選び方	45巻5号	84			婦人						紹介
1951年5月	第四期	レインコート	十代の少女の服装を中心に	45巻5号	86		レインコート	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6			紹介
1951年5月	第四期	子供のブラウス	給食袋と上靴入れ	45巻5号	92			子供	糸	刺繍	1	大人ものの地味な色の布→子供のブラウ		趣味
1951年6月	第四期	母親の作った夏の子供服	クリスマス・プレゼント	45巻6号	口絵			子供				母親のワンピースの残り布→子供のワン		紹介
1951年6月	第四期	夏のスリーピース	学童服	45巻6号	83		夏のスリーピース(ブラウス・パンチョウ・スカ	婦人・子供	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6			紹介

1951年6月	第四期	フード	毛織物を虫にくわせないために	45巻6号	88		フード・スモック	婦人	布	型紙・裁断・縫う・刺繍・ミシン	5		紹介
1951年7月	第四期	得手くらべ(私の衣服の方針)	楽しい工作と手芸	45巻7号	64			婦人				10年着たウール→季節ごとに作り変えて	代用・合理的
1951年7月	第四期	新しい繊維の話	きもののしみぬき	45巻7号	71			婦人					知識
1951年7月	第四期	夏の運動着	フードつきのセーター	45巻7号	94		夏の運動着(ズボン・ブラウス・スカート)	子供	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6		紹介
1951年7月	第四期	夏の手芸	毛糸の染め直し	45巻7号	99		刺繍	婦人	糸	刺繍	1		合理的・趣味
1951年8月	第四期	子供のための手芸	内職の経験(投書五篇)	45巻8号	88		刺繍	子供	糸	刺繍	1		趣味
1951年8月	第四期	ブラウス	化繊の見わけ方	45巻8号	92		ブラウス	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6		紹介
1951年9月	第四期	服飾研究の旅	田中千代さんがアメリカでのデザイン勉強と文化について紹介	45巻9月	49			婦人					知識
1951年9月	第四期	染料と染色	染色の歴史と家庭染色に必要な基礎知識を紹介	45巻9月	79			婦人					知識
1951年9月	第四期	コートとワンピースのアンサンブル	コートとワンピースの作り方を紹介	45巻9月	86		コートとワンピース	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6		紹介
1951年9月	第四期	子供のためのあみもの	ベビー用スーツ・帽子・ジャケット・ワンピースの三揃いの作り方を紹介	45巻9月	91		ベビー用スーツ・帽子・ジャケット・ワンピース	子供	糸	刺繍	1		紹介
1951年10月	第四期	スモック	5種類のスモックの作り方を紹介	45巻10号	95		スモック	子供	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6		紹介
1951年10月	第四期	秋のあみもの	子どものフード・着物袖のハーフコート・ダブルボタンのスエーターの編み方を紹介	45巻10号	100		子どものフード・着物袖のハーフコート・ダブルボタンのスエー	婦人	毛糸	編む	1		紹介
1951年11月	第四期	子供の外套	子供の外套の作り方を紹介	45巻11号	86		子どもの外套	子供	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う・ミシン・アイロン	6	大人のものを なおして作る。 手持ちの布で	紹介
1951年11月	第四期	家着のスウェーター	3種類のスエーターの編み方を紹介	45巻11号	91		スエーター	婦人	毛糸	編む	1		紹介
1951年12月	第四期	自分でデザインした服装	二人の令嬢がデザインも布地も付属品もすべて自分で作成したものを紹介	45巻12号	口絵			婦人					提案・合理的
1951年12月	第四期	子供のアンサンブル	子どもの外出着のアンサンブルを作る	45巻12号	78		子ども用のドレス・コート	子供	ありあわせの布・大人の布	型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン	5		紹介
1952年1月	第五期	基本のドレスと付属品	基本のドレスの作り方とベルトの作り方を紹介	46巻1号	85	中島静江	ドレス・ベルト	婦人		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン	6		紹介
1952年1月	第五期	ハケ月で八軒の下着が整った話	友の会の長崎において、近所八軒で協力して貯金をし、八か月を整わせた。	46巻1号	92		下着	婦人	布				提案・合理的
1952年1月	第五期	ツレー夫人の贈物	ツレー婦人が考案した古靴下利用のマットとスリッパの作り方を紹介	46巻1号	94		マット・スリッパ	婦人	毛糸	染める・縫う・編む	3	古靴下→マット・スリッパ	代用・合理的・節約
1952年2月	第五期	半外套	半外套の作りかたとそれに合わせたハンドバッグの作り方を紹介	46巻2号	86	中島静江	半外套・ハンドバッグ	婦人	毛糸	採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン	6		紹介
1952年2月	第五期	産着をぬいでから誕生までの赤坊の着物	赤ちゃんの成長に合わせた衣類を紹介し、毛糸帽子・食食用エプロンの作り方を紹介	46巻2号	80		帽子・エプロン	婦人	布・ミシン	編む	1		紹介
1952年2月	第五期	斜編みのスウェーター	スエーターの編み方を紹介	46巻2号	84	三輪輝子	スエーター	婦人		編む	1		紹介
1952年3月	第五期	靴と靴下の経営法	靴の手入れの仕方と靴下の手入れや工夫について読者の投稿を紹介	46巻3号	69		靴・靴下	婦人				靴下の廃物利用(古靴下→バスマット・買い物袋・下着・ひざ掛け)	合理的・提案
1952年3月	第五期	母親が用意した新入学の子供の洋服	三人のお母さんが子供たちに用意した新入学のドレスの作り方を紹介	46巻3号	84		ドレス	婦人		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン	6	大人のスカートを縫い直す。ありあわせの布を工夫する	紹介・提案
1952年4月	第五期	十代の少女の服装を中心に	十代の少女の服装を中心に	46巻4月号				少女					紹介

1952年4月	第五期	給食袋と上靴入れ	給食袋と上靴入れ	46巻4月号		田邊朋子	給食袋・上靴入れ	子供					紹介
1952年4月	第五期	春のツーピース	春のツーピースの作り方を紹介	46巻4月号		中島静江		婦人		採寸・型紙・縫う	3		紹介
1952年5月	第五期	レース編みの手袋	レースの手袋の編み方を紹介	46巻5号	102	若林もも子	手袋	婦人		編む	1		趣味
1952年5月	第五期	男の子の一揃	小さい男の子の夏に向けての一揃え(ブラウス・ズボン・コート・コンビネーション・レインコート)の作り方を紹介	46巻5号	105	中島静江	ブラウス・ズボン・コート・コンビネーション・レインコート	男児		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン	6		紹介
1952年6月	第五期	夏のワンピース	夏服のドレス2種類の作り方を紹介	46巻6号	94	中島静江	ドレス	婦人	布・ミシン	採寸・型紙・縫い合わせ・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	8		紹介
1952年6月	第五期	レース編み	手提げ袋・レース・スーターの編み方を紹介	46巻6号	100	笹岡澄子	手提げ袋・レース・スーター	婦人		編む	1		紹介
1952年7月	第五期	レースの編物	手提げ袋・ハンカチーフのレース編みを紹介	46巻7号	86	若林もも子	手提げ袋・ハンカチーフ	婦人		編む	1		紹介
1952年7月	第五期	夏の通勤着の工夫	夏の通学着の工夫として、ジャケットとスカート一揃い・ジャンパースカート・ジャケット・ブラウスの一揃い・一枚の布で作ったワンピースの作り方を紹介	46巻7号	89		ジャケットとスカート一揃い・ジャンパースカート・ジャケット・ブラウスの一揃い・一枚の布で作ったワン	家族		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン	6		合理的・節約
1952年7月	第五期	白いドレス	ヨネ・リーベルさんの白のドレスを写真つくりで紹介	46巻7号	口絵	ヨネ・リーベル		婦人					提案
1952年8月	第五期	既製服はどうして出来るか―問屋・下請工場・内職・デパート等を訪ねて―	問屋まちを歩いた話・子供のものの場合・下請け工場の話・内職の人々話・三越縫製工場の話掲載	46巻8号	67			婦人					知識
1952年8月	第五期	レースの花つなぎ	服飾に美しい小さなレースの花つなぎの作り方を紹介	46巻8号	96	若林もも子	刺繍	婦人		刺繍	1		紹介
1952年8月	第五期	真夏の子供服	夏の子ども服(ねまき・ワンピース・スモック)の作り方を紹介	46巻8号	99		ねまき・ワンピース・スモック	子供		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン	6		紹介
1952年9月	第五期	商店を営する主婦の座談会	商店街を営する主婦の座談会。布地店新井 布地店は経営が大変。今は夏の布地や既製服が氾濫しているのから。	46巻9号	72			婦人					知識
1952年9月	第五期	秋のコートドレス	コートドレスの作り方を紹介	46巻9号	92	中島静江	コートドレス	婦人		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン	6		紹介
1952年9月	第五期	初秋のセーター	初夏のスーター(ドルマンスリーブのカーディガン・ラグラン袖のブラウス)の作り方を紹介	46巻9号	98	若林もも子	ドルマンスリーブのカーディガン・ラグラン袖のブラウス	婦人		採寸・編む	2		紹介
1952年10月	第五期	帽子(一九五三年冬のバリモード)	1953年・冬・パリの帽子の流行を紹介	46巻10号	96	R・バルタニアン	帽子	婦人					知識
1952年10月	第五期	子供のあみもの	子どものワンピース・ボレロ・スーターの編み方を紹介	46巻10号	97	若林もも子	ワンピース・ボレロ・スーター	子供		採寸・編む	2		紹介
1952年10月	第五期	ジャージーをつかって	ウールジャージー(メリヤス)を使ってワンピース・ジャケット・ワンピースの作り方を紹介	46巻10号	101	中島静江	ワンピース・ジャケット・ワンピース	婦人・子供		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン	6		紹介
1952年11月	第五期	化学繊維をつかってみる	化学繊維が徐々に出回ってきて、化学繊維を使った主婦の7人の話を紹介	46巻11号	72		化学繊維	婦人					知識
1952年11月	第五期	外套を手作りに	2種類のコートの作り方を紹介	46巻11号	99	中島静江	コート	婦人		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7		紹介
1952年11月	第五期	はなやかなセーター	外出用に2種類のスーターの作り方を紹介	46巻11号	96	若林もも子	スーター	婦人	布・ミシン	採寸・編む	2		紹介
1952年12月	第五期	中年婦人の外出着	中年の主婦のための外出着について考え、Aさんのつくったドレスを紹介している。	46巻12号	91	中島静江	中年のためのドレス	婦人	布・ミシン	裁断・縫う	2		紹介・提案
1952年12月	第五期	クリスマス・プレゼント	クリスマス・プレゼント	46巻12号	98			婦人	布・ミシン				紹介
1953年1月	第五期	子供の服装の工夫(合着と冬着)	5・6歳を中心にした子供服の工夫を紹介	47巻1号	76		下着・外套・上着・ねまき	子供	布・ミシン				合理的・紹介

1953年1月	第五期	帽子を手作りにしましょう	帽子の作り方を紹介	47巻1号	80	田邊朋子	帽子	婦人	布・ミシン	採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7	オーバーやスーツの端切れ・チェックのスカートの残り布→帽子	紹介
1953年1月	第五期	毛糸のおくるみ	毛糸のスリーピングバッグの作り方を紹介	47巻1号	88		スリーピングバッグ	赤坊	チャージ	採寸・編む	2		紹介
1953年1月	第五期	温い冬の下着の工夫	下着の工夫3つとしてロングブルーマー・腰下までのチョッキ・防寒コンビネーションの作り方を紹介	47巻1号	90		ロングブルーマー・腰下までのチョッキ・防寒コンビネーション	婦人	毛糸	採寸・型紙・裁断・縫う・ミシン・アイロン	6		合理的・紹介
1953年2月	第五期	冬の家着	主婦のための冬の家着として、トウピースのエプロンスカー・ウールのスモック・古いスーツを直したコートドレスの作り方を紹介	47巻2号	100	中島静江	トウピースのエプロンスカー・ウールのスモック・古いスーツを直したコートドレス	婦人	布・ミシン	採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7	方が古くなった古いスーツ→家着のコートドレス	紹介・代用
1953年2月	第五期	帽子を手作りに	クリップハットとフェルト帽子の作り方を紹介	47巻2号	106	田邊朋子	クリップハット・フェルト帽子	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う・ミシン・アイロン	6	古いフェルト帽→フェルト帽	紹介
1953年3月	第五期	さっぱりした女学生の服装	さっぱりした女学生の服装を紹介	47巻3月号		中島静江		女学生	布	採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1953年3月	第五期	学童服	学童服	47巻3月号		西島芳太郎		子供	布・ミシン・アイロン				紹介
1953年4月	第五期	ワイシャツの経営法	ワイシャツの手入れの仕方について紹介	47巻4号	116		ワイシャツ	婦人					知識
1953年4月	第五期	春のスエーター	ブラウスとカーディガンの編み方を紹介	47巻4号	118	笹岡澄子	ブラウス・カーディガン	婦人		採寸・編む	2		紹介
1953年4月	第五期	コートとスカート	コートとスカートの作り方を紹介	47巻4号	120	中島静江	コート・スカート	婦人		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7		紹介
1953年4月	第五期	卵の人形	卵で作る人形の作り方を紹介	47巻4号	87	落合うの	人形	子供					趣味
1953年5月	第五期	子供の合着	子供の合着を紹介	47巻5月号		中島静江		子供	布	採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1953年5月	第五期	毛織物を虫にくわせないために	毛織物を虫にくわせないために	47巻5月号				婦人	毛糸				紹介
1953年6月	第五期	ナイロンのブラウス	ナイロンのブラウスの作り方を紹介	47巻6号	120	中島静江	ブラウス	婦人	毛糸	採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7		紹介
1953年6月	第五期	夏の洗濯をさっぱりと	洗濯の仕方から干し方までを紹介	47巻6号	91			婦人	毛糸				知識
	第五期	夏の着やすい一揃	ドレス・スカートの作り方を紹介	47巻7号	98	中島静江	ドレス・スカート	婦人	布	採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7		紹介
1953年7月	第五期	夏の帽子	夏の帽子6種類の作り方を紹介	47巻7号	104		帽子	婦人		採寸・型紙・裁断・縫う・ミシン	5	古帽子→トークスカートの残り布→帽子のひ	紹介・代用
1953年8月	第五期	楽しい工作と手芸	楽しい工作と手芸	47巻8月号				子供	布				紹介
1953年8月	第五期	スカート	スカートを紹介	47巻8月号		中島静江		婦人					紹介
1953年8月	第五期	きものしみぬき	きものしみぬき	47巻8月号				婦人	和服				紹介
1953年9月	第五期	限られた布地でつくったコート・ツーピース	限られた布地でコートドレス・半袖のツーピース・七分袖のツーピース・長コートの作り方を紹介	47巻9号	104	中島静江		婦人		採寸・型紙・裁断・縫う・ミシン	5		節約・合理的・紹介
1953年9月	第五期	初秋のあみもの	ワンピース・チョッキの編み方を紹介	47巻9号	111	笹岡澄子	ワンピース・チョッキ	婦人		採寸・編む	2		紹介
1953年10月	第五期	手作りの帽子	2種類の帽子の作り方を紹介	47巻10号	92		帽子	婦人	布	採寸・型紙・裁断・縫う・ミシン・アイロン	6	スーツやスカートの残り布→帽子・スエーターののこり糸→毛糸の帽子	紹介・代用
1953年10月	第五期	着やすいオーバーブラウス	2種類のオーバーブラウスの作り方を紹介	47巻10号	103	中島静江	オーバーブラウス	婦人		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7		紹介
1953年11月	第五期	子供の外套	子供の外套を紹介	47巻11月号		中島静江		子供	布・ミシン	採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介

1953年11月	第五期	フードつきのセーター	フードつきのセーター	47巻11月号		三輪輝子		婦人	布・ミシン				紹介
1953年11月	第五期	毛糸の染め直し	毛糸の染め直し	47巻11月号		自由学園工芸研究所		婦人					紹介
1953年12月	第五期	半外套	冬の婦人の外套を紹介し、コートの作り方紹介	47巻12号	98	中島静江	婦人のコート	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・裏裁ち・縫う	5		紹介
1953年12月	第五期	おくりもの	クリスマスの贈り物として毛糸のひざ掛け・お人形の洋服・赤ちゃん人形・ベレー・編み物用エプロンの作り方を紹介	47巻12号	103			婦人	布	編む・縫う・刺繍・型紙	4		紹介
1954年1月	第五期	家着を温かく清潔に	暖かく着られるものエプロンスカートとケープ・ガウンの作り方を紹介	48巻1号	98	中島静江	エプロンスカートとケープ・ガウン	婦人		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7		紹介
1954年2月	第五期	ドレスとコート	ジャンパー風のドレスとコートの作り方を紹介	48巻2号	100	中島静江	婦人のドレスとコート	婦人	フロットコート	型紙・裁断・芯裁ち・仮縫い・裏裁ち・縫う	6		紹介
1954年2月	第五期	毛糸の手芸いろいろ	手編みのストールと三種類のバッグの作り方を紹介	48巻2号	98	笹岡澄子	ストールとバッグ	婦人	布・ミシン	編む・アイロン	2		紹介
1954年3月	第五期	新学年の服装用意(母親の工夫)	5人のお母様方から去年着てよかったものと今年新しく加えたいものを伺い、様々な服装を紹介	48巻3号	96		ジャンパースカート・下着・ドレス・ハーフコート・スカート・ブラウス・スウェーター・ジャカーディガン・ジャケット・スウェーター	子供	布	型紙・縫う	2		合理的・知識
1954年3月	第五期	春の子供セーター	春先に向けて8・9歳用のカーディガンと5・6歳用のジャケット・半袖スウェーターの作り方を紹介	48巻3号	101	三輪輝子	カーディガン・ジャケット・スウェーター	子供	糸	編む・アイロン	2		紹介
1954年4月	第五期	私の服装―働く娘の実例二つ―	二人の働く女性の衣服に対する考え方を紹介。科学研究所勤務の弘子さんはほぼ手作りするのに対し、既製服曾社で働く穂子さんは服を購入している。	48巻4号	74		ブラウス・スリッパ・オーバー・帽子	子供	布			友だちのオーバーの残り布→ぼうし 洋服の残り布→袋物・マフラー・造花・替え衾	提案
1954年4月	第五期	春のコート・ブラウス・スカート	端布の中からダブル巾のウール地で、春の用意にジャケット・スカート・ブラウスの三つ揃いの作成を紹介	48巻4号	102		ジャケット・スカート・ブラウス	婦人		型紙・裁断・仮縫い・ミシン	4		紹介
1954年4月	第五期	子供のヴェスト	子どものヴェスト4種類の編み方を紹介	48巻4号	98	三輪輝子	ジレー・ウェスト・キモノリープのヴェスト・男の子のヴェスト	子供	布	編む	1		紹介
1954年5月	第五期	アメリカの生活とデザイナーの仕事	話し手松方まり(アメリカの既製服曾会社のデザイナー)ときき手中島静江があらゆる場合を考えた既製服・デザイナーの修練・流行と職業婦人・つけたい教養について語る	48巻5号	103	松方まり		婦人	毛糸・布				知識
1954年5月	第五期	レインコート	12～13歳用のレインコートの作り方を紹介 既製服もたくさんあるが、母親の手で工夫してありきたりなものでない子供らしい適当なものを着せたいという考えから	48巻5号	107	中島静江	女兒用と男児用のレインコート	子供	布	採寸・型紙・裁断・仮縫い・縫う	5		合理的・紹介
1954年5月	第五期	手芸の真	刺繍をあしらったスカーフ・ワンピース・ブラウスの作り方を紹介	48巻5号	112	笹岡澄子	刺繍	婦人		縫う	1		紹介
1954年6月	第五期	夏のワンピース	夏のワンピースの作り方を紹介	48巻6号	103	中島静江	ワンピース	婦人	浴衣	採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7		紹介
1954年6月	第五期	わたしの服装	毛利真美さんのブラウスとスカートを写真で紹介	48巻6号	口絵	毛利真美		婦人	布・ミシン				提案
1954年6月	第五期	レース編みの手袋	レース編みの手袋の作り方を紹介	48巻6号	100	笹岡澄子	手袋	婦人	糸	編む	1		紹介
1954年7月	第五期	夏だけ洋服にする主婦たちの相談会	暑い間だけでも簡単服に手足をのばす方たち年々増え、長年洋服を着なれた四人が最近夏に洋服を着始めた三人の方の相談役になる	48巻7号	98			婦人	糸				合理的・知識
1954年7月	第五期	涼しい軽いワンピース	涼しく着れる夏のワンピースの作り方を紹介	48巻7号	90	中島静江	ワンピース	婦人		採寸・型紙・裁断・仮縫い・縫う	5		紹介
1954年7月	第五期	農村の花嫁支度	はたらくことに重点を置いたK子さんの結婚の支度を紹介 衣服明細書も記載	48巻7号	76			婦人	手拭・ミシン				節約・合理的
1954年7月	第五期	レースあみ	ブラウスやハンカチーフのじゃざりのレース編の花模様を紹介	48巻7号	95	笹岡澄子	花模様のレース編み	婦人	布	編む	1		趣味
1954年8月	第五期	夏のジャケット	夏のジャケットの作り方を紹介	48巻8号	100	中島静江	ジャケット	婦人	毛糸	採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7		紹介
1954年8月	第五期	ねまきの工夫	着心地のよいねまきの工夫と作り方を紹介	48巻8号	96		ねまき	婦人		採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7		合理的・紹介

1954年8月	第五期	レースの縁飾り	ふち飾り用のレースとしてピアノかけ・ミシンかけ・テーブルセンターの編み方を紹介	48巻8号	98	笹岡澄子	ピアノかけ・ミシンかけ・テーブルセンター	婦人	布・ミシン	採寸・編む	2		趣味
1954年9月	第五期	秋の服装計画と合の長コート	秋の服装計画として二人の一揃えを紹介し、長コートの作り方を紹介	48巻9号	107	中島静江	長コート	家族	布・ミシン	採寸・型紙・仮縫い・裁断・縫う・ミシン・アイロン	7		紹介・提案
1954年9月	第五期	幼児のための編物	幼児のための初秋のあみものとしてフードサック・ボレロ・チョッキの編み方を紹介	48巻9号	104		フードサック・ボレロ・チョッキ	幼児	端切れ	採寸・編む	2		紹介
1954年10月	第五期	少女の秋の服装	小学校5年生のいずみさんの服装を参考にハーフコート・ジャンパースカート・ブラウスの作り方を紹介	48巻10号	91	中島静江	ハーフコート・ジャンパースカート・ブラウス	子供	布・ミシン	採寸・型紙・裁断・仮縫い・縫う	5		紹介・提案
1954年10月	第五期	少女のあみもの	少女のためにカーディガンとスウェーターの組み合わせの編み方を紹介	48巻10号	96	笹岡澄子	カーディガン・スウェーター	少女	毛糸	編む	1		紹介
1954年11月	第五期	内職の経験(投書五篇)	よそゆきの服装として絹のツーピースを紹介	48巻11号	104	中島静江		婦人					紹介
1954年11月	第五期	絹のツウピース	買い物袋の作り方を紹介	48巻11号	110	田邊朋子	ツーピース	婦人	布・ミシン	型紙・裁断・縫う	3		紹介
1954年12月	第五期	私の買物袋	冬の家着を美しくあたたかく働きやすくということに力を入れ、朝昼夜と分けて作ったものを紹介	48巻12号	90	盛岡友の会	買い物袋	婦人	布	裁断・縫う・編む	3		合理的・紹介
1954年12月	第五期	北国の主婦の家着	男子用の家着の上着三種類の作り方を紹介	48巻12号	94	神部美禰	ブラウス・エプロン・ズボン・スモック・スカート・ロングスカート	婦人		型紙・裁断・縫う	3		合理的・紹介・提案
1954年12月	第五期	男子用冬の家着	クリスマスの贈り物として、マフラー・帽子・バッグ・風俗人形・お金入れ・室内履きの作り方を紹介	48巻12号	86		三種類の上着	男子		採寸・型紙・裁断・仮縫い・縫う	5		紹介
1955年1月	第五期	クリスマスの贈物	子どもの通学着のために外套・スモック・ガウンの作り方を紹介	49巻1号	83	中島静江	マフラー・帽子・バッグ・風俗人形・お金入れ・室内履き	子供		編む	1		紹介
1955年1月	第五期	通学の子供のための温かい服装	一年までの赤ちゃんの外出用防寒の作り方を紹介	49巻1号	89		外套・スモック・ガウン	子供	布	採寸・型紙・裁断・仮縫い・縫う	5		紹介
1955年1月	第五期	あたたかい赤ちゃんの防寒着	カーディガンとスウェーターの編み方を紹介	49巻1号	90		赤ちゃんの外出用防寒	赤坊	布・ミシン	採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・提案
1955年2月	第五期	美しいスウェーター	外出できるコートドレスの作り方を紹介	49巻2号	98	中島静江	カーディガン・スウェーター	婦人	毛糸	編む	1		紹介
1955年2月	第五期	コートドレス	アメリカの雑誌見たくだものクッションを参考に作り方を紹介	49巻2号	94	陳不二子	コートドレス	婦人	布・毛糸	採寸・型紙・裁断・仮縫い・縫う	5		紹介
1955年3月	第五期	果物クッション	春のブラウス7種類の作り方を紹介	49巻3号	88		2種類のくだものクッション	婦人	布・ミシン	型紙・裁断・縫う	3		趣味・紹介
1955年3月	第五期	春のブラウス	仕事かご・レース編みの血敷き・毛糸のカバン作り方を紹介	49巻3号	99	笹岡澄子	7種類のブラウス	婦人	毛糸	型紙・裁断・縫う・仮縫い	4		紹介
1955年4月	第五期	春の手芸三つ	歩き始めの子どもたちのために男の子のロンパース・オーバーブラウス・コート・帽子と女の子のワンピース・コートの作り方を紹介	49巻4号	93		仕事かご・レース編みの血敷き・毛糸のカバン	婦人	布	編む・貼る	2		趣味
1955年4月	第五期	歩きはじめの子供の春着	金網ボディーの作り方を紹介・同じページに給食袋の作り方も紹介	49巻4号	98	古澤貞子	男の子のロンパース・オーバーブラウス・コート・帽子と女の子のワンピース・コート	子供	布	採寸・型紙・裁断・縫う・ミシン	5		紹介・提案
1955年5月	第五期	金網のボディー	初夏の外出着としてケープとワンピースの作り方を紹介	49巻5号	90		金網ボディー	婦人	糸	編む	1		趣味
1955年5月	第五期	ワンピースとケープ	三種類の造花の作り方を紹介	49巻5号	94	林玲子	ケープ・ワンピース	婦人	布	型紙・裁断・仮縫い・縫う	4		紹介
1955年6月	第五期	美しい造花三種	化繊の見わけ方	49巻6号	口絵		三種類の造花	婦人	皮	型紙・裁断・縫う	3		趣味
1955年6月	第五期	化繊の見わけ方	16・17歳の少女の12種類の夏のワンピースの作り方を紹介	49巻6号	101	浅野静子		婦人	糸				紹介
1955年6月	第五期	真夏の少女服	自由学園女子部の勉強からポイントレースのテーブルかけと椅子かけを作成したものを紹介	49巻6号	106		12種類のワンピース	少女	布	型紙・裁断・縫う	3		紹介
1955年7月	第五期	ポイントレースのテーブルかけ	12種類の夏用のデザインのツーピースの作り方を簡単に紹介	49巻7号	92	古澤貞子、古澤淑子	ポイントレースのテーブルかけと椅子かけ	婦人	布	編む	1		提案
1955年7月	第五期	夏服のデザイン	兄弟お揃いの真夏の遊び着の作り方を簡単に紹介	49巻7号	99		12種類の夏用のデザインのツーピース	婦人	余り布・ミシン				紹介
1955年7月	第五期	お揃いのあそび着	タウン・ハットとレイン・ハットと子供帽の3種類の夏の帽子の作り方を紹介	49巻7号	96		遊び着	子供	糸	型紙・裁断・縫う	3		紹介

1955年8月	第五期	夏の帽子	自由学園の音楽の先生の鈴木乃婦子氏に肌や髪の手入れ・上手な着物の着方についてインタビュー	49巻8号	92		タウン・ハット、 レイン・ハット、 子供帽子	子供		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1955年8月	第五期	清らかな装い(鈴木乃婦子氏に きく)	涼しく着やすいドレスとジャケットのアンサンプルの2種類の 作り方を紹介	49巻8号	10	神部美禰		婦人	布・ミシン				知識
1955年8月	第五期	若い人の夏のアンサンプル	初秋のスエーターとしてレース編みのウエストと七部袖の カーディガンの作り方を紹介	49巻8号	107		ドレスとジャ ケットのアンサ ンプルの2種類	婦人	布・ミシン	型紙・裁断・仮縫 い・縫う	4		合理的・紹介
1955年9月	第五期	初秋のスエーター	初秋の服装としてジャケットの作り方を紹介	49巻9号	96	中島静江	レース編みのウ エストと七部袖 のカーディガン	婦人	布・ミシン	編む	1		紹介
1955年9月	第五期	初秋のジャケット	自由学園女子部高等科の三年生が作った筆入れとカバン の作り方を紹介	49巻9号	100		ジャケット	婦人		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介
1955年10月	第五期	革細工	ワイシャツを主に洗濯・漂白・糊つけ・きり吹き の正しい分量とやり方を紹介	49巻10号	80	堀志津	筆入れ・カバン	婦人	布・ミシン	皮を柔軟にする・ 刺繍・仮縫い	3		紹介・提案
1955年10月	第五期	わが家の衣服経営から 洗濯・ 漂白・糊つけ・きり吹き	東京友の会の速水芳子さんの衣服ノートを紹介し、仕立物 の記録票や5年間に縫ったものをまとめているものを掲載	49巻10号	82	速水芳子		婦人	布				知識
1955年10月	第五期	わが家の衣服経営から 衣の持 数と時間	中年の主婦の外出着の一例として、東京友の会の小野さん の一揃いを紹介し、作り方も紹介している。	49巻10号	106			婦人	布				合理的・知識・提案
1955年10月	第五期	外出着の一揃い	流行より個性を生かした服を着ることを提案している。 良い 布地を長く着ることを提案。	49巻10号	84	坂倉ユリ	コート・ツープী ス・スカート・ブ ラウス	婦人	布	型紙・裁断・仮縫 い・縫う・ミシン	5		紹介・提案
1955年10月	第五期	私の身だしなみ	子ども用の男女のスエーター三種類の作り方を紹介	49巻10号	103			婦人					知識・節約
1955年11月	第五期	子供のスエーター	真冬用として外套地で作った、七分丈のコートとタイトのス カートのアンサンプルの作り方を紹介	49巻11号	91	中島静江	子ども用の男女 のスエーター	婦人	布・ミシン	編む	1		紹介
1955年11月	第五期	外套地でつくった冬のアンサンプ ル	紅茶ポットと貸すロールのカバーの編み方を紹介	49巻11号	96	小宮花子	七分丈のコート とタイトのスカ ートのアンサンプ	婦人	毛糸	型紙・裁断・仮縫 い・縫う	4		紹介
1955年12月	第五期	冬の食卓の手芸	仕事着・あみもののスーツ・黒のワンピース・オーバーコート・ 新婚旅行のためのツープースなどこの冬作りたい服を掲載	49巻12号	131	田中田鶴 子、深沢紅 子、ヨネ・ リーベル、 岸田今日 子、藤川曜	ポットカバー・カ スロールカバー	婦人	布・ミシン・ア イロン	編む	1		趣味
1955年12月	第五期	この冬につくりたい洋服	冬の贈り物として、バッグ・財布・マフラー・手袋の作り方を紹 介	49巻12号	136	加藤みほ子		婦人					紹介
1956年1月	第五期	クリスマスの贈物	よそゆきのワンピースの作り方を紹介	50巻1号	98	中島静江	バッグ・財布・マ フラー・手袋	婦人	布・ミシン・ア イロン	編む・ミシン	2		紹介
1956年1月	第五期	よそゆきのワンピース	お揃いのスモック六種の作り方を紹介	50巻1号	104		ワンピース	幼児・少女		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介・合理的
1956年2月	第五期	お揃いのスモック六種	アクセサリーを上手に活かした西村クワさんの服装を紹介	50巻2号	96		スモック	子供	布・ミシン・ア イロン	採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介・合理的
1956年2月	第五期	アクセサリーを上手に活かして —西村クワさんの服装	母親のスーツからつくった子供服	50巻2号	86	楠井美子	アクセサリー	子供					紹介
1956年2月	第五期	母親のスーツからつくった子供 服	春のセーターの作り方を紹介	50巻2号	104	自由学園工 芸研究所	スーツ	子供	毛糸			母のスーツか ら子供服	紹介・代用・愛情
1956年3月	第五期	春のセーター	春から初夏までの通勤着を紹介	50巻3号	74		セーター	学生	布・ミシン・ア イロン				紹介
1956年4月	第五期	新卒生に贈る特集 春から初 夏までの通勤着	冬物はこうして仕末しましょう 五人家族の衣類を一カ月で仕 末する	50巻4号	72		通学着	婦人	布・ミシン	採寸・型紙・裁 断・縫う	4		提案・合理的
1956年4月	第五期	冬物はこうして仕末しましょう 五人家族の衣類を一カ月で仕末	春の服装を紹介	50巻4号	79	浅野静子		婦人					紹介
1956年5月	第五期	春の服装	初夏のブラウスを紹介	50巻5号	95	吉村満恵	ワンピース	婦人					紹介
1956年5月	第五期	初夏のブラウス	夾纈染のクッションの作り方を紹介	50巻5号	102		ブラウス	婦人		型紙・裁断	2		紹介
1956年5月	第五期	夾纈染のクッション	着やすく恰好のよい妊娠服の作り方を紹介	50巻5号	106		クッション	婦人	布・ミシン・ア イロン	染める	1		紹介
1956年6月	第五期	着やすく恰好のよい妊娠服	夏の帽子的作り方を紹介	50巻6号	72		妊婦服	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1956年6月	第五期	夏の帽子	ワンピースとダスターコートの作り方を紹介	50巻6号	122	中島静江	帽子	婦人					紹介・合理的
1956年7月	第五期	ワンピースとダスターコート	自分でデザインしたワンピースを紹介	50巻7号	71		ワンピース・ダ スターコート	婦人		採寸・型紙・裁 断・縫う	4		紹介・合理的
1956年7月	第五期	自分でデザインしたワンピース	手作りの帽子的作り方を紹介	50巻7号	76		ワンピース	子供・婦人	布・ミシン・ア イロン	型紙・裁断・縫う	3		紹介・趣味
1956年8月	第五期	手作りの帽子	真夏の子供服の作り方を紹介	50巻8号	105		帽子	婦人		縫う・編む	2		紹介

1956年9月	第五期	真夏の子供服	秋のスエーター六種の作り方を紹介	50巻9号	108		子供服	婦人	毛糸					紹介
1956年9月	第五期	秋のスエーター六種	初秋のツーピースの作り方を紹介	50巻9号	88	木下了子、 小林英子、 中島静江	スウェーター	婦人	毛糸	編む	1			紹介
1956年10月	第五期	初秋のツーピース	秋のワンピースとアンサンブルの作り方を紹介	50巻10号	100		ツーピース	婦人	布・ミシン			男物からツー ピース		紹介・提案・代用
1956年10月	第五期	秋のワンピースとアンサンブル	ジャージイのドレスの作り方を紹介	50巻10号	124	中島静江	ワンピース	婦人						紹介・提案・代用
1956年10月	第五期	ジャージイのドレス	赤ちゃんのあみものを紹介	50巻10号	88		ドレス	赤坊		型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1956年11月	第五期	赤ちゃんのあみもの	座談会 およばれの服装・不幸の服装	50巻11号	42	田中千代、 戸川エマ、 原田和歌子		赤坊	毛糸	編む	1			紹介
1956年11月	第五期	座談会 およばれの服装・不幸の服装	服装調査 主婦と服装—愛読者九十四人の回答— この一年間に主婦はどれだけ新調したか 主婦の衣服費は あなたの家では誰の服に重点がおかれているか 主婦の洋服の好みとほしいものは 冠婚葬祭に和洋どちらを着るか	50巻11号	50		冠婚葬祭	婦人	毛糸					紹介・提案
1956年11月	第五期	服装調査 主婦と服装—愛読者九十四人の回答— この一年間に主婦はどれだけ新調したか 主婦の衣服費は あなたの家では誰の服に重点がおかれているか 主婦の洋服の好みとほしいものは 冠婚葬祭に和洋どちらを着るか	若い人のおよばれのアンサンブルと中年の人のドレッシイなアンサンブルを紹介	50巻11号	57	小林英子、 中島静江		婦人	布・ミシン					紹介・提案・合理的
1956年11月	第五期	若い人のおよばれのアンサンブル 中年の人のドレッシイなアンサンブル	模様編のカーディガンを紹介	50巻11号	107		アンサンブル	婦人	布・ミシン	採寸・型紙・裁断・縫う	4			紹介
1956年12月	第五期	模様編のカーディガン	年末家計相談会 家計簿と私たちの生活 食費は一人一ヵ月いくらあればよいでしょう 衣服費の赤字にならない工夫を教えてください 交際費のかさむのはどうしたらよいでしょう 月賦の買物も予算をたてた方がよいでしょうか 現金があわなくてつけるのが面倒になります 生活準備金はどれ位用意	50巻12号	35		カーディガン	婦人		編む	1			紹介
1956年12月	第五期	年末家計相談会 家計簿と私たちの生活 食費は一人一ヵ月いくらあればよいでしょう 衣服費の赤字にならない工夫を教えてください 交際費のかさむのはどうしたらよいでしょう 月賦の買物も予算をたてた方がよいでしょうか 現金があわなくてつけるのが面倒になります 生活準備金	清楚な少女のワードローブを紹介	50巻12号	112			少女						紹介・提案・合理的
1956年12月	第五期	清楚な少女のワードローブ	スノースーツの作り方を紹介	50巻12号	119	中島静江	ワードローブ	子供	布・ミシン・アイロン					紹介
1956年12月	第五期	スノースーツ	あみものと革のバッグを紹介	50巻12号	124		スノースーツ	婦人	布	採寸・型紙・裁断・縫う	4			紹介・合理的
1956年12月	第五期	あみものと革のバッグ	タオル地を使った手芸を紹介	50巻12号	126		あみもの・カバ	婦人						紹介
1957年1月	第五期	タオル地を使った手芸	冬の家着の作り方を紹介	51巻1号	120		ガウン・タオルの上掛け	婦人	布・ミシン	型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1957年1月	第五期	冬の家着	手あみのドレスを紹介	51巻1号	写真	斎藤亜紀子	家着	婦人	レインコートの布・ミシン					紹介・合理的
1957年1月	第五期	手あみのドレス	三枚のドレスのあみ方を紹介	51巻1号	128		ドレス	婦人	和服・ミシン・アイロン	編む	1			紹介
1957年2月	第五期	三枚のドレスのあみ方	ツイードのワンピースの作り方を紹介	51巻2号	102	小林英子、 中島静江	ドレス	婦人		編む	1			紹介
1957年2月	第五期	ツイードのワンピース	松永靖子夫人のドレスを紹介	51巻2号	写真		ワンピース	婦人	毛糸	採寸・型紙・裁断・縫う	4			紹介・合理的
1957年3月	第五期	松永靖子夫人のドレス	一年半で揃えた娘の服装を紹介	51巻3号	44	井塚暁子	ドレス	子供						紹介
1957年3月	第五期	一年半で揃えた娘の服装	手作りの新学期の服装の作り方を紹介	51巻3号	99			子供						紹介
1957年3月	第五期	手作りの新学期の服装	スエーターとエプロンを紹介	51巻3号	108	笹岡澄子	学生服	婦人	布・ミシン					紹介・愛情
1957年3月	第五期	スエーターとエプロン	清楚で美しい少女のよそおいを紹介	51巻3号	写真	ジャニューヌ・トッフアン	スウェーター・エプロン	少女						紹介
1957年5月	第五期	清楚で美しい少女のよそおい	通勤の装い—ブラウスとスカートを中心に—	51巻5号	122		ワンピース	婦人	布・ミシン					紹介
1957年5月	第五期	通勤の装い—ブラウスとスカートを主に—	レースあみを紹介	51巻5号	108	笹岡澄子	ブラウス・スカート	婦人						提案

1957年5月	第五期	レースあみ	春のぼうしを紹介	51巻5号	120	田邊朋子	テーブルセーター	婦人	布・ミシン・アイロン	編む	1		紹介・趣味
1957年6月	第五期	春のぼうし	赤ちゃんの夏のドレスを紹介	51巻6号	101		帽子	赤坊	和服・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3		紹介・趣味
1957年6月	第五期	赤ちゃんの夏のドレス	レインコートの仕立て方	51巻6号	107	中島静江	ドレス	婦人	紹回し・ミシン				紹介・合理的
1957年6月	第五期	レインコートを仕立てましょう	レインハットを紹介	51巻6号	112	田邊朋子	レインコート	婦人	黒縮緬・ミシン	採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
1957年7月	第五期	レインハット	夏を涼しく 陽よけの帽子的作り方を紹介	51巻7号	115		レインハット	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1957年7月	第五期	夏を涼しく 陽よけの帽子	夏を涼しく 和服の汗とりの仕方を紹介	51巻7号	85		帽子	婦人	布・ミシン				紹介
1957年7月	第五期	夏を涼しく 和服の汗とり	ふとん―一件分の持物― 何枚あったらよいか、化繊の毛布、ざぶとんの工夫	51巻7号	82		和服	婦人					紹介・合理的
1957年7月	第五期	ふとん―一件分の持物― 何枚あったらよいか、化繊の毛布、ざぶとんの工夫	楽しい衣服ノートをつくりましょう	51巻7号	116		布団	婦人	毛糸				紹介・提案
1957年7月	第五期	楽しい衣服ノートをつくりましょう	涼しく着やすいワンピースを紹介	51巻7号	103	中島静江		婦人					紹介・提案
1957年7月	第五期	涼しく着やすいワンピース	少女の真夏のワンピースを紹介	51巻7号	108		ワンピース	少女	和服・ミシン・アイロン	採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介・合理的
1957年7月	第五期	少女の真夏のワンピース	やさしく作れる美しい日傘の作り方を紹介	51巻7号	口絵	自由学園女子部生徒制作	ワンピース	婦人	毛糸	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1957年8月	第五期	やさしく作れる美しい日傘	おしゃれの下着・実用の下着 下着についての七人の連憲 ブラジャー、コルセットのえらび方・つけ方	51巻8号	116		日傘	婦人	毛糸	裁断・縫う	2		紹介・趣味
1957年8月	第五期	おしゃれの下着・実用の下着 下着についての七人の連憲 ブラジャー、コルセットのえらび方・つけ方	旅行のためのワンピースとジャケットを紹介	51巻8号	124	小林英子	下着	婦人	布・ミシン				紹介・合理的
1957年8月	第五期	旅行のためのワンピースとジャケット	レースあみブラウスを紹介	51巻8号	75		ジャケット・ワンピース	婦人	布・ミシン				紹介・合理的
1957年9月	第五期	レースあみブラウス	毛糸のししゅう	51巻9号	77	若林もも子	ブラウス	婦人	毛糸				紹介
1957年9月	第五期	毛糸のししゅう	合着のブラウス三種を紹介	51巻9号	84			婦人・子供	毛糸				紹介
1957年9月	第五期	合着のブラウス三種	木綿糸であんだヴェエスト・手袋を紹介	51巻9号	80		ブラウス	婦人	残り布・ミシン	型紙・裁断・縫う	3		紹介
1957年9月	第五期	木綿糸であんだヴェエスト・手袋	美しい手作りのドレスを紹介	51巻9号	82		ヴェスト・手袋	婦人	布・ミシン	編む	1		紹介・趣味
1957年9月	第五期	美しい手作りのドレス	赤ちゃんのあみもの	51巻9号	128		ドレス	赤坊	毛糸	型紙・裁断・縫う	3		紹介・愛情
1957年9月	第五期	赤ちゃんのあみもの	主婦の手芸を紹介	51巻9号	154		あみもの	婦人	毛糸	編む	1		紹介・愛情
1957年10月	第五期	主婦の手芸	秋の服装計画を紹介	51巻10号	114	中島静江	手芸	家族					紹介・趣味
1957年10月	第五期	秋の服装計画	秋のあみもの	51巻10号	110			婦人	布・ミシン				提案・合理的
1957年11月	第五期	秋のあみもの	結婚をめぐって 洋装をえらぶ花嫁のために	51巻11号	59	原あやめ	あみもの	花嫁	布				紹介・趣味
1957年11月	第五期	結婚をめぐって 洋装をえらぶ花嫁のために	子供の外套の作り方を紹介	51巻11号	122	中島静江	洋装	子供	毛糸				紹介・提案
1957年11月	第五期	子供の外套	編物―子供のハーフコートと帽子	51巻11号	128	三輪輝子	外套	子供	毛糸	型紙・裁断・縫う	3	大人の外套から子供の外套	紹介・代用・愛情
1957年11月	第五期	編物―子供のハーフコートと帽子	子供用のベレーを紹介	51巻11号	127		ハーフコート・帽子	子供		編む	1		紹介・愛情・趣味
1957年12月	第五期	子供用のベレー	外出着に洋服を着こなすには	51巻12号	74	原あやめ	ベレー帽	婦人		裁断・縫う	2		紹介
1957年12月	第五期	外出着に洋服を着こなすには	外出着のアンサンブルを紹介	51巻12号	112	中島静江	外出着	婦人	毛糸				紹介
1957年12月	第五期	外出着のアンサンブル	着やすい家着の作り方を紹介	51巻12号	116	吉村満恵	外出着のアンサンブル	婦人	毛糸	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1957年12月	第五期	着やすい家着	帽子と室内ばきの作り方を紹介	51巻12号	118		家着	婦人・子供	布・ミシン	裁断・縫う	2		紹介・合理的
	第五期	帽子と室内ばき					帽子・室内履き	婦人	布・ミシン	型紙・裁断・縫う	3		紹介・趣味
1958年2月	第五期	いつも手作りの服装 大橋育子さんの生活から	ツイードを紹介	52巻2号	62			婦人・子供	布・ミシン			有り合わせの布→洋服	紹介・代用・提案
1958年2月	第五期	ツイード	子供のアンサンブル―紺色を使って―	52巻2号	108	原あやめ	ツイード	婦人	毛糸				紹介
1958年2月	第五期	子供のアンサンブル―紺色を使って―	あみもの	52巻2号	112	山口光子	あみもの	婦人		編む	1		紹介・愛情・趣味
1958年2月	第五期	あみもの	子供服にスモック刺繍を	52巻2号	色刷		子供服	子供		編む	1		愛情・趣味
1958年2月	第五期	牧山照子夫人の美しい着こなし	牧山照子夫人の美しい着こなしを紹介	52巻2号	写真			婦人	着物・ミシン				紹介・提案
1958年3月	第五期	春の三つ揃い	春の三つ揃いの作り方を紹介	52巻3号	139	中島静江	アンサンブル	婦人・子供	布・ミシン	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的

1958年3月	第五期	あみもののアンサンブル	あみもののアンサンブルを紹介	52巻3号	146	斎藤亜紀子	アンサンブル	子供		編む	1		紹介・愛情
1958年3月	第五期	おしゃれへの第一歩	おしゃれへの第一歩	52巻3号	114	牛山喜久子		婦人					提案
1958年3月	第五期	スカーフの表情	スカーフの表情	52巻3号	144	原あやめ	スカーフ	婦人					提案
1958年3月	第五期	男の子のカーディガン	男の子のカーディガンの作り方を紹介	52巻3号	150	山口光子	カーディガン	男児	布・ミシン	裁断・縫う・編む	3		紹介・愛情・合理的
1958年3月	第五期	男の子の入学用意	男の子の入学用意を紹介	52巻3号	152		入学服	男児					紹介・合理的
1958年3月	第五期	スカーフの表情	スカーフの表情	52巻3号	写真		スカーフ	婦人	布・ミシン・アイロン・アイロン				紹介
1958年4月	第五期	靴は装いのポイント	靴は装いのポイント	52巻4号	111	原あやめ	靴	婦人					提案
1958年4月	第五期	ツーピースとブラウス	ツーピースとブラウスの作り方を紹介	52巻4号	118	武内啓子	ツーピース・ブラウス	婦人・子供		裁断・縫う	2		紹介・合理的
1958年4月	第五期	おしゃれへの第一歩	おしゃれへの第一歩	52巻4号	106	牛山喜久子		婦人					提案
1958年4月	第五期	赤ちゃんのロンパース	赤ちゃんのロンパースを紹介	52巻4号	108		ロンパース	赤坊	毛糸			母の服→赤ちゃんのロン	紹介・愛情・代用
1958年4月	第五期	ベレーの作り方	ベレーの作り方を紹介	52巻4号	116	林玲子	ベレー帽	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3		紹介
1958年4月	第五期	ストール	ストールを紹介	52巻4号	122	山口光子	ストール	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介
1958年4月	第五期	私の春のドレス	私の春のドレス	52巻4号	色刷	仲田好江	ドレス	婦人	布				紹介
1958年4月	第五期	子供のハンカチーフの図案	子供のハンカチーフの図案	52巻4号	色刷	北郷美代子	ハンカチーフ	子供	布				紹介
1958年5月	第五期	着方の変化で楽しめるコートドレス	着方の変化で楽しめるコートドレスを紹介	52巻5号	144	小林英子	コートドレス	婦人	布・ミシン				紹介・合理的
1958年5月	第五期	下着のはなし	下着のはなし	52巻5号	139	原あやめ	下着	婦人	毛糸				紹介
1958年5月	第五期	野良着の作り方	野良着の作り方を紹介	52巻5号	152	佐々木綾子	野良着	婦人				有り合わせの布→野良着	紹介・合理的・代用
1958年5月	第五期	ウエディングドレス	ウエディングドレスを紹介	52巻5号	148		ウエディングドレス	婦人					紹介
1958年5月	第五期	レース編みのバッグ	レース編みのバッグ	52巻5号	150	山口光子	バッグ	婦人	布・ミシン	編む	1		紹介・趣味
1958年6月	第五期	子供と大人のレインコート	子供と大人のレインコート	52巻6号	146	武内啓子他	レインコート	子供・大人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1958年6月	第五期	レースあみ	レースあみを紹介	52巻6号	152	笹岡澄子	レースあみ	婦人	毛糸	編む	1		紹介・趣味
1958年7月	第五期	夏のワンピースを手作りに	夏のワンピースを手作りに	52巻7号	142		ワンピース	婦人・子供	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3	有り合わせの布→ワンピース	紹介・合理的・代用
1958年7月	第五期	優雅なバリ製の夏帽子	優雅なバリ製の夏帽子を紹介	52巻7号	写真		帽子	婦人					紹介
1958年8月	第五期	夏の三時間	衣のための三時間	52巻8号	116			婦人	布・ミシン				紹介
1958年8月	第五期	ブラウスとスカートの作り方	ブラウスとスカートの作り方を紹介	52巻8号	152		ブラウス・スカート	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1958年8月	第五期	八月のデザイン	八月のデザイン	52巻8号	158	武内啓子		婦人					紹介
1958年8月	第五期	レースあみ	レースあみを紹介	52巻8号	122	斎藤亜紀子	レースあみ	婦人	布・ミシン・アイロン	編む	1		紹介・趣味
1958年8月	第五期	手芸をあしらったブラウスとスカート	手芸をあしらったブラウスとスカートを紹介	52巻8号	写真		ブラウス・スカート	婦人		編む	1		紹介・趣味・愛情
1958年8月	第五期	レースあみのドレス	レースあみのドレスを紹介	52巻8号	写真		ドレス	婦人	布・ミシン・アイロン	編む	1		紹介
1958年9月	第五期	ドレッシィなアンサンブル	ドレッシィなアンサンブルの作り方を紹介	52巻9号	146	水野たか子	アンサンブル	婦人	布・ミシン	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1958年9月	第五期	若向の三つ揃い	若向の三つ揃いを紹介	52巻9号	151	中島静江	三つ揃い	婦人	毛糸	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1958年9月	第五期	アフガン編の子供のセーター	アフガン編の子供のセーターの作り方を紹介	52巻9号	155		セーター	子供	布・ミシン・アイロン	編む	1		紹介・愛情
1958年9月	第五期	初秋の少女服	初秋の少女服を紹介	52巻9号	写真		少女服	少女	布・ミシン				紹介
1958年10月	第五期	自分でウエディングドレスをつくって	自分でウエディングドレスをつくって	52巻10号	82	池田伸子	ウエディングドレス	婦人	毛糸				紹介
1958年10月	第五期	“ふとん”化繊綿を使って	“ふとん”化繊綿を使って	52巻10号	138		ふとん	婦人	布・ミシン・アイロン			ふとん化繊綿→座布団	紹介・代用
1958年10月	第五期	お招かれのドレス	お招かれのドレスの作り方を紹介	52巻10号	148	中島静江	ドレス	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1958年10月	第五期	手編みのツーピース二種	手編みのツーピース二種を紹介	52巻10号	144		ツーピース	婦人	布・ミシン	編む	1		紹介
1958年10月	第五期	新家庭を彩る手芸品	新家庭を彩る手芸品	52巻10号	142		手芸品	婦人	布・ミシン	編む	1		紹介・趣味
1958年10月	第五期	子供のスーターのデザイン	子供のスーターのデザインを紹介	52巻10号	色刷		スーター	子供	布・ミシン・アイロン	編む	1		紹介・趣味・愛情
1958年10月	第五期	敷物を手作りに	敷物を手作りに	52巻10号	色刷	小宮さとみ	敷物	婦人		編む	1		紹介
1958年10月	第五期	美しいバリのウエディングドレス	美しいバリのウエディングドレスを紹介	52巻10号	写真		ウエディングドレス	婦人	布・ミシン				紹介
1958年10月	第五期	花嫁のブーケの作り方	花嫁のブーケの作り方を紹介	52巻10号	写真	村田ユリ	ブーケ	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介

1958年11月	第五期	服飾研究の半世紀(女のあゆみ)	服飾研究の半世紀(女のあゆみ)	52巻11号	47	山脇敏子		婦人						紹介
1958年11月	第五期	子供のジャンパーコートとジャケット	子供のジャンパーコートとジャケットの作り方を紹介	52巻11号	160	中島静江	ジャンパーコート・ジャケット	子供		採寸・型紙・裁断・縫う	4			紹介・合理的
1958年11月	第五期	洗えるお茶帽のつくり方	洗えるお茶帽のつくり方を紹介	52巻11号	95		お茶帽子	婦人	毛糸	縫う	1			紹介・合理的
1958年11月	第五期	ウェディングハット	ウェディングハットを紹介	52巻11号	159		ウェディングハット	婦人						紹介
1958年11月	第五期	私のデザイン(服飾に室内装飾に)	私のデザイン(服飾に室内装飾に)	52巻11号	色刷	末田利一		婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1958年11月	第五期	これからのコート	これからのコート	52巻11号	写真	原あやめ	コート	婦人						提案
1958年12月	第五期	冬のコート	冬のコートを紹介	52巻12号	102	武内啓子	コート	婦人		型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1958年12月	第五期	おそろいのフードと手袋	おそろいのフードと手袋を紹介	52巻12号	99	牧山照子	フード・手袋	子供	残り布・ミシン・アイロン					紹介・合理的
1958年12月	第五期	男子用チョッキ	男子用チョッキを紹介	52巻12号	107	笹岡澄子	チョッキ	男児	布・ミシン	型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的・愛情
1958年12月	第五期	スキー用スエーター	スキー用スエーターを紹介	52巻12号	108	一川美代子	スウェーター	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介・合理的
1958年12月	第五期	ハ・九才のジャケット	ハ・九才のジャケットを紹介	52巻12号	110	三輪輝子	ジャケット	子供	毛糸					紹介
1958年12月	第五期	パーティーのよそおい	パーティーのよそおいに関して	52巻12号	112	牛山喜久子		婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1958年12月	第五期	冬にあたたかく―バリの子供服より―	冬にあたたかく、バリの子供服を紹介	52巻12号	写真		子供服	子供						紹介
1959年1月	第五期	可愛らしい冬の一そろい	可愛らしい冬の一そろいを紹介	53巻1号	色刷	石川登代子、原田ミナミ	冬の一揃い	子供	毛糸					紹介・愛情
1959年1月	第五期	バリモード	バリモードを紹介	53巻1号	162	田中千代		婦人	麻					紹介
1959年1月	第五期	スノースーツ	スノースーツを紹介	53巻1号	191	中島静江	スノースーツ	家族		型紙・裁断・縫う	3			紹介
1959年1月	第五期	ジャケットとスラックス	ジャケットとスラックスの作り方を紹介	53巻1号	194	武内啓子	ジャケット・スラックス	家族	布・ミシン	型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1959年1月	第五期	男の子のセーターとチョッキ	男の子のセーターとチョッキの作り方を紹介	53巻1号	199	三輪輝子	セーター・チョッキ	男児	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3			紹介・愛情
1959年1月	第五期	手袋とマフラー	手袋とマフラーの作り方を紹介	53巻1号	206	笹岡澄子	手袋・マフラー	婦人		編む	1			紹介
1959年2月	第五期	あみものの着こなし	あみものの着こなしについて	53巻2号	150	原あやめ	あみもの	婦人	布・ミシン・アイロン	編む	1			提案
1959年2月	第五期	春着のツーピース	春着のツーピースを紹介	53巻2号	154	中島静江	ツーピース	婦人	毛糸	型紙・裁断・縫う	3			紹介
1959年2月	第五期	スエーターとカーディガン	スエーターとカーディガンを紹介	53巻2号	200	吉川多美子、加藤かつ子	スウェーター・カーディガン	婦人						紹介
1959年2月	第五期	お母さんの工夫した子供服	お母さんの工夫した子供服	53巻2号	196		子供服	子供		型紙・裁断・縫う	3	親の服→子供服	提案・合理的・愛情・代用	
1959年3月	第五期	学窓を出る人々のために 三年間に手作りで揃えた娘の洋服一揃い(三色版)	学窓を出る人々のために 三年間に手作りで揃えた娘の洋服一揃い(三色版)	53巻3号	90		洋服一揃い	子供						紹介・合理的・愛情
1959年3月	第五期	ブラウスとスカート	ブラウスとスカートを紹介	53巻3号	190		ブラウス・スカート	婦人	毛糸					紹介
1959年3月	第五期	ロンパースとボレロのアンサンブル	ロンパースとボレロのアンサンブルを紹介	53巻3号	200	笹岡澄子	ロンパース・ボレロ	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3			紹介
1959年3月	第五期	スモックししゅうのねまき	スモックししゅうのねまきを紹介	53巻3号	194		ねまき	子供	布・ミシン・アイロン	編む	1			紹介・趣味
1959年3月	第五期	主婦の工夫した家着	主婦の工夫した家着を紹介	53巻3号	196	津野和子	家着	婦人	残り布・ミシン			有り合わせの布→家着	紹介・合理的・代用	
1959年5月	第五期	縞りボンのカーディガンとブラウス	縞りボンのカーディガンとブラウスを紹介	53巻5号	172	太田ゆき子	カーディガン・ブラウス	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1959年5月	第五期	母親の手作りのレインコート二つ	母親の手作りのレインコート二つについて	53巻5号	176		レインコート	子供				母の服→レインコート	紹介・愛情・代用	
1959年6月	第五期	自分の衣類を一目でみるカード	自分の衣類を一目でみるカード	53巻6号	色刷	自由学園女子部		婦人	毛糸					紹介
1959年6月	第五期	梅雨時のコートとスカートのアンサンブル	梅雨時のコートとスカートのアンサンブルの作り方を紹介	53巻6号	170	中島静江	コート・スカート	婦人		型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1959年6月	第五期	絹のレインコート	絹のレインコートを紹介	53巻6号	174	吉川美彌	レインコート	家族	布・ミシン					紹介
1959年6月	第五期	春から夏の子供服のモード	春から夏の子供服のモードについて	53巻6号	178		子供服	子供	毛糸					紹介
1959年6月	第五期	レースのあみもの	レースのあみものについて	53巻6号	181	太田ゆき子	レースあみ	婦人		編む	1			紹介・趣味
1959年6月	第五期	スモックの子供ブラウス	スモックの子供ブラウスを紹介	53巻6号	176		少女服	子供	毛糸					紹介

1959年8月	第五期	レース編みのハンカチーフ	レース編みのハンカチーフについて	53巻8号	104	笹岡澄子	ハンカチーフ	婦人	布・ミシン	編む	1		紹介・趣味
1959年8月	第五期	浴衣地の美しいワンピース	浴衣地の美しいワンピースの作り方を紹介	53巻8号	171	中島静江	ワンピース	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3	浴衣地→ワンピース	紹介・合理的・代用
1959年8月	第五期	少女の木綿のワンピース	少女の木綿のワンピースを紹介	53巻8号	176		ワンピース	少女	布・ミシン・アイロン				紹介
1959年8月	第五期	ストローと布のバッグと帽子	ストローと布のバッグと帽子を紹介	53巻8号	182	田辺朋子	バッグ・帽子	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介
1959年10月	第五期	赤ちゃんのあみもの アフガン・フード・ケープ・スウェーター	赤ちゃんのあみもの アフガン・フード・ケープ・スウェーターについて	53巻10号	146	太田ゆき子、三輪輝子	アフガン・フード・ケープ・スウェーター	赤坊	糸				紹介・愛情
1959年10月	第五期	ドレッシーなツーピース	ドレッシーなツーピースを紹介	53巻10号	180	武内啓子	ツーピース	婦人	毛糸				紹介
1959年10月	第五期	主婦のためのブラウス	主婦のためのブラウスを紹介	53巻10号	184	吉川美彌	ブラウス	婦人	毛糸				紹介
1959年10月	第五期	秋のバッグいろいろ	秋のバッグに関して	53巻10号	186	笹岡澄子	バッグ	婦人					紹介
1959年10月	第五期	私の研究室 ファッション	私の研究室 ファッション	53巻10号	口絵	丹一世		婦人	毛糸				紹介
1959年11月	第五期	オーバーコート (海外モード)	オーバーコート (海外モード)を紹介	53巻11号	135	田中千代	オーバーコート	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介
1959年11月	第五期	ししゅうの子供のワンピース	ししゅうの子供のワンピースを紹介	53巻11号	170	笹岡澄子	ワンピース	子供		編む	1		紹介・趣味・愛情
1959年11月	第五期	秋のツーピース	秋のツーピースの作り方を紹介	53巻11号	178	木下了子	ツーピース	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3		紹介
1959年11月	第五期	男子用セーターとチョッキ	男子用セーターとチョッキを紹介	53巻11号	174		セーター・チョッキ	男児	布・ミシン・アイロン				紹介
1959年11月	第五期	結婚支度 自分でぬったウェディングドレス	結婚支度 自分でぬったウェディングドレス	53巻11号	142		ウェディングドレス	婦人	布・ミシン				紹介・提案
1959年11月	第五期	結婚支度 ウェディングベールのいろいろ	結婚支度 ウェディングベールのいろいろ	53巻11号	146	筒井光康	ウェディングベール	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介
1959年11月	第五期	結婚支度 およばれのための装い	結婚支度 およばれのための装いを紹介	53巻11号	119	大滝英子		婦人	毛糸・紐				紹介
1959年12月	第五期	ツイードのコートドレス	ツイードのコートドレスの作り方を紹介	53巻12号	268	中島静江	コートドレス	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3		紹介
1959年12月	第五期	軽快なジャージーのオーバー	軽快なジャージーのオーバーの作り方を紹介	53巻12号	272	吉川美彌	オーバー	婦人	絹糸	型紙・裁断・縫う	3		紹介
1959年12月	第五期	X'mas 手芸 プレゼントために	X'mas 手芸 プレゼントために	53巻12号	258	内田さつき、田辺朋子、牧山照子、久家道	手芸	婦人					紹介
1960年1月	第五期	よそゆき	よそゆきの服を紹介	54巻1号	145	マダム・リヴィエール	よそゆき	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介
1960年1月	第五期	毛皮の着こなし	毛皮の着こなしについて	54巻1号	150	原あやめ		婦人					提案
1960年1月	第五期	旅の宿で縫った着物	旅の宿で縫った着物について	54巻1号	170	石井加代	着物	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介
1960年1月	第五期	子どものカーディガンと吊スカート	子どものカーディガンと吊スカートの作り方を紹介	54巻1号	154	三輪輝子	カーディガン・スカート	子供	家庭機・糸				紹介・合理的
1960年1月	第五期	アフタヌーンハット	アフタヌーンハットについて	54巻1号	160	田辺朋子	ハット	婦人	紺の制服				紹介
1960年1月	第五期	ブラウスとスカート	ブラウスとスカートの作り方を紹介	54巻1号	162	中島静江	ブラウス・スカート	婦人	ワイシャツ	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1960年2月	第五期	春のイタリアンモード	春のイタリアンモードについて	54巻2号	169	田中千代		婦人	男物のズボン				紹介
1960年2月	第五期	早春に着るブラウスとスカート	早春に着るブラウスとスカートの作り方を紹介	54巻2号	146	中島静江	ブラウス・スカート	婦人	スカート	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1960年2月	第五期	若々しいボックススーツ	若々しいボックススーツを紹介	54巻2号	137	武内啓子	ボックススーツ	婦人	和服のセル				紹介
1960年2月	第五期	あみもののオーバーコート	あみもののオーバーコートを紹介	54巻2号	143	板沢黎子	オーバーコート	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介・合理的
1960年2月	第五期	あたたかい室内ばき	あたたかい室内ばきを紹介	54巻2号	140	牧山照子、田辺朋子	室内履き	婦人	糸				紹介
1960年3月	第五期	衣服費の計画と実際	衣服費の計画と実際	54巻3号	74			家族	毛糸				提案
1960年3月	第五期	絹ジャージーのドレスの魅力	絹ジャージーのドレスの魅力	54巻3号	144	H夫人	ドレス	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介
1960年3月	第五期	新入学の日のために—母親の手作りで—	新入学の日のために—母親の手作りで—	54巻3号	162		入学服	子供					紹介・提案・愛情
1960年3月	第五期	ブラウスとスカート	ブラウスとスカートの作り方を紹介	54巻3号	167	加藤勝子	ブラウス・スカート	婦人	毛糸				紹介
1960年3月	第五期	バッグと帽子	バッグと帽子について	54巻3号	178		バッグ・帽子	家族	布・ミシン・アイロン				紹介
1960年3月	第五期	子供のための整理袋	子供のための整理袋を紹介	54巻3号	176		整理袋	子供	毛糸				紹介・合理的

1960年5月	第五期	春のコレクション(パリモード)	春のコレクション(パリモード)を紹介	54巻5号	137	田中千代		婦人	毛糸					紹介
1960年5月	第五期	合いの季節に着るダスターコート	合いの季節に着るダスターコートを紹介	54巻5号	172	丹一世	ダスターコート	婦人						紹介
1960年5月	第五期	更生服を美しく着る伊東俊子さん	更生服を美しく着る伊東俊子さん	54巻5号	164		更生服	婦人				ワンピース・ワンピース		紹介・合理的代用
1960年5月	第五期	手編みのスカーフ	手編みのスカーフ	54巻5号	177	田地春江	スカーフ	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1960年5月	第五期	背広をスーツに	背広をスーツにする方法を紹介	54巻5号	168	八木ひろ子	スーツ	男				背広をスー		紹介・代用
1960年6月	第五期	特集 美しい夏の装いに 中年のための街着	特集 美しい夏の装いに 中年のための街着	54巻6号	90	原あやめ		婦人						紹介
1960年6月	第五期	特集 美しい夏の装いに わかい人のワンピース	特集 美しい夏の装いに わかい人のワンピース	54巻6号	94	編集室選	ワンピース	婦人						紹介
1960年6月	第五期	特集 美しい夏の装いに 木綿の感触を	特集 美しい夏の装いに 木綿の感触を	54巻6号	101	深沢紅子		婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1960年6月	第五期	特集 美しい夏の装いに 家着のために	特集 美しい夏の装いに 家着のために	54巻6号	104	吉村満恵		婦人						紹介
1960年6月	第五期	特集 美しい夏の装いに 年よりの夏服	特集 美しい夏の装いに 年よりの夏服	54巻6号	108	石井加代		婦人						紹介
1960年6月	第五期	特集 美しい夏の装いに 海辺のあそび着	特集 美しい夏の装いに 海辺のあそび着	54巻6号	110	丹一世	遊び着	婦人	毛糸					紹介
1960年6月	第五期	特集 美しい夏の装いに わかい人のワンピース 型紙の作り方図解	特集 美しい夏の装いに わかい人のワンピース 型紙の作り方図解	54巻6号	113		ワンピース	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1960年6月	第五期	ストローハット	ストローハット	54巻6号	121	林玲子	ストローハット	婦人						紹介
1960年7月	第五期	赤ちゃんの衣服計画	赤ちゃんの衣服計画	54巻7号	172			赤坊	布・ミシン・アイロン					紹介・提案・合理的
1960年7月	第五期	夏服ノート	夏服ノート	54巻7号	162	川島喜代子、他		婦人	毛糸					紹介・提案・合理的
1960年7月	第五期	中学生の夏服	中学生の夏服	54巻7号	166		夏服	学生						紹介
1960年9月	第五期	特集 あみもの グラフとともに 婦人用 きもの袖のカーディガン/ツーピース 二種/ハーフコート/あみこみ模様のスポーツウェア/リボンあみこみのカーディガン/ボレロ/和服用ボンチョ 紳士用・少年・少女用 Vネックのスエーター三種/あみこみようカーディガン/もようあみアンサンブル	特集 あみもの グラフとともに 婦人用 きもの袖のカーディガン/ツーピース 二種/ハーフコート/あみこみ模様のスポーツウェア/リボンあみこみのカーディガン/ボレロ/和服用ボンチョ 紳士用・少年・少女用 Vネックのスエーター三種/あみこみようカーディガン/もようあみアンサンブル	54巻9号	169	渡辺イルゼ、太田ゆき子、古沢美恵子、三輪輝子、木村月伊子、島園浪子、渋谷潤子、一川美代子		家族	布・ミシン・アイロン	編む	1			紹介・合理的
1960年9月	第五期	初秋のツーピース	初秋のツーピースを紹介	54巻9号	117	吉川美彌	ツーピース	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3			紹介
1960年11月	第五期	特集 結婚支度の相談室 寝具と服装の用意 ウェディングドレスと部屋着・手ぬいの家着 ある若い主婦の持数・私の用意したふとん組 ふとんカバーにつ	特集 結婚支度の相談室 寝具と服装の用意 ウェディングドレスと部屋着・手ぬいの家着 ある若い主婦の持数・私の用意したふとん組 ふとんカバーについて	54巻11号	74		ウエディングドレス・家着・布団	婦人	毛糸					紹介・提案・合理的
1960年11月	第五期	秋・冬の帽子	秋・冬の帽子を紹介	54巻11号	144	筒井光康	帽子	婦人	長襦袢の袖					紹介
1960年11月	第五期	コート代わりのスーツ他	コート代わりのスーツ他	54巻11号	182	吉村満恵	スーツ	男	半袖					紹介・代用
1960年11月	第五期	子供のみもの	子供のみもの	54巻11号	186	三輪輝子		子供	小布	編む	1			紹介・趣味
1961年1月	第五期	絹のアンサンブル―新年の装いに―	絹のアンサンブル―新年の装いに―	55巻1号	142	戸沢タミ	アンサンブル	婦人	羽織裏の残り	型紙・裁断・縫う	3			紹介
1961年1月	第五期	ジャージのツーピース	ジャージのツーピースの作り方を紹介	55巻1号	160	中島静江	ツーピース	婦人	四つ身	型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1961年1月	第五期	洋裁技術講座 まつり	洋裁技術講座 まつり	55巻1号	171	水野たか子、松井み		婦人	洋服の残り布					紹介
1961年1月	第五期	こどものあみもの 男の子のジャケット、女の子のスエーター他	こどものあみもの 男の子のジャケット、女の子のスエーター他	55巻1号	166	渡辺イルゼ	ジャケット・スエーター	子供	水兵服	編む	1			紹介・愛情
1961年2月	第五期	着やすい六分コートとスカート	着やすい六分コートとスカートを紹介	55巻2号	164	丹一世	コート・スカート	子供	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1961年2月	第五期	あみもののドレス 二種	あみもののドレス 二種の作り方	55巻2号	168	渡辺イルゼ	ドレス	婦人	布・ミシン・アイロン	編む	1			紹介
1961年2月	第五期	毛糸とジャージで作るターバン	毛糸とジャージで作るターバン	55巻2号	174	田辺朋子	ターバン	婦人		編む	1			紹介
1961年2月	第五期	洋裁技術講座 ボタンホール	洋裁技術講座 ボタンホール	55巻2号	177	松井みどり、水野た	ボタンホール	婦人						紹介
1961年2月	第五期	街にみるレディメイドの子ども服	街にみるレディメイドの子ども服について	55巻2号	70		子供服	子供	布・ミシン・アイロン					紹介

1961年4月	第五期	あなたの手から知恵と喜びが生まれる—写真版— 織物に拡がる	あなたの手から知恵と喜びが生まれる—写真版— 織物に拡がる夢	55巻4号	86	坂倉ユリ	織物	婦人	布・テープ・糸・ミシン					紹介
1961年4月	第五期	春のブラウス	春のブラウスを紹介	55巻4号	144	丹一世	ブラウス	婦人	和服地・ミシン・アイロン					紹介
1961年4月	第五期	BG一年生の服装	BG一年生の服装	55巻4号	177	原あやめ		子供						紹介
1961年4月	第五期	かわやかな模様あみのセーター	かわやかな模様あみのセーターを紹介	55巻4号	172	渡辺イルゼ	セーター	子供	和服地・ミシン・アイロン					紹介
1961年4月	第五期	部分ぬい(絹もの)	部分ぬい(絹もの)	55巻4号	169			婦人	和服の袖・ミシン・アイロン					紹介
1961年6月	第五期	きやすいシャツブラウス	きやすいシャツブラウス	55巻6号	153	吉村満恵	シャツブラウス	婦人	母の帽子					紹介・合理的
1961年6月	第五期	レース編のブラウスと手袋	レース編のブラウスと手袋	55巻6号	158	渡辺イルゼ	ブラウス・手袋	婦人		編む	1			紹介・趣味
1961年6月	第五期	梅雨どきのコート	梅雨どきのコート	55巻6号	162		コート	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1961年7月	第五期	夏のタウンハット	夏のタウンハットを紹介	55巻7号	111	田辺朋子	タウンハット	婦人						紹介
1961年7月	第五期	真夏の布地のえらび方	真夏の布地のえらび方	55巻7号	159	原あやめ		婦人	布・ミシン・アイロン					紹介・提案
1961年7月	第五期	きやすい家着	きやすい家着を紹介	55巻7号	166	吉村満恵	家着	婦人	糸					紹介・合理的
1961年8月	第五期	皮のバッグ	皮のバッグを紹介	55巻8号	134	笹川富士子	バッグ	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1961年8月	第五期	夏服 デザインから仕立てまで自分で	夏服 デザインから仕立てまで自分で	55巻8号	142	坂倉はるな	夏服	婦人	残り毛糸	採寸・型紙・裁断・縫う	4			紹介・合理的
1961年8月	第五期	夏服 イギリスでととのえた夏のよそおい	夏服 イギリスでととのえた夏のよそおい	55巻8号	144	中川幸子	夏服	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1961年8月	第五期	夏服 アンサンブル二つ	夏服 アンサンブル二つ	55巻8号	166	丹一世	アンサンブル	婦人						紹介
1961年8月	第五期	日よけ帽子	日よけ帽子について	55巻8号	140	田辺朋子	帽子	婦人						紹介・合理的
1961年9月	第五期	初秋のアンサンブル	初秋のアンサンブルの作り方を紹介	55巻9号	160	中島静江	アンサンブル	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1961年9月	第五期	初秋のブラウス	初秋のブラウスを紹介	55巻9号	165	丹一世	ブラウス	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1961年9月	第五期	ビーズのバッグ	ビーズのバッグを紹介	55巻9号	107	佐々木喜瀬子	バッグ	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介・趣味
1961年10月	第五期	パリのふだん着	パリのふだん着を紹介	55巻10号	130	吉川美彌	普段着	婦人						紹介
1961年10月	第五期	あみもの	あみもの	55巻10号	149	渡辺イルゼ	あみもの	婦人	古布	編む	1			紹介・趣味
1961年10月	第五期	動きの楽なスラックスとブラウス	動きの楽なスラックスとブラウスを紹介	55巻10号	165		スラックス・ブラウス	婦人	和服					紹介・合理的
1961年10月	第五期	雑巾 種類・縫い方・経営 <グラフ>	雑巾 種類・縫い方・経営 <グラフ>	55巻10号	110		雑巾	婦人					タオル・雑巾	紹介・合理的・代用
1961年11月	第五期	絹のドレス	絹のドレスを紹介	55巻11号	142	竹内啓子	ドレス	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1961年11月	第五期	ウールと絹のコート	ウールと絹のコートについて紹介	55巻11号	164		コート	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1961年11月	第五期	模様編みの美しいセーター	模様編みの美しいセーターを紹介	55巻11号	172	渡辺イルゼ	セーター	婦人	古着・ミシン・アイロン	編む	1			紹介
1961年11月	第五期	秋の帽子	秋の帽子を紹介	55巻11号	169	田辺朋子	帽子	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1961年12月	第五期	雪の国ノルウェーのあみものヘンネ夫人にきく	雪の国ノルウェーのあみものについて	55巻12号	285		あみもの	婦人						紹介
1961年12月	第五期	よそいきのツーピース	よそいきのツーピースを紹介	55巻12号	290	丹一世	ツーピース	婦人	糸					紹介
1961年12月	第五期	毛皮をつけた子供の外套	毛皮をつけた子供の外套を紹介	55巻12号	292		外套	子供	布・ミシン・アイロン					紹介
1962年1月	第五期	若い人のお招かれの装いは？	若い人のお招かれの装いはなにかを紹介	56巻1号	185	原あやめ	およばれ服	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1962年1月	第五期	一月につくるよそいきと家着	一月につくるよそいきと家着の作り方を紹介	56巻1号	180	吉川美彌	家着	婦人		型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1962年1月	第五期	幼児の防寒着マントとオーバー	幼児の防寒着マントとオーバーの作り方を紹介	56巻1号	177	久家道子	マント・オーバー	赤坊						紹介
1962年1月	第五期	わが家で作るカーペット	わが家で作るカーペット	56巻1号	174	笹岡澄子	カーペット	婦人						紹介
1962年2月	第五期	あみもののコート二種	あみもののコート二種を紹介	56巻2号	156	渡辺イルゼ	コート	子供		編む	1			紹介・愛情
1962年2月	第五期	外套地でつくったスーツ	外套地でつくったスーツを紹介	56巻2号	164		スーツ	婦人	布・ミシン・アイロン				外套地→スーツ	紹介・代用・合理的
1962年2月	第五期	防寒着いろいろ—海外モード—	防寒着いろいろ—海外モード—について	56巻2号	162		防寒着	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1962年2月	第五期	革を生活にいかして	革を生活にいかして	56巻2号	136	佐藤静子	革	婦人						紹介

1962年3月	第五期	ウールでつくったよそいき アンサンブルとパーティードレス	ウールでつくったよそいき アンサンブルとパーティードレス	56巻3号	142	丹一世、吉川美彌	アンサンブル・パーティードレス	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1962年3月	第五期	春の軽やかな帽子	春の軽やかな帽子を紹介	56巻3号	138	田辺朋子	帽子	婦人						紹介
1962年5月	第五期	手作りの美しいベルト	手作りの美しいベルトを紹介	56巻5号	96	牧山照子	ベルト	婦人		型紙・裁断・縫う	3			紹介
1962年5月	第五期	欧州の手工芸をたずねて	欧州の手工芸をたずねて	56巻5号	146	後藤科子	手工芸	婦人						紹介
1962年5月	第五期	雨の季節に ダスターコート/ナイロン地のツーピース	ダスターコート/ナイロン地のツーピースの作り方を紹介	56巻5号	153	丹一世、吉川美彌	コート・ツーピース	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3			紹介
1962年5月	第五期	雨の季節に 子供のレインコート	雨の季節に 子供のレインコートの作り方を紹介	56巻5号	161		レインコート	子供	布・ミシン・アイロン					紹介・合理的・愛情
1962年6月	第五期	六月のドレス 初夏にきる木めんのアンサンブル	六月のドレス 初夏にきる木めんのアンサンブルの作り方を紹介	56巻6号	196	中島静江	ドレス	婦人		型紙・裁断・縫う	3			紹介
1962年6月	第五期	軽快な男ものの開襟シャツ	軽快な男ものの開襟シャツを紹介	56巻6号	200	津野和子	シャツ	男	布・ミシン・アイロン					紹介
1962年6月	第五期	美しいししゅう ハンカチ・靴下いれ・テーブルセンター	美しいししゅう ハンカチ・靴下いれ・テーブルセンターを紹介	56巻6号	134	江上華子	ハンカチ・靴下入れ	婦人	糸	編む	1			紹介・趣味
1962年6月	第五期	初夏のファッション	初夏のファッションについて	56巻6号	144	丹一世		婦人						紹介
1962年7月	第五期	布地の帽子	布地の帽子を紹介	56巻7号	182	田辺朋子	帽子	婦人						紹介
1962年7月	第五期	真夏のドレス	真夏のドレスを紹介	56巻7号	157	田中千代	ドレス	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1962年7月	第五期	活発なこども服	活発なこども服を紹介	56巻7号	151		子供服	子供	布・ミシン・アイロン					紹介・合理的・愛情
1962年8月	第五期	若い人のブラウスとスカート	若い人のブラウスとスカートを紹介	56巻8号	176	水野たか子	ブラウス・スカート	婦人	レインコート					紹介
1962年8月	第五期	レースあみのブラウス	レースあみのブラウスについて	56巻8号	148	渡辺イルゼ	ブラウス	婦人	竹の皮	編む	1			紹介
1962年8月	第五期	男もののショートパンツ	男もののショートパンツを紹介	56巻8号	174	津野和子	パンツ	男	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3			紹介
1962年9月	第五期	ブラウスとスカートの着こなし モレシヤン夫人にきく	ブラウスとスカートの着こなし モレシヤン夫人にきく	56巻9号	181		ブラウス・スカート	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介・提案
1962年9月	第五期	季節の変わりめのアンサンブル	季節の変わりめのアンサンブルの作り方を紹介	56巻9号	177	中島静江	アンサンブル	婦人		型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1962年9月	第五期	ししゅうの小型バッグ	ししゅうの小型バッグを紹介	56巻9号	144	加藤勝子	バッグ	婦人	布・ミシン・アイロン	編む	1			紹介
1962年10月	第五期	ふだん着のデザイナーのみた ヨーロッパ	ふだん着のデザイナーのみたヨーロッパ	56巻10号	85	吉村満恵	普段着	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1962年10月	第五期	こどものあみもの 五種	こどものあみもの五種の作り方を紹介	56巻10号	173	三輪輝子	あみもの	子供		編む	1			紹介・愛情
1962年10月	第五期	秋に着るカーディガン	秋に着るカーディガンを紹介	56巻10号	183	渡辺イルゼ	カーディガン	婦人	布・ミシン・アイロン	編む	1			紹介
1962年10月	第五期	絹のアンサンブル	絹のアンサンブルを紹介	56巻10号	168	丹一世	アンサンブル	婦人	下着・ミシン・アイロン					紹介
1962年11月	第五期	似合うきものを選ぶしつけ 大久保泰氏にきく	似合うきものを選ぶしつけ 大久保泰氏にきく	56巻11号	78			婦人						提案
1962年11月	第五期	男もののセーターとカーディガン	男もののセーターとカーディガンを紹介	56巻11号	152	渡辺イルゼ	セーター・カーディガン	男	布・ミシン・アイロン	編む	1			紹介・愛情
1962年11月	第五期	若い人の秋の一そらい	若い人の秋の一そらいの作り方を紹介	56巻11号	146	中島静江	秋の一揃い	婦人		型紙・裁断・縫う	3			紹介
1962年11月	第五期	家着のエプロン	家着のエプロンを紹介	56巻11号	185	吉川美彌	エプロン	婦人	布・ミシン・アイロン					紹介・合理的
1962年12月	第五期	いろいろなクッション	いろいろなクッションを紹介	56巻12号	135	板倉峯子、他	クッション	婦人	毛糸					紹介
1962年12月	第五期	外套三種	外套三種の作り方を紹介	56巻12号	166	武内啓子	外套	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3			紹介・合理的
1962年12月	第五期	男もののガウン	男もののガウンを紹介	56巻12号	170	津野和子	ガウン	男	布・ミシン・アイロン					紹介・愛情
1962年12月	第五期	洋服のふるさとを訪ねて	洋服のふるさとを訪ねて	56巻12号	118			婦人	布・ミシン・アイロン					紹介
1962年12月	第五期	クッションの作り方	クッションの作り方を紹介	56巻12号	172		クッション	婦人		型紙・裁断・縫う	3	使い古した服→クッション		紹介・趣味・代用
1963年1月	第五期	新春のよそい 選び方 着方	新春のよそい 選び方 着方	57巻1号	136	原あやめ		婦人						紹介
1963年1月	第五期	エプロン 娘のための刺繍教室1	エプロン 娘のための刺繍教室1	57巻1号	120	イルゼ・ブラッシン	エプロン	子供	布・ミシン・アイロン	編む	1			紹介・趣味
1963年1月	第五期	主婦の衣服戸棚1 寒い季節の家着を美しく	主婦の衣服戸棚1 寒い季節の家着を美しく	57巻1号	125	東京友の会衣グループ	家着	婦人	毛糸					紹介・合理的
1963年2月	第五期	こどもとともに 着心地よいものを	こどもとともに 着心地よいものを	57巻2号	口絵	J・ユリエ		子供	布・ミシン・アイロン					紹介・合理的

1963年2月	第五期	スエーデンししゅうで室内に彩りを	スエーデンししゅうで室内に彩りを	57巻2号	133	久家道子	刺繍	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介・趣味
1963年2月	第五期	あみもの コート・ツーピース・こどもの外套	あみもの コート・ツーピース・こどもの外套の編み方を紹介	57巻2号	136	渡辺イルゼ、笹岡澄	コート・ツーピース・外套	子供	布・ミシン・アイロン	編む	1		紹介・合理的
1963年2月	第五期	マフラー 娘のための刺繍教室2	マフラー 娘のための刺繍教室2	57巻2号	143	イルゼ・ブラッシー	マフラー	子供		編む	1		紹介・愛情
1963年2月	第五期	主婦の衣服戸棚2 ねまきとガウン	主婦の衣服戸棚2 ねまきとガウン	57巻2号	169	東京友の会衣グループ	ねまき・ガウン	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介・合理的
1963年2月	第五期	作り方のページ あみもの	作り方のページ あみもの	57巻2号	176		あみもの	婦人	布・ミシン・アイロン	編む	1		紹介・趣味
1963年2月	第五期	作り方のページ スエーデンししゅう	作り方のページ スエーデンししゅう	57巻2号	166		刺繍	婦人	布・ミシン・アイロン	編む	1		紹介・趣味
1963年2月	第五期	作り方のページ マフラー	作り方のページ マフラー	57巻2号	164		マフラー	婦人	布・ミシン・アイロン	編む	1		紹介・趣味
1963年2月	第五期	あみものきこなしを美しく	あみものきこなしを美しく	57巻2号	186		あみもの	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介
1963年2月	第五期	五〇年前のウエディングドレス	五〇年前のウエディングドレス	57巻2号	132		ウエディングドレス	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介
1963年3月	第五期	清楚によそおう卒業式・パーティーのドレス アンサンブル	清楚によそおう卒業式・パーティーのドレス アンサンブル	57巻3号	143	丹一世	アンサンブル	婦人	布・ミシン・アイロン				提案
1963年3月	第五期	清楚によそおう卒業式・パーティー 自分で縫う式服	清楚によそおう卒業式・パーティー 自分で縫う式服	57巻3号	146	自由学園女子学部	式服	婦人	布・ミシン・アイロン				提案
1963年3月	第五期	清楚によそおう卒業式・パーティー 手作りのパーティードレス	清楚によそおう卒業式・パーティー 手作りのパーティードレス	57巻3号	148	田辺翠	パーティードレス	婦人	布・ミシン・アイロン				提案
1963年3月	第五期	春のバッグ二つ 娘のための刺繍教室3	春のバッグ二つ 娘のための刺繍教室3	57巻3号	150	イルゼ・ブラッシー	バッグ	子供	布・ミシン・アイロン	編む	1		紹介・趣味
1963年3月	第五期	主婦の衣服戸棚3 黒と柄もののよそいき	主婦の衣服戸棚3 黒と柄もののよそいき	57巻3号	106	東京友の会衣服部	よそいき	婦人					紹介
1963年3月	第五期	式服のつくり方	式服のつくり方を紹介	57巻3号	156		式服	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3		紹介
1963年9月	第五期	季節の変わり目のアンサンブル二つ	季節の変わり目のアンサンブル二つを紹介	57巻9号	154	東京友の会衣グループ	アンサンブル	婦人	布・ミシン・アイロン				紹介
1963年9月	第五期	着やすいスリッパをつくりましょう	着やすいスリッパの作り方を紹介	57巻9号	162		スリッパ	婦人	布・ミシン・アイロン	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1963年9月	第五期	初秋のあみもの	初秋のあみものについて	57巻9号	141	渡辺イルゼ	あみもの	婦人					紹介
1964年2月	第五期	服装随想 わたしと洋服	服装随想 わたしと洋服	58巻2号	115	深沢紅子	洋服	婦人					紹介
1964年2月	第五期	冬のあみもの	冬のあみものについて	58巻2号	173	渡辺イルゼ	あみもの	子供					紹介・趣味
1964年2月	第五期	冬のあみもの ツーピース・男もののセーター・マフラーの編み方	冬のあみもの ツーピース・男もののセーター・マフラーの編み方	58巻2号	164		ツーピース・セーター・マフ	家族	毛糸	編む	1		紹介・愛情
1964年2月	第五期	若い主婦の一そろい スーツとブラウス	若い主婦の一そろい スーツとブラウスを紹介	58巻2号	175	東京友の会衣服部	スーツ・ブラウス	婦人					紹介
1964年5月	第五期	春の幼児帽子	春の幼児帽子の作り方を紹介	58巻5号	160	加々美祐子	帽子	赤坊	布	型紙・裁断・縫う	3		紹介・愛情
1964年5月	第五期	五月のドレス	五月のドレスについて	58巻5号	85	武内啓子	ドレス	婦人					紹介
1964年5月	第五期	流行を作るもの	流行を作るもの	58巻5号	162	吉村満恵		婦人					紹介
1964年5月	第五期	すっきりしたマタニティドレスの工夫	すっきりしたマタニティドレスの工夫	58巻5号	153		マタニティドレス	婦人					紹介・合理的
1964年5月	第五期	軽やかなツーピース 若い主婦のひとそろい	軽やかなツーピース 若い主婦のひとそろい	58巻5号	148	東京友の会衣服部	ツーピース	婦人					紹介
1964年6月	第五期	エジプトのアクセサリ	エジプトのアクセサリ	58巻6号	83	田中千代	アクセサリ	婦人					紹介
1964年6月	第五期	幼児のブラウスとジャンパースカート	幼児のブラウスとジャンパースカートの作り方を紹介	58巻6号	166		ブラウス・ジャンパースカート	幼児					紹介
1964年6月	第五期	初夏にきるワンピースとアンサンブル	初夏にきるワンピースとアンサンブルを紹介	58巻6号	168	東京友の会衣服部	ワンピース・アンサンブル	婦人					紹介
1964年6月	第五期	夏の装いに涼しげな美しいバッグ	夏の装いに涼しげな美しいバッグを紹介	58巻6号	178	笹岡澄子	バッグ	婦人					紹介
1964年11月	第五期	冬の装いに 主婦の一揃い	冬の装いに 主婦の一揃いについて	58巻11号	158	東京友の会衣服部	冬の一揃い	婦人					紹介・合理的
1964年11月	第五期	よそゆきのコートなどの作り方	よそゆきのコートなどの作り方を紹介	58巻11号	168		コート	婦人	布	採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1964年11月	第五期	ニットドレス	ニットドレスについて	58巻11号	159	黒木なお子	ニットドレス	婦人					紹介
1964年11月	第五期	ニットドレス 作り方	ニットドレス 作り方を紹介	58巻11号	161		ニットドレス	婦人	毛糸	編む	1		紹介
1964年11月	第五期	服装時評 既製服を上手に着るには	服装時評 既製服を上手に着るには	58巻11号	164	吉村満恵		婦人					紹介・提案

1964年12月	第五期	絹のよそゆき	絹のよそゆきについて	58巻12号	154	中島静江	よそゆき	婦人	絹					紹介
1964年12月	第五期	若々しい男もののセーター	若々しい男もののセーターを紹介	58巻12号	220	黒木なを子	セーター	男						紹介
1964年12月	第五期	“主婦の一揃い”をふりかえって	“主婦の一揃い”をふりかえって	58巻12号	203	東京友の会 衣服部		婦人						紹介
1964年12月	第五期	服装時評 服装美の本質	服装時評 服装美の本質	58巻12号	206	吉村満恵		婦人						紹介
1965年2月	第五期	あみものを組み合わせたツー ピース	あみものを組み合わせたツーピースの作り方を紹介	59巻2号	174	吉川美禰	ツーピース	婦人	毛糸・布	型紙・裁断・縫う・ 編む	4			紹介・提案
1965年2月	第五期	芯なしスーツとチュニックスーツ	芯なしスーツとチュニックスーツの作り方を紹介	59巻2号	186	丹一世	スーツ	婦人		型紙・裁断・縫う	3			紹介
1965年2月	第五期	こども服教室 男の子のコート二 種	こども服教室 男の子のコート二種の作り方を紹介	59巻2号	180		コート	男児	布	採寸・型紙・裁 断・縫う	4			紹介・愛情
1965年2月	第五期	こども服教室 女の子のよそゆ きのツーピース	こども服教室 女の子のよそゆきのツーピースの作り方を紹介	59巻2号	184		ツーピース	少女	布	採寸・型紙・裁 断・縫う	4			紹介・愛情
1965年3月	第五期	背広―就職のときほしい衣服の 数― 就職一、二年目の先輩か ら アンケート / どんな背広を えらべばよいか	背広―就職のときほしい衣服の数― 就職一、二年目の先輩から アンケート / どんな背広をえらべばよいか	59巻3号	76		背広	家族						紹介・提案
1965年3月	第五期	こども服教室 ジャンパースカー トと上衣	こども服教室 ジャンパースカートと上衣の作り方を紹介	59巻3号	184		ジャンパース カート・上衣	子供		採寸・型紙・裁 断・縫う	4			紹介・愛情
1965年3月	第五期	ブラウス仕立のツーピース	ブラウス仕立のツーピースを紹介	59巻3号	188	東京友の会 衣服部	ツーピース	婦人						紹介
1965年3月	第五期	こどものあみもの	こどものあみものについて	59巻3号	192	渡辺イルゼ	あみもの	子供	毛糸	編む	1			紹介・愛情
1965年3月	第五期	毛糸の手芸	毛糸の手芸	59巻3号	165	笹岡澄子	手芸	婦人	毛糸					趣味
1965年3月	第五期	こども服教室	こども服教室	59巻3号	グラビ ア		子供服	子供						紹介・愛情
1965年10月	第五期	ウールのアンサンブル	ウールのアンサンブルの作り方を紹介	59巻10号	145	小林英子	アンサンブル	婦人	ウール	編む	1			紹介
1965年10月	第五期	絹のツーピース	絹のツーピースを紹介	59巻10号	173	東京友の会 服部	ツーピース	婦人	絹	型紙・裁断・縫う	3			紹介
1965年10月	第五期	こども服教室 ウールジャージ の通学服(グラビヤ)	こども服教室 ウールジャージの通学服(グラビヤ)を紹介	59巻10号	177		通学服	子供						紹介・愛情
1965年10月	第五期	手芸 センターとクッションのセッ ト	手芸 センターとクッションのセット	59巻10号	160	田辺朋子	クッション	婦人	糸	編む	1			紹介・趣味
1966年1月	第五期	家計 私は家計簿三年生 / 衣 服費の工夫	家計 私は家計簿三年生 / 衣服費の工夫	60巻1号	157			婦人						紹介・提案・合理的
1966年1月	第五期	はぎれのおしゃれ	はぎれのおしゃれ	60巻1号	232	田中千代	ワンピース	婦人				はぎれ一服		紹介・提案・代用
1966年1月	第五期	手編みのツーピース	手編みのツーピースを紹介	60巻1号	225	赤堀雪子、 黒木なほ子	ツーピース	婦人	毛糸	編む	1			紹介・愛情
1966年1月	第五期	リバーシブル家庭着	リバーシブル家庭着を紹介	60巻1号	236		家庭着	婦人						紹介・合理的
1966年2月	第五期	編み込みのセーター	編み込みのセーター	60巻2号	146		セーター	家族	毛糸	編む	1			紹介・趣味
1966年2月	第五期	暖かい散歩服	暖かい散歩服を紹介	60巻2号	156	原あやめ	散歩服	子供						紹介・合理的
1966年2月	第五期	冬のレインコート	冬のレインコートを紹介	60巻2号	158	吉川美禰	レインコート	子供						紹介・合理的
1966年3月	第五期	春のこども向あみもの	春のこども向あみものを紹介	60巻3号	158	渡辺イル ゼ、他	あみもの	子供						紹介・愛情
1966年3月	第五期	絹の服二題	絹の服二題	60巻3号	146	武内啓子	洋服	婦人	絹					紹介
1966年3月	第五期	ワンピース 和服地とジャージー	ワンピース 和服地とジャージー	60巻3号	148	吉川美禰	ワンピース	婦人	和服地・ ジャージー			和服地→ワン ピース		紹介・代用
1966年3月	第五期	高校生の服装計画 ①通学服	高校生の服装計画 ①通学服	60巻3号	153	東京友の会 服部	通学服	学生						提案・合理的
1966年4月	第五期	春をよぶカーディガン	春をよぶカーディガンを紹介	60巻4号	155	赤堀雪子	カーディガン	婦人	毛糸	編む	1			紹介
1966年4月	第五期	レインコート地の三つ組み	レインコート地の三つ組みの作り方を紹介	60巻4号	160	吉川美禰	レインコート	婦人	レインコート地					紹介
1966年4月	第五期	高校生の服装計画 2 ブラウス とスカート	高校生の服装計画 2 ブラウスとスカートを紹介	60巻4号	164	東京友の会 衣服部	ブラウス・スカ ート	学生						紹介・提案
1966年5月	第五期	レースあみのブラウス	レースあみのブラウスの作り方を紹介	60巻5号	158	笹岡澄子	ブラウス	婦人	糸	編む	1			紹介
1966年5月	第五期	スカートとブラウスの組み合わせ	スカートとブラウスの組み合わせを紹介	60巻5号	162	吉川美禰	スカート・ブラウ ス	婦人						紹介・合理的
1966年5月	第五期	デニムのこどもワンピース	デニムのこどもワンピースを紹介	60巻5号	166		ワンピース	子供	デニム	採寸・型紙・裁 断・縫う	4			紹介・趣味
1966年5月	第五期	高校生の服装計画 3 レイン コートとパジャマ	高校生の服装計画 3 レインコートとパジャマを紹介	60巻5号	170	東京友の会 服部	レインコート・パ ジャマ	学生						紹介
1966年6月	第五期	ディオールのコレクションから	ディオールのコレクションから	60巻6号	136			婦人						紹介
1966年6月	第五期	染めもののワンピース	染めもののワンピースを紹介	60巻6号	146		ワンピース	婦人		染める	1			紹介
1966年6月	第五期	こどもの夏のあそび着	こどもの夏のあそび着を紹介	60巻6号	150		遊び着	子供						紹介・合理的

1966年6月	第五期	初夏のレースあみブラウス	初夏のレースあみブラウスを紹介	60巻6号	152	渡辺イルゼ	ブラウス	婦人	糸	編む	1		紹介・趣味
1966年6月	第五期	高校生の服装計画 3 ツーピースと替上着	高校生の服装計画 3 ツーピースと替上着を紹介	60巻6号	156	東京友の会 服部	ツーピース	学生					紹介
1966年7月	第五期	高校生の服装計画 5 夏のワンピース	高校生の服装計画 5 夏のワンピースを紹介	60巻7号	172	東京友の会 服部	ワンピース	学生					紹介
1966年7月	第五期	浴衣地の夏着 ねまきとガウン	浴衣地の夏着 ねまきとガウンの作り方を紹介	60巻7号	177	吉川美禰	ねまき・ガウン	家族	浴衣地			浴衣地→ねまき・ガウン	紹介・代用
1966年7月	第五期	日よけ帽子とあそび着	日よけ帽子とあそび着を紹介	60巻7号	180		遊び着	子供					紹介・合理的
1966年7月	第五期	ししゅうの服	ししゅうの服について	60巻7号	183	田辺朋子	刺繍	婦人					紹介・趣味
1966年8月	第五期	縞と水玉の服 プリント地の服	縞と水玉の服 プリント地の服	60巻8号	153	島崎睦子、 吉川美禰	洋服	婦人					紹介
1966年8月	第五期	スモックししゅうのこども服	スモックししゅうのこども服を紹介	60巻8号	157		子供服	子供	糸	編む	1		紹介・趣味・愛情
1966年8月	第五期	高校生の服装計画 6 山と海の装い	高校生の服装計画 6 山と海の装いを紹介	60巻8号	160	東京友の会 服部	水着	学生					紹介
1966年9月	第五期	ツーピース・秋の装いに	ツーピース・秋の装いに	60巻9号	91	丹一世	ツーピース	婦人					紹介・合理的
1966年9月	第五期	合着のアンサンブル	合着のアンサンブルの作り方を紹介	60巻9号	156	吉川美禰	アンサンブル	婦人		型紙・裁断・縫う	3		紹介
1966年9月	第五期	初秋のあみもの	初秋のあみものを紹介	60巻9号	160	渡辺イルゼ	あみもの	婦人	毛糸	編む	1		紹介
1966年10月	第五期	白を配色にした若い人の街着	白を配色にした若い人の街着	60巻10号	126	丹一世	街着	婦人					紹介
1966年10月	第五期	シルクウールのチーピース	シルクウールのツーピース	60巻10号	154	吉川美禰	ツーピース	婦人					紹介
1966年10月	第五期	子どもたちのカーディガン	子どもたちのカーディガンを紹介	60巻10号	158	三輪輝子	カーディガン	子供					紹介・愛情
1966年11月	第五期	リフォームの急所協同研究 大阪にて 東京・大阪・松本各友の会員参加 衣類分類の三原則 リフォームを美しく 背広から上等なスーツ/型を変えた婦人服 五点/良心の洋服からこども服一揃い/我が家の衣類の七割がリフォーム	リフォームの急所協同研究 大阪にて 東京・大阪・松本各友の会員参加 衣類分類の三原則 リフォームを美しく 背広から上等なスーツ/型を変えた婦人服 五点/良心の洋服からこども服一揃い/我が家の衣類の七割がリフォーム	60巻11号	53		背広・ワンピース等	家族				背広から上等なスーツ/型を変えた婦人服 五点/良心の洋服からこども服一揃い/我が家の衣類の七割がリフォーム	紹介・代用・提案・合理的
1966年11月	第五期	気軽な絹のワンピース	気軽な絹のワンピースの作り方を紹介	60巻11号	141	吉川美禰	ワンピース	婦人	絹				紹介
1966年11月	第五期	コート 若むき・年輩むき	コート 若むき・年輩むきを紹介	60巻11号	144	島崎睦子	コート	婦人	布	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1966年11月	第五期	ペアのこどもカーディガン	ペアのこどもカーディガンを紹介	60巻11号	150	渡辺イルゼ	カーディガン	子供	毛糸	編む	1		紹介・愛情
1966年12月	第五期	家計特集 私たちの今日の生活のために 予算はこうして立てる 食費・住宅費・教育費・衣服費など一三費目を考えるめやす	家計特集 私たちの今日の生活のために 予算はこうして立てる 食費・住宅費・教育費・衣服費など一三費目を考えるめやす	60巻12号	48			家族					紹介・提案
1966年12月	第五期	無地のデザイン ツーピース	無地のデザイン ツーピースを紹介	60巻12号	167	丹一世	ツーピース	婦人	布	型紙・裁断・縫う	3		紹介
1966年12月	第五期	無地のデザイン スーツ	無地のデザイン スーツを紹介	60巻12号	170	小林英子	スーツ	婦人					紹介
1966年12月	第五期	無地のデザイン ワンピース	無地のデザイン ワンピースを紹介	60巻12号	207	吉川美禰	ワンピース	婦人					紹介
1966年12月	第五期	スキーのためのセーター	スキーのためのセーターを紹介	60巻12号	210	渡辺イルゼ、赤堀雪	セーター	家族					紹介
1967年2月	第五期	育児 赤ちゃんの防寒着	育児 赤ちゃんの防寒着	61巻2号	138		防寒着	赤坊					紹介・愛情
1967年2月	第五期	ドレッシィな若い人のコート	ドレッシィな若い人のコートの作り方を紹介	61巻2号	124	原あやめ	コート	婦人	布	採寸・型紙・裁断・縫う	4		紹介
1967年2月	第五期	母と子のホームウエア	母と子のホームウエアについて	61巻2号	182	島崎睦子	家着	家族					紹介・愛情
1967年2月	第五期	主婦の一揃い 七分のコートとスカート	主婦の一揃い 七分のコートとスカートの作り方を紹介	61巻2号	188	友の会衣 服部	コート・スカート	婦人	布	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1967年2月	第五期	ツインのセーター	ツインのセーターの作り方を紹介	61巻2号	179	笹岡澄子	セーター	婦人	毛糸	編む	1		紹介
1967年2月	第五期	手編みのツーピース	手編みのツーピースを紹介	61巻2号	178	赤堀雪子	ツーピース	家族	毛糸	編む	1		紹介・愛情
1967年2月	第五期	新女性講座 基礎を学ぶ “スカート”	新女性講座 基礎を学ぶ “スカート”	61巻2号	193		スカート	婦人					紹介
1967年4月	第五期	若い人のワンピース	若い人のワンピースについて	61巻4号	160	原あやめ	ワンピース	婦人					紹介
1967年4月	第五期	四月のアンサンブル	四月のアンサンブルを紹介	61巻4号	158	丹一世	アンサンブル	婦人					紹介
1967年4月	第五期	主婦の一揃い 黒い服	主婦の一揃い 黒い服の作り方を紹介	61巻4号	161	友の会衣 服部	黒い服	婦人					紹介・合理的
1967年4月	第五期	ししゅうとファイアあみの買もの袋	ししゅうとファイアあみの買もの袋について	61巻4号	168	笹岡澄子	買い物袋	婦人					紹介・趣味
1967年5月	第五期	手作りのこどもエプロン	手作りのこどもエプロン	61巻5号	176		エプロン	子供					紹介・愛情
1967年5月	第五期	主婦の一揃い 合の外出着	主婦の一揃い 合の外出着を紹介	61巻5号	178	友の会衣 グループ	外出着	婦人					紹介

1967年5月	第五期	レース編のワンピース 若い人と子ども	レース編のワンピース 若い人と子ども	61巻5号	187	赤堀雪子	ワンピース	婦人	糸	編む	1		紹介
1967年6月	第五期	夏を彩る帽子	夏を彩る帽子を紹介	61巻6号	169	筒井君子	帽子	婦人					紹介
1967年6月	第五期	バーバリのレインコート	バーバリのレインコートを紹介	61巻6号	176	原あやめ	レインコート	婦人					紹介
1967年6月	第五期	主婦の一揃い 家着のブラウスとスカート	主婦の一揃い 家着のブラウスとスカート	61巻6号	177	吉川美禰、ほか	ブラウス・スカート	婦人					紹介・合理的
1967年6月	第五期	絹プリントのブラウス	絹プリントのブラウス	61巻6号	174	奥田保子	ブラウス	婦人					紹介
1967年6月	第五期	絹プリントのブラウス 裁ち方	絹プリントのブラウス 裁ち方	61巻6号	186		ブラウス	婦人					紹介
1967年7月	第五期	さわやかなワンピース	さわやかなワンピースを紹介	61巻7号	158	芦田淳	ワンピース	婦人					紹介
1967年7月	第五期	若い人のデザイン ワンピース	若い人のデザイン ワンピース	61巻7号	160	原あやめ	ワンピース	婦人					紹介
1967年7月	第五期	主婦の一揃え 夏の外出着	主婦の一揃え 夏の外出着の作り方を紹介	61巻7号	161	吉川美禰、ほか	外出着	婦人	布	型紙・裁断・縫う	3		紹介・合理的
1967年7月	第五期	ネトロンししゅうのバッグ	ネトロンししゅうのバッグを紹介	61巻7号	169	久家道子	バッグ	婦人					紹介・趣味
1967年7月	第五期	新女性講座 工芸篇 染色をたのしく	新女性講座 工芸篇 染色をたのしく	61巻7号	193	自由学園工芸研究所	工芸	婦人					提案・趣味
1967年11月	第五期	私の洋服は全部手づくり	私の洋服は全部手づくり	61巻11号	114			婦人	布・昔のワンピース			昔のワンピース→ワンピース	紹介・合理的・代用
1967年11月	第五期	若い人のデザイン 活発なコート	若い人のデザイン 活発なコートを紹介	61巻11号	104	原あやめ	コート	婦人					紹介
1967年11月	第五期	二枚目のコートを作るとき	二枚目のコートを作るとき	61巻11号	102	奥田保子	コート	婦人	残り布			残り布→コート	紹介・代用・合理的
1967年11月	第五期	アフガン編みのカーディガン	アフガン編みのカーディガン	61巻11号	157	渡辺イルゼ	カーディガン	婦人	毛糸	編む	1		紹介
1967年11月	第五期	小さい子どもの防寒帽	小さい子どもの防寒帽を紹介	61巻11号	160		防寒帽	子供					紹介・合理的・愛情
1967年11月	第五期	主婦の一揃え よそゆきとふだんのコート	主婦の一揃え よそゆきとふだんのコート	61巻11号	164	吉川美禰、ほか	コート	婦人	布	型紙・裁断・縫う	3		紹介
1967年12月	第五期	よそゆき 夜の集まりに 若い人のデザイン	よそゆき 夜の集まりに 若い人のデザイン	61巻12号	161	原あやめ	よそゆき	婦人					紹介
1967年12月	第五期	よそゆき 中世紀風なアンサンブルとワンピース	よそゆき 中世紀風なアンサンブルとワンピース	61巻12号	162	芦田淳	アンサンブル・ワンピース	婦人					紹介
1967年12月	第五期	よそゆき 年配の人の明るいアンサンブル	よそゆき 年配の人の明るいアンサンブル	61巻12号	201	吉川美禰、ほか	アンサンブル	婦人					紹介
1970年10月	第五期	ミディ丈のスーツの試み	ミディ丈のスーツの試み	64巻10号	188	田中千代	スーツ	婦人					紹介
1970年10月	第五期	よそゆきのアンサンブル	よそゆきのアンサンブルを紹介	64巻10号	190	鈴木宏子	アンサンブル	婦人					紹介
1970年10月	第五期	主婦の衣服戸棚 古の一揃いより	主婦の衣服戸棚 合の一揃いより	64巻10号	192	吉川美禰	一揃い	婦人					紹介
1970年10月	第五期	お揃いのデザイン 秋の手編み	お揃いのデザイン 秋の手編み	64巻10号	194	赤堀雪子	セーター	子供					紹介・愛情
1970年10月	第五期	男の子のジャンパー (中学生)	男の子のジャンパー (中学生)の作り方を紹介	64巻10号	212	若林道子	ジャンパー	学生					紹介・愛情
1970年12月	第五期	ジャガード織の絹のワンピース	ジャガード織の絹のワンピースの作り方を紹介	64巻12号	204	田中千代	ワンピース	婦人					紹介
1970年12月	第五期	ラメ入りの生地のワンピース	ラメ入りの生地のワンピースの作り方を紹介	64巻12号	206	吉川美禰	ワンピース	婦人					紹介
1970年12月	第五期	サリ―生地のワンピース	サリ―生地のワンピースの作り方を紹介	64巻12号	207	水野たか子	ワンピース	婦人					紹介
1970年12月	第五期	よそゆきの絹コート	よそゆきの絹コートについて	64巻12号	226		コート	婦人					紹介
1970年12月	第五期	こどもの帽子とお揃いのコート	こどもの帽子とお揃いのコートを紹介	64巻12号	208		コート	子供					紹介
1970年12月	第五期	アフガン編のカーディガン	アフガン編のカーディガンを紹介	64巻12号	210	渡辺イルゼ、渋谷潤	カーディガン	婦人					紹介
1972年11月	第五期	秋のスーツ	秋のスーツの作り方を紹介	66巻11号	186	鈴木宏子	スーツ	婦人					紹介
1972年11月	第五期	コート “昔がたり”	コート “昔がたり”	66巻11号	185	田中千代	コート	婦人					紹介
1972年11月	第五期	73今年のコート	73今年のコートについて	66巻11号	178		コート	婦人					紹介
1972年11月	第五期	手編みの重ね着	手編みの重ね着の作り方を紹介	66巻11号	183	笹岡澄子	重ね着	婦人					紹介・趣味
1972年11月	第五期	主婦の服装 合のドレスとコート	主婦の服装 合のドレスとコートを紹介	66巻11号	190	吉川美禰	ドレス・コート	婦人					紹介・合理的